

清水遺跡

第1～7・9次発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第238集



第二分冊 第2・4・9次編

2020

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター



清水遺跡

第1～7・9次発掘調査報告書

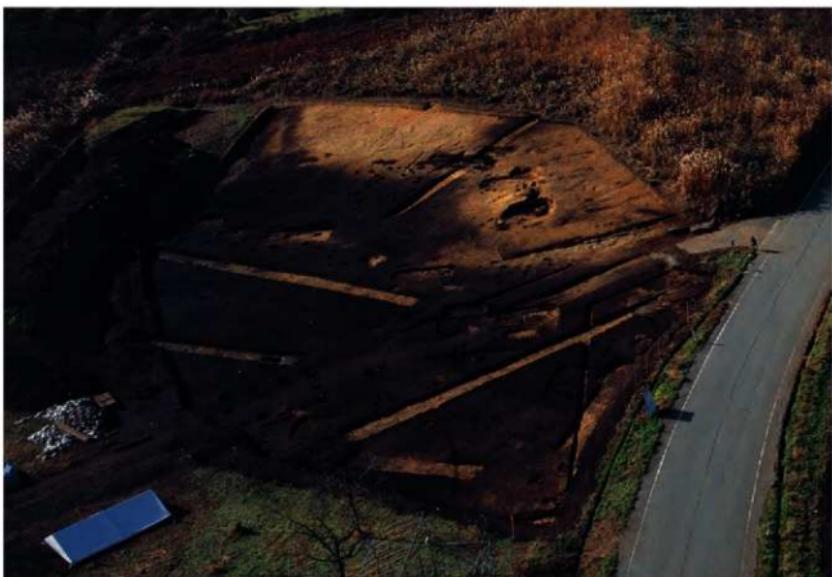
山形県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第238集

第二分冊 第2・4・9次編

令和2年

公益財団法 人山形県埋蔵文化財センター





2次 A区完掘全景（東から）



4次調査区全景（東から）

凡　例

- 1 本書で使用した遺構・遺物の分類記号は下記のとおりである。

ST…堅穴住居跡	SB…掘立柱建物跡	SK・SX…土坑・陥穴	SD…溝跡
SP…ピット	EB…掘立柱建物跡柱穴	EP…遺構内柱穴	EK…遺構内土坑
EL…カマド跡	RP…登録土器	RQ…登録石器・石製品	RM…登録金属製品
RW…登録木製品			

- 2 遺構・遺物実測図の縮尺は各図に示した。また、遺構実測図中の遺物は1/8の縮尺で採録した。なお、遺構実測図の網点の用法は下記のとおりである。

■：遺物 ■：焼土 ■：炭化物 ■：カクラン

- 3 墨書・刻書土器の「□」は解読不明文字を示す。

- 4 遺物実測図の断面黒塗りは須恵器を表す。また、拓影断面図の配置は、縄文土器は左から外面・断面とし、他の土器は内面・断面・外面の順に掲載した。

- 5 遺物観察表において、()は石器・石製品は残存値を、土器は図上復元による推計値を示す。

- 6 基本層序および遺構覆土の色調記載については、2008年版農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」によった。

目 次

I 調査の概要	
1 現地調査	1
2 整理作業	2
II 遺跡の概要	
1 はじめに	3
2 遺構の分布	3
3 遺跡の層序	3
III 遺構と遺物	
1 竪穴住居跡	3
2 掘立柱建物跡	10
3 その他の遺構	12
IV まとめ	137

表

表1 遺物観察表..... 115

図 版

第 1 図 調査区垂面略図	14	第 21 図 ST 9 竪穴住居跡 (2)	34
第 2 図 基本層序	15	第 22 図 ST 9 竪穴住居跡 (3)	35
第 3 図 遺構配置図の割付	16	第 23 図 ST10 竪穴住居跡	36
第 4 図 遺構配置図 (1)	17	第 24 図 ST35・54 竪穴住居跡	37
第 5 図 遺構配置図 (2)	18	第 25 図 ST56・65 竪穴住居跡	38
第 6 図 遺構配置図 (3)	19	第 26 図 ST63 竪穴住居跡 (1)	39
第 7 図 遺構配置図 (4)	20	第 27 図 ST63 竪穴住居跡 (2)	40
第 8 図 遺構配置図 (5)	21	第 28 図 ST69 竪穴住居跡	41
第 9 図 遺構配置図 (6)	22	第 29 図 ST100 竪穴住居跡	42
第 10 図 遺構配置図 (7)	23	第 30 図 ST101 竪穴住居跡 (1)	43
第 11 図 遺構配置図 (8)	24	第 31 図 ST101 竪穴住居跡 (2)	44
第 12 図 遺構配置図 (9)	25	第 32 図 ST140・146・147・148・160 竪穴住居跡	
第 13 図 遺構配置図 (10)	26	SK149 土坑 (1)	45
第 14 図 遺構配置図 (11)	27	第 33 図 ST140・146・147・148・160 竪穴住居跡	
第 15 図 遺構配置図 (12)	28	SK149 土坑 (2)	46
第 16 図 ST 1・2・3 竪穴住居跡 (1)	29	第 34 図 ST137・139・141 竪穴住居跡	47
第 17 図 ST 1・2・3 竪穴住居跡 (2)	30	第 35 図 ST162・436 竪穴住居跡	48
第 18 図 ST 5 竪穴住居跡 (1)	31	第 36 図 ST276 竪穴住居跡 (1)	49
第 19 図 ST 5 竪穴住居跡 (2)	32	第 37 図 ST276 竪穴住居跡 (2)	50
第 20 図 ST 9 竪穴住居跡 (1)	33	第 38 図 ST448 竪穴住居跡	51

第 39 図 SB 4 挖立柱建物跡	52	第 70 図 ST56 出土遺物（2）	83
第 40 図 SB28 挖立柱建物跡	53	第 71 図 ST63 出土遺物（1）	84
第 41 図 SB28 挖立柱建物跡・SP31・143	54	第 72 図 ST63 出土遺物（2）・ST65 出土遺物（1）	85
第 42 図 SB67 挖立柱建物跡	55	第 73 図 ST65 出土遺物（2）・ST69 出土遺物（1）	86
第 43 図 SB201・378 挖立柱建物跡（1）	56	第 74 図 ST69 出土遺物（2）・ST100 出土遺物	87
第 44 図 SB201・378 挖立柱建物跡（2）	57	第 75 図 ST101・137・140 出土遺物	88
第 45 図 SB298 挖立柱建物跡（1）	58	第 76 図 ST146 出土遺物	89
第 46 図 SB298 挖立柱建物跡（2）	59	第 77 図 ST147 出土遺物・ST160 出土遺物（1）	90
第 47 図 SB347 挖立柱建物跡（1）	60	第 78 図 ST160 出土遺物（2）・ST141 出土遺物	91
第 48 図 SB347 挖立柱建物跡（2）	61	第 79 図 ST162・276・436・448・SB378 出土遺物	92
第 49 図 SE251 井戸跡 SX255・316・317 性格不明遺構	62	第 80 図 SK21 出土遺物・SK22 出土遺物（1）	93
第 50 図 SK21・22 土坑	63	第 81 図 SK22 出土遺物（2）・SK66・142・149 158・277・318 出土遺物	94
第 51 図 SK52・66・148・320・277・318 土坑	64	第 82 図 SK344 出土遺物	95
第 52 図 SK344・345 土坑・SP346 柱穴	65	第 83 図 SK345・SD19 出土遺物	96
第 53 図 SP6・7・8・16・34 柱穴	66	第 84 図 SD55 出土遺物・SG266 出土遺物（1）	97
第 54 図 SP39・40・50・59・73・49 50・59・73・76・83 柱穴	67	第 85 図 SG266 出土遺物（2）	98
第 55 図 SP85・88・90・91・110・111 113・114・115・116・117・118 柱穴	68	第 86 国 SG266 出土遺物（3）	99
第 56 国 SP119・121・123・124・126 127・145・150・235・357 柱穴	69	第 87 国 SG266 出土遺物（4）	100
第 57 国 SD19 溝跡	70	第 88 国 SG266 出土遺物（5）	101
第 58 国 SD55 溝跡	71	第 89 国 SG266 出土遺物（6）	102
第 59 国 SG266（1）	72	第 90 国 SG266 出土遺物（7）	103
第 60 国 SG266（2）	73	第 91 国 SP16・17・88・112・207・235 出土遺物	104
第 61 国 ST 1 出土遺物（1）	74	第 92 国 SP346・357・465 出土遺物 遺構出土遺物（1）	105
第 62 国 ST 1 出土遺物（2）・ST 2 出土遺物（1）	75	第 93 国 遺構出土遺物（2）	106
第 63 国 ST 2 出土遺物（2）・ST 3 出土遺物（1）	76	第 94 国 遺構出土遺物（3）	107
第 64 国 ST 3 出土遺物（2）・ST 5 出土遺物（1）	77	第 95 国 遺構出土遺物（4）	108
第 65 国 ST 5 出土遺物（2）・ST 9 出土遺物（1）	78	第 96 国 遺構出土遺物（5）	109
第 66 国 ST 9 出土遺物（2）	79	第 97 国 遺構出土遺物（6）	110
第 67 国 ST 9 出土遺物（3）・ST10 出土遺物（1）	80	第 98 国 遺構出土遺物（7）	111
第 68 国 ST10 出土遺物（2）・ST35・54 出土遺物	81	第 99 国 遺構出土遺物（8）	112
第 69 国 ST56 出土遺物（1）	82	第 100 国 墨書・刻書土器集成図（1）	113
		第 101 国 墨書・刻書土器集成図（2）	114

写 真 図 版

写真図版写真	2次 A 区完掘全景、4次調査区全景	写真図版 22 ST436 完掘状況、ST436EL495 完掘状況 H 区完掘状況
写真図版 1	2 次 A 区完掘全景、4 次調査区遺構検出状況	写真図版 23 SB4EP3 完掘状況、SB4EP6 土層断面、SB4EP8 土層断面、完掘状況、SB4 完掘状況
写真図版 2	基本層序 A-A'、基本層序 B-B'	写真図版 24 SB28 検出状況、SB28EP1 土層断面、完掘状況 SB28EP5 土層断面、完掘状況
写真図版 3	ST1 土層断面、ST1EL1 土層断面、ST1EP5 土層断面 ST1 完掘状況、ST2 土層断面、ST2EL1 完掘状況 ST2RP49・50 出土状況、ST2 完掘状況	写真図版 25 SB28EP6 完掘状況、SB28EP8 土層断面、完掘状況 SB28EP9 土層断面、SB28 完掘状況
写真図版 4	ST3 土層断面、完掘状況、ST3EK1 土層断面、完掘状況 ST 1・2・3 完掘状況	写真図版 26 SB67EP5 土層断面、完掘状況、SB67EP6 土層断面 SB67EP8 土層断面、SB67 完掘状況
写真図版 5	ST5 土層断面、完掘状況、ST5RP23 出土状況、 ST5EL1 土層断面、完掘状況	写真図版 27 SB201・378EP1、EP3、EP4、土層断面、完掘状況、 SB201・378EP5 土層断面、SB378EP6 完掘状況
写真図版 6	ST9 土層断面、完掘状況、ST9EK5 土層断面 ST9EL1 土層断面、完掘状況	写真図版 28 SB201EP7・378EP8、EP9 土層断面、完掘状況 SB201・378 完掘状況
写真図版 7	ST10 完掘状況、土層断面、ST10EL1 土層断面 完掘状況、ST10RM124 出土状況	写真図版 29 SB298、SB298EP1、EP4、EP9、EP10 完掘状況
写真図版 8	ST35a-a'、b-b' 土層断面 ST35 完掘状況	写真図版 30 SB347 検出状況、SB347EP3 EP5 土層断面、完掘状況
写真図版 9	ST54EK1 土層断面、完掘状況、ST54 完掘状況	写真図版 31 SB347EP8、EP9 土層断面、SB347EP10 土層断面、 完掘状況、SB347 完掘状況
写真図版 10	ST56 完掘状況、土層断面、ST56EL1RP13・22 出土状況、ST56EL1 土層断面、完掘状況	写真図版 32 SE251 土層断面、完掘状況、SK21b-b' 土層断面、 完掘状況、SK22b-b' 土層断面、SK22 完掘状況 SK52 土層断面、完掘状況
写真図版 11	ST63 土層断面、貼床土層断面、完掘状況 ST63EL1 土層断面、完掘状況	写真図版 33 SK66、158、277、318 土層断面、完掘状況
写真図版 12	ST65 土層断面、完掘状況 ST65EL1 遺物出土状況、土層断面、完掘状況	写真図版 34 SK320 土層断面、SK344 完掘状況、SK345、 SX255 土層断面、完掘状況、SX316、317 土層断面
写真図版 13	ST69 火山灰検出状況、土層断面、完掘状況 ST69EL1 土層断面、完掘状況	写真図版 35 SD19、55 土層断面、SG266T2、T4 土層断面 SG266 遺物出土状況
写真図版 14	ST100 土層断面、完掘状況	写真図版 36 SG266RW76、RP88、102、104 出土状況 SG266 完掘状況
写真図版 15	ST101 完掘状況、土層断面、RP38 出土状況 ST101EL1 土層断面、完掘状況	写真図版 37 SP6、8、16 土層断面、完掘状況、SP41 土層断面 SP16RP121・122 出土状況
写真図版 16	ST137・139a-a' 土層断面、b-b' 土層断面、完掘状況 ST137 炭化材検出状況、RP17 出土状況	写真図版 38 SP50・76・88・115 完掘状況 SP85・91・111・115 土層断面
写真図版 17	ST140・146・148・160・SK149 精查状況、a-a' c-c' 土層断面、ST140・146・147 火山灰検出状況、 SK149 火山灰検出状況	写真図版 39 SP121・235・357 土層断面、完掘状況 SP126 土層断面、SP145 完掘状況
写真図版 18	ST147EL1 土層断面、完掘状況 ST146EL1 完掘状況、RP42～44 出土状況 ST140・146～148 完掘状況	写真図版 40 ST1 出土遺物
写真図版 19	ST141a-a'、b-b'、c-c' 土層断面、 RP74 出土状況、完掘状況	写真図版 41 ST2・ST3 (1) 出土遺物
写真図版 20	ST162 検出状況、土層断面	写真図版 42 ST3 (2)・ST5 (1) 出土遺物
写真図版 21	ST276 土層断面、RP71 出土状況、完掘状況 ST276EL1 土層断面、完掘状況	写真図版 43 ST5 (2)・ST9 (1) 出土遺物 写真図版 44 ST9 出土遺物 (2) 写真図版 45 ST10・35・54 出土遺物

写真图版 46	ST56 出土遗物（1）	写真图版 59	SG266 出土遗物（2）
写真图版 47	ST56（2）・ST63（1）出土遗物	写真图版 60	SG266 出土遗物（3）
写真图版 48	ST63（2）・ST65（1）出土遗物	写真图版 61	SG266 出土遗物（4）
写真图版 49	ST65（2）出土遗物	写真图版 62	SG266 出土遗物（5）
写真图版 50	ST69・100 出土遗物	写真图版 63	SG266 出土遗物（6）
写真图版 51	ST101・137・140・ST146（1）出土遗物	写真图版 64	SP16・17・88・112・207・235・346・357・ 465 出土遗物
写真图版 52	ST146（2）・ST147・ST160（1）出土遗物	写真图版 65	道横外出土遗物（1）
写真图版 53	ST160（2）・ST141 出土遗物	写真图版 66	道横外出土遗物（2）
写真图版 54	ST162・276・436・448・SB378・SK21 出土遗物	写真图版 67	道横外出土遗物（3）
写真图版 55	SK22 出土遗物	写真图版 68	道横外出土遗物（4）
写真图版 56	SK66・142・149・158・277・318・344 出土遗物	写真图版 69	道横外出土遗物（5）
写真图版 57	SK345・SD19・55 出土遗物	写真图版 70	道横外出土遗物（6）
写真图版 58	SG266 出土遗物（1）		

I 調査の概要

1 現地調査

第2次調査

調査は、平成 22 年 5 月 18 日に開始した。隣接する東熊野苗畠の調査と併行して実施した。最初に遺跡の詳細な内容を把握するためのトレンチを、3・4 地区を含む遺跡範囲北側の事業実施区域に設定した。次に遺構や遺物の見つかる面や地山面までの深さを確認するためにトレンチをスコップで掘り下げた。5 月 21 日から 5 月 31 日までは重機を使用して、トレンチの掘り下げを行った。重機で掘り下げたトレンチの面整理や土層観察をして、遺構と遺物の分布状況を把握した。

6 月 24 日には、トレンチ調査の結果をもとに、国土交通省、県教育委員会、埋文センターで協議を行い、その結果、2 地区の調査は市道沿いの調査区の約半分となる 4,900m²を行い、残りは次年度に調査することで合意した。

市道の南側を A 区、北側を B 区とした。7 月 7 日からは、重機を使用して、今年度の調査区の表土除去を開始した。表土除去と併行して除去面をきれいにする面削り作業や壁削り作業を進めた。7 月 16 日には重機による表土除去を終了した。

次に、遺構を検出するための面整理作業を B 区から A 区の順で行った。遺構検出を進めると、A 区から住居跡とみられる遺構が複数確認され、多数の土器が出土した。8 月 2 日には委託業務（三和技建）による 8m × 8m の格子状の基準点を調査区内に設置し、その後、この基準点を基にして 4m × 4m を 1 単位とする調査用方眼（グリッド）釘を設定した。グリッドは山形県全域を囲むように南北を X 軸、東西を Y 軸とて 1 グリッドあたり 40km 四方の大グリッドを設定。さらに、大グリッドの 1 つを南から北へ 00 ~ 99、西から東へ 00 ~ 99 と 400 m 中グリッド、さらには中グリッド 1 つを 4 m 四方の小グリッドに分割した。そのため、グリッド番号は「大グリッド南北・東西、中グリッド南北・」東西、小グリッド南北・東西」の順で表すため AA0000-0000 の

10 桁のアルファベットと数字で示すこととした。その基準を基にグリッド名を基準杭及び基準釘に記した。本報告書では大中小グリッドを表記している。

遺構検出作業と共に遺構配置図の作成や遺構に登録番号を付した。遺構番号については、A 区は 1 番から、B 区は 1001 番から付すこととし区別した。検出作業終了後には検出状況の全景と個別遺構の写真撮影をした。フィルムは 120mm の RC と B & W、35mm の RC を使用し、モノ用としてコンパクトデジタルカメラでデジタル写真も撮影している。10 月上旬から A・B 区併行して遺構の精査を開始した。精査は、覆土をベルト状に残す、または半蔵して掘り下げ、土層の写真撮影、断面図作成、覆土の観察をした後に完掘していく。

遺物は、完形品及び一括土器などについて登録番号を付し、他は遺構毎またはグリッド毎に取り上げた。

調査も終盤に近づいた 11 月 21 日には、発掘調査の成果を広く一般に公表する発掘調査説明会を開催し 109 名の参加者を得た。

11 月 25 日には委託業務である図化のための調査区全体の空中写真撮影（株ワクニ）を実施した。そして、11 月 30 日に機材の撤収を行い現地調査を終了した。

第4次調査

調査は、前年度に調査した A 区の南側の約 2,260m²を対象に、平成 23 年 5 月 9 日から開始した。最初に調査区を設定し、調査区の周縁の線掘りをスコップで行った。5 月 10 日からは重機を導入して、最初に今年度の調査区の上にある前年度の残土を移動し、その後に今年度調査区の表土除去を行った。表土除去と併行して面削り作業や南側に排水溝掘りなどを進めた。5 月 27 日に重機による表土除去と残土整形を終了した。

次に、面整理作業を行い、遺構を検出していった。それと併行し遺構配置図を作成し、遺構に登録番号を付した。6 月 1 日～6 月 3 日に委託業務（三和技術コンサルタント）による 8m × 8m の格子状の基準点を調査区内に設置し、その後、この基準点を基にして 4m × 4m を 1 単位とする調査用方眼（グリッド）釘を設定した。

グリッド番号は前年度を踏襲している。検出作業終了後には検出状況の全景と個別遺構の写真撮影をした。フィルムは120mmのRCと35mmのRCとB&Wを使用し、メモ用としてコンパクトデジタルカメラでデジタル写真も撮影した。

7月25日から遺構の精査作業を開始した。前年度と同様に、覆土をベルト状に残す、または半截して掘り下げる、土層の写真撮影、断面図作成、覆土の観察をした後に完掘していく。遺物も、完形品及び一括土器などについて登録番号を付し、他は遺構毎またはグリッド毎に取り上げていった。精査や記録作業が進んだ11月2日に委託業務である図化のための空中写真撮影(株ワクニ)を実施した。

11月3日には発掘調査説明会を5次調査と合同で開催し121名の参加者を得た。

11月10日に国土交通省と現地引き渡しについて協議し、翌11日には機材を撤収し現地調査を終了した。
第9次調査

調査は平成26年6月2日から12月3日の期間の中で、7・8次調査と併行して行った。調査区はさくらんぼカントリークラブゴルフ場に向かう市道部分及び2地区の北西端の未買収地であった場所である。

調査は北西端を先に始め、市道部分は迂回路を設置した後に行なった。北西端には住居跡などが検出されたが、市道部分は道路建設の際に約1.4～1.6mの深さで掘削されていたため遺構は削平されていたことが確認された。調査終盤の11月8日に調査説明会を開催し90名の参加者を得た。その後、11月21日は委託業務である図化のための空中写真撮影(株ワクニ)を実施し、11月28日に機材撤収、12月1～3日で埋め戻しを行い、調査を終了した。

2 整理作業

整理作業は、平成22・23年度と30・31年度を行った。平成22・23年度は出土した遺物を水洗いする洗浄作業をとその後に遺物に遺跡名と出土地点などを書く注記作業を行う基礎整理をした。

洗浄は、水やお湯に遺物を浸しながらブラシを使用して表裏面や割れた面の土を洗い落し、すぎを行い綺麗にしていった。

注記は、洗浄した遺物を乾燥させ、その後に細い筆を使って白いポスターカラーで遺跡名と出土地点などを遺物に書いていった。遺跡名は「シズ(2)」、出土地点は「遺構名やグリッドなど」を明記して、登録したものには登録番号を記名した。

記名後はラッカーを塗り、消えるのを防ぐ処理を施した。木製品は水洗い後にタッパーに水漬けの状態にした。金属製品については水洗いは行わず、乾燥した土をブラシや竹串で落として袋にいれた。そして、マイラーに登録番号や出土地点などを明記して袋に入れて保管した。

遺物の基礎整理と併行して、現場で作成した平面図と断面図、撮影した遺構の写真などの整理を進め、それとともに遺構測量業務の委託図面の校正も行った。

平成29年度には、センター内で打ち合わせを行い、2地区で調査したB区については、その調査区の位置及び内容から3地区に含めるほうが妥当であると判断し、B地区の約1,200m²の調査結果は5次調査で報告することとした。また、この年に木製品と金属製品の保存処理を行っている。

平成30年度は、遺物の接合作業と併行して、報告書に掲載する遺物の抽出を行なった。遺構出土遺物と登録遺物を中心に状態の良い物を選出した。委託業務は、パリノ・サー・ヴェイ株式会社に2・3地区の炭化材の樹種同定や年代測定、土壤の分析、火山灰分析などの理化学的分析を行なった。

平成31年度は、選出した遺物の実測を行い図面を作成した後に底部や表裏面の拓本を探り、遺物の実測図と拓本を組み合わせる編集作業を行い、観察表を作成した。遺物は、欠損箇所を補填する復元作業をした後に、写真撮影を行なった。

遺物の整理作業と併行して遺構図の作成を進めた。デジタルトレースした遺構の平面図と断面図を整合させ個別図を作成し、土層の注記と共に編集を行なった。遺構の写真は現場で撮影した中から報告書に掲載するものを抽出した。

個別に作成した遺構図版・遺物図版・観察表・遺構と遺物の写真図版などを各々に版組と編集作業を進め、本文の執筆を行なった。その後、数回の原稿の校正を行い、報告書を印刷・刊行した。

II 遺跡の概要

1 はじめに

清水遺跡は、平成 22 年度の第 1 次調査から平成 26 年度の第 9 次調査まで行われているが、本稿では第 2 次、第 4 次、第 9 次調査の成果を収める。

第 2 次調査は平成 22 年度に行い、翌 23 年度に第 4 次調査を行った。二か年で調査した面積は 7,160m²である。その後、平成 26 年度に第 9 次調査として 760m²について実施している。

2 遺構の分布

調査区は、北東側が高く南西側が低い高低差 10 m 程の傾斜地となっている。遺構はこの斜面から平坦地にかけて分布する。12°～14°の斜度がある標高 117 m 以上の斜面地には ST100, 101, 140 などの竪穴住居跡が確認できたが、遺構が確認できるのは標高 121 m までで、それ以上からは見つかっていない。一方で南西側は 3° 前後の緩斜面で、19 棟の竪穴住居跡と 7 棟の掘立柱建物跡が分布している。(第 1 図) これらの遺構では、一部重複していることも確認できた。

建物跡は斜面を意識しつつも、等高線に対しやや斜めに構築されているものが主体的であるが、配置に規格性は認められない。建物跡の数に比して土坑や溝跡が少

なく、柱穴類も多くはない。南側の最も低い位置には、SG266 とした窓地があり、墨書き器を含む土器類や木製品などがまとまって出土している。

遺構の分布状況から見ると、遺跡は調査区の南西方に向かって広がることが推移される。

3 遺跡の層序

遺跡確認面は黒色の粘質シルトで、所謂黒ボク土である。調査区全面を覆っている黒ボク土であるが、その厚さや上層の堆積土は、東側の丘陵部と西側の平坦部では様相が異なる(第 2 図)。東側では確認面である IV 層までは 1.2 m 前後の堆積があり、I 層と II 層は土質や角礫などの混入物の状態から、開削時に移動されたものと考えられる。III 層は砂質シルトで、10cm 前後の厚さがあるが、開削時に削られている可能性がある。IV 層は確認面の黒ボク土で、約 50cm の厚さがある。V 層は粘質シルトの地山である。調査区北部では、重機械による掘削が V 層まで達する部分が見られる。

平坦地である西側は畑地として利用されていたことから、厚さ 20cm 程の I 層の直下に II 層とした黒ボク土がある。II 層は東側で IV 層とした土層だが、約 10cm の厚さしかなく、開削時に削平されていると考えられる。III 層は砂質シルトの地山である。

III 遺構と遺物

1 竪穴住居跡

ST 1 竪穴住居跡 (第 16 図)

A 区南側のほぼ中央、6°～8°・48°～50°G に位置する。ST 1～3 の 3 棟が重複している状態で検出された。ST1 が ST2, 3 より新しい。

長辺約 5.3 m、短辺約 4 m の南北方向にやや長い方形を呈する。主軸方向は、S - 5° - W を測る。確認面から床面までは 10 ～ 20 cm 程と浅く、削平により貼

り床のみ確認できる状態である。削平された東面を除き、僅かに残る壁は緩く立ち上がる。床面は北側が幾分下がるもの、ほぼ平坦である。

カマド (ST1EL1) は南西角で検出された。残存する幅は約 1.3 m、袖は約 1 m である。柱穴は 3 基検出し、その内の 2 基 (ST1EP1, 2) は北壁から約 2 m のやや北寄りの位置に並んで確認された。東西に並んだ柱穴は、東西両壁から 1 m 離れ、柱間距離は 2 m を測る。ST1EP1, 2 は径 40 cm、深さは約 52 cm を測る。もう 1 基の

柱穴（ST1EP5）は、南壁際東側にあり、一部をカマドの袖に覆われている。ST1EP5は径約20cm、深さ48cmである。

出土遺物には、須恵器（1～4）、土師器（5～12）、黒色土器（13、14）石製品（15）などがある。須恵器では蓋、無台坏、甕、土師器は無台坏、甕などがある。1はつまみを欠く須恵器の蓋である。2、3は回転糸切の無台坏である。底部は切り離し後無調整で、体部は緩く立ち上がる。口縁部は僅かに外側に引き出される。口径は2点とも14cm程であるが、底径は2が7cm、3は5cmを測る。4の甕の体部は外面が平行タタキ、内面が平行當て具の痕跡が見られ、内面はヘラナデによる調整がある。外面には二次的な被熱によると考えられる器面の擦ねが認められる。

5～7は回転糸切後無調整の無台坏である。底径は何れも6.2cm程であるが、5の口径は13.3cm、6は13.8cm、7は16.5cmを測る。器高もそれぞれ3.0cm、4.5cm、6.4cmであり、法量の違いが見られる。8はロクロ成形、回転糸切後無調整の小型甕である。9の小型甕は底部に木葉痕が認められる。内面はハケメ調整である。10の長胴甕は体部外面に縱方向のハケメ、内面に横方向のハケメ調整が施される。大きく外反した口縁部には横方向のナデ調整が見られる。11は外面にケズリ、内面にハケメ調整を施す。12の底部には網代痕が残る。13、14は内面にミガキを入れ、黒色処理した坏である。2点とも底部は回転糸切後無調整で、体部から口縁部まで直線的に立ち上がる。

15は赤味を帯びた褐色の砥石である。何れの面にも細かい擦痕を認められるが、狭端面には数条の深い削痕がある。石質は堅緻で表面は滑らかである。

床面からは2、5、11、13などが出土しており概ね9世紀第2四半期と考えられる。

ST2 穫穴住居跡（第16図）

ST1から東側が切られている。長辺と考えられる南北は約5mあり、東西辺は約3m残存する。主軸方向はS-2°-Wを測る。壁の立ち上がりは緩く、床面までの深さは約20cmである。床の南北方向は水平になるが、東西方向は地形に沿い東側が僅かに低くなる。

カマド（ST2EL1）は南にあり、西壁から約2mに位置する。幅約1m、袖の先端部を欠くが、1m程あっ

たと想定される。柱穴は2基検出された。径は約40cm、深さは約50cmである。

須恵器（16～19）と土師器（20～24）が出土している。16は皿状の形態であるが、口縁部の作りから蓋に分類した。天井部は回転糸切で切り離したままで、中心に向けてわずかに窪む。つまみは付けられていない。17、18は回転糸切後、無調整の無台坏である。19は内面、外面ともロクロナデ調整された小振りな甕である。肩は丸みを帯びるが、しっかりと張っている。頸部は直線的に外反し、口縁部は屈曲し外側に引き出される。20、21は底部に墨書きされた無台坏である。20は「臣」、21は「奉」と考えられる。22は断面が三角形の台を貼り付けた有台坏である。23、24は長胴の甕と考えられる。外面はロクロナデ後にケズリ調整が施される。24の底部は木葉痕が認められる。

ST3 穫穴住居跡（第16図）

南壁の一部をST1に切られる。平面形は長辺3.3m、短辺3.1mの方形を呈する。南北軸はS-6°-Wを測る。確認面からの深さは20～35cmあり、床面は東側が僅かに低くなる。覆土には灰白色火山灰が含まれる。

カマドは確認できないが、中央南寄りに焼土が分布する。内部の遺構では、径20cm、深さ10cm程の柱穴（ST3EP1）を1基検出した他、西壁際の中央部には、径60cm、深さ20cmの掘り込み（ST3EK1）がある。

出土遺物には、須恵器（25～33）、土師器（34～37）、黒色土器（38、39）がある。25はつまみを欠く蓋、26～32は底部が回転糸切後無調整の無台坏である。28は底径の推定値が7.6cmあり他の坏よりも大きく、器高は3.2cmと低い。27、28、29の体部は僅かに外反するが、他は直線的に立ち上がる。32は体部下半で屈曲し、角度を変えて底部に至る。33は肩が強く張った壺である。体部と肩部との屈曲点には、沈線と考えられる幅が広い窪みが一条巡る。自然釉の付着により不鮮明だが、肩部にも2～3条の細い沈線が巡っているようである。34の底部には「×」の刻書が見られる。36の底部には網代痕が残る。器面にはハケメ調整が見られるが、外面は二次焼成により剥落している。37は薄手の壺である。口縁部が僅かに外反する。38は内面を黒色処理した無台坏、39は両面を黒色処理した有台坏である。底部削り出しによる低い台が認められる。

ST2とST3は直接の切り合いはないものの、須恵器無台坏の形状からは、ややST3の方が先行すると考えられる。また、両遺構より新しいST1の出土遺物からはST2と大きな時間の隔たりは感じられない。したがってST1～ST3は概ね9世紀第2四半期の範疇として考えておきたい。

ST5竪穴住居跡（第18図）

A区中央の8～10・49～51Gに位置する。西側への傾斜が緩くなる標高117mの地点にある。長辺6.5m、短辺5.7mの南北にやや長い方形を呈する。主軸方向はS・5°・Wである。斜面の下方にあたる東辺と南辺の壁は失われており、床面のみが残る。確認面からの深さは、最も良好に残る北西角で80cmである。壁は80°近い角度の立ち上がりが見られる。床面は平坦で硬くしまっている。

カマド（ST9EL1）は南壁の西寄にあり、幅約1.7m奥行きは約1mである。袖は両側に80cm程が残存する。カマドの中には東側に須恵器無台坏（61、66）、西側に土師器甕（83～85）が倒置されていた。柱穴は6基検出されたが、主柱穴はST9EP3、7、8、9の4基と考えられる。平面形は、いづれも丸方形容に近い梢円形を呈し、径は約60cmを測る。トレンチ内で検出したEP3を除き、40cm前後の深さで掘りこまれている。柱間距離はEP3と7及びEP8と9の南北間が3.5m、東西間のEP3と9では2m、EP7と8では2.3mである。EP8の覆土には少量の灰白色火山灰を含む。

出土遺物は須恵器（40～51）、土師器（52～56）、石製品（57）、金属製品（58）がある。40～44はへラ切による無台坏である。体部の傾きは少なく、40以外は僅かに内湾する。40の底部には「太」が墨書きされている。45～50は回転糸切による無台坏である。51の有台坏は、大振りで見込みが深い。高台は「ハ」の字状に開き、端部は引き出される。53は小振りの無台坏で、回転糸切後ナデ調整が施されている。56の長胴甕は55に比べ体部が膨らむ様相が見られ、口縁部にも端部を引き出す等の違いが認められる。57は碁石とした石製品である。径約17～20mmを測る扁平な梢円形を呈する。表面はよく研磨され漆黒である。58の刀子は、柄部が約13cm、刃部は約8cmを測るが、刃部の先端も欠損している可能性がある。柄部の断面形は楔形を呈する。

出土遺物にやや時間幅が見られることから、9世紀第1四半期から第2四半期頃としたい。

ST9竪穴住居跡（第20図）

A区中央南寄りの6～8・50・51Gにあり、標高116mの地点に位置する。長辺7.5m、短辺6.1mを測る、南北に長い方形を呈する。主軸方向はS・1°・Wであり、ほぼ南を向く。確認面からの深さは10cmに満たず、炭化物や灰白色火山灰を含む1層のみである。床は12～15層の間で、2～3回貼り替えられたと考えられる。床面直上には炭化材や焼土が広がる。炭化材は樹種同定や年代測定を行っている。詳細は第三分冊の第Ⅶ章理化学分析を参照されたい。なお、木器ごと炭化した状態で少量の穀物類（RW135）が見つかっているが、分析の結果はイネであった。

カマド（ST9EL1）は南壁の西寄にあり、幅約1.7m奥行きは約1mである。袖は両側に80cm程が残存する。カマドの中には東側に須恵器無台坏（61、66）、西側に土師器甕（83～85）が倒置されていた。柱穴は6基検出されたが、主柱穴はST9EP3、7、8、9の4基と考えられる。平面形は、いづれも丸方形容に近い梢円形を呈し、径は約60cmを測る。トレンチ内で検出したEP3を除き、40cm前後の深さで掘りこまれている。柱間距離はEP3と7及びEP8と9の南北間が3.5m、東西間のEP3と9では2m、EP7と8では2.3mである。EP8の覆土には少量の灰白色火山灰を含む。

ST9EK11は長辺2.3m、短辺1.9mを測る梢円形の土坑である。床面を掘り込んでいるが、焼土や炭化物を含む覆土は硬く締まっている。検出面は床面と同様に硬化していることから、住居として機能していた時は埋め戻され、床にしていたと考えられる。北西角付近には幅25cm深さ10cm程の溝（ST9ED6）が巡る。溝が設けられた位置はST5に類似するが、トレンチにより全長は不明である。須恵器有台坏（72）が出土している。

出土遺物は須恵器（59～76）、土師器（77～87）、金属製品（88、89）がある。59はST9EP2出土の蓋である。外面に自然釉が付着する。無台坏は60を除き回転糸切によるものだが、底径は比較的大きく、体部の傾き等を見てもへラ切である60とあまり器形に差異は感じられない。71の底径は82mm、72は62mmを測る。72は体部の傾きが小さく、見込みが深い。75は長胴の甕である。器形や器面の調整は土師器の長胴甕と共通する。76の頸部は短く、40mmに満たない。肩部は大きく張り、体部は丸みを帯びる。高台の断面形は三角であ

る。78は短く直立した頭部から、端部が細い口縁部に至る。79は小型の甕、80は長胴甕と考えられる。82～87は長胴甕の底部で、82、83、85には木葉痕が認められる。89は鉄製の紡錘車である。径は46mm、厚さは約2mmである。紡革は片方のみ残存し、曲がっているが140mmを測る。88も紡革の一部と考えられる。

ST10 穫穴住居跡（第23図）

A区中央南寄りの7・8-52・53Gに位置する。平面形は、長辺4.1m、短辺3.8mの方形を呈する。主軸方向はS-8°-Wである。確認面からの深さは30～40cmを測る。1層の上面に少量の灰白色火山灰が確認できた。床面は東から西へ緩やかに傾斜し、東側には焼土や炭化材が見られた。

カマド（ST10EL1）は南壁の西寄に設けられ、幅約1.5m、煙道部の一部を含む長さ約1.4mが残存する。燃焼部には土師器甕（99）が倒置されていた。柱穴は北東角、南東角、北寄りの東壁際、中央北寄りに4基検出している。また、壁面に沿って、径10cm程の小穴を22基あまり確認した。

出土遺物は須恵器（90～95）、土師器（96～102）、黒色土器（103・104）、金属製品（105）がある。90は天井部に回転糸切の痕跡を留める。口縁部は内面に入れた一条の沈線によりかえりが単純化されている。91の無台环はカマドから出土している。94は外側に強く折り曲げた口縁部が特徴的である。97～101は小型の甕と考えられる。ハケメ調整される100は網代痕、101には木葉痕が底部に残る。102は長胴甕と考えられる。103は削り出し高台、104は断面が三角形の低い高台を貼り付けた有台环である。105の紡錘車は、紡輪の径が57mm、紡革は2～3mmあり、約100mmの長さが残存する。

ST35 穫穴住居跡（第24図）

A区東寄りの11-58Gに位置する。平面形は長辺3m、短辺2.8mの方形を呈する。主軸方向はS-7°-Wである。確認面からの深さは10～15cmを測る。壁の立ち上がりは緩い。カマドは設けられていない。柱穴も確認できない。

遺物は須恵器無台环（106、107）や須恵器甕（108）等、少量出土した。

ST54 穫穴住居跡（第24図）

A区北東角で検出された。本調査時には大部分が調査区外にあたることから詳細は不明であったが、東側に隣接する第8次調査区で竪穴住居跡が検出されたことから、このST478竪穴住居跡の西辺と判断した。ST478は長辺4.6m、短辺3.5～4.3mの台形状を呈し、主軸方向はS-20°21'47"-Eと報告されている。カマドは南東角と南西側で検出され、南東角のカマドが新しく作り替えられたと推定されている。柱穴は3基確認されている。

ST54からは、壁に並行する浅い溝と土坑（ST54EK1）が検出された。覆土からは少量の灰白色火山灰が含まれていた。

ST54からの出土遺物には須恵器の無台环、双耳环や土師器の甕、壠等（109～115）少量見られるが、ST478からは底部が比較的小さく、身が深くなる環や土師器の長胴甕等多くの遺物が出土している。これらの遺物から9世紀の第3四半期頃を主体とするものと考えられている。

ST56 穫穴住居跡（第25図）

A区北東の25-58Gに位置する。北辺はトレント調査時に掘り込んでいる。平面形は一辺約4.5mの方形を呈するものと推測される。東西方向に掘られたSD55溝跡が斜めに縱断する。主軸方向は多くの竪穴住居跡と異なり、S-63°-Eである。確認面からの深さは10cm程しかない。覆土には焼土や炭化物を含む。

カマド（ST56EL1）はやや南寄りの東壁に設けられ、幅1.2m、長さ1.2mが残存する。燃焼部は僅かに掘り窪められている。内部からは土師器無台环（123,127）や土師器甕（131～133、136）が出土している。柱穴は確認できない。

遺物は須恵器（116～118）、土師器（119～141）、黒色土器（142、143）、土製品（144）等が出土している。116、117の無台环は45mm前後の器高を持ち、体部は僅かに内湾する。118の甕は全体的に器厚が薄く、底部は歪む。体部の内面は被熱による剥離が見られる。土師器の無台环には、124や125、129等のように体部が内湾しながら立ち上がり、口縁部を短く外反させるものが複数見られる。特に130は玉縁状に口縁部が作り出されている。土師器の甕には、口縁部が屈曲し端部を上方に引き出した小型の甕（131,132）、体部からは

ば直線的に立ち上がり、口縁部が僅かに変化するもの（133）、口縁部が「く」の字に外反し、体部は丸味を帯びると考えられるもの（134、135）。口縁部が大きく外反し体部が直線的な長胴甕（136、137）等のバリエーションが見られる。黒色土器では有台环と鉢が出土している。144は土鉢と考えられる土製品である。

ST63 穹穴住居跡（第26図）

A区北東寄りの14・15-55・56Gにあり、標高116mの地点に位置する。平面形は、長辺4.7m、短辺4.5mの東西がやや長い方形を呈する。主軸方向はS - 4° - Wである。覆土上面には、薄く灰白色火山灰が堆積している。壁は斜面上方に当たる北西角で約40cmの立ち上がりが残るが、斜面下方の南壁と東壁は大部分が失われている。中央付近から南東部にかけての斜面下方部分では、一部を掘削した後の貼床が認められる。貼床は硬化しており、土器片も混入している。

カマド（ST63EL1）は西寄りの南壁に設けられている。幅1.5m、長さ1.1m残存する。燃焼部は僅かに掘り窪められ、奥にみられる低い段から煙道部に至ると考えられる。被熱のため外面が剥離した状態の土師器小型甕（158）が出土している。

柱穴は3基確認できた。北壁から1.1m南に2基の柱穴（ST63EP2・EP3）が並んでいる。EP2は西壁から1m、EP3は東壁から1m離れた位置にあり、2基の間は2.4m離れている。平面形は一辺が約40cmの隅丸方形に近い形状である。深さはEP2が43cm、EP3が33cmを測る。もう一基の柱穴（ST63EP4）は中央南壁寄りにあり、カマドの左袖部の下から検出した。平面形は、長軸70cm、短軸55cmの楕円形を呈する。貼床から掘り込んでおり、床面からの深さは30cmある。覆土には焼土粒や炭化粒を多量に含み、土器片も含まれる。

遺物は、須恵器（145～147）、土師器（148～163）、黒色土器（164～169）等が出土している。須恵器は出土量が少なく國化できたのは环のみである。145は小さい底径から体部が大きく開く無台环、146は底部に墨書が認められる。147は体部があまり開かず、器高が低いヘラ切の有台环である。148は体部上半が僅かに外反するが、149は口縁部近くまで内弯し印象が大きく異なる。152は低い高台は貼り付けられた有台环である。153～155の甕はロクロナデ調整によるもので、155は長胴甕、他は小型の甕と考えられる。156～163は被熱による器面の損傷から不明瞭なものもあるが概ねハケメとナデ調整によると考えられる。159を除いて口縁部の形態も類似する。底部には全てに種類が違う網代痕が見られる。黒色土器では有台环と鉢が出土している。

ST65 穹穴住居跡（第25図）

A区北東寄りの13-54・55Gにあり、ST63の南に隣接する。斜面下方にあたる東壁を失っているため、東西の長さは不明である。南北は3.6mを測り、東西は南壁が確認できるところまでは4.4mである。このことから東西に長い方形を呈するものと推測される。主軸方向はS - 1° - Wである。覆土上層に灰白色火山灰を含む。西壁で40cm、南北の壁で25cmの深さが残る。中央付近から東側には硬化した貼床が認められる。SD19溝跡が南北に貫く。

カマド（ST65EL1）は南西角に設けられている。幅1.1m、長さ1.3mの馬蹄形を呈する。燃焼部に掘り込みは無く平坦で、奥が緩やかに立ち上がり壁際に窪みを有する。内部から被熱した土師器小型甕（174）が出土し、右袖部周囲からは土師器有台环（171）が出土している。

柱穴は、ほぼ中央と考えられる位置に1基（ST65EP2）検出した。SD19によって一部が削られているが、径約50cmの楕円形を呈し、深さは45cmを測る。土師器甕（176）が出土している。

出土遺物は須恵器（170）、土師器（171～181）等があり、カマド周辺から出土した土師器甕（175、178、179、181）が主体を占める。これらはカマドの構築材に転用された可能性も考えられる。

171、172は肥厚した底部を僅かに削り、高台としている。体部は薄く、ロクロ目が顕著に見られる。174～176はロクロ成形された小型の甕で、174、175には体部下半にケズリ調整が施される。177～180は長胴甕と考えられる。180以外はロクロ成形されており、177、178は体部上半のみであるが、体部下半には同様にケズリ調整が施されたものと推測される。

ST69 穹穴住居跡（第28図）

A区中央北より12・13-53・54Gにあり、標高116～117mの間に位置する。平面形は長軸5.3m、短軸4.7mを測り、南北にやや長い歪んだ方形を呈する。主軸方

向は S - 1° - W である。覆土には灰白色火山灰が比較的多く堆積していた。壁は斜面下方にあたる南壁の一部と東壁の大部分が失われている。確認面からの深さも最大で 20cm 程しかなく、多くは 10cm 前後が残るのみである。

カマド (ST69EL1) は南東角に設けられているが、燃焼部の奥の部分はトレンチにより失っている。残った部分の幅は 1.7 m あり、長さは 1.6 m 程と推測される。燃焼部は丸く掘り込まれている。土師器有台坏 (186) や土師器甕 (188、190 ~ 194)、黒色土器 (197、198) 等が出土している。その他に土坑 (ST69EK2) と柱穴を 3 基 (ST69EP3 ~ EP5) 検出した。EK2 は中央や西の南壁に接し、径約 50cm の円形を呈する。ほぼ直に掘り込まれ、深さは 24cm を測る。土師器坏 (187) や土師器甕 (189、195、196) が出土した。柱穴は北西角からまとめて検出された。EP3 は北壁際にあり、径約 20cm の円形である。深さは 8cm 程しかなく、土師器無台坏 (184) が正位に置かれた状態で出土した。EP4 は北西角にあり、長軸 75cm、短軸 65cm の不整椭円形を呈する。深さは 20cm 程で、緩やかに掘り込まれている。EP5 は西壁際にあり、長軸 50cm、短軸 40cm の椭円形である。掘り込みは緩く、深さは 10cm に満たない。この 3 基については柱穴として登録したが、他の住居跡の柱穴とは明らかに異なることから、別の機能があったと考えられる。

出土遺物は、須恵器 (182)、土師器 (183 ~ 196)、黒色土器 (197 ~ 199)、金属製品 (200) がある。

186 は内面にミガキ調整が施されるが、残存する部位には黒色処理は認められない。ただし、被熱の痕跡があることから、当初は黒色処理した可能性もある。188、189 はロクロ成形の小型甕である。190 の体部中央よりやや下方に、親指大の指痕が、ほぼ等間隔で巡る。器厚は薄く、この押圧による影響は内面にも見られる。191、192 は長胴の甕である。193、194 の底部には網代痕が見られる。197 ~ 199 は黒色土器の無台坏と有台坏で、197 の体部下部にはケズリ調整が見られる。200 は鉄製品の刀子である。残存するのは刃部の 94mm で、刃先も欠いている可能性がある。

ST100 穫穴住居跡 (第 29 図)

A 区北西寄りの 14・15-50G にあり、標高は 118 ~

119m の間に位置する。平面形は長軸 4.8 m、短軸 3.7m の南北に長い不整椭円形を呈する。北面と東面に僅かに直線的な壁をうかがうことができるが、他の住居跡とは大きく様相が異なる。長軸はほぼ北を向く。北壁には奥行き 75cm 程の棚状の段差が見られる。覆土は黒ボク土と暗褐色シルトの地山が斑状に混入し、幾重にも堆積する。カマドは無く、柱穴 (ST100EP1) は東壁の中央に 1 基のみ確認できたにとどまる。

遺物の出土も少なく、図化できたのは須恵器無台坏 (201) のみである。底部はヘラ切後、ケズリ調整が認められる。

ST101 穫穴住居跡 (第 30 図)

A 区北よりの 13・14-48・48G にあり、標高は 119~120m の間に位置する。平面形は方形を呈すると考えられるが、斜面下方に当たる東側は削られて失われている。南北は 5.7 m、東西は約 3 m 遺存する。主軸方向は S - 10° - W である。確認面からの深さは約 30cm あり、中程に灰白色火山灰を含む。

カマド (ST101EL1) は南壁の西端にあり、幅約 70 cm、奥行き約 110cm を測る。燃焼部は緩やかに傾斜する。カマドの下から土坑 (ST101EK1) を検出している。径約 140cm の不整椭円形を呈し、深さは底面に凹凸がある事から 30~40cm である。覆土には焼土や炭化物、土器片を含む。

床面は貼床され、平坦である。柱穴として 9 基を登錄したが、ST101EP2、EP7 を除いては深さが 20cm に満たない。西側には東西約 1.8 m、南北約 2.8 m、深さ約 50cm の長方形の掘り込みがある。用途は不明である。覆土の中程には灰白色火山灰を含む。ST101 が機能していた時期に掘り込まれていたかは不明だが、埋没した時期には大きな時間差は無いと推測される。

出土遺物には、須恵器 (202-204)、土師器 (205、206) がある。EP8 から出土した 203 は、体部が内弯し口縁部が外反する有台坏である。206 は底部の外周を窪ませることにより高台を作り出している。体部は緩やかに内弯し、口縁端部を外側に小さく引き出す。

ST140・146・147・148・160 穫穴住居跡 (第 32 図)

A 区西寄りの 12-14-47-49 G にあり、標高は 120m 前後に位置する。今回検出された遺構の中で最も標高が高い場所にある。検出時は 3 棟が重複していると考え

られたが、精査を進める中で5棟の竪穴住居跡が重なった状態であると判断した。ST148を除いた4棟は主軸もほぼ同じくする。各々の主軸方向はST140、146はS-6°-W、ST147はS-1°-W、ST160はS-8°-Wである。これらの竪穴住居跡以外にSK149土坑も重複する。覆土の堆積状況からSK149を埋め戻した後にST160が作られ、その後ST160を拡張してST140となり、更にST146へと拡張が進められたと推測される。それ以前にはST147があり、更にその前にはST148が作られたと考えられる。

ST160は長辺約3.7m、短辺約3.2mの南北にやや長い長方形を呈する。カマド(ST160EL1)南壁の西寄りにあり、焼土は確認できるが袖部分は完全に削平された状態である。床面にも柱穴等も確認できない。覆土には灰白色火山灰を含む。出土遺物には、須恵器(233-235)、土師器(236-240)がある。カマドの周辺からの出土である。土師器の長胴壺片が多くみられる。

ST140は長辺約5.3m、短辺約5.0mの南北にやや長い長方形である。北面はST160と同じ位置にし、それ以外の3方向に拡張している。床面の南東付近に焼土の広がりが認められるが、カマドの痕跡は残っていない。覆土には灰白色火山灰を含む。出土遺物は須恵器(213-215)、土師器(216)があり、須恵器には底部ヘラ切りによる無台环なども含まれる。

ST146は長辺約6.6m、短辺約6.2mの南北にやや長い長方形を呈する。北面及び西面をST140と同じくし、南と東に1-1.2m程拡張している。カマド(ST146EL1)は南のほぼ中央にあり、幅約1.1m、長さ約1mを測る。柱穴はST146EP2とEP3の2基が検出された。出土遺物は、須恵器(217-219)、土師器(220-227)がある。須恵器無台环には身が浅く、体部が開くタイプと比較的身が深く、体部が直線的に立ち上がるものが見られる。有台环は身が深く、体部が内寄する。高台は低くハの字状に開く。土師器無台环にも体部が緩く内寄するものと直線的なものが見られる。有台环は須恵器の形状に類似する。土師器甕は小型のものと長胴壺が出土している。

ST147は南側の一部を除きST146等と重複しているため全形は不明である。確認できる東西長は約4.3mである。カマド(ST147EL1)は南壁の中央付近にあり、幅約1.4m、長さ約1.1mの馬蹄形を呈する。柱穴は検

出できない。覆土には灰白色火山灰を含む。出土遺物には、須恵器(228-230)、土師器(231、232)がある。228は底部ヘラ切りである。身は浅く、体部中程で僅かに屈曲し、内湾から外反に転じる。229、230は回転系切りによる無台环で、底径が比較的大きい。231は小型で体部の開きが小さい無台环である。底部はナデ調整が施されている。

ST148は約30°傾く住居跡で、南西角部分のみの検出であるため詳細は不明である。覆土には灰白色火山灰を含む。遺物は出土していない。

ST137・139 竪穴住居跡（第34図）

A区北端の17・18-55・56Gにあり、標高116-117mの間に位置する。北側半分は道路を作る際に削平を受けている。2棟が僅かに軸をずらし、重複した状態である。覆土の堆積状況からST139の廃絶後にST137が作られたと推測される。なお、SP161はST137廃絶後に掘られたものである。

ST139は東西約4.8mあり、南北は約4.5mまで残存する。主軸方向はN-7°-Wと推測される。カマドや柱穴等は確認できなかった。遺物も出土していない。

ST137は東西約3.7m、南北約4.2mまで残存するが、全形は不明である。主軸方向はN-27°-Wと推測される。カマドや柱穴等は確認できなかった。覆土には焼土や炭化物が多量に含まれており、床面には炭化材が多く確認されたことから、焼失したものと推測される。

出土遺物には、須恵器(207)、土師器(208-211)、土製品(212)がある。207は底部に墨書きされた無台环である。209には被熱した痕跡が認められる。212は羽口と考えられる。

ST141 竪穴住居跡（第34図）

A区南西の7-43Gにあり、標高119-120mの間に位置する。南側半分は排水路工事に伴う掘削により失われている。東西は約3.3mあり、方形を呈していたものと推測される。主軸方向はS-10°-Wと考えられる。北壁と西壁は約30cmの立ち上がりを確認できるが、斜面下方に当たる東壁は僅かに残るのみである。カマドや柱穴等は確認できなかった。覆土には灰白色火山灰を含む。床面には東側に焼土の広がりが認められ、西側には炭化物の分布が見られた。

出土遺物には、須恵器(241-242)、土師器(243-245)

がある。242 の長頸壺は比較的頸部が短い。肩の張りは弱く、体部の中程まで丸みを帯びる。244 は跨付壺としたものである。体部上部で括れ、断面が三角形を呈する短い鶴が巡る。口縁部は跨部からそのまま内傾する。245 は底部から体部が直線的に開き、中央部から内弯する。口縁部は屈曲し、短く開く。底部は欠損する。器面はナデやハケで調整されている。244 と 245 は他にあまり類例がなく、この住居跡を特徴付ける遺物と考えられる。

ST162 穹穴住居跡（第 35 図）

A 区中央の東端の 8・9-57 G にあり、標高 114 m に位置する。本調査区の最も低い地点に当たり、傾斜もなく平坦である。ほとんどが削平を受けており、一部の貼床だけが残る状態である。残存する長辺は約 4.2 m、短辺は 3.2 m を測る。主軸方向は N -30° - E と考えられる。カマドや柱穴等の痕跡は認められない。

出土遺物は須恵器（246, 247）と土師器（248）がある。須恵器はヘラ切りの無台坏で 8 世紀後半頃の所産と考えられる。248 の底部には墨書きが見られる。

ST276 穹穴住居跡（第 36 図）

A 区南西部の 6・7-45 G にあり、標高 118-119 m の間に位置する。隣接する ST141 と同様に南側は削平を受けており、全形は不明である。東西約 4.5 m、南北は約 3.6 m 残存する。主軸方向は S - 5° - W である。北及び西壁は約 50 cm の立ち上がりがある。カマドは確認できないが、床面の南側には焼土が認められる。柱穴は 2 基（ST276EP2, EP3）検出された。北と西の壁際には幅約 25 cm、深さ約 20 cm の溝（ST276ED4）が廻る。貼床を外したところに斜めに掘られた溝跡（ST276ED2）を検出している。覆土には灰白色火山灰を含む。

土師器の無台坏（249）と有台坏（250）が出土している。

ST436 穹穴住居跡（第 35 図）

A 区北西部の 18・19-51 G にあり、標高 119 m に位置する。長辺約 3.3 m、短辺約 2.8 m の南北にやや長い長方形を呈する。主軸方向は N -89° - W である。西壁は約 40 cm の立ち上がりが残る。床面の東側には炭化物が分布する。

カマド（EL495）は東壁の南端部にある。袖部を僅かに残す。柱穴は中央部に 1 基（EP515）を確認した。

出土遺物は、須恵器（251・252）、土師器（253）がある。253 は肥厚な底部が有台状を呈する。

ST448 穹穴住居跡（第 38 図）

A 区北端の 19-53 G にあり、標高 118 m に位置する。道路建設により北側の一部を失っている。東西は約 4.2 m あり、南北は約 4 m まで確認できる。東壁の一部で約 20 cm までの立ち上がりを確認することができたが、大部分は削平を受けており、南西部は貼床が残るのみである。主軸方向は S - 5° - E である。覆土には灰白色火山灰を含む。

カマド（EL461）は南壁の東端にある。幅 82 cm、長さ 100 cm を測る。袖部は馬蹄形に残存し、両端に構築材とした礫が見られる。周囲には焼土が広がる。柱穴は 2 基（SP465, EP517）検出された。その他床面には不整形の掘り込み（EK499）と楕円形の掘り込み（EK498）を検出した。

出土遺物には土師器（254-261）、黒色土器（262、263）がある。土師器は坏類が多い。255、259 等口縁部のつくりに特徴が見られる。262 は内外面とも丁寧に磨かれた両黒の有台坏である。263 は内面を黒色処理した鉢である。

2 掘立柱建物跡

SB4 掘立柱建物跡（第 39 図）

A 区南西部の 7・8-47・48 G にあり、標高 117-118 m の間に位置する。ST276 と ST 2 穹穴住居跡の間に位置する。基本的に 2 間 × 2 間の側柱建物であるが、南面のみ 4 本の柱が使われており 3 間となる。規模は東西 3.1 m、南北 3.0 m の方形の建物である。主軸方向は N - 5° - E である。斜面に対して斜めに建つ形になるため、地形より方位を意識していることがうかがえる。柱間の距離は南面を除く 3 面はほぼ 1.5 m の等間である。3 間となる南面は、EP 3 と EP 4 の間が 1.1 m、EP 4 と EP 5 の間が 0.9 m。EP 5 と EP 6 の間が 1.1 m を測る。構成する柱穴は、四隅の柱穴が一辺 70 cm 程の方形もしくは隅丸方形を呈するのに対して、その間にある柱穴は径 30 cm 程の円形である。深さは中間の柱穴がやや浅いものの、50 cm 程の掘り込みがある。柱穴の壁は垂直に掘られる。土層断面からは約 20 cm の柱痕跡が観察できる。遺物は出土していない。

SB28 堀立柱建物跡（第40図）

A区中央東寄りの10-12・57-59Gにあり、標高114-115mの間に位置する。傾斜は緩く、ほぼ平坦地である。東西2間、南北3間の側柱建物である。規模は東西が4m、南北が5.8mを測る。主軸方向はN-20°-Wである。柱間の距離は東西の北面でEP3とEP4の間が1.9m、EP4とEP5の間が2.1m、南面のEP8とEP9の間が1.9m、EP9とEP10の間が2.1mを測る。南北の東面ではEP3とEP2の間が2m、EP2とEP1の間が1.8m、EP1とEP10の間が2mである。西面ではEP5とEP6の間が1.9m、EP6とEP7の間が1.8m、EP7とEP8の間が2.1mを測る。柱穴掘方は一辺70cm前後の方形を呈するEP2-5、10や長軸1m、短軸60cm程の長方形を呈するEP7、8、円形のEP1、9等があり一定ではない。深さは40-50cmあり、四隅の掘方が他のものよりも深く掘り込まれていることがうかがえる。土層断面からは柱痕跡は約20cmあることが観察できる。遺物は出土していない。

SB67 堀立柱建物跡（第42図）

A区中央の11-52Gにあり、標高116-117mの間に位置する。傾斜が緩くなる地点に当たる。東西2間、南北3間の側柱建物跡である。規模は東西が3.4m、南北が4mを測る。主軸方向はN-4°-Wである。柱間の距離は東西の北面でEP1とEP10の間が1.7m、EP10とEP9の間が1.7m、南面のEP4とEP5の間が1.7m、EP5とEP6の間が1.7mを測る。南北の東面ではEP9とEP8の間が1.1m、EP8とEP7の間が1.5m、EP7とEP6の間が1.4mである。西面ではEP1とEP2の間が1.4m、EP2とEP3の間が1.3m、EP3とEP4の間が1.3mを測る。柱穴掘方は径20-50cm程の円形もしくは楕円形を呈し不揃いである。掘り込みの深さも東西2間の中間にあるEP5と10が60cmまで掘り込まれているが、他は20-40cm程で一定ではない。掘方の壁は垂直に掘られたものは少なく、多くは緩い傾斜がある。底面は平坦になるもののが少ない。遺物は出土していない。

SB201 堀立柱建物跡（第43図）

A区中央南寄りの5・6-51・52Gにあり、標高116mの平坦地に位置する。SB378堀立柱建物跡と南面が重複する。東西2間、南北2間の側柱建物跡であ

る。規模は東西が4.9m、南北の西面が4.7m、東面が4.4mを測る。主軸方向はN-2°-Eである。柱間の距離は東西の北面でEP7とEP6の間が2.3m、EP6とEP5の間が2.6m、南面のEP1とEP2の間が2.4m、EP2とEP3の間が2.5mを測る。南北の東面ではEP5とEP4の間が2.2m、EP4とEP3の間が2.2mである。西面ではEP7とEP8の間が2.5m、EP8とEP1の間が2.2mを測る。柱穴掘方は長軸約50cm、短軸約40cmの楕円形を呈するものが多い。EP6を除いてSB378の柱穴に切られるため全形がわかるものは少ない。EP1とEP2は完全に重なっておりSB201の本来の柱穴は壊されている。掘り込みの深さは30-50cmである。土層断面からは柱痕跡を確認できない。遺物は出土していない。

建物跡から1.7m離れた東側に並行してSA202柱列がある。3基の柱穴で構成されたもので、柱間は2.5mを測る。柱穴は径30cm程の円形で深さは40-50cmである。打ち込み柱と考えられる。SB201と同時期に存在したと推測される。

SB298 堀立柱建物跡（第45図）

A区東端の6・7-56・57Gにあり、標高114mの平坦地に位置する。東西2間、南北3間の側柱建物跡である。規模は東西が3.9m、南北が4.4mを測る。主軸方向はN-6°-Wである。EP2とEP7が柱通りからやや外れる。柱間の距離は東西の北面でEP6とEP7の間が1.9m、EP7とEP8の間が2.0m、南面のEP1とEP2の間が1.9m、EP2とEP3の間が2.0mを測る。南北の東面ではEP3とEP4の間が1.4m、EP4とEP5の間が1.6m、EP5とEP6の間が1.4mである。西面ではEP1とEP10の間が1.5m、EP10とEP9の間が1.5m、EP9とEP48の間が1.4mを測る。柱穴掘方は径40cm前後の円形を呈するものが多い。削平を受けている柱穴もあるが、掘り込みの深さは40cm程はあったと考えられる。掘方の壁は緩く傾斜するものが多い。遺物は出土していない。

SB378 堀立柱建物跡（第43図）

A区中央南寄りの5・6-51・52Gにあり、標高116mの平坦地に位置する。SB201堀立柱建物跡と南面が重複する。東西2間、南北3間の側柱建物跡である。規模は東西が5.1m、南北が6.6mを測る。主軸方

向はN~4°~Wである。柱間の距離は東西の北面でEP6とEP7の間が2.4mを測るが、北西角の柱穴はトレント掘削により検出できなかったため、EP7と北西角との距離は不明である。南面のEP1とEP2の間は2.4m、EP2とEP3の間が2.2mを測る。南北の東面ではEP3とEP4の間が1.9m、EP4とEP5の間が2.3m、EP5とEP6の間が2.4mである。西面ではEP1とEP9の間が2.2m、EP9とEP8の間が2.3mを測る。柱穴掘方は一辺が50~70cmの隅丸方形を呈するものが多い。掘り込みの深さは40~50cmである。土層断面から約20cmの柱痕跡が確認できる。EP8から小型甕の底部と考えられる須恵器片(264)が出土している。

SB347 挖立柱建物跡 (第47図)

A区中央東寄りの10・11-54・55Gにあり、標高115~116mの間の緩斜面に位置する。東西2間、南北3間の側柱建物跡である。規模は東西が4m、南北が4.8mを測る。主軸方向はN~10°~Wである。柱間の距離は東西の北面でEP4とEP5の間が2.2m、EP5とEP6の間が1.8m、南面のEP1とEP11の間が2.1m、EP11とEP10の間が1.9mを測る。南北の東面ではEP1とEP2の間が1.6m、EP2とEP3の間が1.5m、EP3とEP4の間が1.7mである。西面ではEP10とEP9の間が1.8m、EP9とEP8の間が1.5m、EP8とEP6の間が1.5mを測る。柱穴掘方は一辺が60~70cmの隅丸方形を呈するものと、径70cm程の楕円形のものがある。掘り込みの深さは40~50cmである。掘方の壁は垂直に掘り込まれたものが多い。土層断面からは約20cmの柱痕跡が確認できる。遺物は出土していない。

3 その他の遺構

SE251 井戸跡 (第49図)

A区南端の2-49Gに位置する。平面形は径1.3mの円形である。深さは約50cmを測る。壁は僅かに傾斜する。底面は平坦で径10cm前後の礫が散在する。土層断面の4層は、10cm程の厚さで壁の周囲を廻る状態であったことから、板状の構造物の存在が推測される。周辺の谷部に広がるSG266に一部含まれる。隣接するSX316、317は付属する施設の可能性が考えられる。遺物は出土していないが、基本層序のⅢ層で検出されていることから、竪穴住居等の遺構より新しいと考えられる。

SK21 土坑 (第50図)

A区中央東寄りの10-56Gに位置する。長軸2.6m以上、短軸2.3mの長楕円形である。確認面からの深さは約50cmを測る。底面は平坦である。出土遺物は石器(265)、須恵器(266)、土師器(267,268)がある。265は基部の一部を欠損するアメリカ型石巒である。266は長頸壺、土師器は甕である。

SK22 土坑 (第50図)

A区中央東寄りの10-57Gに位置する。長軸2.8m、短軸2.6mの楕円形である。確認面からの深さは約60cmを測る。壁の傾斜は西側の一部を除いて緩やかである。底面には浅い掘り込みがある。出土遺物は須恵器(269~273)、土師器(274~279)、土製品(280)がある。269と279は底部に墨書きされている。279は丸底の長胴甕である。280は管状土鍤である。

SK66 土坑 (第51図)

A区北東の13-55Gに位置する。長軸1.4m、短軸1.2mの楕円形である。三段に掘られており、確認面からの深さは最深部で40cmを測る。覆土には焼土や炭化物を含み、多くの土器片(281~284)が出土している。283は被熱した有台坏である。284は外側がヘラ状工具でのナデ、内側はミガキが施されている。

SK277 土坑 (第51図)

A区南西の9-46Gの傾斜地に位置する。径1.2mの円形を呈する。確認面からの深さは30cm程であるが、斜面上方に残る痕跡から、80cm以上あったと推測され、壁がオーバーハングする状態であることがわかる。土層断面からは埋没後に部分的に掘り返された様子がうかがえる。出土した須恵器無台坏(290)はその土坑が埋まるときに混入したと考えられる。

SK344 土坑 (第52図)

A区中央東寄りの9・10-55Gに位置する。長軸3.7m、短軸2.9mの楕円形である。確認面からの深さは約50cmを測る。南面と西面は2段に掘り込まれる。壁の傾斜が緩やかなため開口部に比べ底面は広くない。覆土の上層には焼土や炭化物と土器片を含む。出土遺物には須恵器(292~294)、土師器(295~300)、黒色土器(301)がある。292は底部に墨書きされた無台坏、294は双耳环である。土師器は大小の甕類が主体を占める。295と298は被熱している。

SK345 土坑（第 52 図）

A 区中央東寄りの 10-55G に位置する。SK344 に接し、SB347、SP346 と一部重複する。SB347EP1 と EP2、SP346 は SK345 によって切られる。平面形は長軸 2.1 m、短軸 1.7 m の崩れた三角形を呈する。深さは 20cm 程しかなく、底面までなだらかに掘り込まれている。覆土には炭化物が少量混入する。土師器無台杯（302）、土師器壺（303、304）が出土している。

SP16 柱穴（第 53 図）

A 区中央東よりの 10-56G に位置する。SK344 に隣接する。長軸 1.4 m、短軸 1 m の不整梢円形を呈する。3段に掘り込まれ、最深部では 75cm を測る。覆土の上層（1～3 層）には灰白色火山灰を含む。須恵器（411～416）、土師器（417、418）が出土した。413 は双耳杯、414 の長頸壺は頸部と肩部、体部上半に沈線を有する。

SP88 柱穴（第 55 図）

A 区中央北寄りの 15-54G に位置する。長軸 70cm、短軸 48cm の梢円形を呈する。深さは約 14cm を測る。底面は平坦である。覆土の 1 層に灰白色火山灰を含む。土師器壺（420、421）が出土した。

SD19 溝跡（第 57 図）

A 区東寄りで検出した南北方向の溝跡である。4-56G から 16-56G まで確認された。長さは 46.2 m に及ぶ。幅は最大で 70cm、最小で 30cm を測る。深さは 30cm 前後である。壁はほぼ垂直に掘り込まれ、底面には僅かな凹凸がある。ST63 に切られるが、ST65 を切っている。南北軸は西に約 4 度傾き、同じような軸をとる竪穴住居や掘立柱建物も少なくない。また、清水遺跡の他の調査区でも類似する溝跡が検出されており、全体を俯瞰する必要があると考えられる。出土遺物には須恵器（305～309）、土師器（310）がある。

SD55 溝跡（第 55 図）

A 区北端にあり、19-54G から南東方向に延び、16-56G から東へ向きを変え 16-62G に至る。西側は約 30 度西へ傾き、120 度角度を変えた東側は約 95 度東へ傾く。検出された全長は 41 m に及ぶ。東端部はさらに調査区外に延びると推定される。幅は 70cm、最小で 40cm を測る。深さは 30cm 前後である。壁は崩れている部分も見られるが、基本的に垂直に掘り込まれたと考えられ

る。SD19 とは接点はないが、SD55 が角度を変える地点と SD19 の始まる地点が 2 m しか離れない点や、方形に近い区画を作り出すことから、2 つの溝跡は関連付けて考える必要があると考えられる。出土遺物には須恵器（311～315）、土師器（316、317）がある。

SG266（第 59・60 図）

A 区南端に広がる不整形の窪地である。現況の地形も山間の谷部になっており、当時から水場を形成していた可能性がある。遺構は 2-43 G～3-52 G にかけて検出した。東西長 36.4 m、最大幅 9.4 m、最小幅 2.5 m を測る。北から南にかけてなだらかに傾斜し、最も厚いところで約 50cm の堆積が見られる。黒色の粘質シルトに挟まれた中程の層には、厚さ 20cm 前後の灰白色火山灰層が認められる。

遺物は全体から出土しているが、特に中央部からの出土が多い。須恵器（318～380）、土師器（381～398）、黒色土器（399～402）、木製品（404～410）等、種類も量も豊富である。須恵器の器種は無台杯が多く、8 世紀後半頃のものも僅かに見られるが、9 世紀中頃のものが大半を占める。次いで壺、甕類が多く、有台杯は少ない。土師器も無台杯が多く、386～388 のような特徴的な器形も含まれる。

黒色土器は何れも内面をミガキ後黒色処理したもので、無台、有台の杯がある。墨書き土器は確認できたもので 24 点を数え、内 19 点が須恵器、土師器が 5 点である。多くは底部に書かれているが、337、338、367 は体部外面にも書かれている。その他から出土した墨書き土器も合わせて第 100・101 図に集成しているので銘や墨書き部位を参照されたい。木製品には挽物の皿と考えられる 404 や火切杵の可能性がある 406、先端が焼けた杭 410 等があるが、全形を知りえるものも少なく、用途不明のものが多い。

遺構外の出土遺物（第 92 図～99 図）

遺構外からは、須恵器や土師器の他に縄文土器（430、431）、石器（432～435）、石製品の凹石（436）、土製品の管状土錐（437～441）、羽口（548）、砥石（549、550）、金属製品の刀子（551）等が出土している。縄文時代の遺物については、隣接する 3、4 地区から陥穴等の遺構が検出され、近隣には羽黒神社西遺跡等の縄文時代の遺跡があることに由来するものと考えられる。

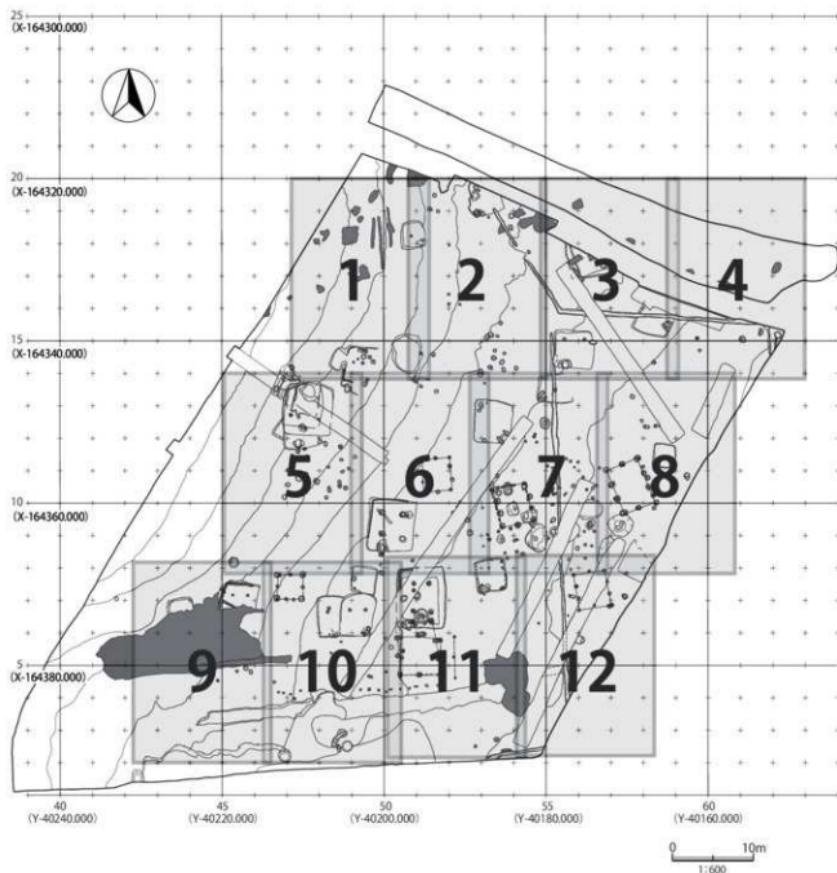


第1図 調査区垂直略図

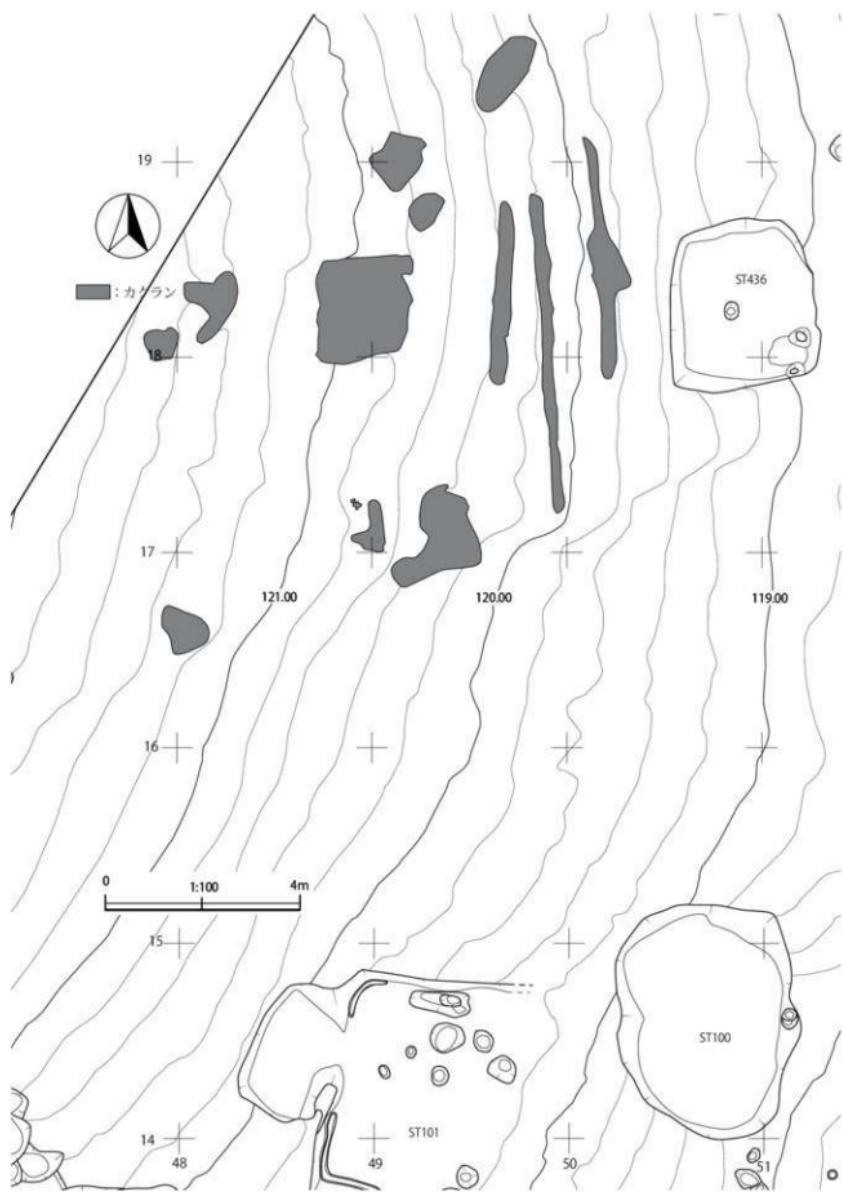


- 基本層序 A-A'**
- I. 7.5YR5/8粘質シルト 角礫、木根を多量に含む 粘性やや有り しまり有り
 - II. 2.5Y4/2シルト 1層のブロックを多量に含む 粘性なし しまり強
 - III. 2.5Y3/2砂質シルト N1.5/0粘質シルトを層状に含む 粘性なし しまり有り
 - IV. 10YR1.7/1粘質シルト 粘性やや有り しまり有り ※黒ボク
 - V. 10YR5/0粘質シルト 粘性やや有り しまり有り ※地山

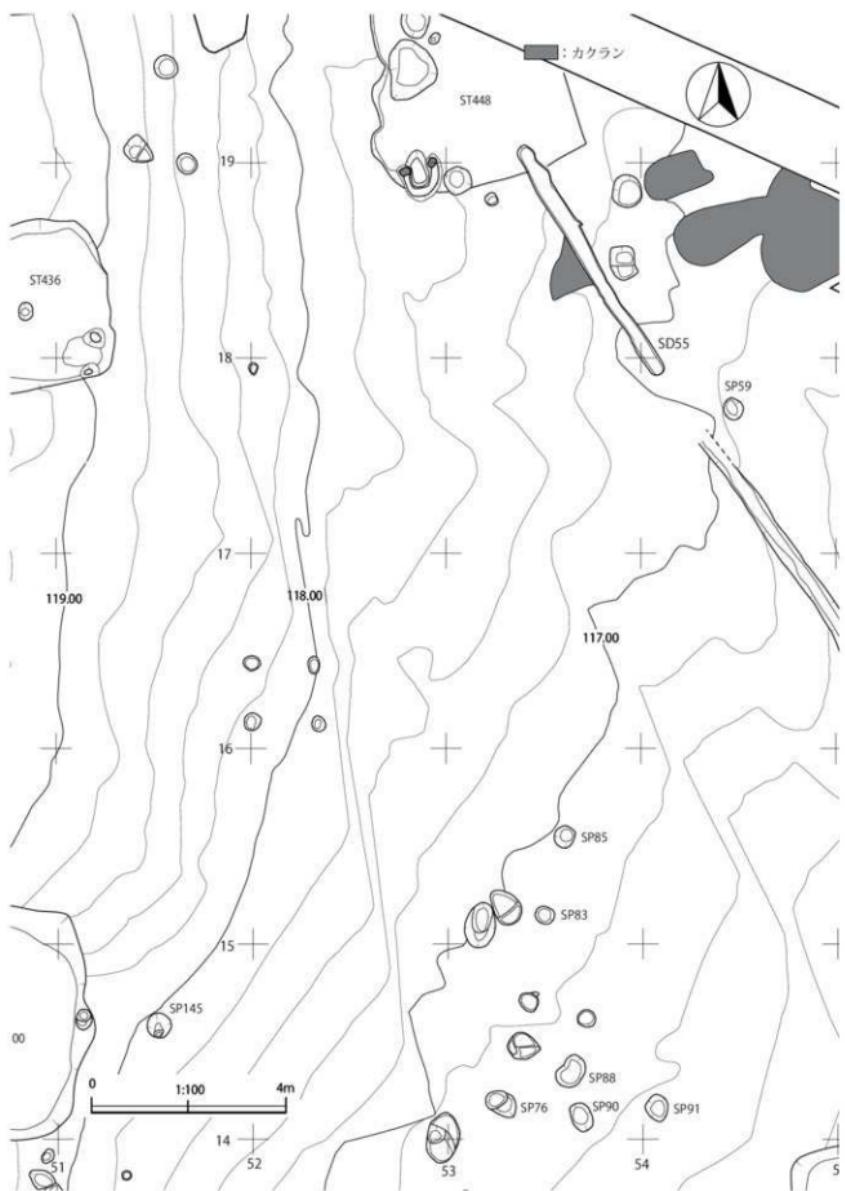
第2図 基本層序



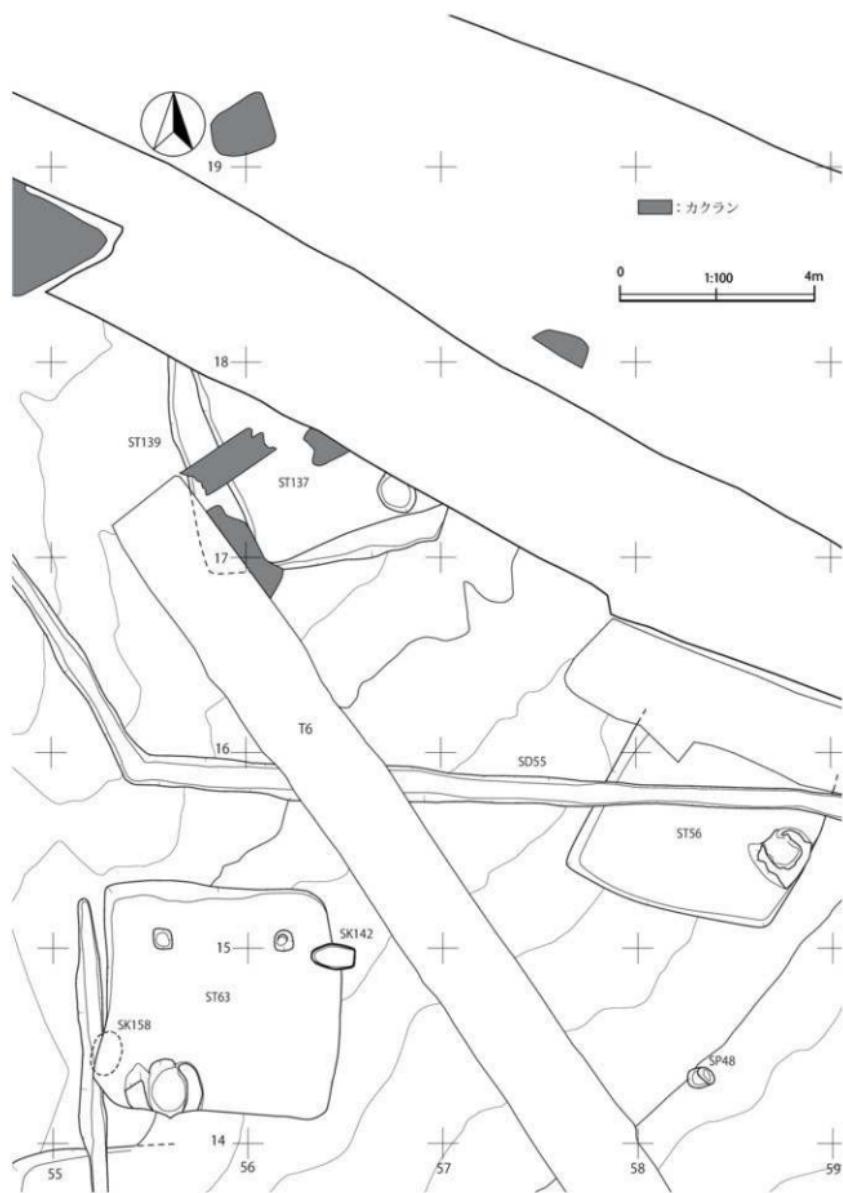
第3図 遺構配置図の割付



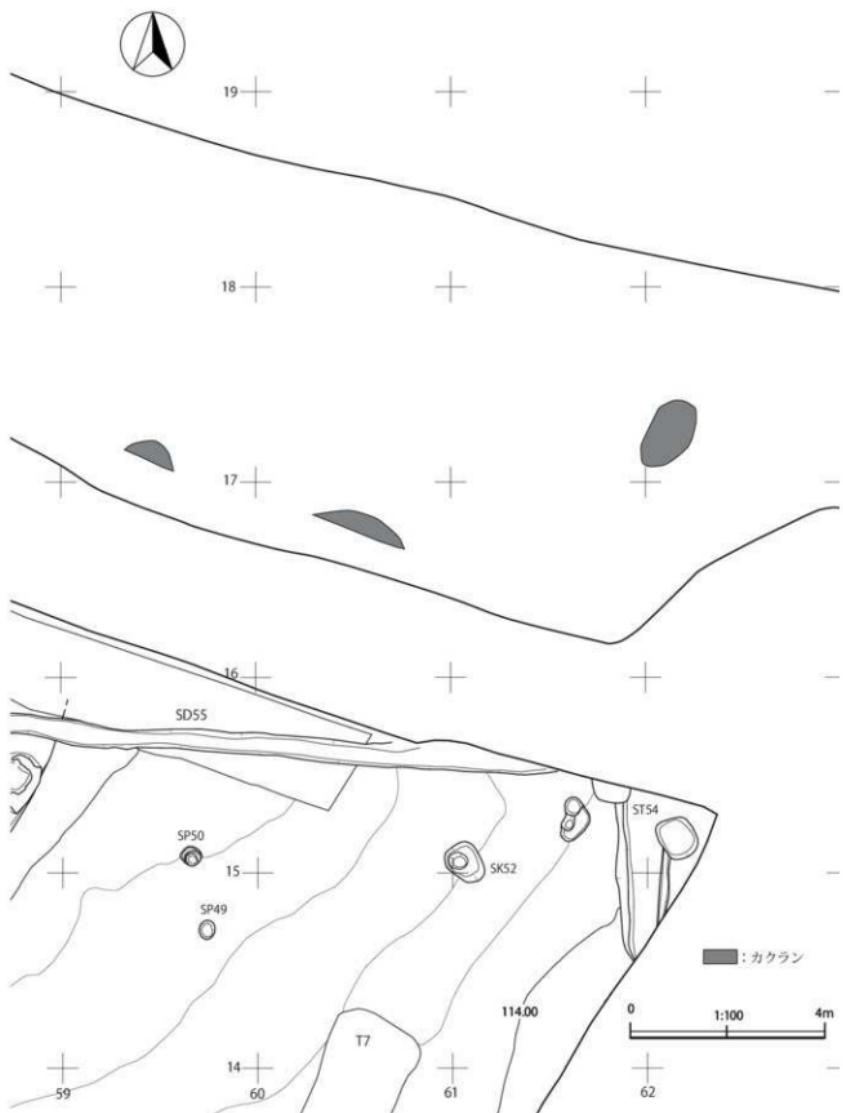
第4図 遺構配置図(1)



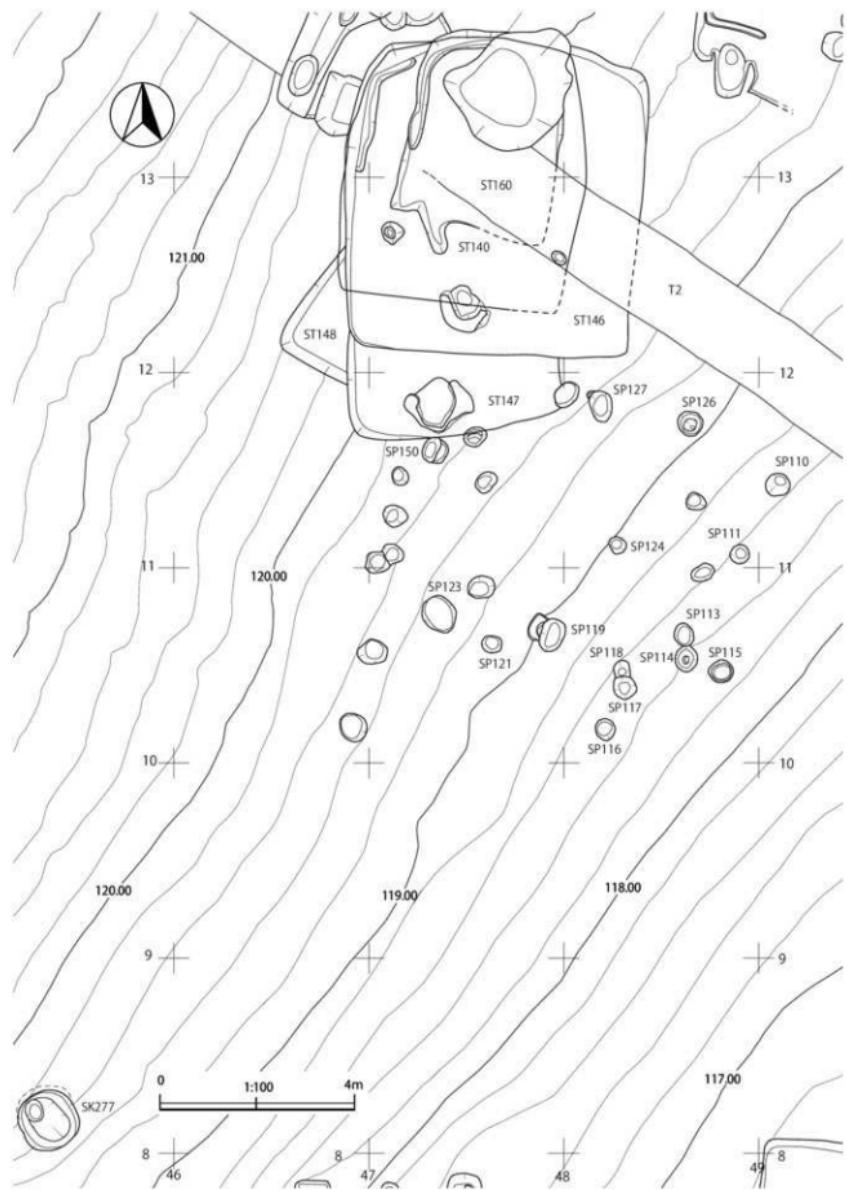
第5図 遺構配置図(2)



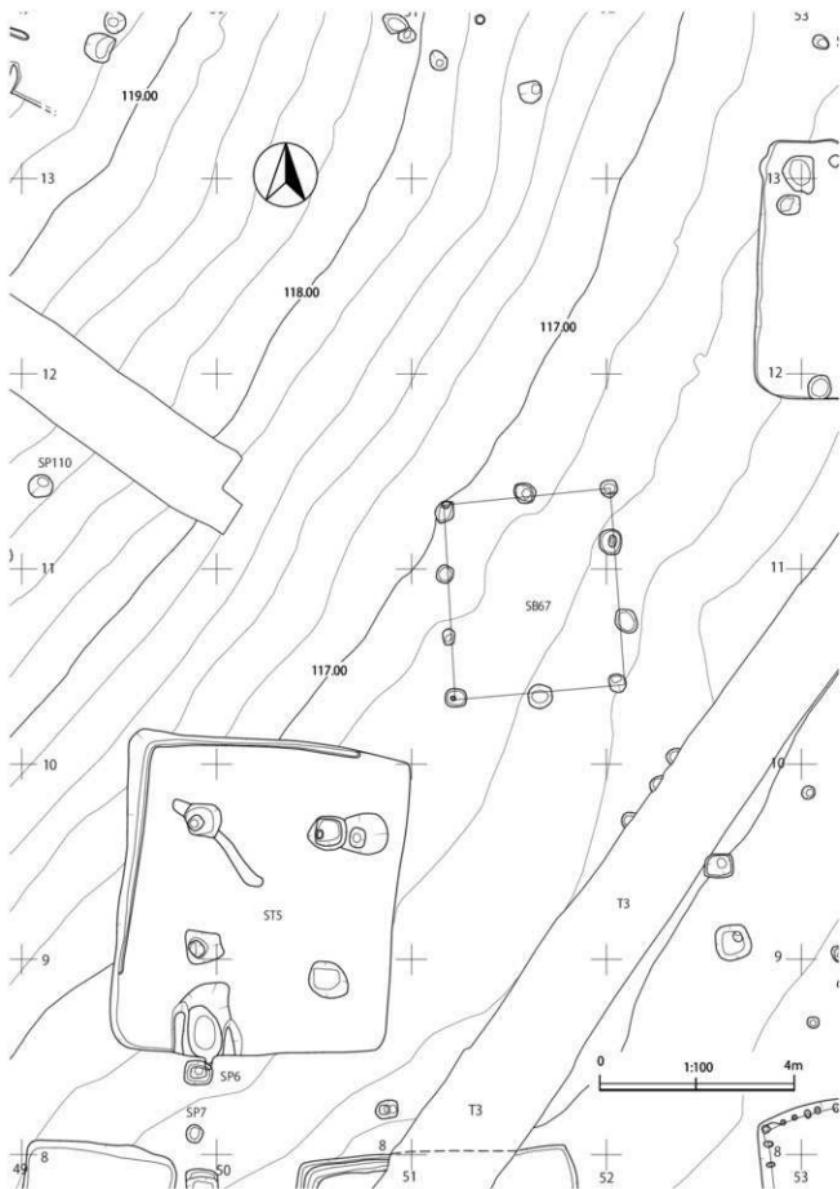
第6図 遺構配置図（3）

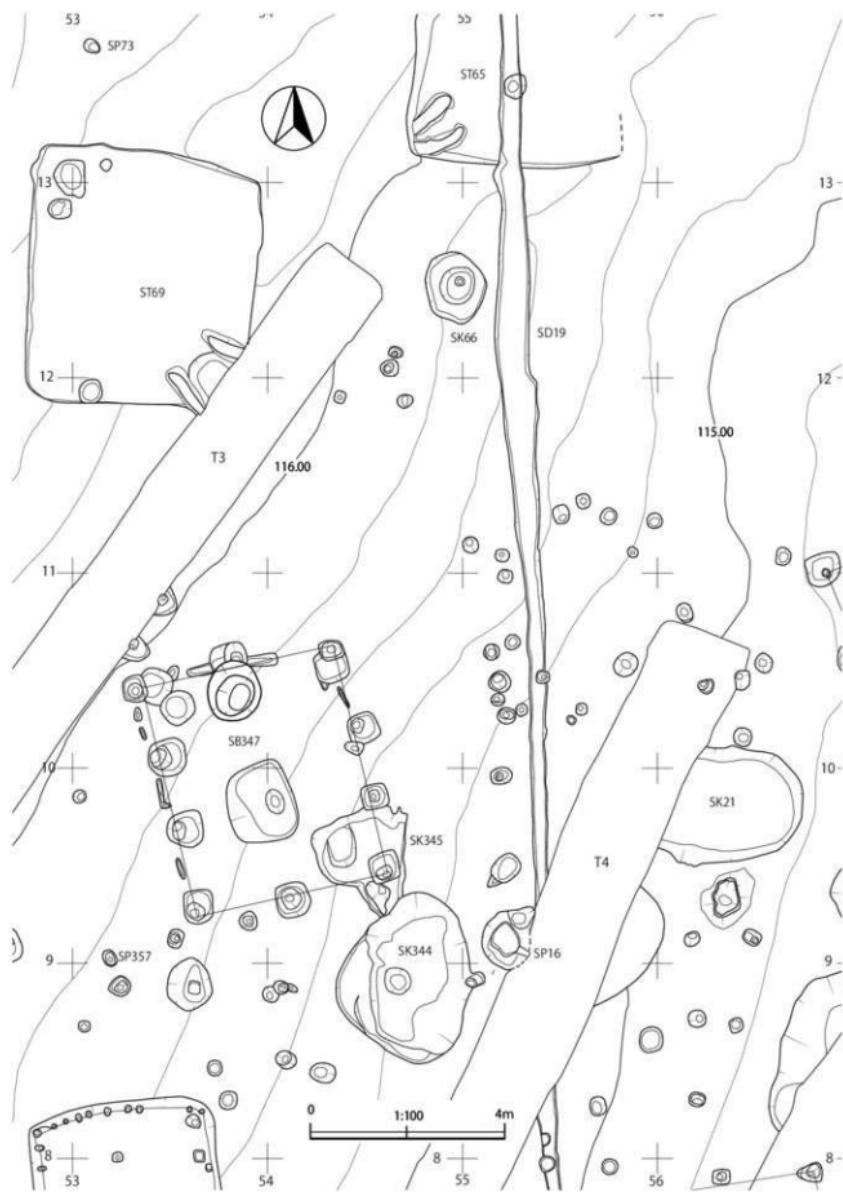


第7図 遺構配置図(4)



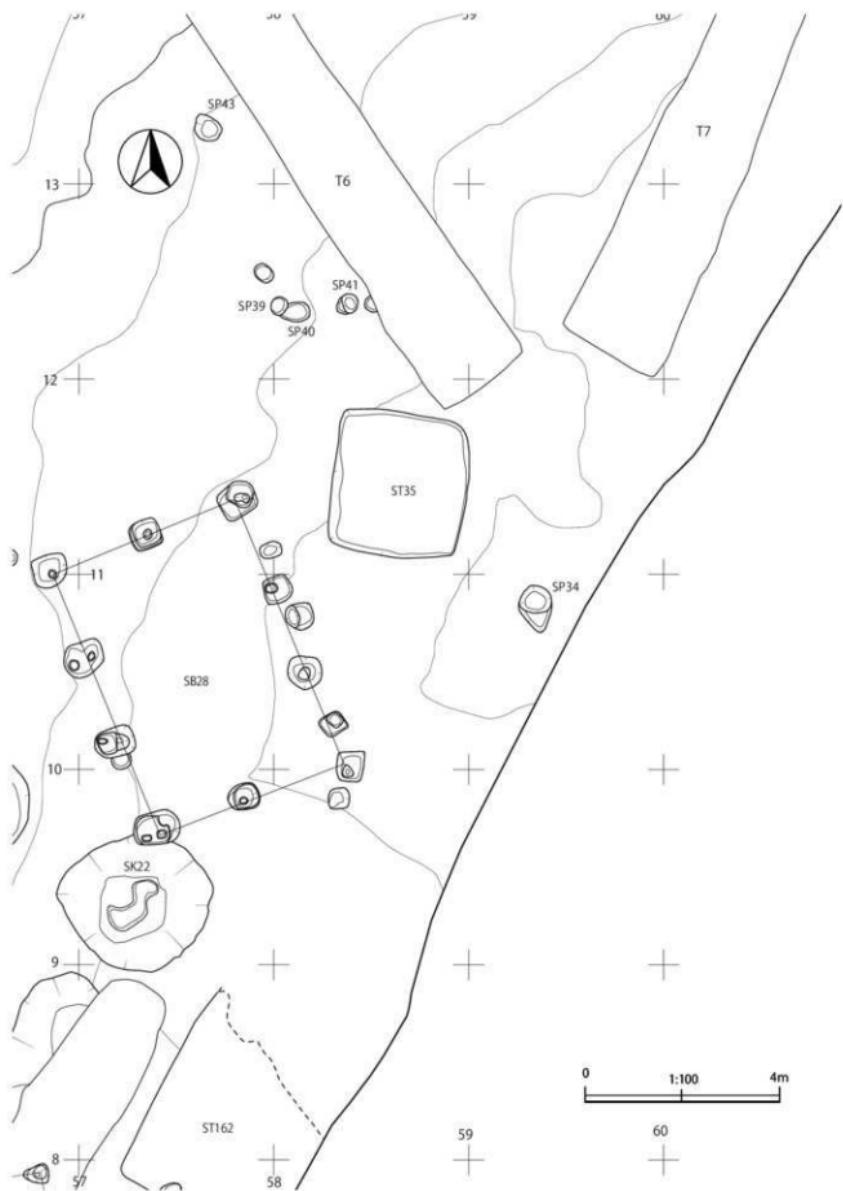
第8図 遺構配図(5)





第10図 遺構配置図(7)

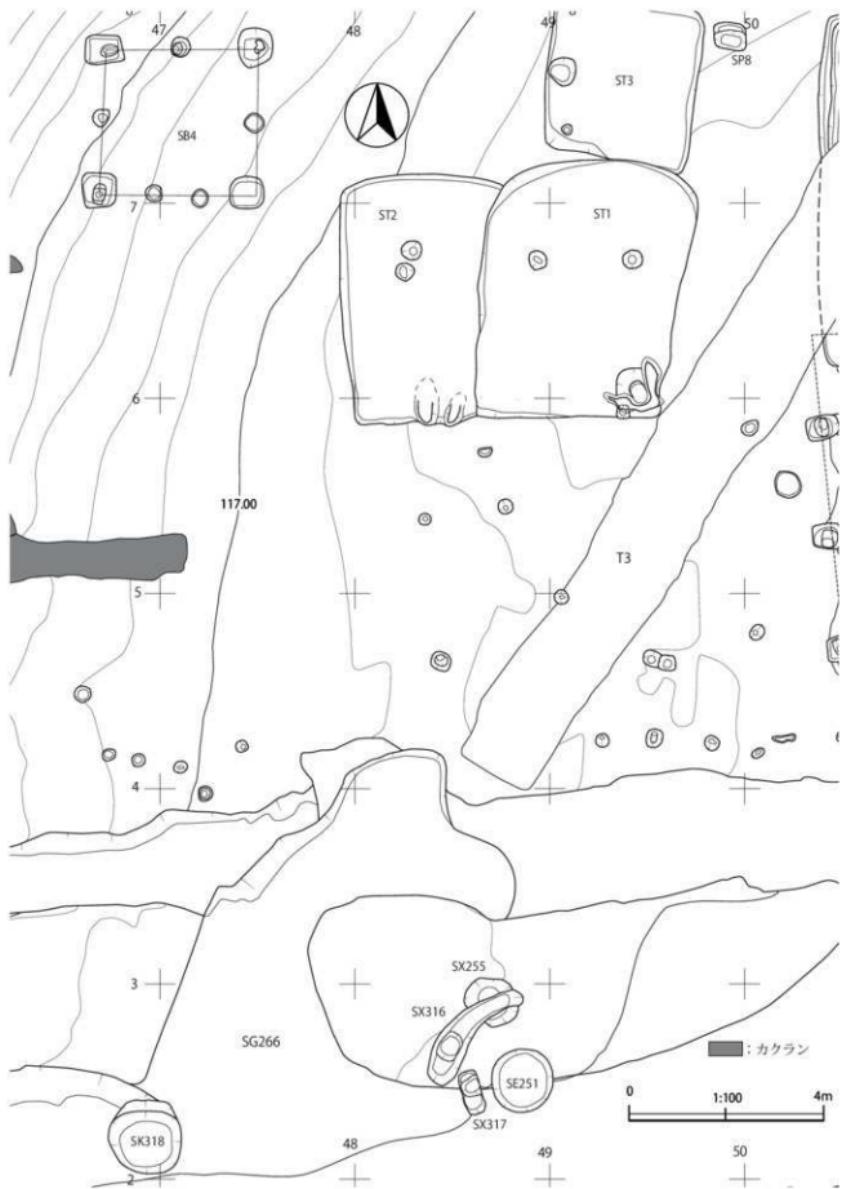
III 遺構と遺物



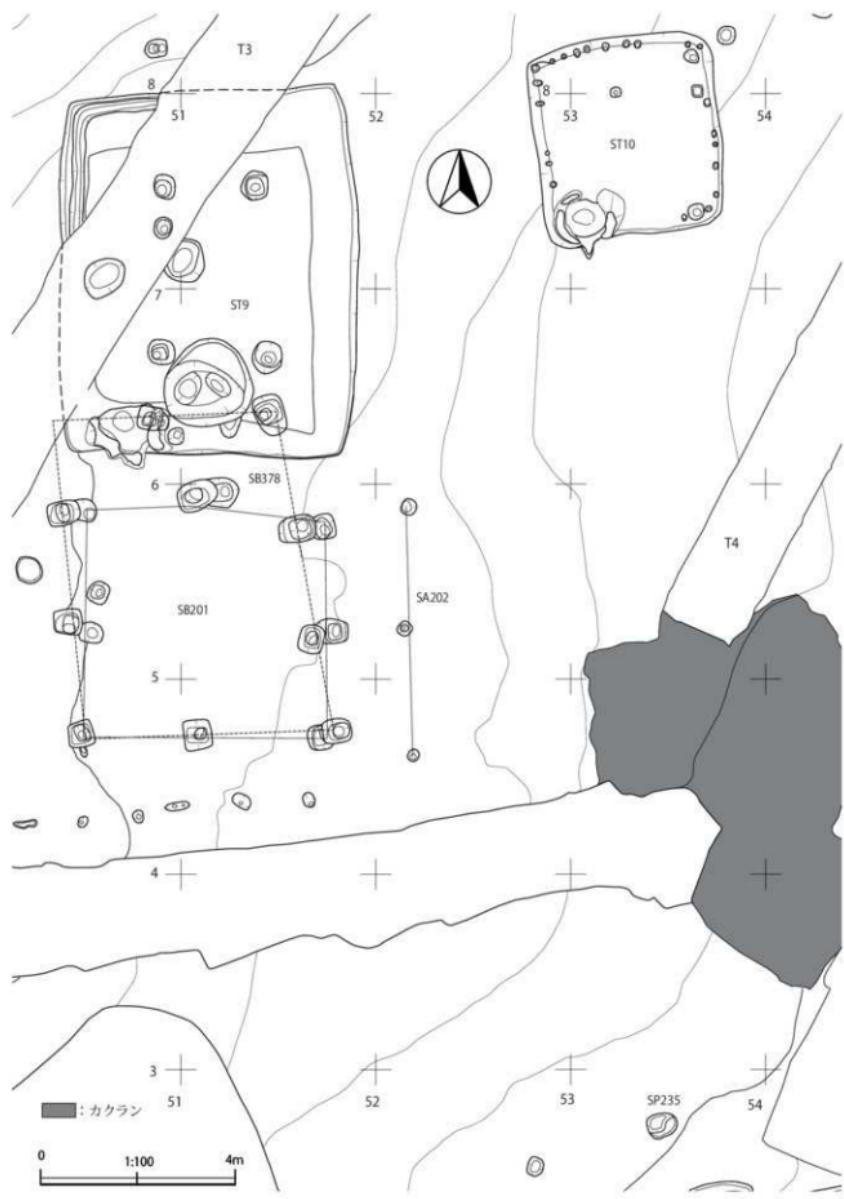
第11図 遺構配図(8)



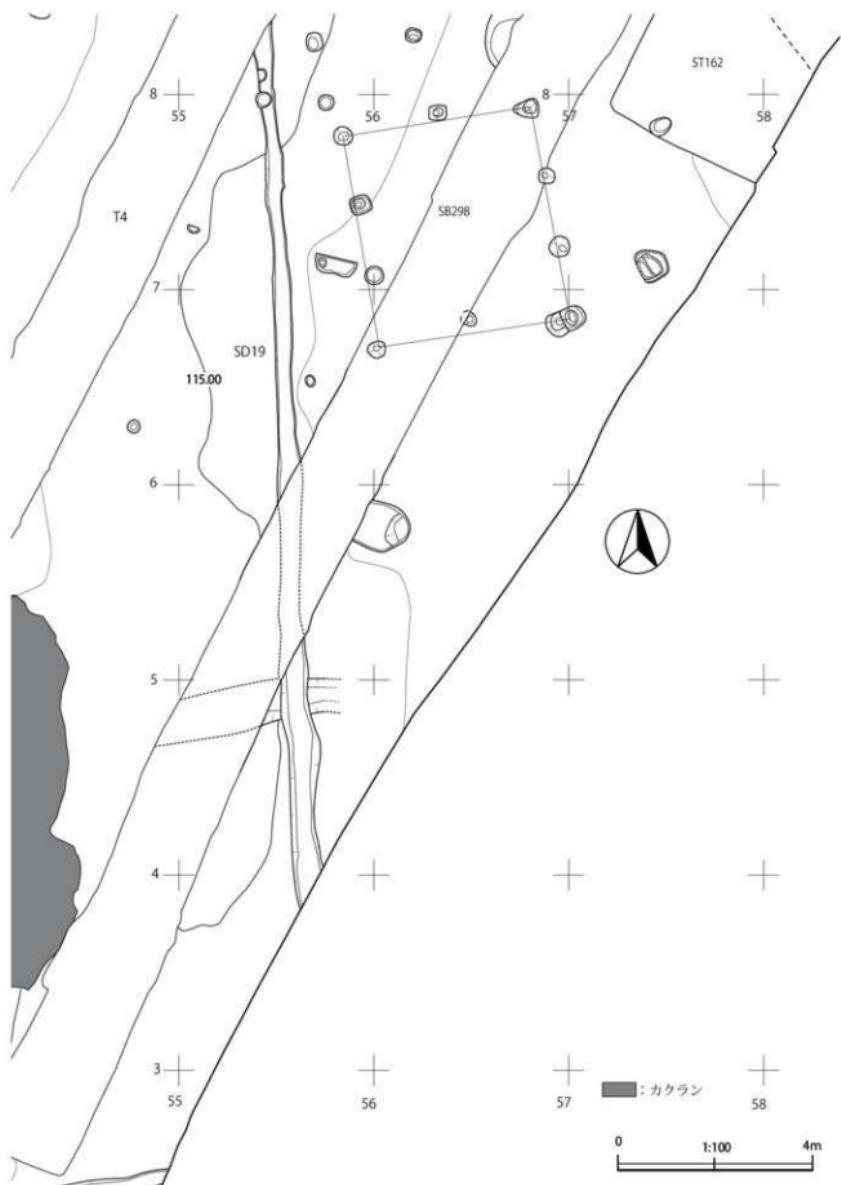
第12図 遺構配図 (9)



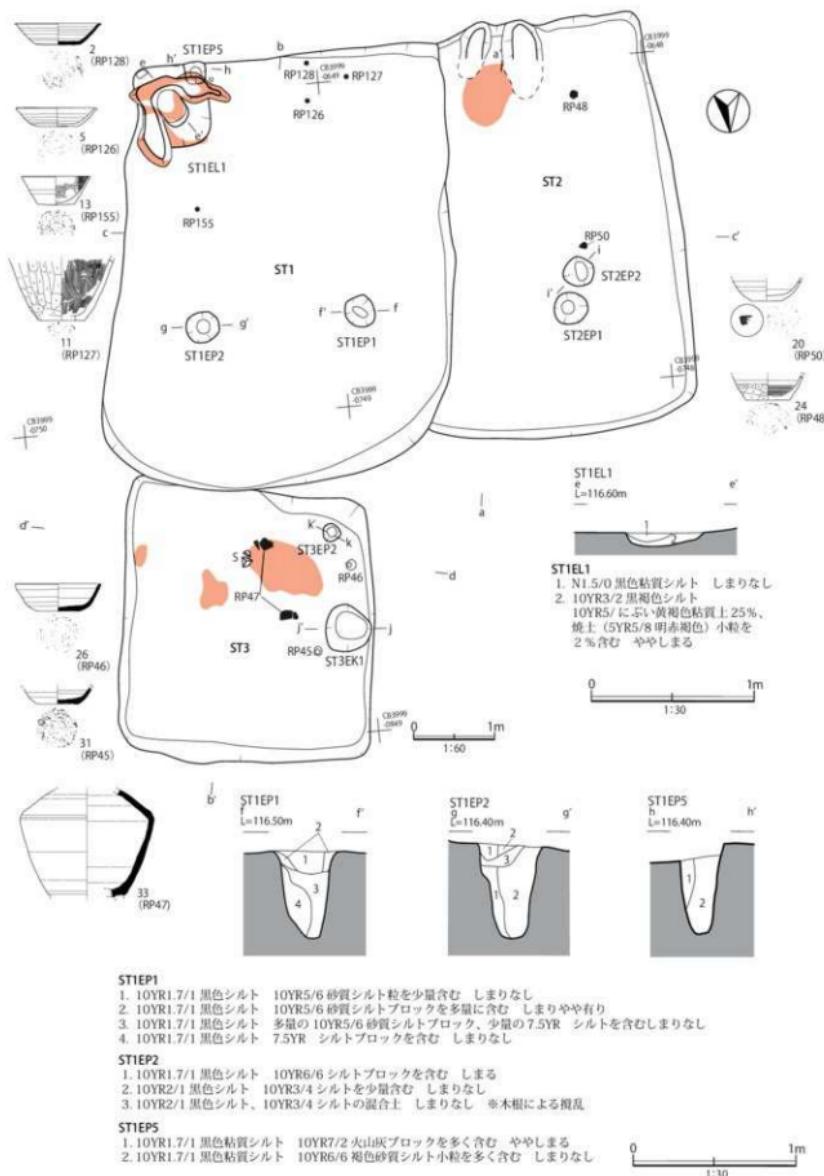
第13図 遺構配置図(10)



第14図 遺構配置図(11)

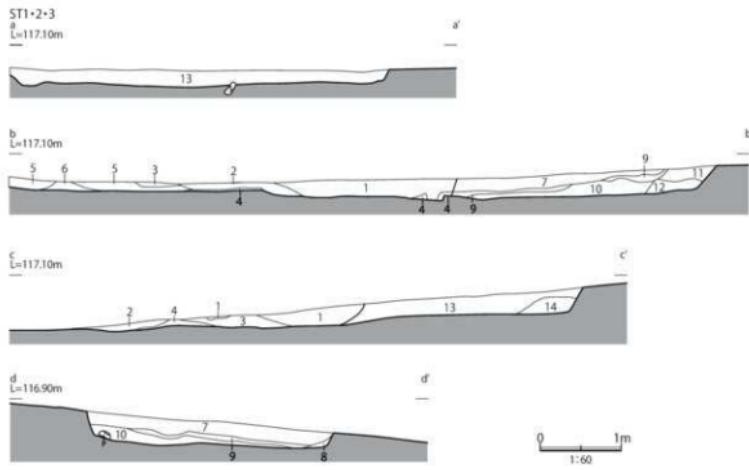


第15図 遺構配置図(12)



第16図 ST1・2・3 穴住居跡 (1)

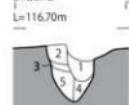
III 遺構と遺物



ST 1・2・3

1. IOYR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小粒を含む しまりややあり
2. IOYR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小ブロックをわずかに含む しまりなし
3. IOYR6/6 明黄褐色粘質シルト しまりあり 屋根材か
4. IOYR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのブロックを含む しまりあり 脳床か
5. IOYR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小粒、続上粒を含む しまりややあり 掘方か
6. IOYR2/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小粒、続上粒を多量に含む しまりあり
7. IOYR1.7/1 黒色シルト ややしまる
8. IOYR1.7/1 黒色シルト 10YR7/4 シルト（火山灰）含む ややしまる 崩落土
9. IOYR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小ブロックを含む しまる
10. IOYR1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黒褐色シルトを含む しまりなし
11. IOYR1.7/1 黒色シルト ややしまる 崩落土
12. IOYR1.7/1 黒色シルト 10YR3/3 暗褐色シルトのブロックを含む しまる 崩落土
13. IOYR1.7/1 黒色シルト しまり弱
14. IOYR2/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小ブロックをやや多量に含む しまりなし

ST2EP2



ST2EP2

1. IOYR1.7/1 黒色シルト しまりなし
2. 10YR5/6 砂質シルト 10YR2/2 黑褐色シルトブロックを多量に含む しまり強
3. IOYR1.7/1 黒色シルト しまりやや有り
4. 10YR5/6 砂質シルト 10YR1.7/1 黒色粘質シルト しまりなし
5. 2に同じ

ST3EK1



ST3EK1

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR3/3 暗褐色粘質シルト、10YR5/6 黄褐色砂質シルト小粒を含むしまりあり
2. 10YR3/3 暗褐色粘質シルト 10YR5/6 黄褐色砂質シルト小粒、続上粒。炭化物をわずかに含むしまりややあり

ST3EP2

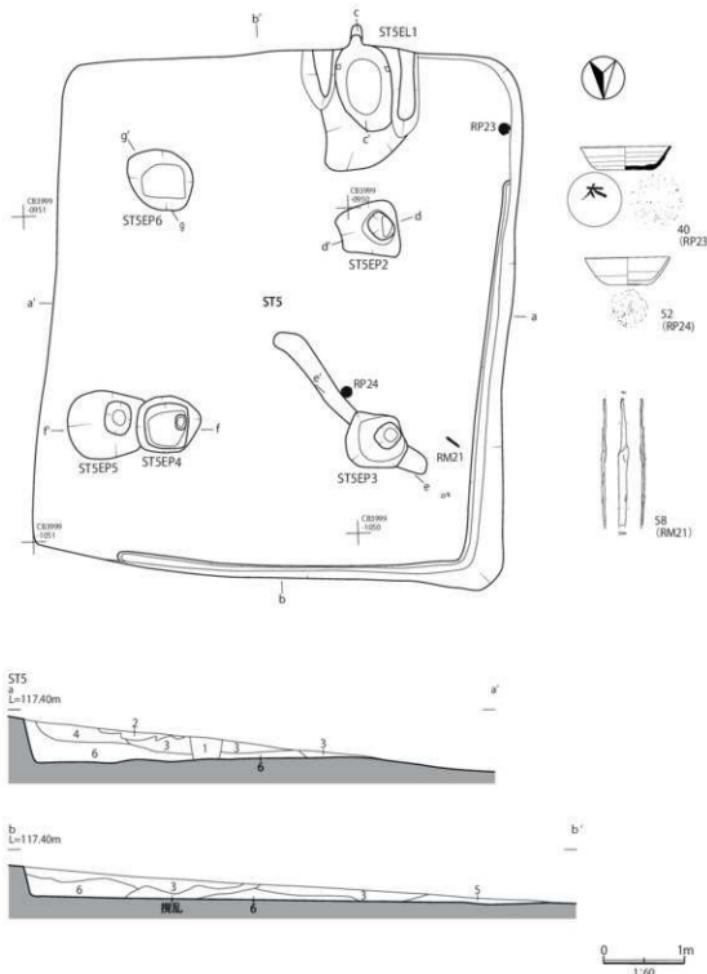


ST3EP2

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR3/3 暗褐色粘質シルト、10YR5/6 黄褐色砂質シルト小粒を含むしまりややあり
(ST3EK1 の 1 に同じ)

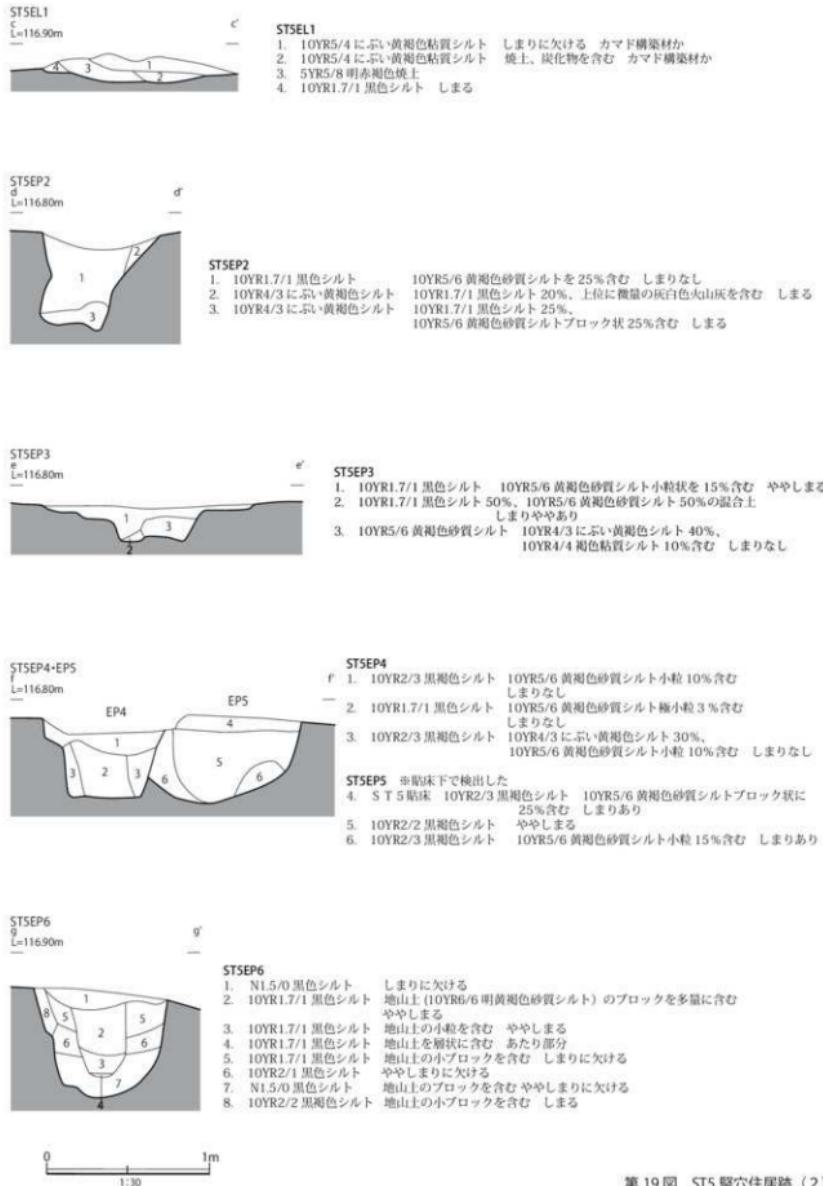


第 17 図 ST1・2・3 竪穴住居跡 (2)

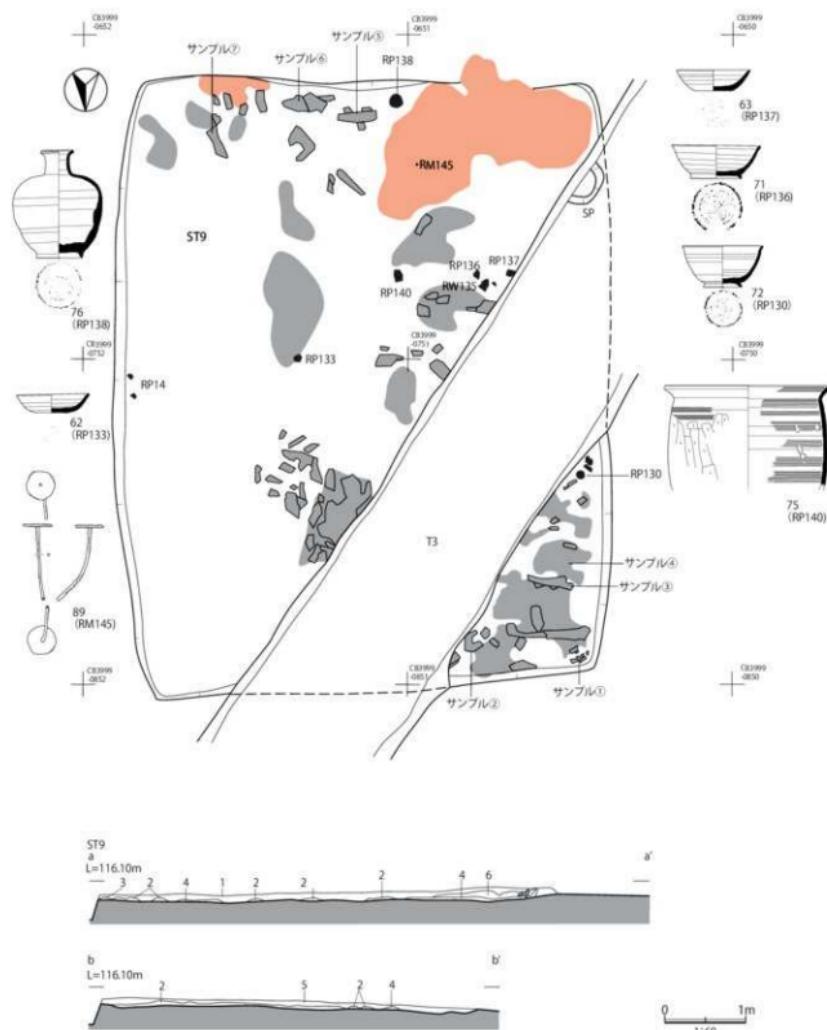


- STS**
1. 10YRZ/1 黒色シルト 地山上 (10YR5/6 黄褐色砂質シルト) の粒をわずかに含む
 2. N1.5/0 黑色シルト ややしまりに欠ける
 3. 10YR1.7/1 黒色シルト 地山上の粒をわずかに含む しまる
 4. 10YR2/3 黑褐色シルト やや土まる
 5. 10YR2/1 黒色シルト 地山上のブロックをやや多量に含む
 6. 10YR1.7/1 黒色シルト 地山上の小ブロックを含む しまりに欠ける

第18図 ST5 竪穴住居跡 (1)

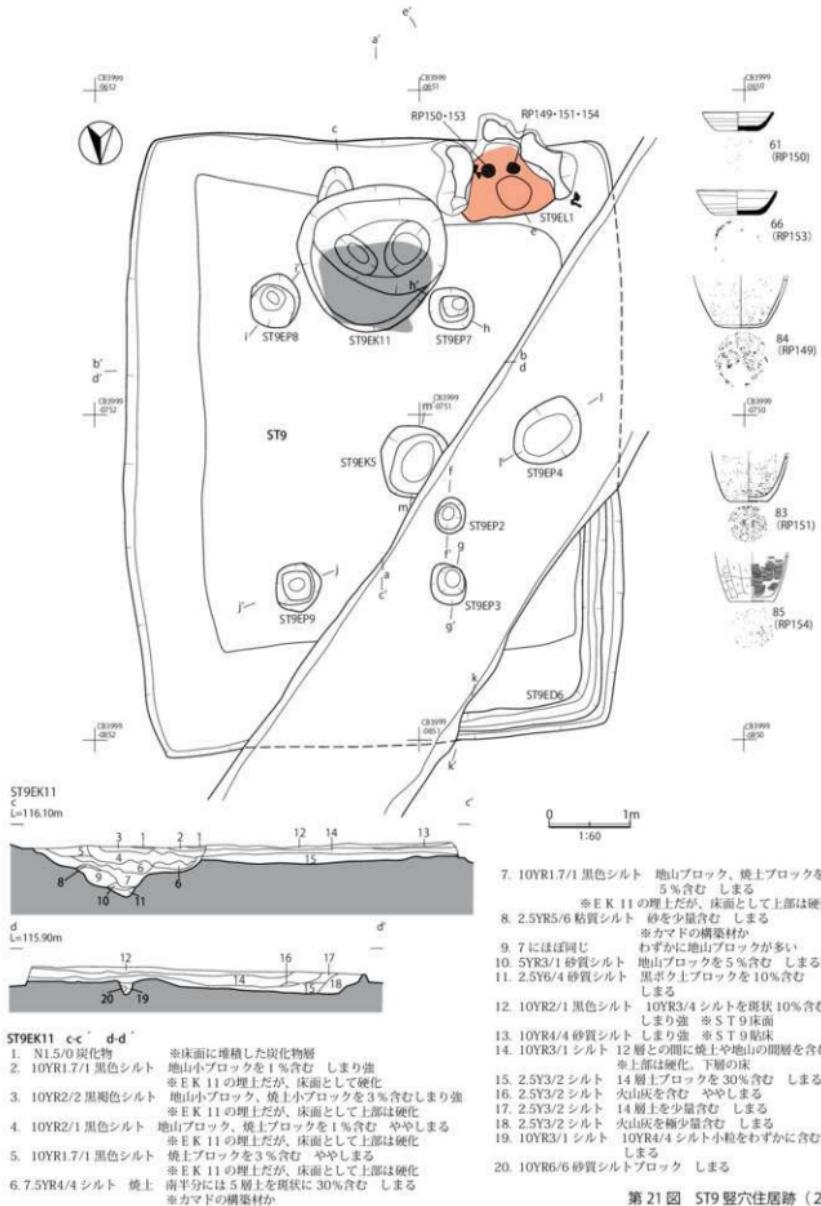


第19図 ST5 穂穴住居跡（2）

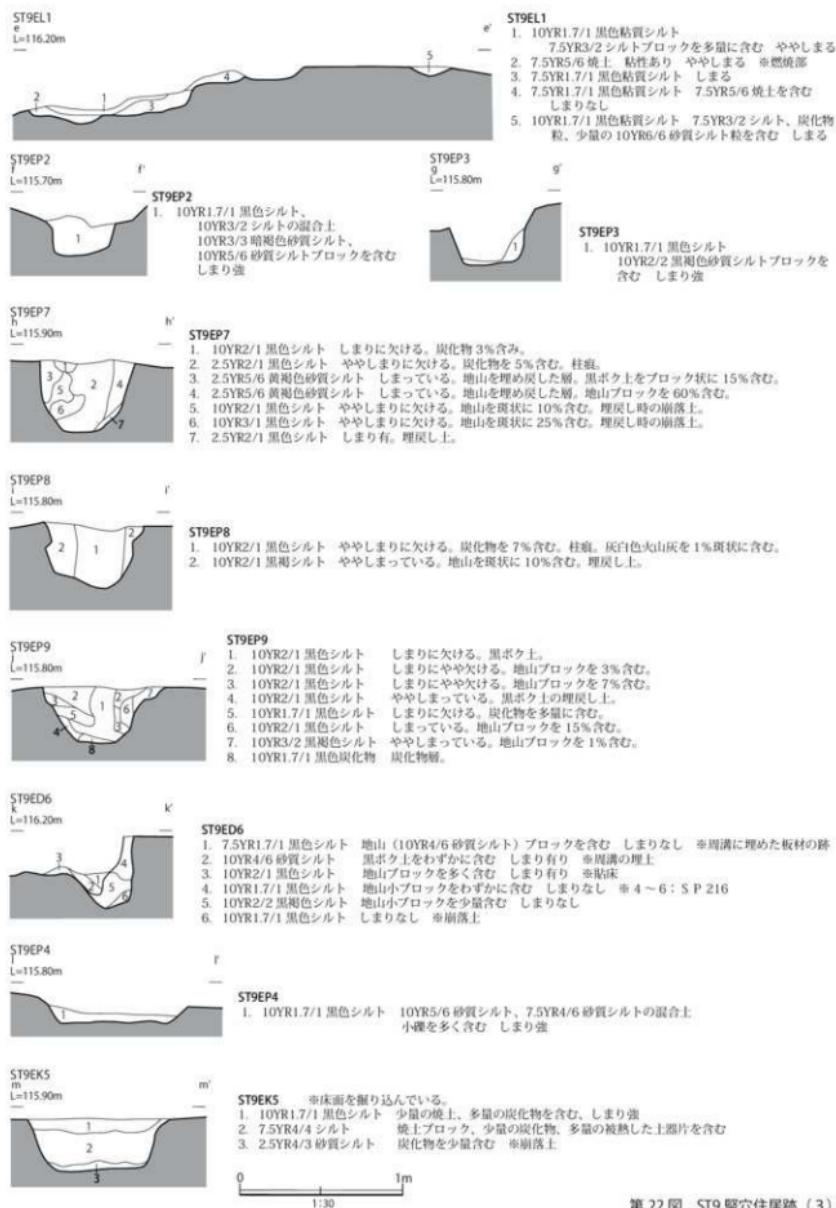


1. 10YR1.7/1 黒色シルト 少量の炭化物、軽石粒、灰白色火山灰粒を含む しまり弱
2. N1.5/1 炭化物 亜住居の焼失材、屋根材
3. 2.5Y2/1 シルト 炭化物粒を少含む しまり有り 亜住居の床床
4. 2.5Y2/1 シルト 塵土ブロック、地山小ブロックを少含む しまり強 亜生活面か
5. 10YR1.7/1 黒色シルト 少量の炭化物、軽石粒、やや多めの灰白色火山灰を含む
6. 10YR2/1 黒色シルト やや多めの炭化物、少量の軽石粒、灰白色火山灰粒を含む

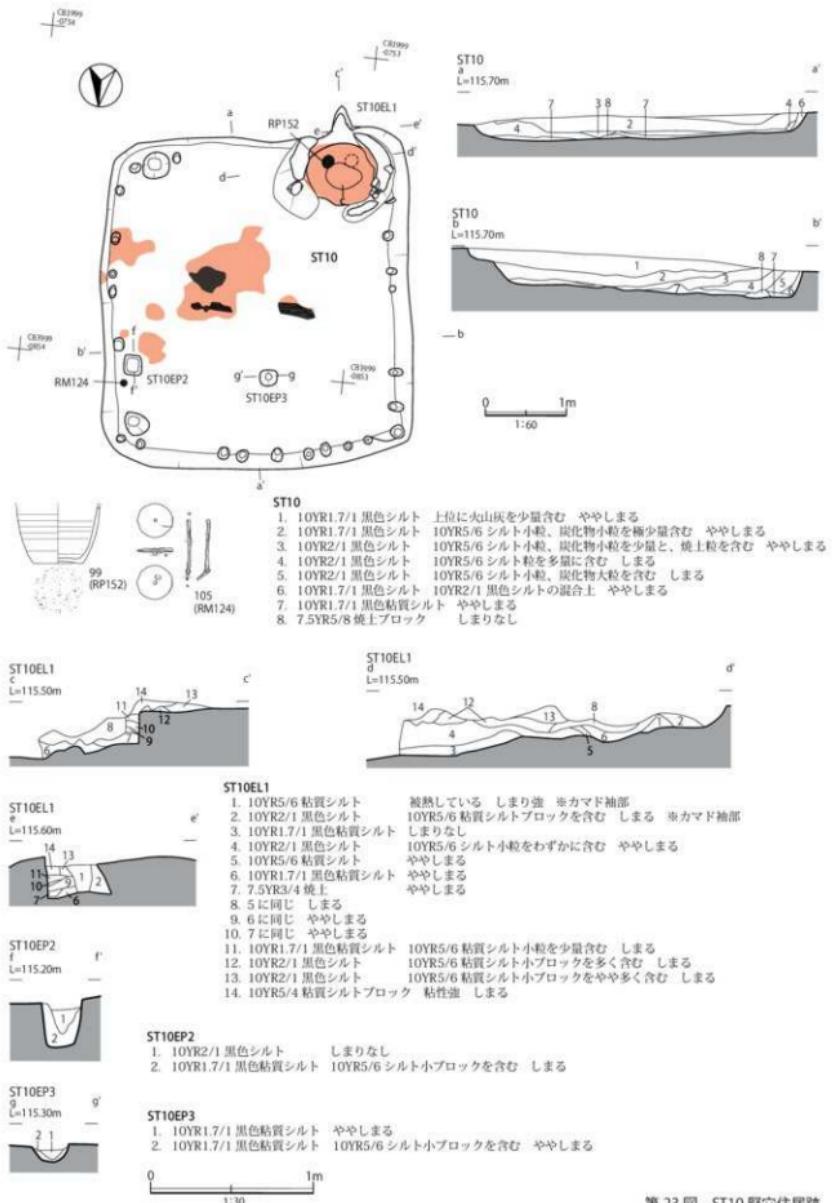
第20図 ST9 竪穴住跡（1）



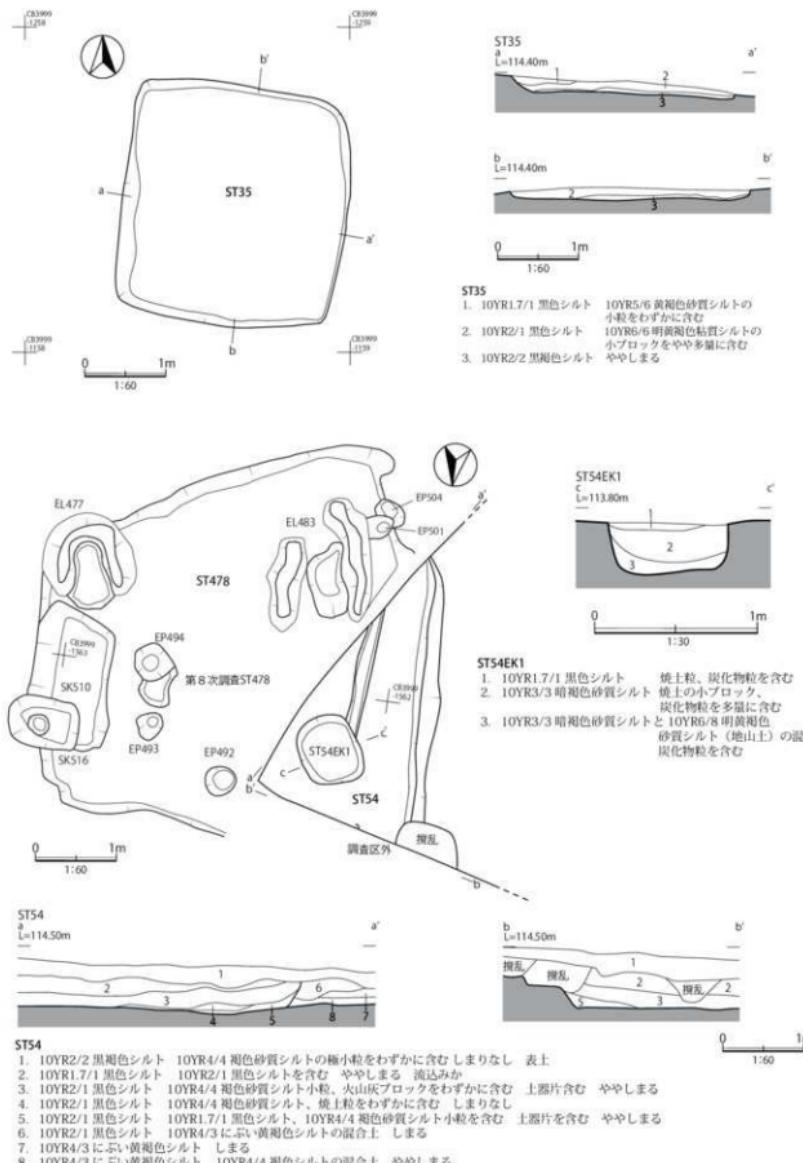
第21図 ST9 竪穴住居跡（2）



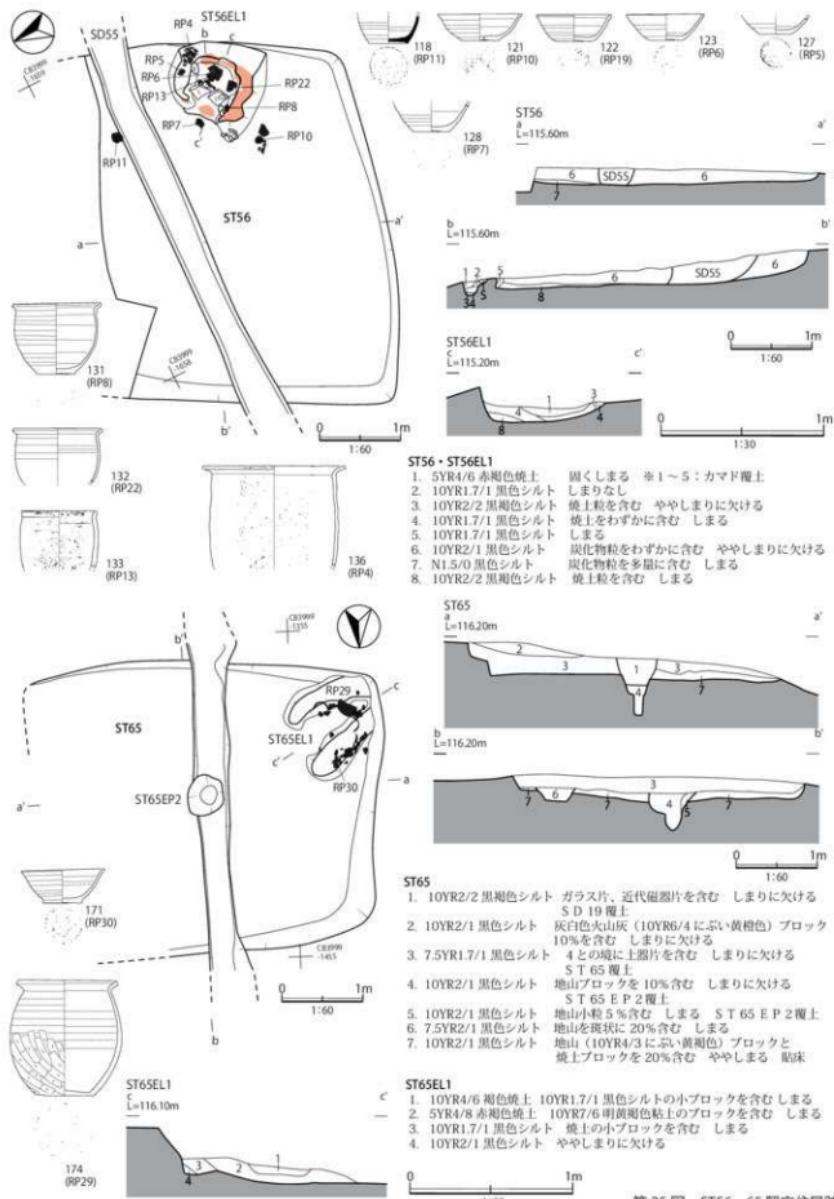
第22図 ST9 壁穴住居跡（3）



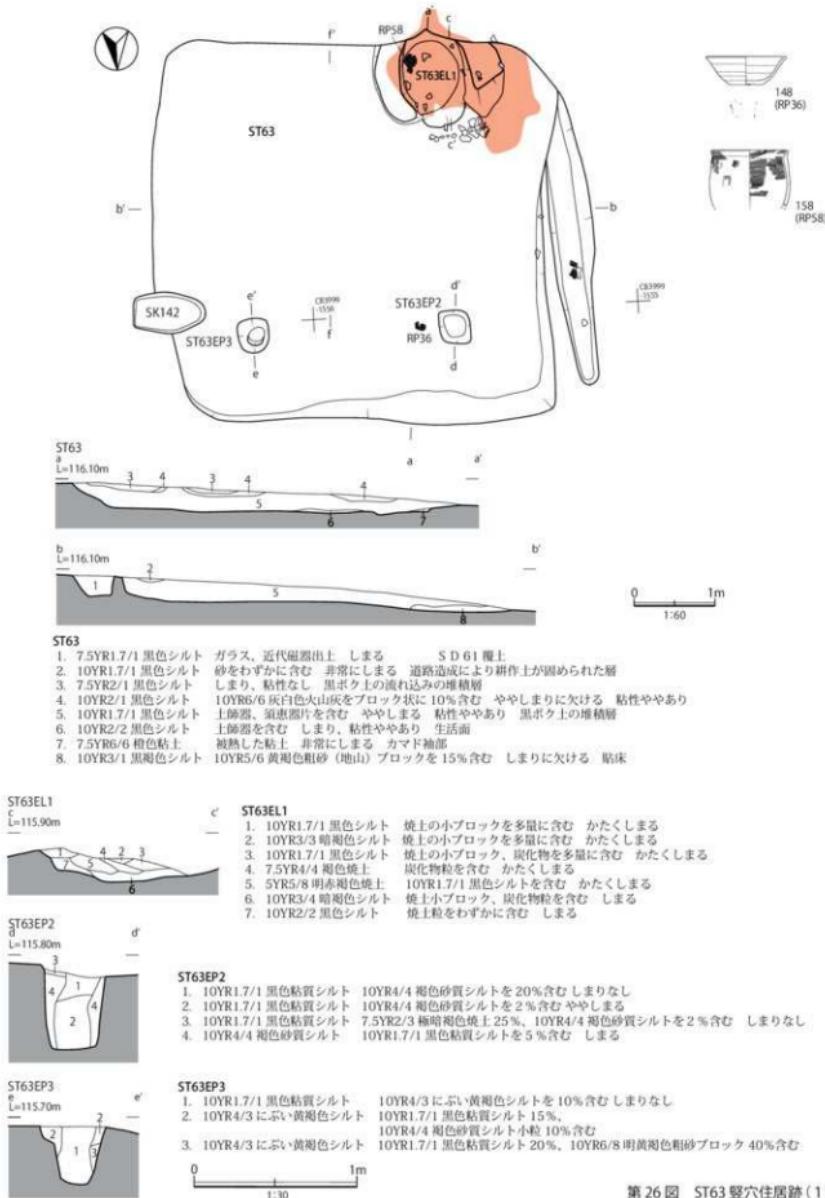
第23図 ST10 積穴住居



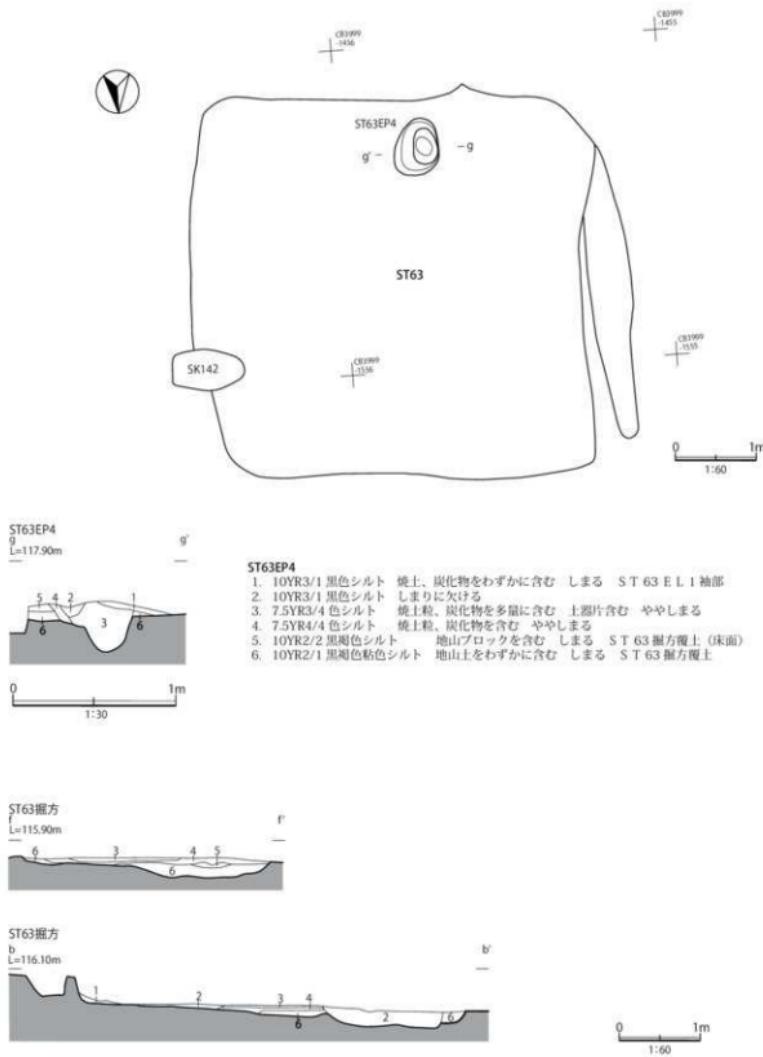
第24図 ST35・54竪穴住居跡



第25図 ST56・65 竪穴住居跡

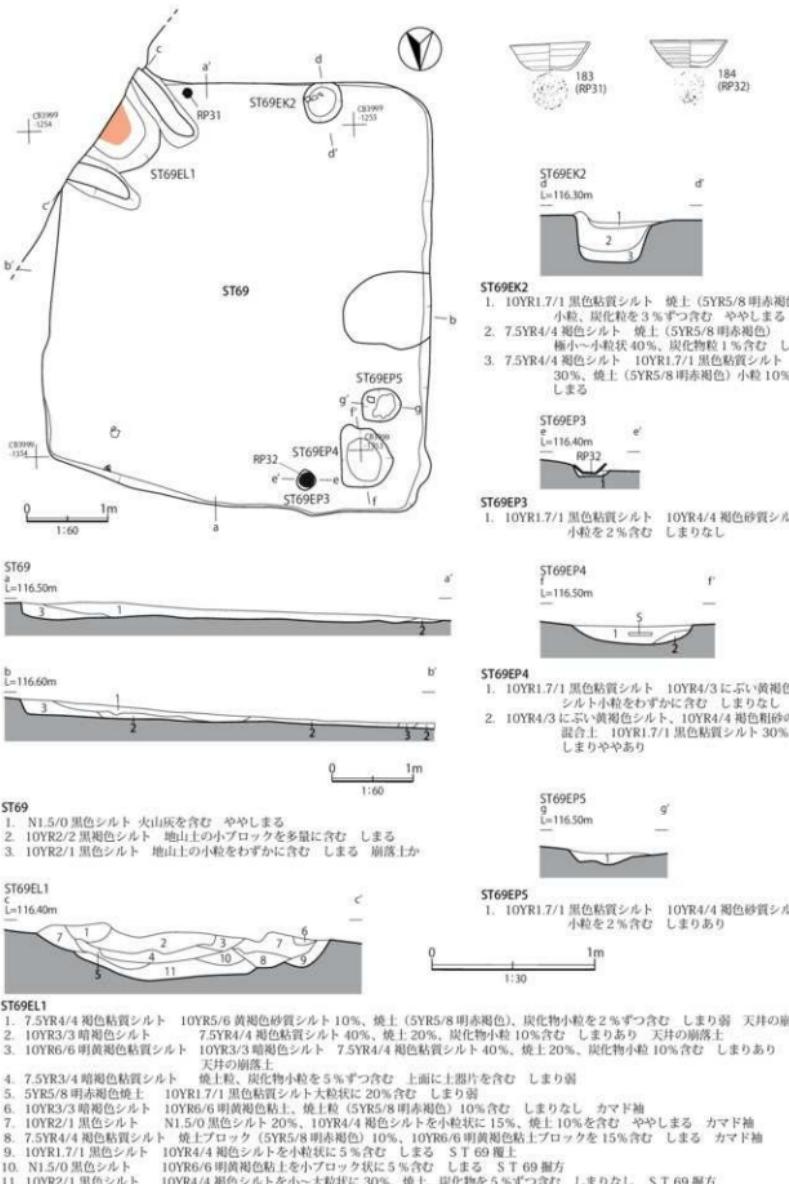


第26図 ST63 積穴住居跡(1)

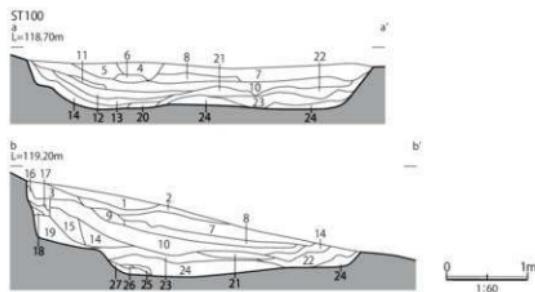
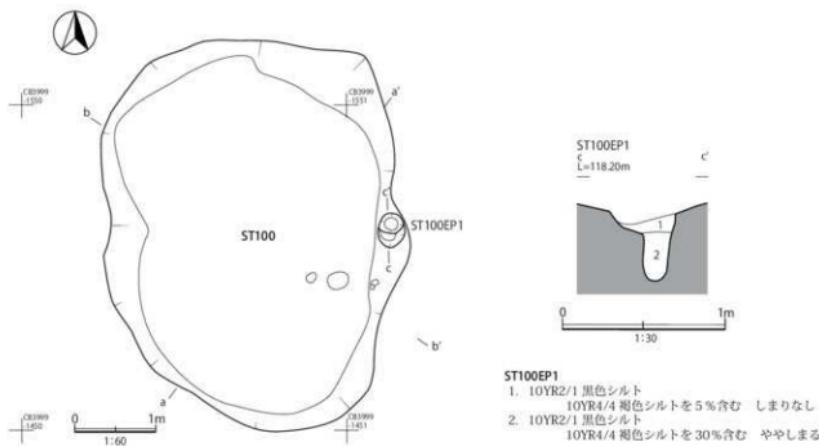


- ST63 壁面断面**
- 7.5YR1.7/1 黒色シルト (含む: 上器片, 炭化物)
 - 10YR2/1 黑褐色シルト (含む: 地山ブロック 20%)
 - 7.5YR3/3 暗褐色シルト (含む: 7.5YR5/6 明褐色硬土ブロック 30%, 炭化物)
 - 10YR2/2 黑褐色シルト (含む: 地山ブロック 40%)
 - 7.5YR1.7/1 黑色シルト (含む: 黒ボク土層)
 - 10YR2/1 黑褐色シルト (含む: 地山ブロック 10%, 上器片)

第27図 ST63 穫穴住居跡 (2)



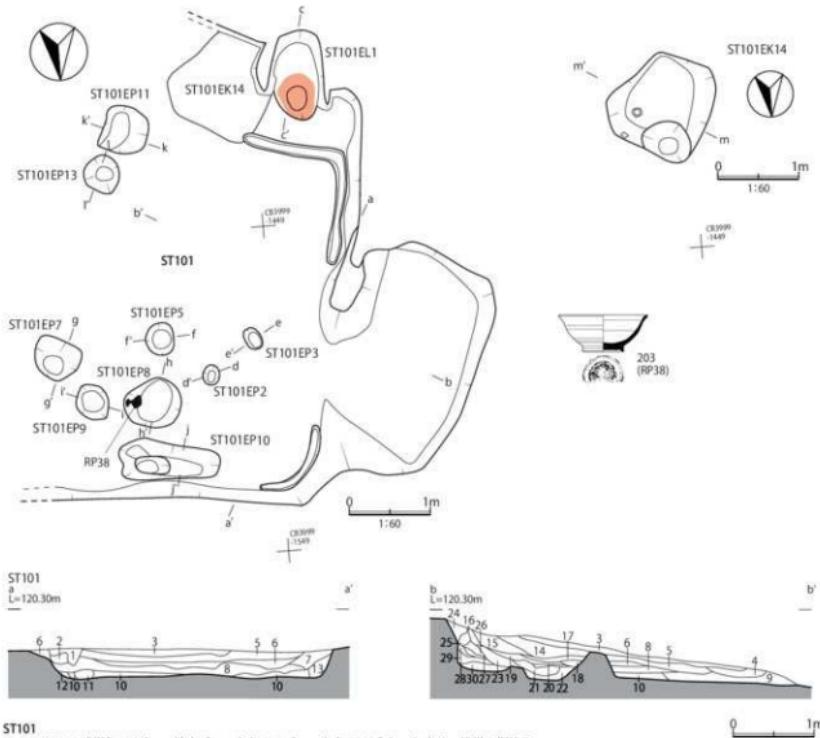
第28図 ST69 窓穴住居跡



ST100

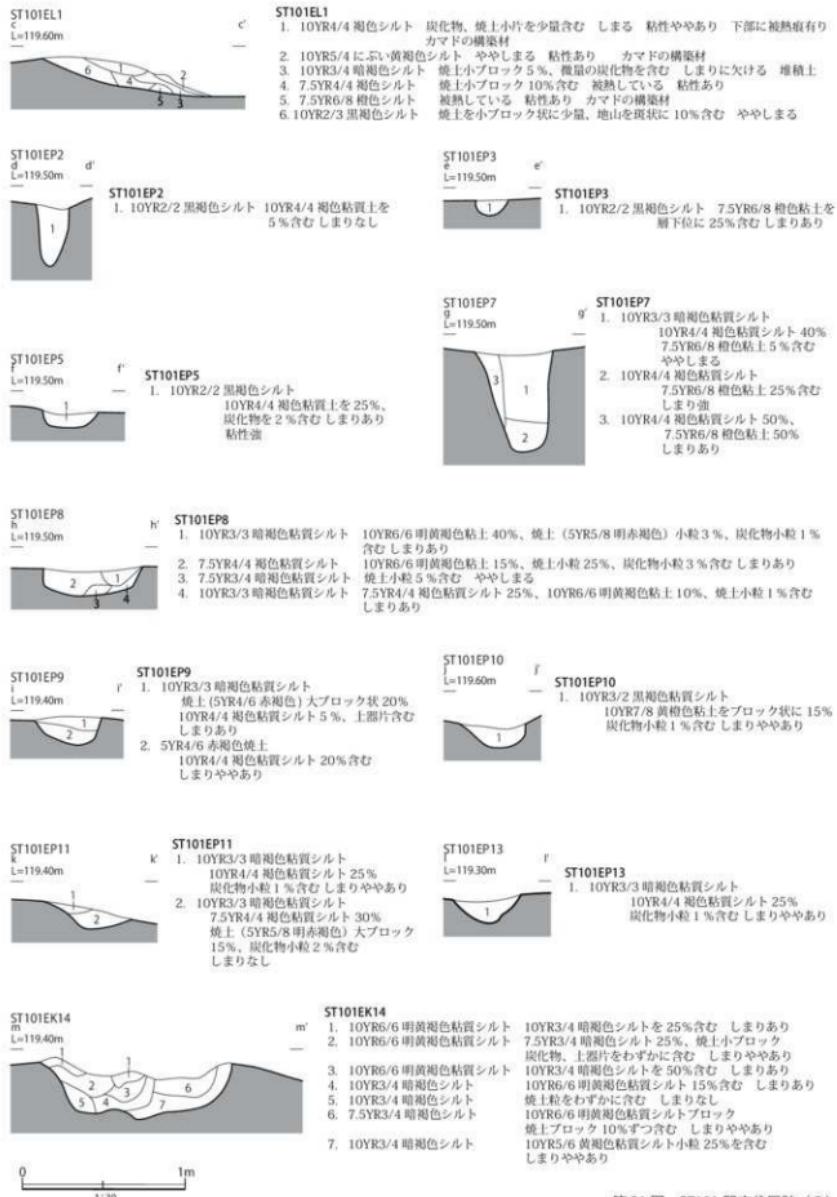
1. 10YR4/3に碧い黄褐色シルト 小葉(径1-3mm)を含む ややしまりに欠ける 堆積地山土
2. 10YR6/6明黄色褐色シルト 黒褐色シルト
3. 10YR2/2黒褐色シルト
4. 2.5Y3/2黒褐色シルト
5. 7.5Y3/1暗褐色シルト
6. 10YR6/6明黄色褐色シルト
7. 10YR3/2黒褐色シルト
8. 10YR6/6明黄色褐色シルト
9. 10YR2/2黒褐色シルト
10. 10YR2/1黑色シルト
11. 10YR2/1黑色シルト
12. 10YR2/3黒褐色シルト
13. 10YR3/2黒褐色シルト
14. 10YR2/2黒褐色シルト
15. 2.5Y3/3暗褐色シルト
16. 7.5Y3/1暗褐色シルト
17. 10YR8/8黄色褐色シルト
18. 10YR3/2黒褐色シルト
19. 10YR6/6明黄色褐色シルト
20. 10YR3/3暗褐色シルト
21. 10YR8/2灰白色粘土
22. 10YR3/2黒褐色シルト
23. 10YR6/6明黄色褐色シルト
24. 10YR2/1黑色シルト
25. 10YR3/4暗褐色シルト
26. 2.5Y3/2黒褐色シルト
27. 10YR6/6明黄色褐色シルト

第29図 ST100 竪穴住居跡

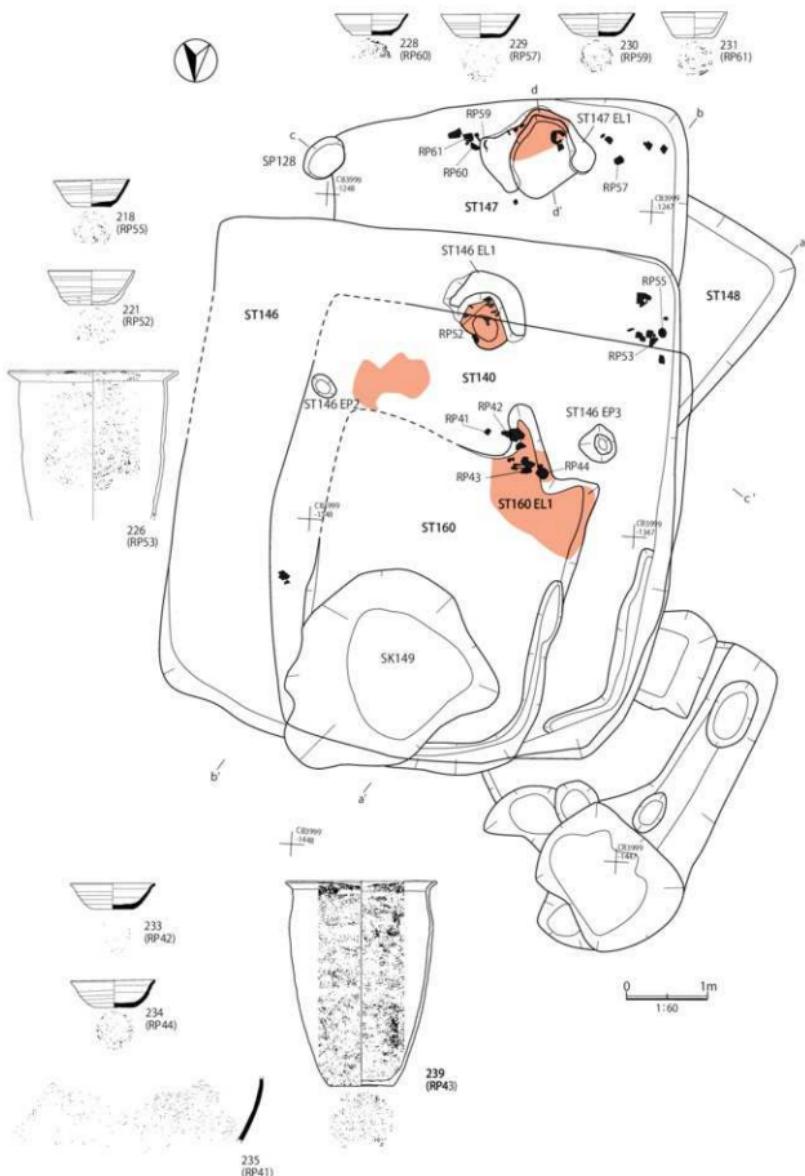
**ST101**

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 地山ブロックと3のブロックを20%含む しまる 後世の掘込み
2. 10YR4/2 灰黄褐色シルト しまりに欠ける 地山上ブロックを25%含む 後世の掘込み
3. 2.5Y2/1 黒褐色シルト しまりに欠ける 黒ボク土の混込み
4. 10YR3/2 黒褐色シルト しまりに欠ける 黒ボク土と地山上の混合土
5. 10YR3/2 黒褐色シルト しまりに欠ける 黒ボク土と地山上の混合土
6. 2.5Y3/3 褐オーラリーブ褐色シルト 混化した灰白色火山灰 (10YR5/4にぶい黄褐色) ブロックを10%含む ややしまりに欠ける
7. 10YR3/2 黑褐色シルト 灰色火山灰を多く微量含む ややしまる
8. 10YR2/2 黑褐色シルト 硫化物、鐵上小片を微量含む ややしまる
9. 10YR3/2 黑褐色シルト 地山上ブロックを1%、微量の炭化物を含む しまりに欠ける
10. 2.5Y3/3 褐オーラリーブ褐色シルト 地山上ブロックを1%、微量の炭化物を含む しまりに欠ける
11. 7.5Y7/6 黑褐色シルト しまりに欠ける 地山上ブロックに黒ボク土を斑状に15%含む
12. 10YR3/2 黑褐色シルト 地山上を斑状に30%含む しまりに欠ける
13. 10YR2/2 黑褐色シルト 地山ブロックを10%含む しまりに欠ける
14. 10YR3/2 黑褐色シルト 微量の炭化物を含む ややしまりに欠ける
15. 10YR3/2 黑褐色シルト 地山上ブロックを10%、微量の炭化物を含む しまりに欠ける
16. 10YR3/2 黑褐色シルト 地山上を斑状に30%、微量の炭化物を含む ややしまりに欠ける
17. 10YR7/4にぶい黄褐色火山灰 灰白色火山灰 堆積層 しまる
18. 10YR4/4 褐色シルト 灰白色火山灰を斑状に15%、燒上、炭化物を微量含む しまりに欠ける
19. 10YR3/1 黑褐色シルト 砂礫 (径2~5mm) をごく微量含む しまりに欠ける 黏性ややあり
20. 5YR6/2 褐色粘質シルト 地山上を斑状に20%含む しまる 酸化した地山上 黏土か
21. 10YR3/2 黑褐色シルト 地山上ブロックを30%含む しまる
22. 2.5Y3/2 黑褐色シルト 炭化物を微量に含む ややしまる
23. 10YR3/2 黑褐色シルト 地山上を斑状に10%、燒上小片を微量に含む ややしまる
24. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 地山上及び酸化した地山上ブロックを10%含む しまる 24~29:崩落土
25. 10YR6/6 明黄褐色シルト ややしまる 地山の崩落土
26. 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 地山を斑状に20%含む しまりに欠ける
27. 10YR3/3 暗褐色シルト 地山に30%含む ややしまる
28. 10YR5/4 褐色シルト 酸化した地山を斑状に40%含む ややしまる
29. 10YR6/6 明黄褐色シルト しまりに欠ける 地山の崩落土
30. 10YR3/2 黑褐色シルト 黒ボク土に地山ブロックを10%含む しまりに欠ける 崩落土

第30図 ST101 竪穴住居跡（1）

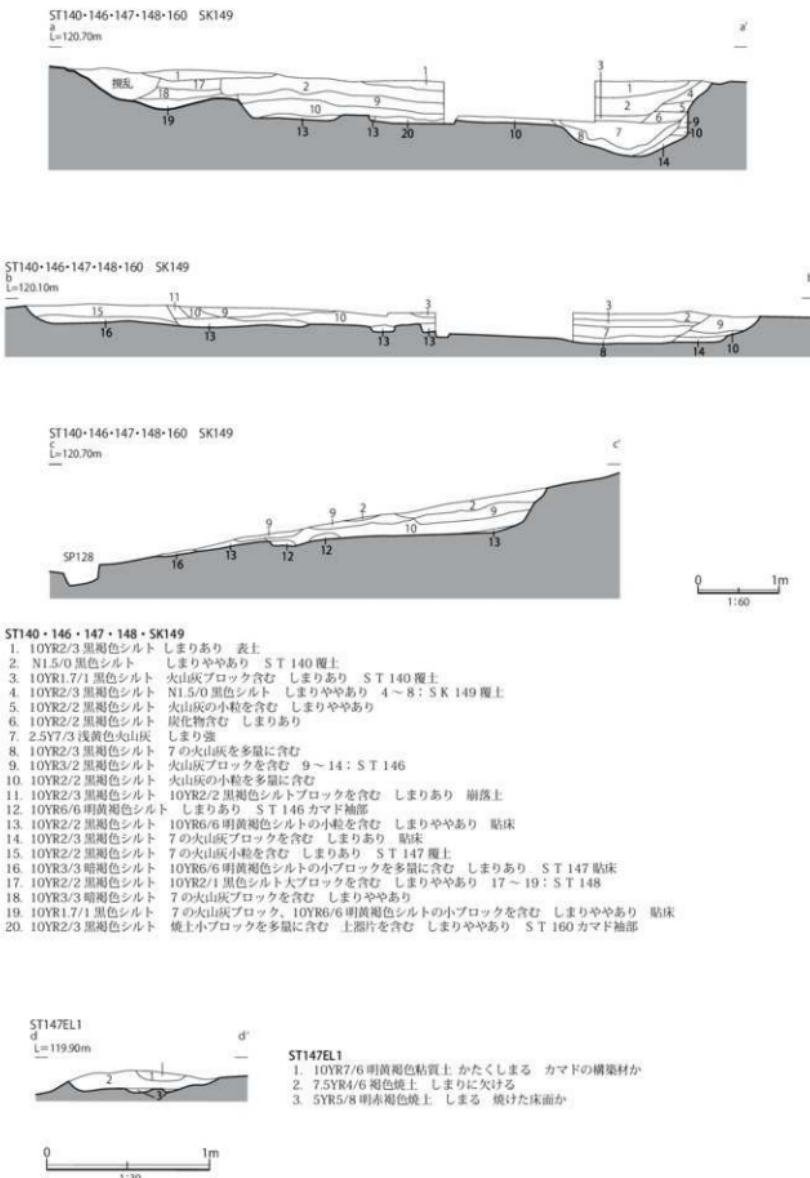


第31図 ST101 積穴住居跡（2）

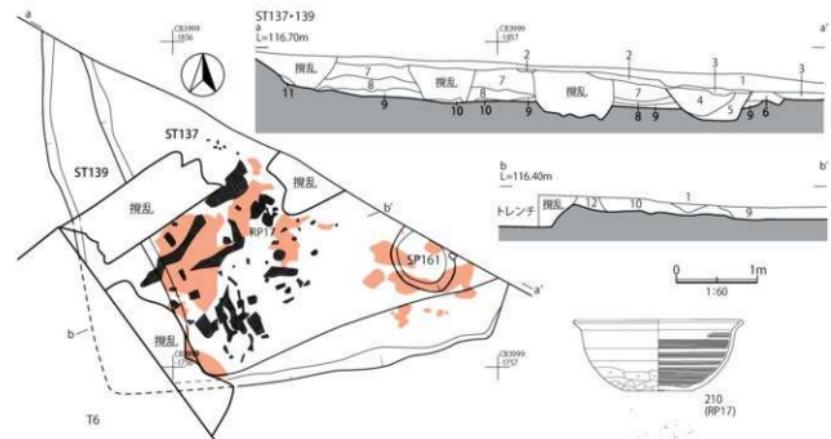


第32図 ST140・146・147・148・160 竪穴住居跡 SK149 土坑(1)

III 遺構と遺物

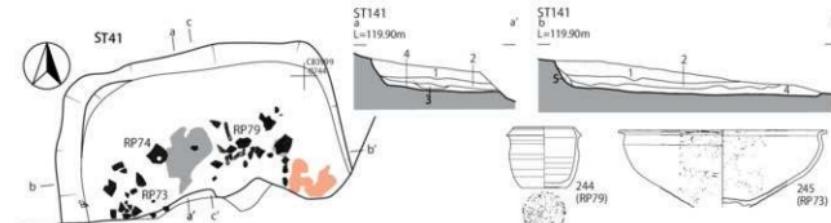


第33図 ST140・146・147・148・160 竪穴住居跡 SK149 土坑(2)



ST137・139

1. 10YR4/2 黒褐色シルト 10YR4/4 褐色シルト小粒 25%含む しまりあり 稲作土
2. 10YR4/2 黒褐色シルト 10YR2/2 黒褐色シルト 25%含む しまる
3. 10YR4/4 褐色シルト 10YR2/1 黑色シルト 50%含む しまる
4. 10YR2/1 黑色シルト 10YR3/4 暗赤褐色 小粒 10%, 炭化物少量含む ややしまる SP 161
5. 10YR2/1 黑色シルト 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 小粒 10%, 稲土小粒 10%含む しまる S P 161
6. 10YR2/1 黑色シルト 10YR4/4 褐色シルト 40%, 稲土小粒 2%含む しまる
7. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 50%, 10YR2/1 黑色シルト 50%の混合土 ややしまる ST 137 覆土
8. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR4/4 褐色シルト 40%, 炭化物を少量含む ややしまる ST 137 覆土
9. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 多量の炭化物、施土を含む ややしまる ST 137 覆土
10. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR4/4 褐色シルト大ブロック 50%, 炭化物多量に含む しまる ST 137 覆土
11. 10YR2/2 黑色シルト 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 25%, 10YR4/3に似る黄褐色シルト 25%含む しまりなし 稲土粒、炭化物粒を少量含む 固くしまる ST 139 覆土
12. 10YR2/2 黑褐色シルト



ST141

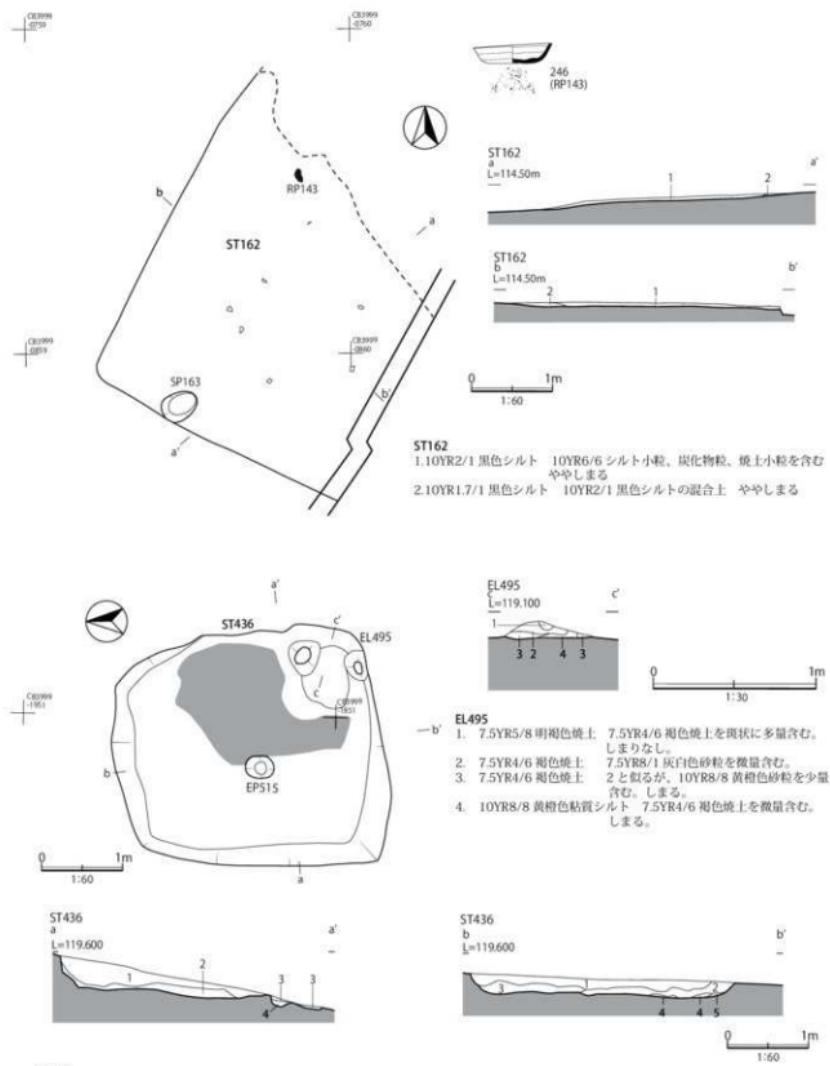
1. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトを含む ややしまる
2. 10YR7/6 火山灰 10YR2/2 黑褐色シルトを含む 下位に炭化材、炭化物ブロックを含む しまる
3. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR7/6 火山灰ブロックを多く含む しまる
4. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR4/4 シルト、炭化物小粒、上器を含む しまる
5. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR4/4 シルト小粒を含む しまりなし ※崩落土か



ST141 挿方

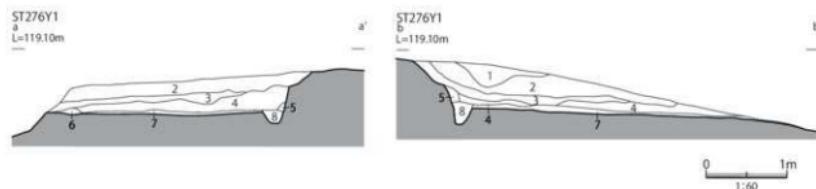
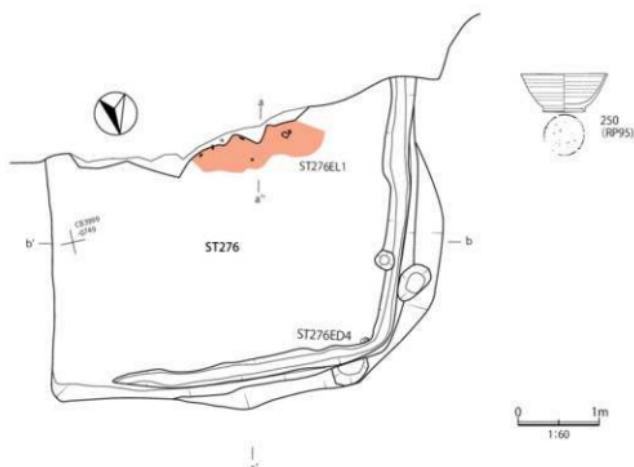
1. 10YR2/1 黑色シルト。10YR2/2 黑褐色シルトの混合土 ややしまる
2. 10YR3/3 シルト。10YR5/6 砂質シルトの混合土 ややしまる

第34図 ST137・139・141 竪穴住跡

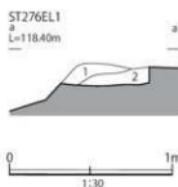
**ST436**

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR2/1 黒色シルトを斑状に少量含む。10YR7/8 黄褐色粘質シルトをブロック状に少量含む。7.5YR6/6 粉色綿上を粒状に微量含む。しまる。
2. 10YR3/3 暗褐色シルト 10YR8/8 黄褐色粘土を斑状。ブロック状に少量含む。10YR8/1 灰白色砂粒を微量含む。7.5YR7/8 黄褐色綿上を微量含む。しまる。
3. 10YR4/6 褐色シルト 10YR7/8 黄褐色綿上をブロック状に微量含む。しまる。
4. 10YR4/4 褐色シルト 10YR4/1 褐色シルトを斑状に少量含む。10YR7/8 黄褐色粘土を粒状に少量含む。しまる。
5. 10YR4/4 褐色シルト 10YR7/8 黄褐色粘土をブロック状に少量含む。しまりなし。

第35図 ST162・436 竪穴住居跡

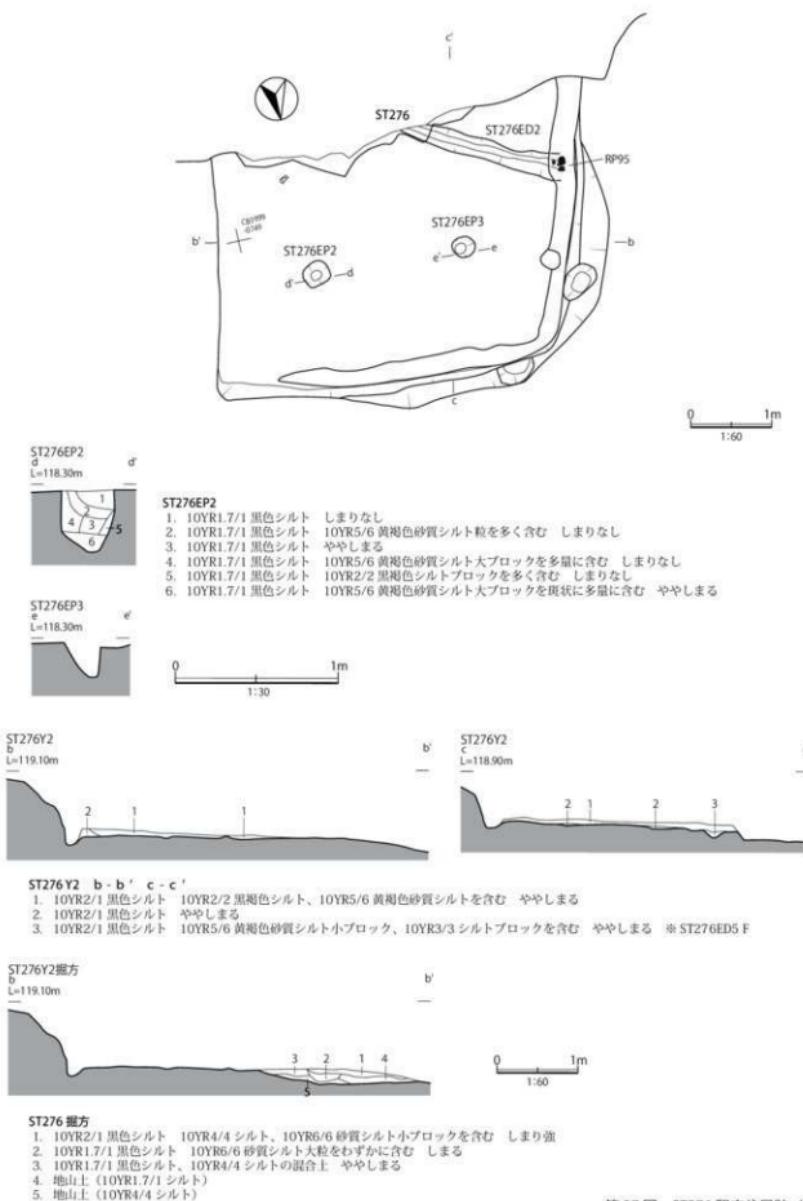
**ST276**

1. IOYR2/1 黒色シルト 1OYR1.7/1 黒色粘質シルトを含む ややしまる
2. IOYR1.7/1 黒色粘質シルト 1OYR2/2 黒色シルトを少量含む ややしまる
3. IOYR2/2 黒褐色シルト 1OYR5/4 火山灰をブロック状に含む ややしまる ※上面=火山灰検出面
4. IOYR2/2 黑褐色シルト 1OYR5/6 黄褐色シルト(地山上) 小粒を含む しまる
5. IOYR2/2 黑褐色シルト 1OYR5/6 黄褐色シルト(地山上) ブロックを多く含む しまりなし ※崩落土か
6. IOYR2/1 黒色シルト 烧上 (7.5YR4.6) を含む ややしまる ※ST 276 E.1
7. IOYR1.7/1 黑色粘質シルト 1OYR2/2 黑褐色シルト, 1OYR5/6 黄褐色シルト(地山上) 小粒を含む しまり強 ※上面=床面
8. IOYR2/1 黑色シルト 1OYR5/6 黄褐色砂質シルト小ブロックを 多く含む ややしまる ※ST276ED4 F

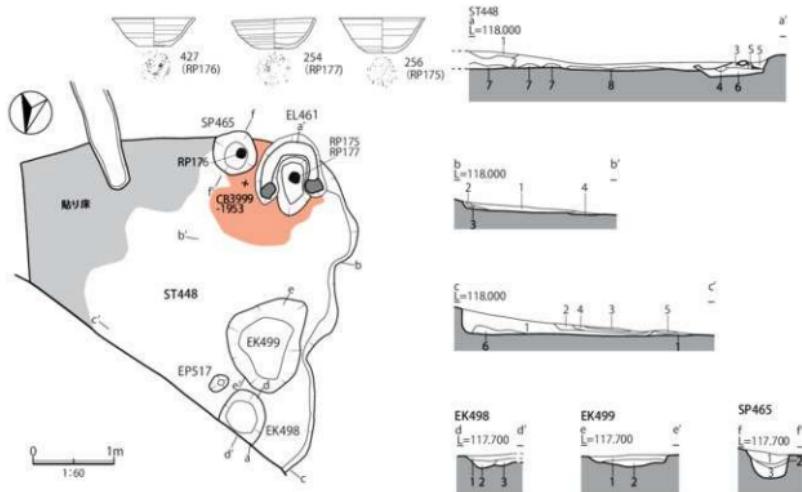
**ST276EL1**

1. IOYR2/1 黒色シルト 烧土 (7.5YR4.6) を少量含む ややしまる
2. IOYR1.7/1 黑色シルト 1OYR5/6 黄褐色シルトを少含む しまる ※貼床

第36図 ST276 壁穴住居跡（1）



第37図 ST276 竪穴住居跡 (2)

**ST448 a-a'**

1. 10YR1/7/1 黒褐色シルト
 2. 10YR3/2 黒褐色シルト
 3. 7.5YR6/6 白褐色土上
 4. 2.5YR4/6 赤褐色焼土
 5. 2.5YR3/4 喰赤褐色焼土
 6. 5YR4/4 にぶい黄褐色焼土
 7. 10YR3/1 黒褐色シルト
 8. 10YR2/2 黒褐色シルト
- 10YR3/2 黒褐色シルトを斑状に少量含む。火山灰をブロック状に多量に含む。固くしまる。
 10YR6/6 明黄褐色粘土をブロック状、点状に含む。固くしまる。
- カマド燃焼部
 カマド燃焼部
 カマド燃焼部
 カマド燃焼部
 カマド燃焼部
- 10YR6/6 明黄褐色粘土を点状に多量含む。しまる。
- 10YR6/6 明黄褐色粘土をブロック状に少量含む。固くしまる。

b-b'

1. 10YR3/2 黒褐色シルト
 2. 10YR4/4 褐色砂質シルト
 3. 10YR3/3 喰褐色シルト
 4. 5YR4/3 にぶい赤褐色焼土上
- 10YR6/6 明黄褐色粘土をブロック状、点状に含む。固くしまる。
- 2.5YR4/6 赤褐色焼土を点状に微量含む。10YR 黒褐色シルトを含む。しまる。
- 炭化粒を点状に微量含み、2.5YR4/6 赤褐色焼土粒も点状に微量含む。

c-c'

1. 10YR3/2 黒褐色シルト
 2. 10YR3/2 黒褐色シルト
 3. N1.5/0 黑色粘質シルト
 4. 10YR7/3 にぶい黄褐色火山灰
 5. 10YR7/3 にぶい黄褐色火山灰
 6. 10YR3/1 黒褐色シルト
- 10YR6/6 明黄褐色粘土をブロック状、点状に含む。固くしまる。
- 10YR2/1 黒色シルトを斑状に少量含む。しまる。
- 火山灰をブロック状で少量含む。しまる。
- 3の上を点状に微量、1の上を斑状に少量含む。しまる。
- 1の上を斑状に多量含む。しまる。
- 10YR6/6 明黄褐色粘土を点状、斑状に多く含む。しまる。

EK498

1. 10YR2/3 黒褐色シルト
 2. 2.5YR3/3 喰褐色焼土上
 3. 7.5YR3/4 喰褐色シルト
- 10YR5/6 黄褐色砂質シルトを帶状、ブロック状に少量含む。しまる。
- 7.5YR3/3 喰褐色シルトを斑状に含む。しまる。
- 5YR4/6 黄褐色焼土をブロック状に少量含む。しまる。

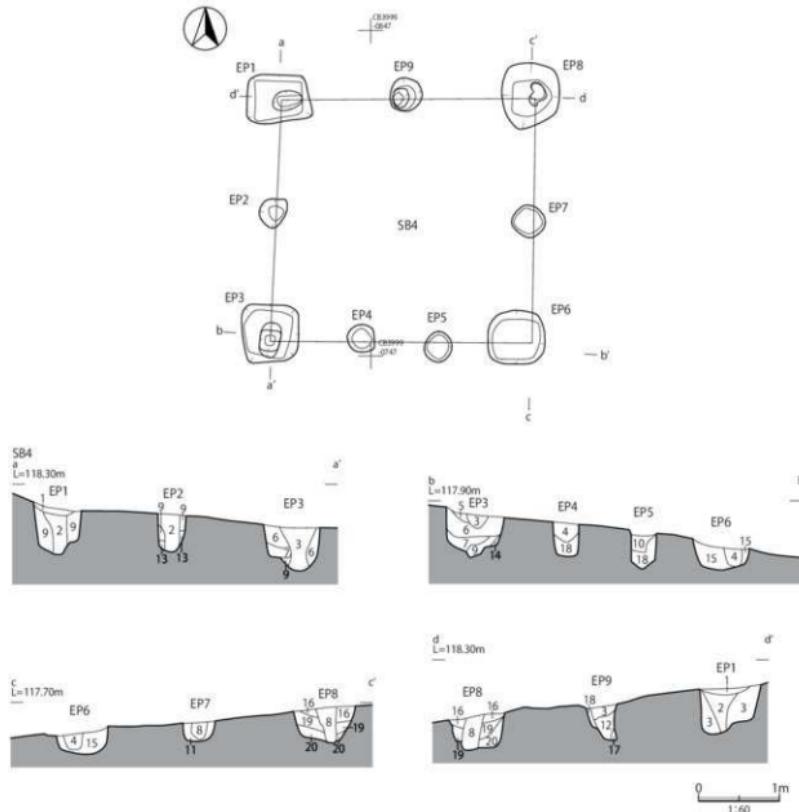
EK499

1. 10YR2/2 黒褐色シルト
 2. 10YR2/3 黒褐色シルト
- 10YR5/6 黄褐色粘質シルトをブロック状に少量含む。しまる。
- 10YR5/6 黄褐色粘質シルトを斑状に多量含む。しまる。

SP465

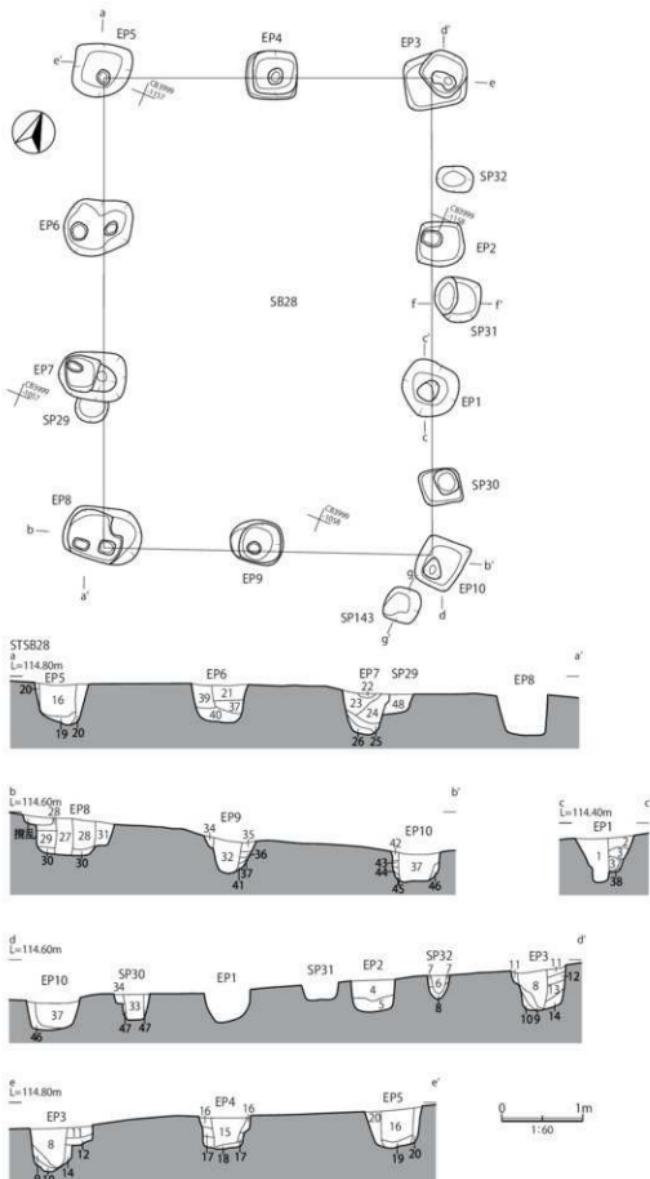
1. 10YR2/3 黒褐色シルト
 2. 7.5YR4/4 褐色シルト
 3. 10YR3/2 黒褐色シルト
- 10YR4/4 褐色シルトを点状に微量含む。炭化粒を点状に微量含む。固くしまる。
- 5YR4/6 褐色焼土を点状、ブロック状に少量含み、炭化粒を微量含む。上器含む。しまる。
- 10YR5/6 黄褐色シルトをブロック状に少量含む。固くしまる。

第38図 ST448 穴住居跡

**SB4**

1. 10YR3/3 單褐色シルト 10YR2/2 黒褐色シルト 10%含む ややしまる
2. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混台上 10YR3/3 單褐色シルトを10%含む ややしまる
3. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混台上 10YR3/3 單褐色シルトを10%含む しまりなし
4. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混台上 10YR3/3 單褐色シルトを10%含む しまる
5. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR5/6 黄褐色シルトを極小粒径に10%含む しまりなし
6. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 25%、10YR5/6 黄褐色シルトを小~大ブロック状に25%含む
7. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 10%、10YR5/6 黄褐色シルトを小ブロック状に25%含む
8. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 15%、10YR3/3 單褐色シルト 20%含む ややしまる
9. 10YR1.7/1 黑色シルト 75%、10YR2/2 黑褐色シルト 25%の混台上 しまる
10. 10YR1.7/1 黑色シルト 75%、10YR2/2 黑褐色シルト 25%の混台上 ややしまる
11. 10YR1.7/1 黑色シルト 75%、10YR2/2 黑褐色シルト 25%の混台上 固くしまる
12. 10YR1.7/1 黑色シルト 75%、10YR2/2 黑褐色シルト 25%の混台上 しまりなし
13. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルト 25%、10YR5/6 黄褐色シルトを小~大粒状に25%含む ややしまる
14. 10YR4/3 にぶ、黄褐色シルト、10YR1.7/1 黑色シルトの混台上 ややしまる
15. 10YR1.7/1 黑色シルト 75%、10YR2/2 黑褐色シルト 25%の混台上 10YR5/6 黄褐色シルトの極大ブロック
16. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 10%含む しまる
17. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR5/6 黄褐色シルトをブロック状に25%含む しまりなし
18. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混台上 しまる
19. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混台上 ややしまる
20. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 25%含む しまる

第39図 SB4 捩立柱建物跡



第40図 SB28 挖立柱建物跡

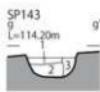
SB28

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小粒をわずかに含む しまる
2. 10YR2/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロックを含む しまる
3. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロックをやや多量に含む しまる
4. N1.5/0 黒色シルト 10YR2/2 黒褐色シルト。10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロックを含む ややしまる
5. 10YR3/3 暗褐色砂質シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロックを含む しまり弱
6. 10YR2/2 黒褐色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロックを含む しまり弱
7. 10YR3/2 黑褐色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロックを含む しまり弱
8. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロックをわずかに含む しまりなし
9. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック多量に含む しまる
10. 10YR6/8 明黄褐色砂質シルト 10YR1.7/1 黒色シルトをわずかに含む しまる
11. 10YR2/2 黑褐色シルト しまる
12. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック含む ややしまる
13. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトを含む しまりなし
14. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック多量に含む しまる
15. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック含む しまりなし
16. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック含む ややしまる
17. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロック含む ややしまる
18. 10YR6/8 明黄褐色砂質シルト 10YR2/1 黑色シルトを含む しまる
19. 10YR6/8 明黄褐色砂質シルト 10YR2/1 黑色シルトを含む しまる
20. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロック少量含む しまり弱
21. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロック含む しまり強
22. 10YR3/1 黑褐色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロックを含む しまる
23. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロックを含む しまり弱
24. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロック含む ややしまる
25. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロック多量に含む しまる
26. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロックを含む しまる
27. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロックを含む しまる
28. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック含む しまる
29. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小粒を含む しまる
30. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロックを含む しまる
31. 10YR2/1 黑色シルト しまる
32. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロック含む しまりなし
33. 10YR3/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック含む しまり弱
34. 10YR2/2 黑褐色シルト しまる
35. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック多量に含む しまる
36. 10YR6/8 明黄褐色砂質シルト 10YR1.7/1 黑色シルトを含む しまる
37. 10YR1.7/1 黑色シルト ややしまる
38. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロック含む しまる
39. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック含む ややしまりに欠ける
40. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック多量に含む ややしまりに欠ける
41. 10YR6/8 明黄褐色砂質シルト 10YR1.7/1 黑色シルトを含む しまる
42. 10YR2/1 黑色シルト ややしまる
43. 10YR4/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルトを含む しまる
44. 10YR1.7/1 黑色シルト ややしまる
45. 10YR4/4 暗褐色シルト 10YR4/4 暗褐色シルトを層状に含む しまる
46. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック含む ややしまる
47. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロック多量に含む しまる
48. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小プロックを含む ややしまる



SP31

1. 10YR2/1 黑色シルト 10YR3/3 暗褐色シルトを含む しまる
2. 10YR3/3 暗褐色シルト しまる

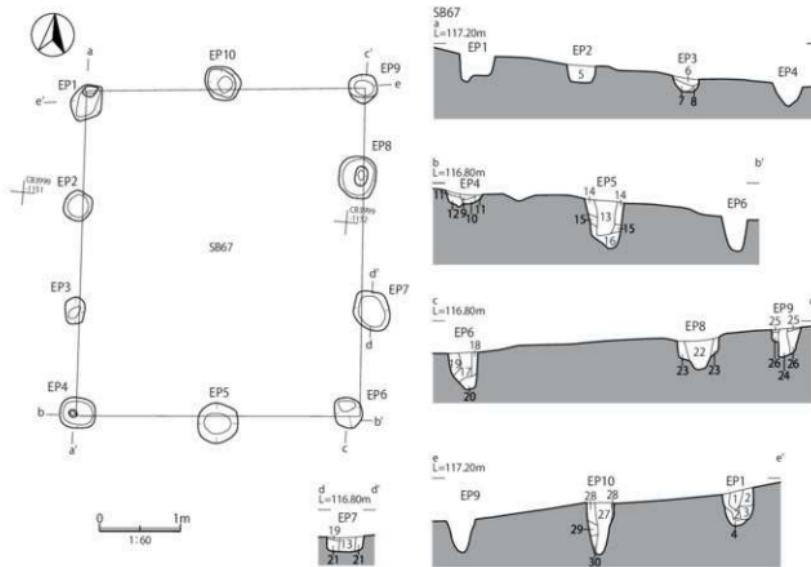


SP143

1. 10YR1.7/1 黑色シルト しまる
2. N1.5/0 黑色シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのプロックを含む しまる
3. 10YR3/4 暗褐色シルト しまる



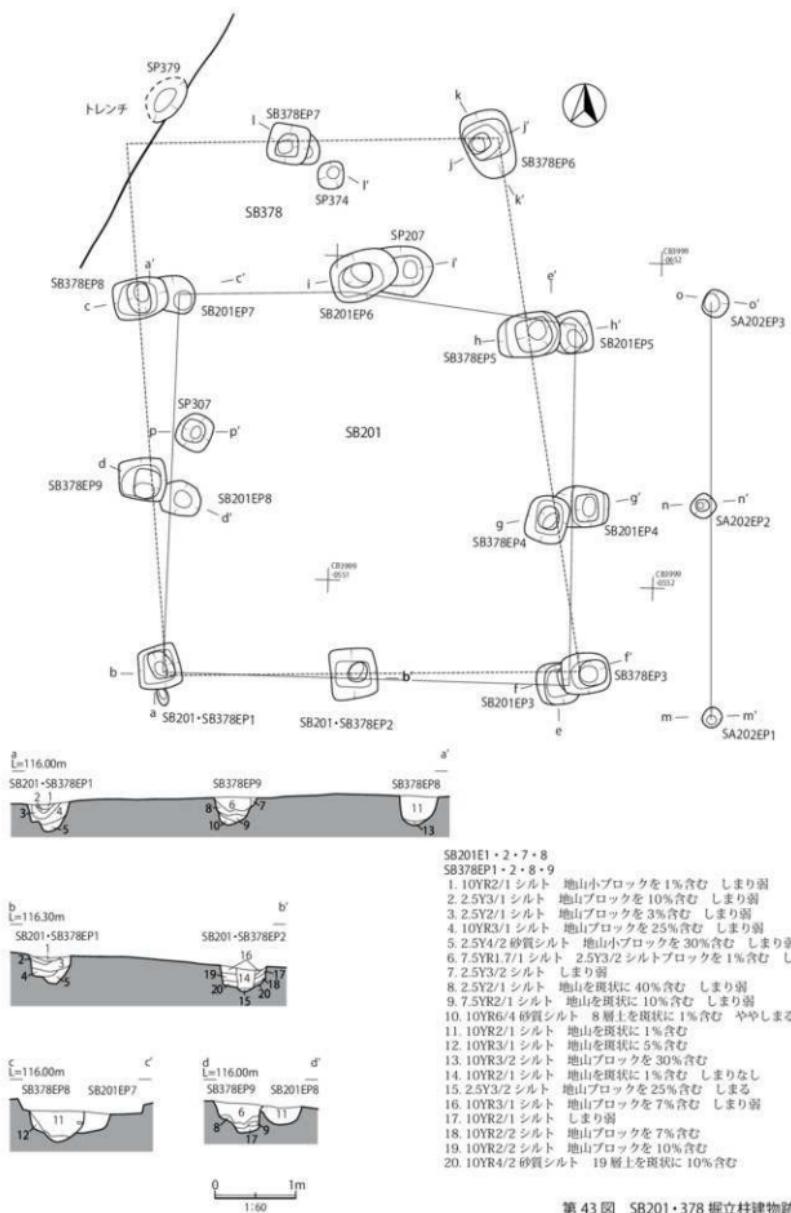
第41図 SB28 挖立柱建物跡・SP31・143



SB67

1. IORY1.7/1 黒色シルト 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に3%含む ややしまる
2. IORY1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黒褐色シルトの混土上 10YRA/4 褐色粘質シルト大粒状25%含む しまる
3. IORY1.7/1 黒色シルト 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に5%含む ややしまる
4. IORY2/2 黑褐色シルト 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に5%含む ややしまる
5. IORY1.7/1 黒色シルト 10YRA/4 褐色粘質シルトを大粒状に10%含む しまりなし
6. IORY1.7/1 黒色シルト 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に3%含む しまりなし
7. IORY1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混土上 10YRA/4 褐色粘質シルトを大粒状に2%含む やや
8. 10YRA/3/にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色シルト 25% 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に25%含む
9. IORY2/2 黑褐色シルト 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に1%含む しまりなし
10. IORY1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混土上 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に3%含む やや
11. IORY4/3/にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色シルト 25% 10YRA/4 褐色粘質シルトをブロック状に25%
12. IORY1.7/1 黒色シルト しまる
13. IORY1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混土上 10YRA/4 褐色砂質シルトを大粒状に5%含む やや
14. IORY1.7/1 黒色シルト 15% の混土を大ブロック状に50%含む ややしまる
15. IORY4/3/にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色シルト 10% 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に40%含む
16. IORY1.7/1 黒色シルト 15% の混土を大ブロック状に75%含む しまる
17. IORY1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混土上 10YRA/4 褐色砂質シルトを大粒状に5%含む しま
18. IORY1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混土上 しまりなし
19. IORY4/3/にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色シルト 25% 10YRA/4 褐色砂質シルトを大粒状に25%含む
20. IORY1.7/1 黑色シルト 10YRA/4 褐色砂質シルトを大粒状に25%含む しまりなし
21. IORY1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混土上
22. IORY1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混土上 しまる
23. IORY1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色シルト 10YRA/3/にぶい黄褐色シルトの混土上 しまる
24. IORY1.7/1 黑色シルト 10YRA/3/にぶい黄褐色シルト 25% 10YRA/4 褐色粘質シルトを大粒状に25%含む
25. IORY1.7/1 黑色シルト 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に10%含む しまる
26. IORY4/3/にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 10% 10YRA/4 褐色粘質シルトを40%含む しまり
27. IORY1.7/1 黑色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混土上 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に1%含む やや
28. IORY1.7/1 黑色シルト 10YRA/3/にぶい黄褐色シルト 25% 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に25%含む
29. IORY1.7/1 黑色シルト 10YRA/3/にぶい黄褐色シルト 25% 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に25%含む
30. IORY1.7/1 黑色シルト 10YRA/4 褐色粘質シルトを小粒状に25%含む

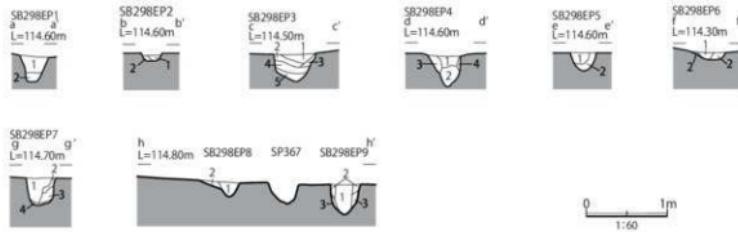
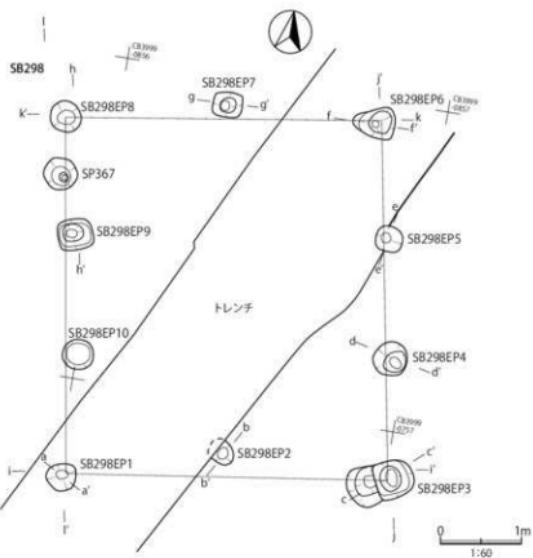
第42図 SB67 据立柱建物跡



第43図 SB201・378 挖立柱建物跡（1）



第44図 SB201・378 挖立柱建物跡（2）

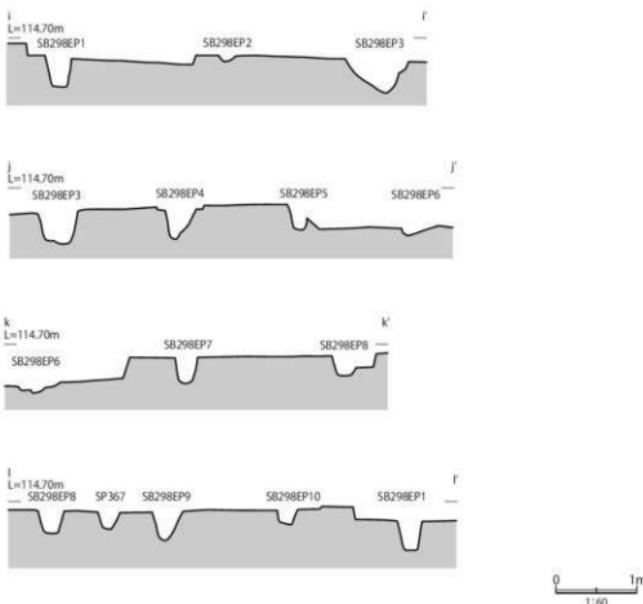


SB298EP 1
 1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黒褐色砂を含む 植物根を含む しまりなし
 2. 10YR1.7/1 黒色シルト 植物根を多く含む しまりなし

SB298EP 2
 1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR2/3 シルトを含む かたくしまる
 2. 10YR2/3 シルト 10YR3/3 シルトを含む ややしまる

SB298EP 3
 1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR5/6 砂質シルト粒を少量含む しまりなし
 2. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色砂質シルト、多量の 10YR5/6 砂質シルトブロックを含む しまりなし
 3. 10YR2/2 黑褐色シルト しまりなし
 4. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR5/6 砂質シルトブロックを多く含む しまる
 5. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR5/6 砂質シルトブロックを非常に多く含む しまる

第 45 図 SB298 掘立柱建物跡 (1)

**SB298EP 4**

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黒褐色シルトを斑に少量含む ややしまる
2. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR3/3 砂を少量含む しまりなし
3. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR2/2 黒褐色シルトブロックを多く含む しまりなし
4. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR5/6 砂質シルト粒を含む しまりなし

SB298EP 5

1. 10YR2/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色シルト小ブロックを含む しまりなし
2. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR2/1 黑色シルトを多量に含む ややしまる

SB298EP 6

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR3/3 シルトを少量含む しまり強
2. 10YR5/6 砂質シルト 10YR1.7/1 黒色シルト、礫を含む しまり強

SB298EP 7

1. 10YR2/1 黒色シルト しまりなし
2. 10YR2/1 黑色シルト, 10YR1.7/1 黑色粘質シルトの混在土 しまりなし
3. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 褐色シルト小粒を少量含む ややしまる
4. 10YR6/6 褐色シルト 10YR1.7/1 黑色粘質シルトを含む しまる

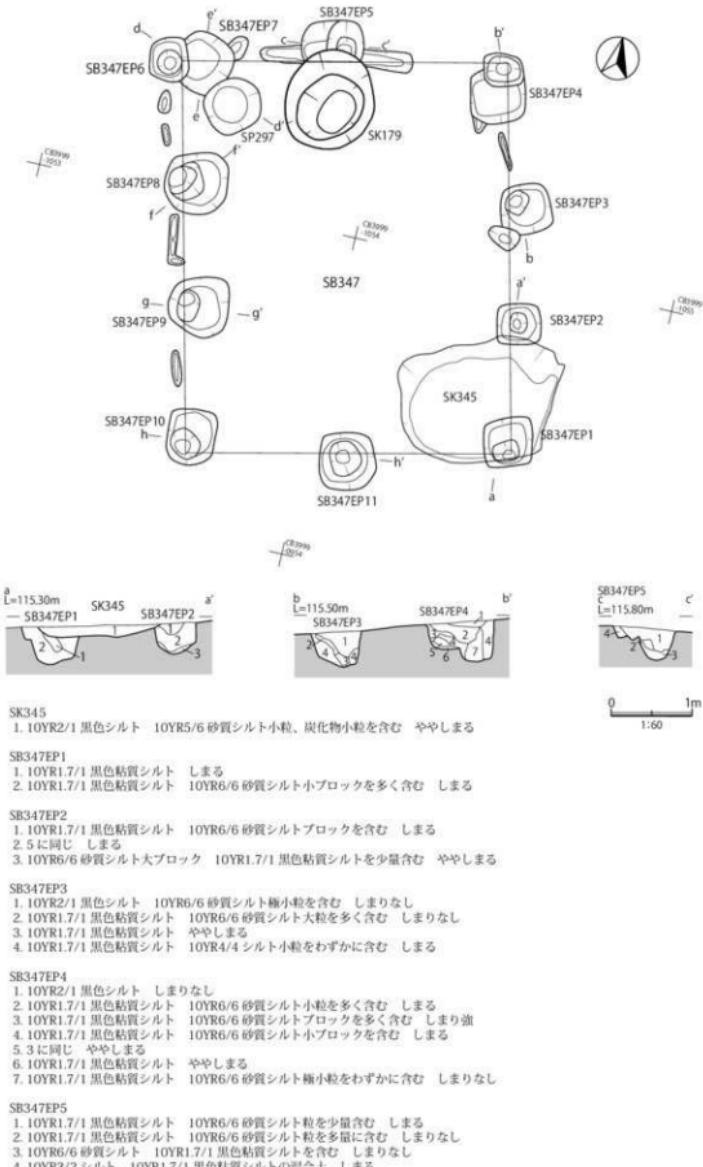
SB298EP 8

1. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/6 褐色シルト小粒を少量含む しまりなし
2. 10YR1.7/1 黑色シルト しまる

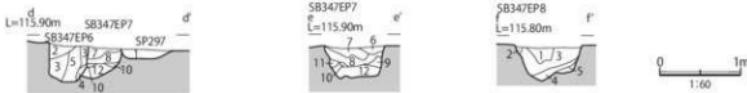
SB298EP 9

1. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 褐色シルト小粒をわずかに含む しまる
2. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 褐色シルト小粒を含む しまる
3. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 褐色シルト小粒を多く含む しまる

第46図 SB298 据立柱建物跡（2）



第47図 SB347 堀立柱建物跡 (1)



SP297

1. 10YR2/2 黒褐色シルト 10YR5/6 砂質シルトを少量含む ややしまる

SB347EP6

2. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 10YR6/6 砂質シルトブロックを多く含む しまる
3. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 10YR6/6 砂質シルト小ブロックを多く含む しまる
4. 10YR6/6 砂質シルト 10YR1.7/1 黒色粘質シルトを少量含む ややしまる
5. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 10YR6/6 砂質シルトを少量含む しまりなし

SB347EP7

6. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 10YR6/6 砂質シルトブロックを含む しまる
7. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 砂質シルト小ブロックを含む しまる
8. 10YR6/6 砂質シルトブロック 10YR1.7/1 黑色粘質シルトをわずかに含む しまり強
9. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 シルト極小粒をやや多く含む しまりなし
10. 10YR4/4 シルト しまる
11. 10YR4/4 シルト, 10YR1.7/1 黑色粘質シルトの混合土 ややしまる
12. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト ややしまる

SB347EP8

1. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/6 砂質シルト小粒を極少量含む ややしまる
2. 10YR3/2 シルト しまりなし ※崩落土
3. 10YR1.7/1 黑色シルト しまる
4. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/6 砂質シルト小粒を少量含む しまる
5. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR6/6 砂質シルト大粒を多く含む しまり強



SB347EP9

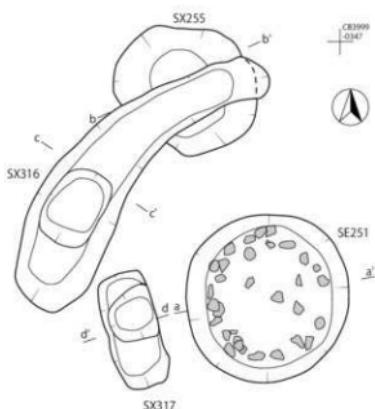
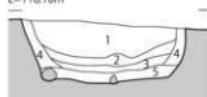
1. 10YR2/2 黑色シルト, 10YR2/2 黑褐色砂質シルトの混合土 10YR5/6 砂質シルト粒を含む しまりなし
2. 10YR2/1 黑色シルト, 10YR2/2 黑褐色砂質シルトの混合土 10YR5/6 砂質シルト しまる ややしまる
3. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR5/6 砂質シルトをわずかに含む ややしまる
4. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR5/6 砂質シルト大粒を含む ややしまる
5. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR5/6 砂質シルト小ブロックを多く含む しまりなし
6. 10YR6/6 砂質シルト 10YR1.7/1 黑色シルトを少量含む しまりなし
7. 10YR2/1 黑色シルト, 10YR2/2 黑褐色砂質シルトの混合土 しまりなし

SB347EP10

1. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/6 砂質シルト粒を少量含む しまる
2. 10YR2/3 シルト ややしまる
3. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/6 砂質シルト極小粒を多量に含む しまる
4. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト ややしまる
5. 3に同じ ややしまる
6. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト しまりなし
7. 10YR4/6 砂質シルト 10YR1.7/1 黑色粘質シルトを少量含む ややしまる
8. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/6 砂質シルト極小粒を極少量含む ややしまる
9. 10YR6/6 砂質シルトブロック しまり強
10. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト, 10YR6/6 シルトの混合土 10YR6/6 砂質シルトブロックを多量に含む ややしまる
11. 9に同じ しまり強
12. 10に同じ ややしまる

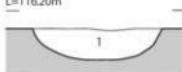
SB347EP11

1. 10YR2/1 黑色シルト しまりなし
2. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/6 砂質シルト小ブロックを多く含む ややしまる
3. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 砂質シルト極小粒を含む しまりなし
4. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト しまりなし
5. 2に同じ ややしまる
6. 10YR2/1 黑色シルト 10YR6/6 砂質シルト小ブロックを少量含む しまりなし
7. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 砂質シルト極小粒をわずかに含む ややしまる
8. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 砂質シルトブロックを多く含む ややしまる
9. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR4/4 シルト小粒をわずかに含む しまる

SE251
a
L=116.10m

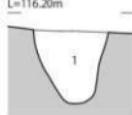
SX251 ※基層序Ⅲ層で検出した。

1. 10YR2/2黒褐色シルト 10YR4/6粘質シルト小粒、水酸化鉄を含む
上位に4をブロック状に含む（壁の崩落土か） ややしまる
2. 10YR2/1褐色粘質シルト しまりなし
3. 10YR4/1褐色粘質シルト 10YR4/4褐色砂質シルトの混合土
しまりなし
4. 10YR4/4褐色砂質シルト 10YR4/6粘質シルトブロックを含む
しまる
5. 10YR6/6粘質シルト、2.5Y5/4シルトの混合土 しまる

SX255
b
L=116.20m

SX255

1. 10YR1.7/1黒色粘質シルト 10YR3/2砂を斑状に多く含む
しまりなし

SX316
c
L=116.20m

SX316

1. 7.5YR2/1黒色シルト 10YR7/6粘質シルトのブロックを多量に含む しまり強

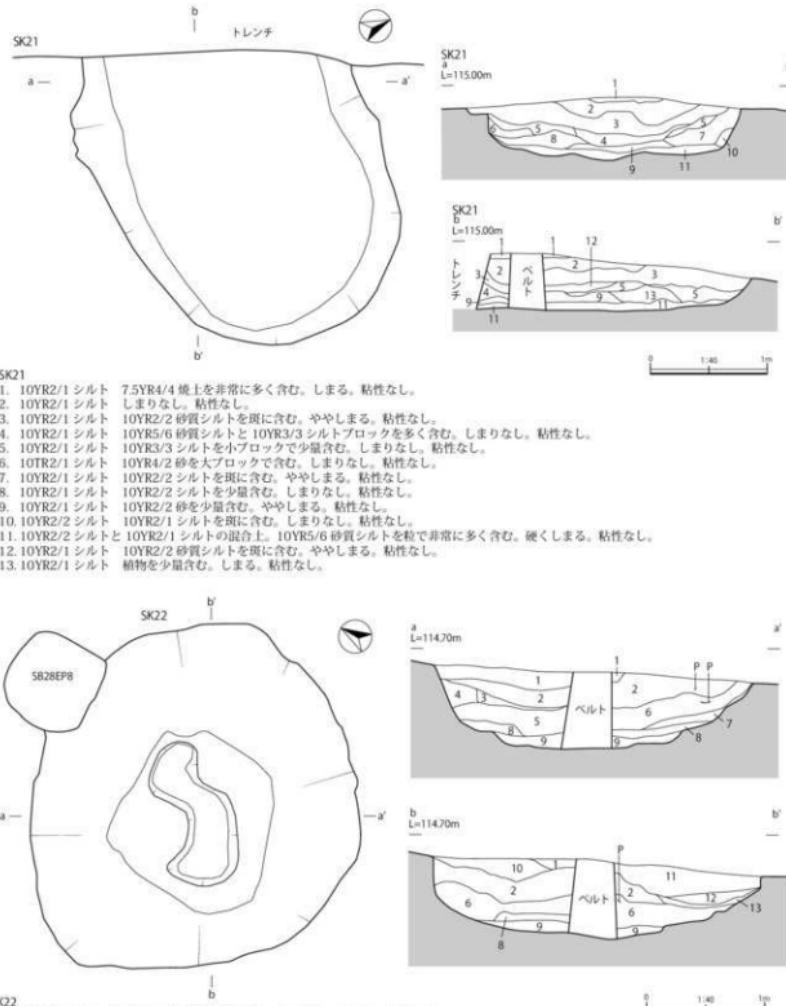
SX317
d
L=116.20m

SX317

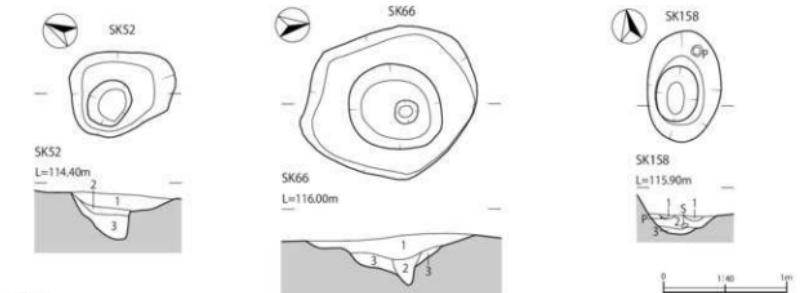
1. 7.5YR2/1黒色シルト 10YR5/6粘質シルトを少量含む しまる
2. 7.5YR2/1黒色シルト 10YR5/6粘質シルト大ブロックを多く含む 黏性あり しまる
3. 7.5YR1.7/1シルト ややしまる



第49図 SE251 井戸跡・SX255・316・317 性格不明遺構



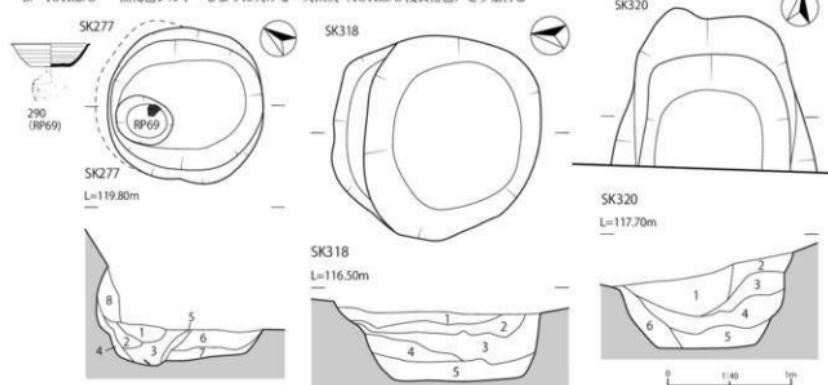
第50図 SK21・22 土坑



- SK 52**
1. 10YR2/2 黒褐色シルト 10YR2/1 黒色粘質シルト 25%、10YR4/4 褐色砂質シルトを小粒状に3%含む しまる
 2. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR2/1 黑色粘質シルトの混合土 10YR4/4 褐色砂質シルトのブロックを10%含む ややしまる
 3. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトを小一大ブロック状に40%含む しまる

- SK 66**
1. 10YR2/2 黑褐色シルト 案上 (7.5)YR5/8 明褐色 ブロック5%、炭化物を層状に5%、多量の土器片を含む しまりややあり
 2. 10YR2/1 黑色シルト 10YR4/4 褐色シルトブロックを10%含む しまりややあり
 3. 10YR2/1 黑色シルト 50%、10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 50% しまりあり

- SK 158**
1. 10YR2/3 黑褐色シルト しまりあり
 2. 10YR2/2 黑褐色シルト しまりあり 10YR4/6 褐色シルト 10%、土器片、礫を含む
 3. 10YR2/3 黑褐色シルト しまりに欠ける 火山灰 (10YR8/3 浅黄褐色) を少量含む

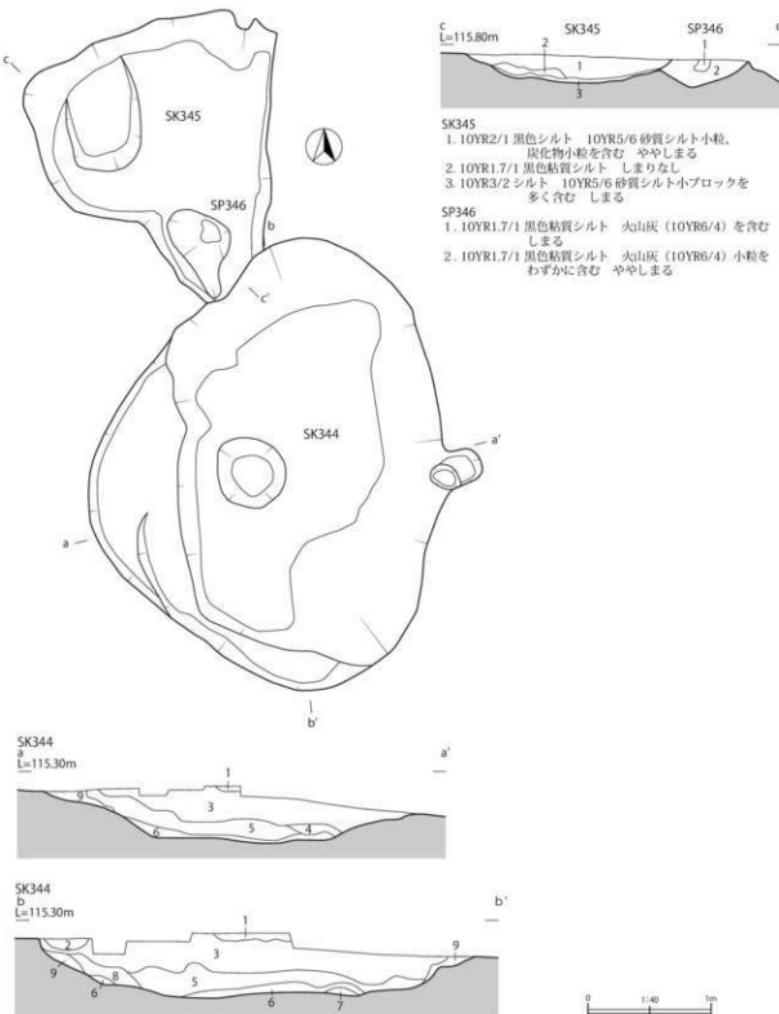


- SK277**
1. 10YR1.7/1 黑色シルト、10YR2/2 黑褐色シルトの混合土 10YR4/4 褐色シルトを少量含む ややしまる
 2. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR4/4 褐色シルトを多く含む ややしまる
 3. 10YR1.7/1 黑色シルト 粘性ややあり ややしまる 崩床面に須田環 (RP) を含む 柱痕か
 4. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR4/4 褐色シルトを小粒状に含む ややしまる
 5. 2.に同じ ややしまる
 6. 10YR1.7/1 黑色シルト、10YR2/2 黑褐色シルトの混合土 10YR4/4 褐色シルトを含む しまる
 7. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR5/6 黄褐色粘質シルトをブロック状に多く含む 粘性ややあり しまる
 8. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR4/4 褐色シルト小粒を多く含む しまりなし 崩落土か

- SK320**
1. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR2/1 黑色粘質シルトを含む ややしまる
 2. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR2/2 黑褐色シルトブロックを含む しまりなし
 3. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR5/6 黄褐色砂粒、多量の10YR2/2 黑褐色シルトブロックを含む ややしまる
 4. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR5/6 黄褐色粘土粒を多く含む しまりなし
 5. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR3/2 黏質シルトブロックを含む しまりなし
 6. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR5/6 黄褐色粘土粒ブロックを少量含む しまりなし

- SK318**
1. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト、10YR2/2 粘質シルトの混合土 火山灰 (10YR6/6) ブロックを多く含む ややしまる
 2. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト、10YR2/2 粘質シルトの混合土 ややしまる
 3. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト、10YR2/2 粘質シルトの混合土 火山灰 (10YR6/6) ブロック、10YR5/2 粘土ブロックを多量に含む ややしまる
 4. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト、10YR2/2 粘質シルトの混合土 10YR5/2 粘土を含む ややしまる
 5. 10YR3/1 粘質シルト 10YR1.7/1 黑色粘質シルト、10YR6/2 粘質シルト (地山上がグライ化したもの) を含む 粘性強 しまりなし

第51図 SK52・66・148・320・277・318土坑

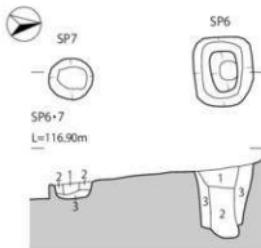


SK344

- 10YR6/6 シルトブロック 硫土粒。炭化物、上部界面を含む。粘りややあり。ややしまる。
- 10YR1.7/1 粘質シルト 10YR5/6 粘質シルト小粒を多量含む。硫土粒、炭化物粒を含む。粘りややあり。やや閉まる。
- 10YR1.7/1 粘質シルト 10YR5/6 粘質シルト小粒を含む。粘りややあり。しまる。
- 10YR1.7/1 粘質シルト 10YR5/6 粘質シルト小粒を多量含む。粘りなし。ややしまる。
- 10YR5/6 砂質シルト 大ブロック。10YR1.7/1 粘質シルトを含む。
- 10YR5/2 シルト 10YR5/4 砂質シルト小ブロックを含む。粘りなし。しまる。
- 10YR5/4 砂質シルト (地山上) ブロック。粘りなし。しまる。
- 10YR1.7/1 粘質シルト 10YR5/6 粘質シルト大ブロックを少量含む。粘りややあり。しまる。
- 10YR3/2 シルト 10YR1.7/1 粘質シルトの混合土。10YR5/6 粘質シルト小粒をわずかに含む。粘りなし。しまる。

第52図 SK344・345 土坑・SP346 柱穴

III 遺構と遺物

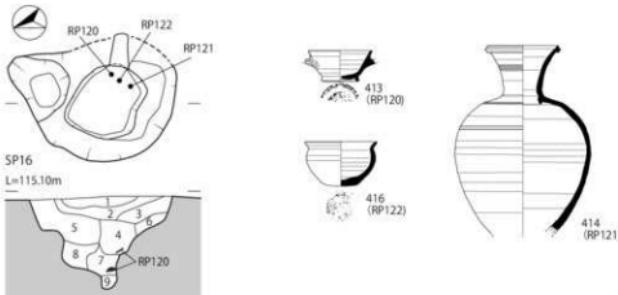


- SP 6**
1. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小ブロック 5%含む しまる
 2. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小~中ブロック 20%含む ややしまる
 3. 10YR2/1 黒色シルト しまり弱

- SP 7**
1. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト ややしまる
 2. 10YR2/1 黒色シルト しまる
 3. 10YR1.7/1 10YR2/1 黒色シルトの混合土 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトの小ブロック 5%含む ややしまる

- SP 8**
1. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 10YR2/1 黒色シルトの混合土 10YR6/8 明黄褐色砂質シルト小粒 5%含む ややしまる
 2. 10YR2/1 黒色シルト 10YR2/2 黒褐色シルト 25%, 10YR6/8 明黄褐色砂質シルトのブロック 25%を含む 木根による混亂?
 3. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト 10YR2/1 黒色シルトの混合土 10YR6/8 明黄褐色砂質シルト小ブロック 10%含む しまりなし
 4. 10YR2/2 黑褐色シルト 下位に 10YR6/6 明黄褐色粘質シルトブロックを 5%含む しまりなし

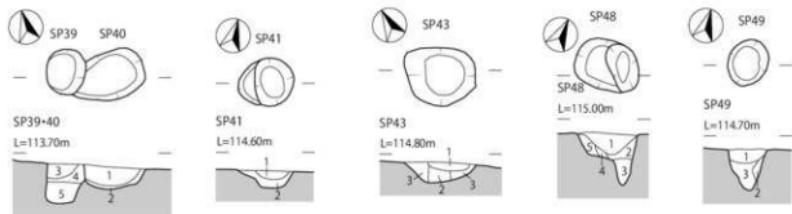
- SP34**
1. 10YR1.7/1 黒色粘質シルト しまる
 2. 10YR4/3 に似い黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色粘質シルトを 15%, 10YR4/4 暗褐色粘質シルト大ブロック状に 15%含む しまりなし
 3. 10YR4/3 に似い黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色粘質シルトの混合土 10YR4/4 暗褐色粘質シルト大粒状に 10%含む しまる
 4. 10YR4/3 に似い黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色粘質シルトを 10%, 10YR4/4 暗褐色粘質シルト大ブロック状に 40%含む ややしまる



- SP16**
1. 10YR2/1 黒色シルト 火山灰 (10YR6/4) 小粒を少量含む しまる
 2. 10YR2/1 黒色シルト 火山灰 (10YR6/4) ブロックを多く含む しまりなし
 3. 10YR2/1 黒色シルト, 10YR2/2 黑褐色シルトの混合土 火山灰 (10YR6/4) 粒を含む しまる
 4. 10YR2/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色砂を多く含む ややしまる
 5. 10YR2/1 黒色シルト 10YR2/2 黑褐色砂を少量含む ややしまる
 6. 10YR2/1 黒色シルト しまる
 7. 10YR2/1 黒色シルト 10YR4/4 砂を粒状に多く含む しまりなし
 8. 10YR2/1 黒色シルト 10YR3/3 砂を粒状に含む ややしまる
 9. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/4 砂を多く含む かたくしまる



第 53 図 SP6・7・8・16・34 柱穴

**SP39・40**

1. 10YR1.7/1 黒色シルト しまる
2. 10YR4/4 褐色粘質シルト 10YR1.7/1 黒色シルトを 25% 含む しまりなし
3. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/4 褐色粘質シルトを 5% 含む しまりなし
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色シルトを 40%、10YR4/4 褐色粘質シルト小粒状に 10% 含む しまる
5. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを 15%、10YR5/6 黄褐色シルト小粒状に 5% 含む ややしまる

SP41

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/4 褐色粘質シルトを 25% 含む ややしまる
2. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/4 褐色粘質シルトを大粒状に 10% 含む ややしまる

SP43

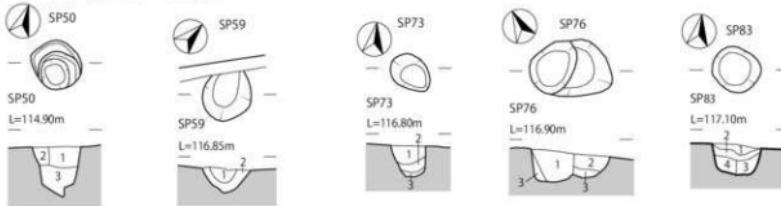
1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂を 10% 含む しまりなし
2. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/4 褐色シルトを大粒状に 20% 含む しまる
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト 10YR4/4 褐色シルトを小粒状に 40%、10YR1.7/1 黒色シルト 10% 含む ややしまる

SP48

1. 10YR2/2 黒褐色シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトの小粒を 5% 含む ややしまる
2. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルトの混合土 しまりなし
3. 10YR1.7/1 黒色シルト しまりなし
4. 10YR1.7/1 黑褐色シルト 10YR2/2 黑褐色シルトの混合土 しまる
5. 10YR4/4 褐色砂質シルト 10YR1.7/1 黑褐色シルトを大粒状に 25% 含む しまりなし

SP49

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトを小粒状に 5%、炭化物小粒 1% 含む ややしまる
2. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトの混合土 10YR4/4 褐色砂質シルトをブロック状に 20% 含む ややしまる
3. 10YR1.7/1 黑色シルト ややしまる

**SP50**

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを 5% 含む しまりなし
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黒色シルトを 25%、10YR4/4 褐色砂質シルト小ブロック状に 5% 含む しまる
3. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトの混合土 10YR4/4 褐色砂質シルトを極小粒状に 20% 含む しまる

SP59

1. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 50%、10YR2/1 黑色シルト 50% の混合土 しまりなし
2. 10YR2/1 黑色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトの混合土 10YR4/6 褐色シルト小ブロック状に 2% 含む ややしまる

SP73

1. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトを大粒状に 25% 含む しまる
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトを小粒状に 20% 含む しまる
3. 10YR4/4 褐色砂質シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを 25% 含む しまる

SP76

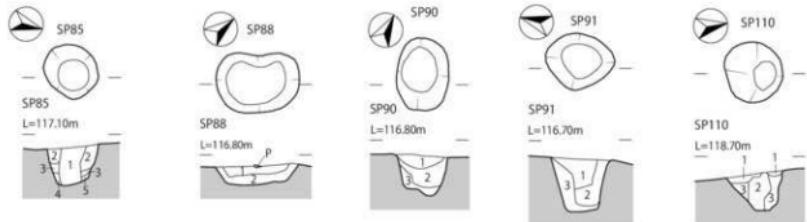
1. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトを小粒状に 20% 含む しまる
2. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトを 25%、下位に 10YR4/4 褐色砂質シルトブロックを含む ややしまる
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトを小一大ブロック状に 30% 含む しまる

SP83

1. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルトの混合土 10YR5/6 黄褐色砂質シルト 1%、炭化物小粒 1% 含む しまる
2. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 25%、10YR5/6 黄褐色砂質シルト 1% 含む しまる
3. 10YB4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR5/6 黄褐色砂質シルト大粒状に 10% 含む しまる
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 15%、10YR5/6 黄褐色砂質シルトブロック 15% 含む しまる



第 54 図 SP39・40・50・59・73・49・50・59・73・76・83 柱穴

**SP85**

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR5/6 黄褐色砂質シルトを大粒状に 20%、炭化物小粒を 1% 含む しまる
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR4/4 黄褐色砂質シルト 40%、10YR5/6 黄褐色砂 5% 含む しまる
3. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR5/6 黄褐色砂質シルトを大粒状に 50% 含む しまる
4. 10YR4/4 黄褐色砂質シルト 10YR1.7/1 黑色シルトの混合土 ややしまる
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR4/4 黄褐色砂質シルト 40%、10YR5/6 黄褐色砂 10% 含む しまる

SP88

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト 25%、火山灰 3%、上部岩を含む しまる
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 10%、10YR4/4 黄褐色砂質シルト小粒状に 3% を含む ややしまる

SP 90

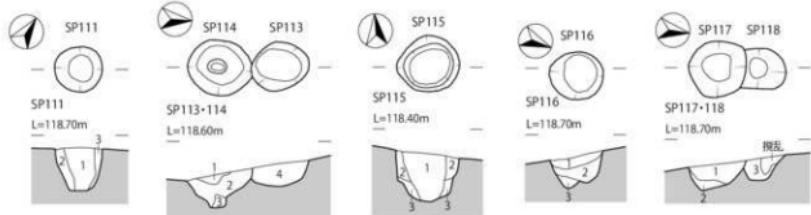
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 40%、10YR4/4 黄褐色砂質シルト小粒状に 10% 含む しまる
2. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/4 黄褐色砂質シルト小粒状に 15% 含む ややしまる
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 10%、10YR4/4 黄褐色砂質シルト小粒状に 5% 含む ややしまる

SP91

1. 10YR1.7/1 黒色シルト 10YR4/4 黄褐色砂質シルト小粒状に 10% 含む しまりなし
2. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/4 黄褐色砂質シルト小粒状に 1% 含む ややしまる
3. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/4 黄褐色砂質シルト大粒状に 25% 含む ややしまる

SP110

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 焼土 (7.5YR4/6 褐色) を 50% 含む しまる
2. 10YR1.7/1 黑色シルト、10YR2/2 黑褐色シルトの混合土 烧土 (7.5YR4/6 褐色) を小粒状に 3% 含む ややしまる
3. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 25% 含む しまる

**SP111**

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルトを 15%、下位に 10YR4/6 黄褐色シルト 5% 含む しまりなし
2. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルトを 5% 含む しまりなし
3. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR3/4 暗褐色シルトを 5% 含む しまりなし

SP113・114

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルトの混合土 10YR4/4 黄褐色砂上を粒状に 3% 含む ややしまる
2. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルトの混合土 ややしまる
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト 崩落上 ややしまる
4. 1 に同じ ややしまる

SP115

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 木板による搅乱あり ややしまる
2. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルトの混合土 しまりなし
3. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルトを 10%、10YR4/4 黄褐色シルト 40% 含む しまる

SP116

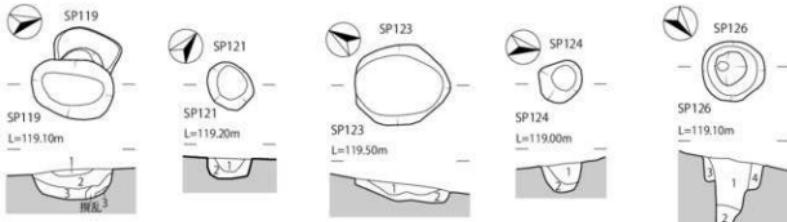
1. 10YR3/4 暗褐色シルト 炭化物小粒を 3% 含む しまる
2. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR3/4 暗褐色シルトを 25%、10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルトを粒状に 5% 含む しまる
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト、10YR1.7/1 黑色シルトの混合土 しまる

SP117・118

1. 10YR1.7/1 黑色シルト、10YR3/4 暗褐色シルトの混合土 10YR4/4 黄褐色シルトを小粒状に 2% 含む しまる
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト 10YR1.7/1 黑色シルト 10% 含む しまる
3. 2 に同じ しまる



第55図 SP85・88・90・91・110・111・113・114・115・116・117・118柱穴

**SP119**

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR4/2 灰褐色粘質シルトの混合土 10YR1.7/1 黒色シルト 10%含む ややしまる
2. 10YR4/2 灰褐色粘質シルト
3. 10YR4/3 にぶい灰褐色粘質シルト 10YR1.7/1 黒色シルトの混合土 しまりなし

SP121

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR4/4 褐色粘土上、10YR1.7/1 黒色シルトをブロック状に 30%ずつ含む しまりなし
2. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR4/4 褐色粘土の混合土 しまりなし

SP123

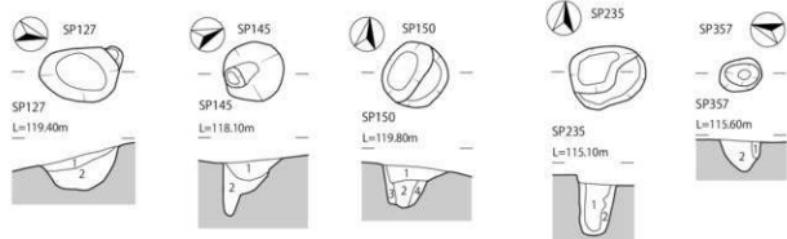
1. 10YR4/2 灰褐色粘質シルト 10YR2/4 暗褐色シルト 20%、10YR4/4 褐色砂質シルトを大粒状に 10%含む しまる
2. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR3/4 暗褐色シルト 25%、10YR4/4 褐色砂質シルトを大粒状に 25%含む しまる

SP124

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黒色シルトの混合土 10YR4/4 褐色シルト 2%、土塊片を含む ややしまる
2. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黒色シルトの混合土 ややしまる

SP126

1. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR4/6 褐色シルト小~大粒状に 25%含む ややしまる
2. 10YR1.7/1 黑色シルト 10YR4/6 褐色シルト 5%含む しまりなし
3. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR4/6 褐色シルト大粒状に 40%含む しまりなし
4. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR1.7/1 黑色シルトの混合土 10YR4/6 褐色シルト 1%含む しまりなし

**SP127**

1. 10YR2/2 黑褐色シルト 10YR4/4 褐色粘質シルト 15%含む しまりなし
2. 10YR3/4 暗褐色シルト 10YR4/4 褐色粘質シルト小~大粒状に 25%含む ややしまる

SP145

1. 10YR2/1 黑色粘質シルト 10YR4/4 褐色砂質シルトを小粒状に 10%含む ややしまる
2. 10YR2/1 黑色粘質シルト 50%、10YR4/4 褐色砂質シルト 50% しまりなし

SP150

1. 10YR3/4 暗褐色シルト ややしまる
2. 10YR4/4 褐色シルト ややしまる
3. 10YR6/8 明黄褐色粘質シルト 10YR4/4 褐色シルト 10%含む しまる
4. 10YR7/8 黄褐色シルト 10YR3/4 暗褐色シルト 10%含む しまる

SP235

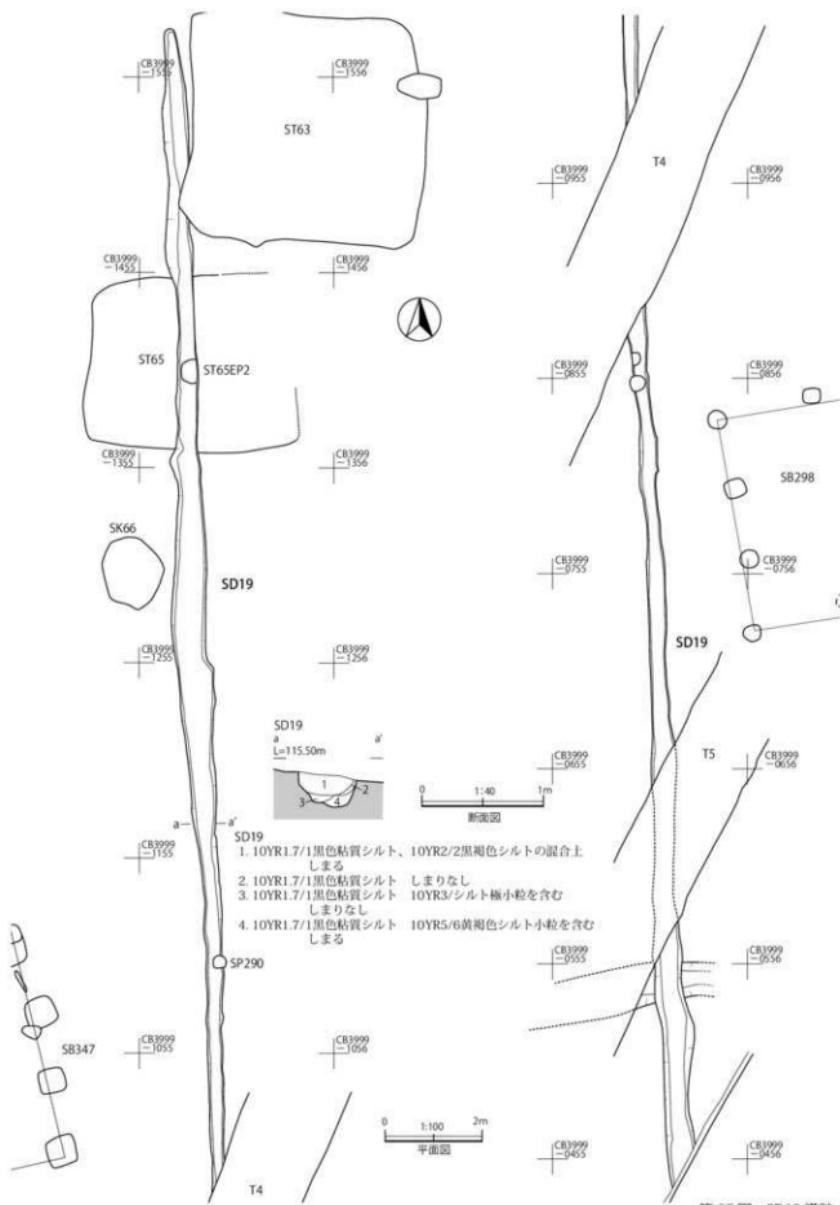
1. 10YR2/1 黑色粘質シルト 10YR5/6 黄褐色シルト小粒、微量の燒土を含む しまる
2. 10YR2/1 黑色粘質シルト しまる

SP357

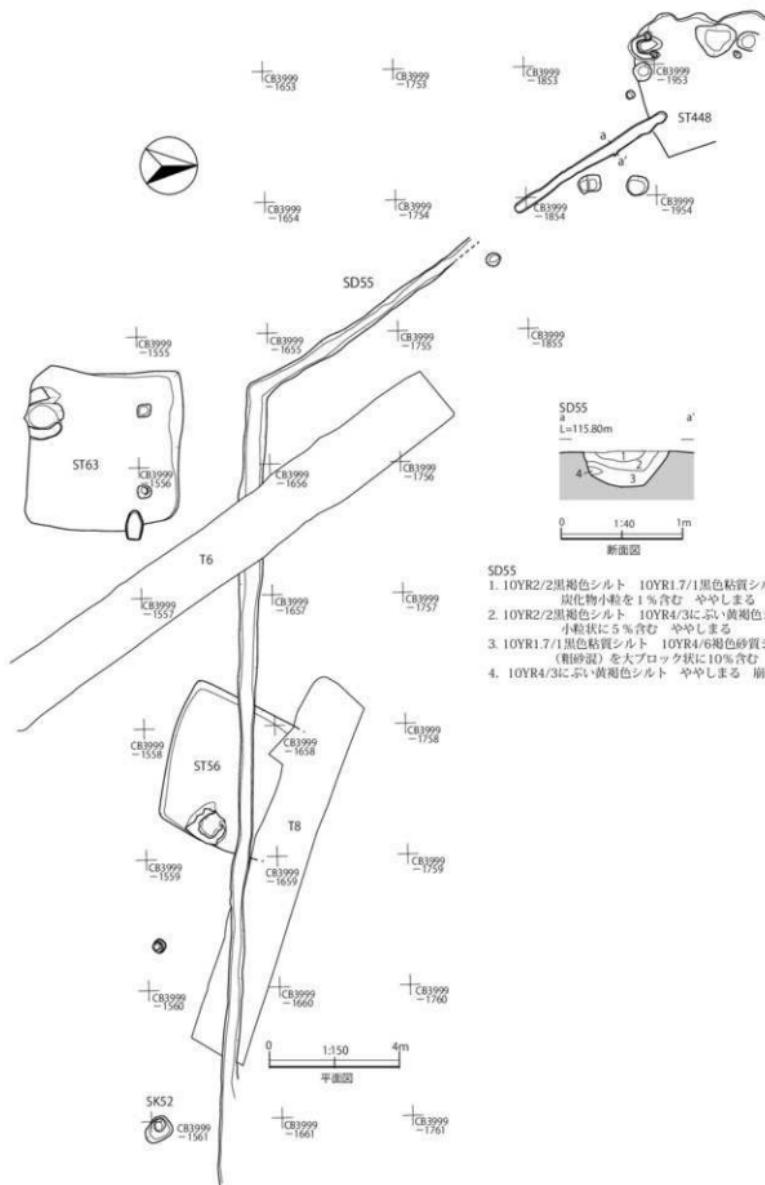
1. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト、10YR6/6 褐色シルトの混合土 ややしまる
2. 10YR1.7/1 黑色粘質シルト 10YR6/6 褐色シルト小粒を少量含む ややしまる

0 1m 1:40

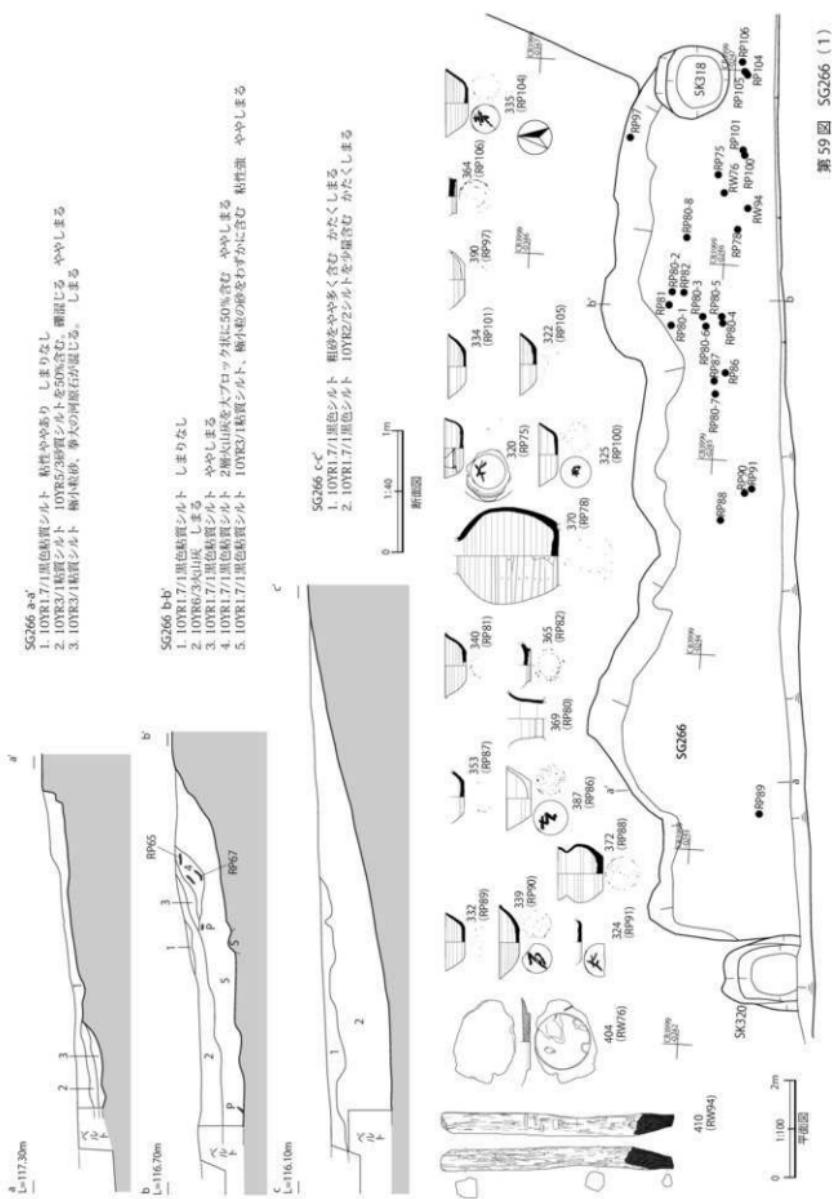
第56図 SP119・121・123・124・126・127・145・150・235・357柱穴



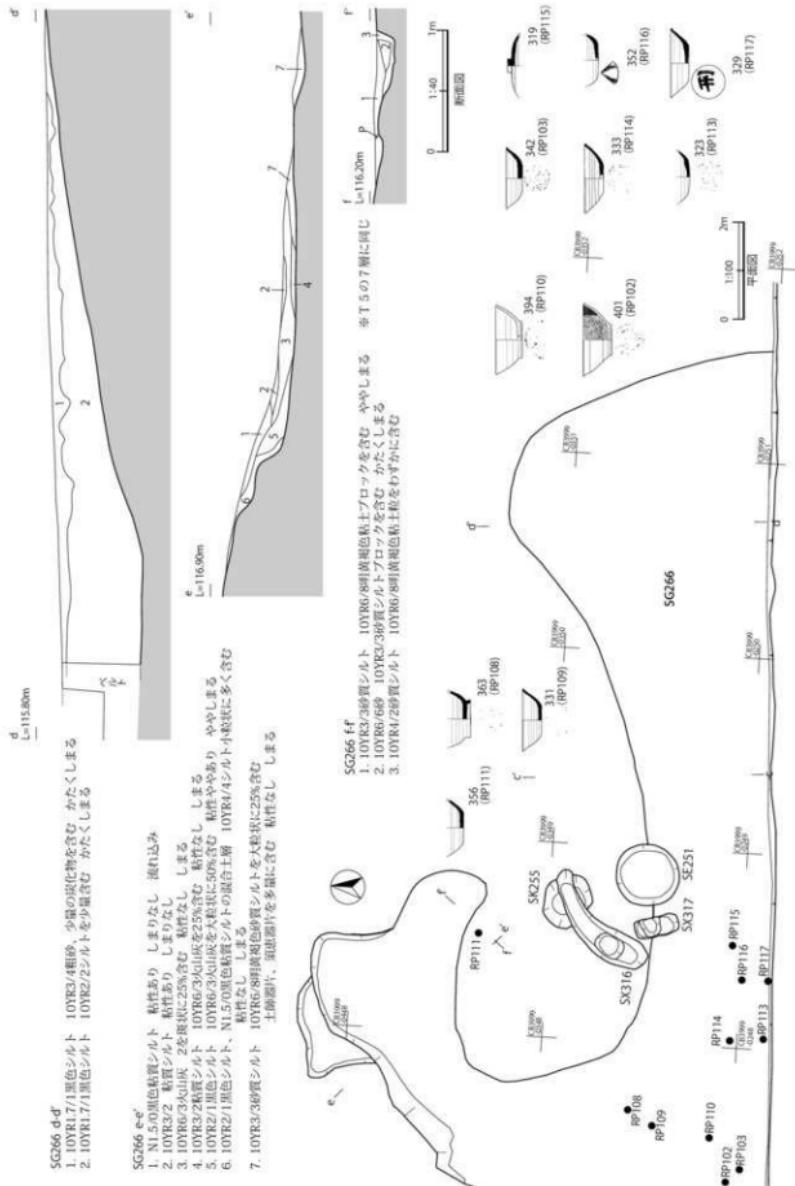
第 57 図 SD19 溝跡

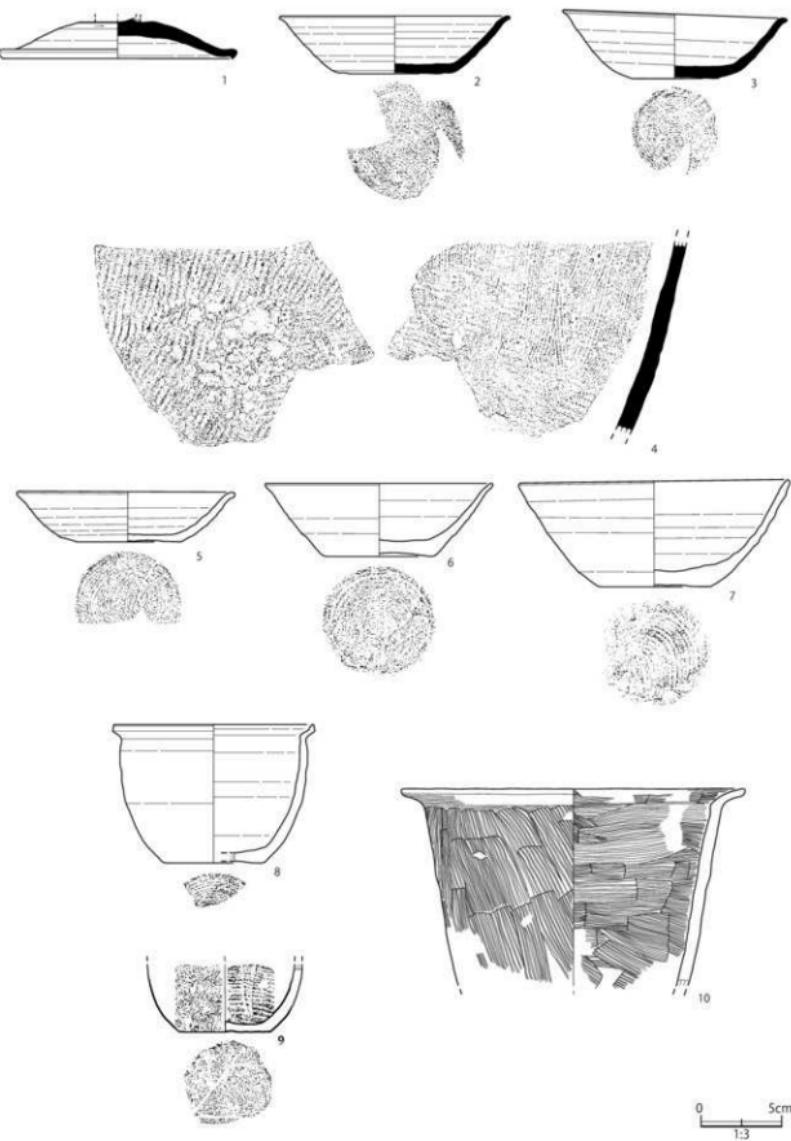


第 58 図 SD55 溝跡

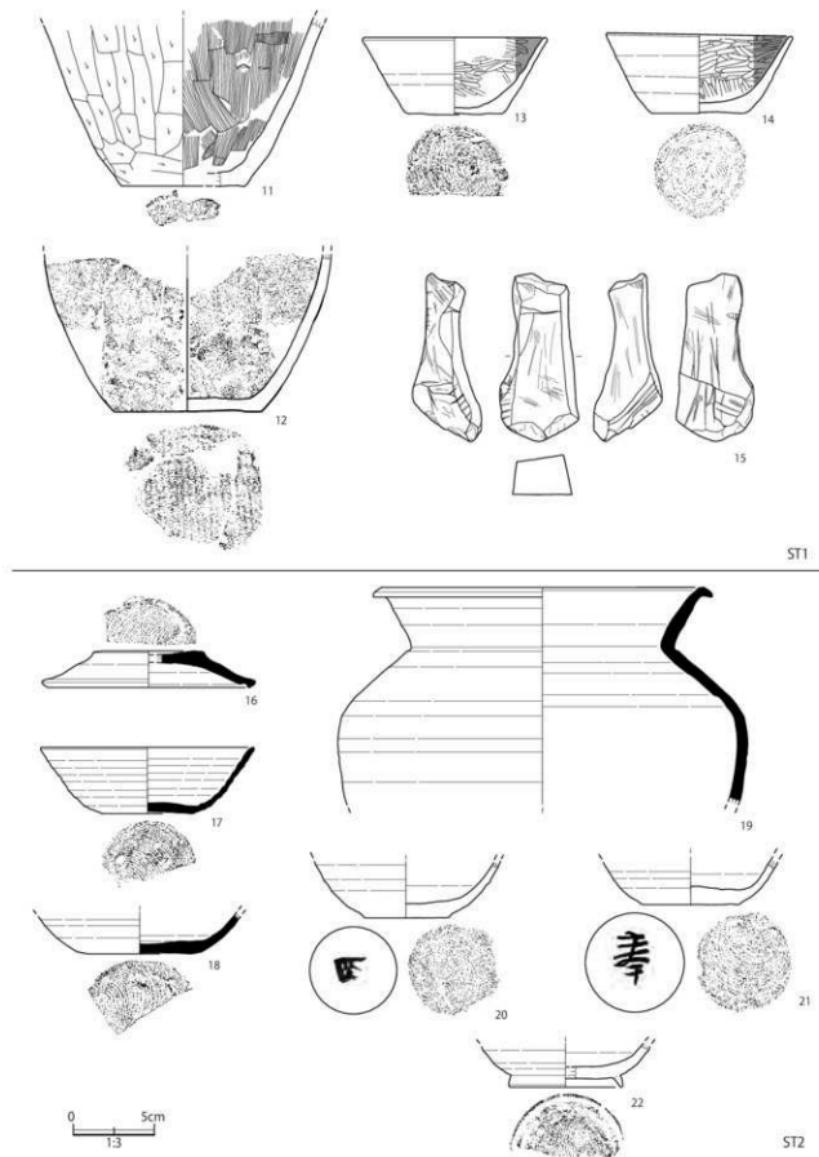


第59回 SG266 (1)

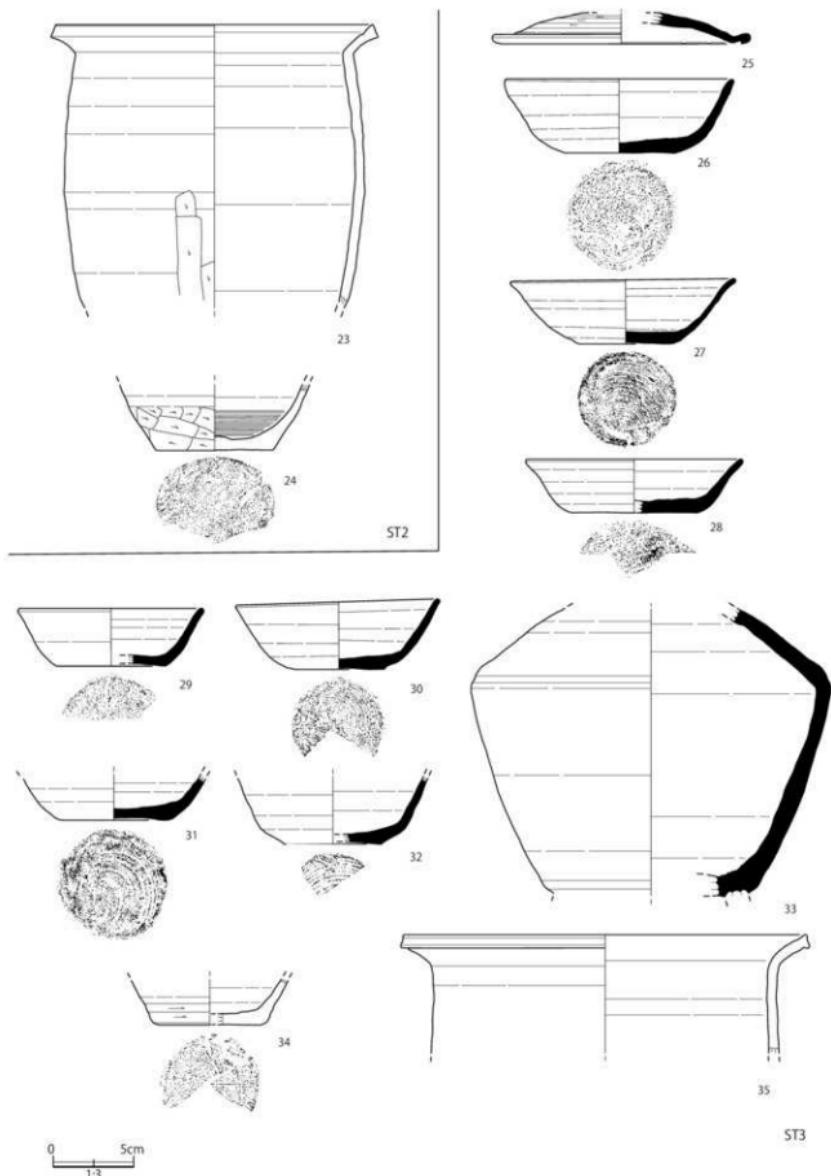




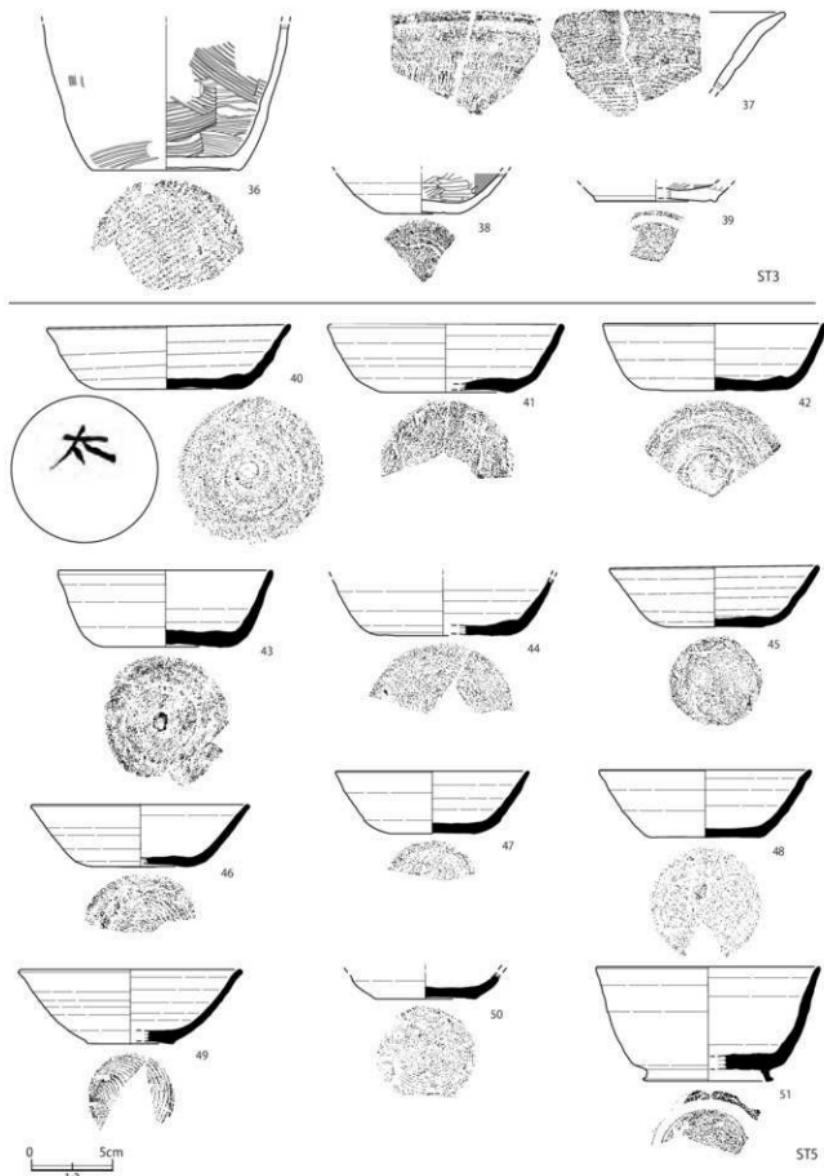
第61図 ST 1出土遺物(1)



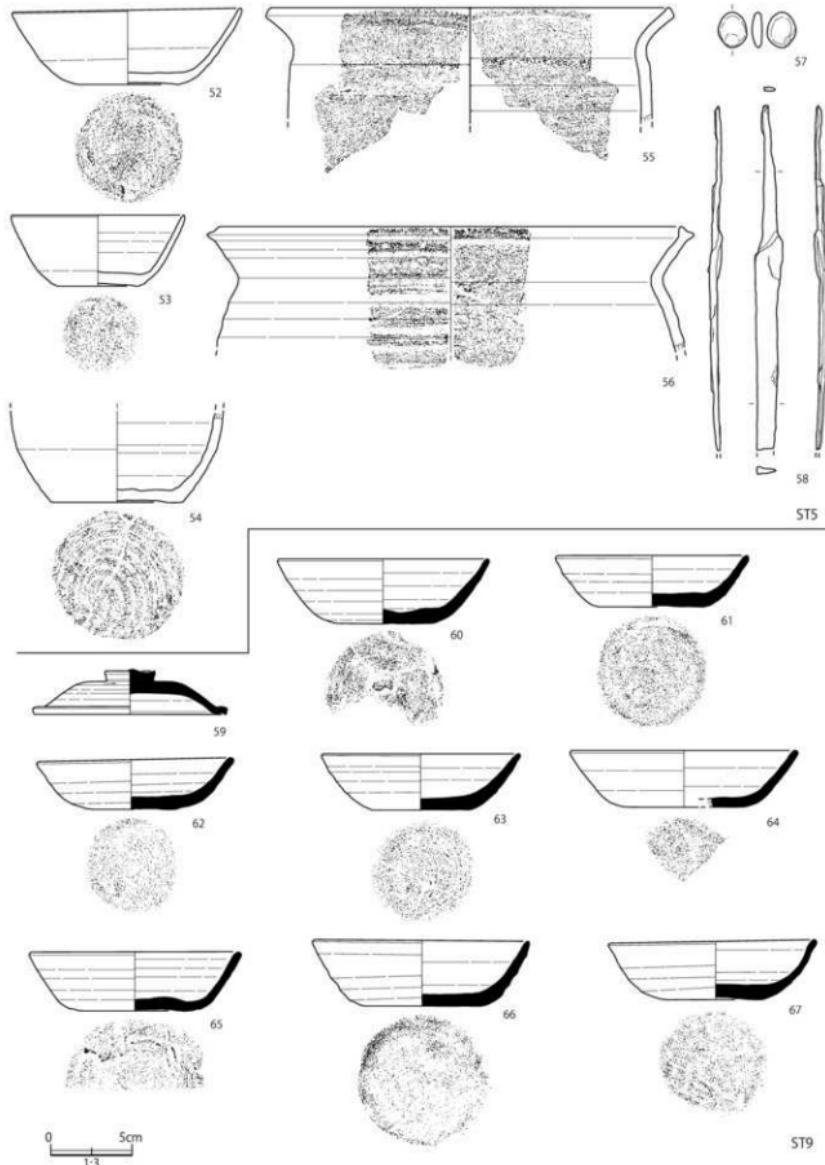
第62図 ST 1出土遺物(2)・ST 2出土遺物(1)



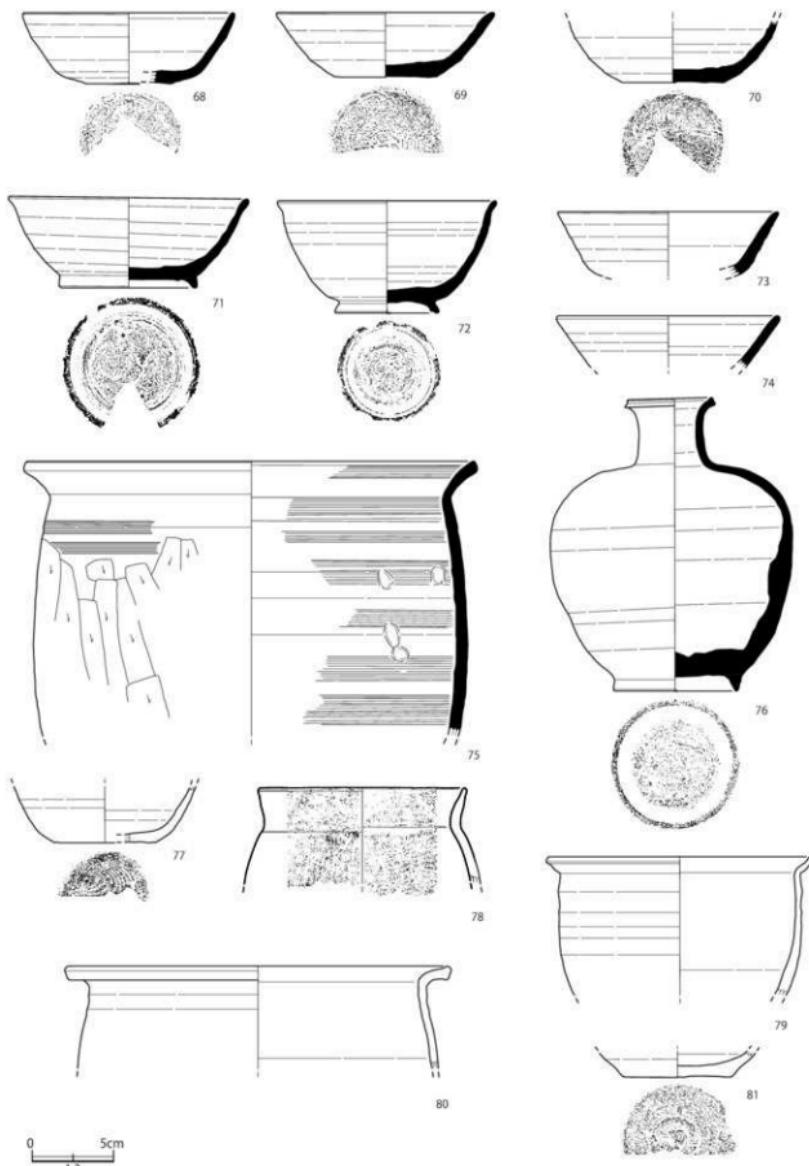
第63図 ST 2出土遺物(2)・ST 3出土遺物(1)



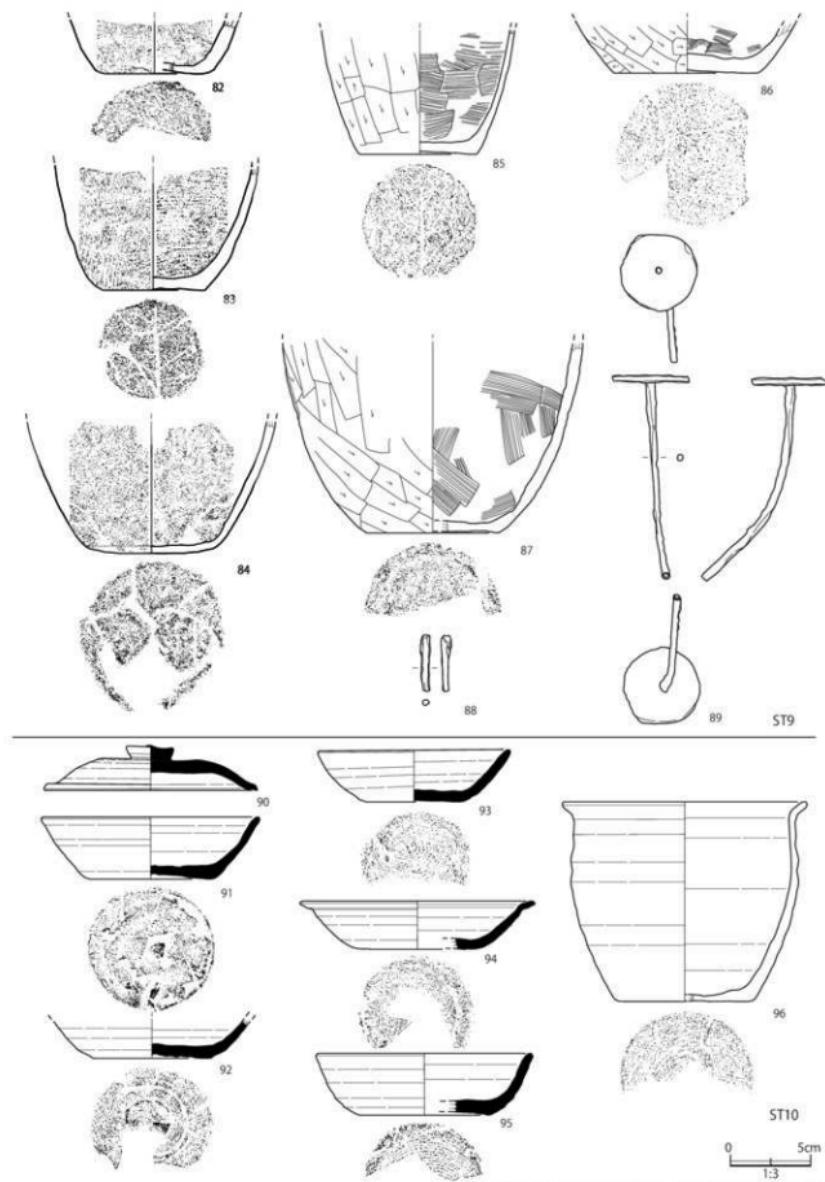
第64図 ST 3出土遺物(2)・ST 5出土遺物(1)



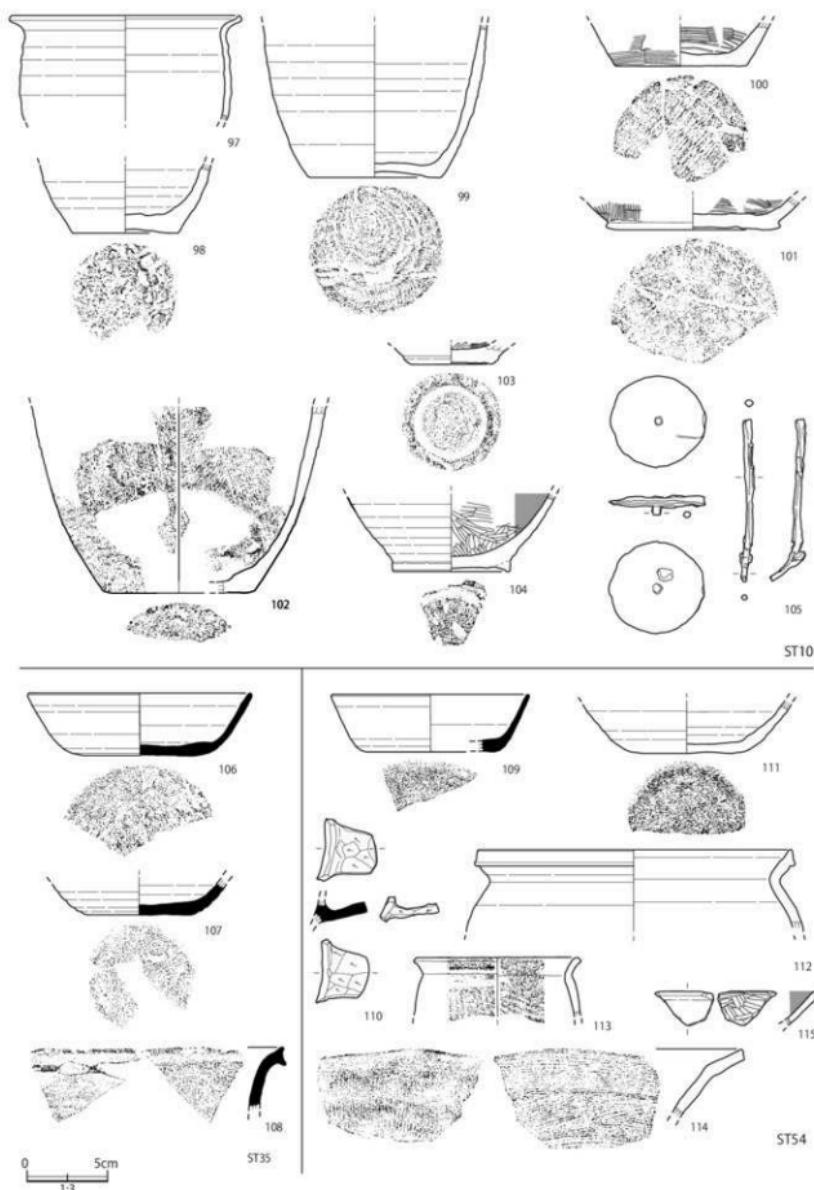
第65図 ST 5出土遺物(2)・ST 9出土遺物(1)



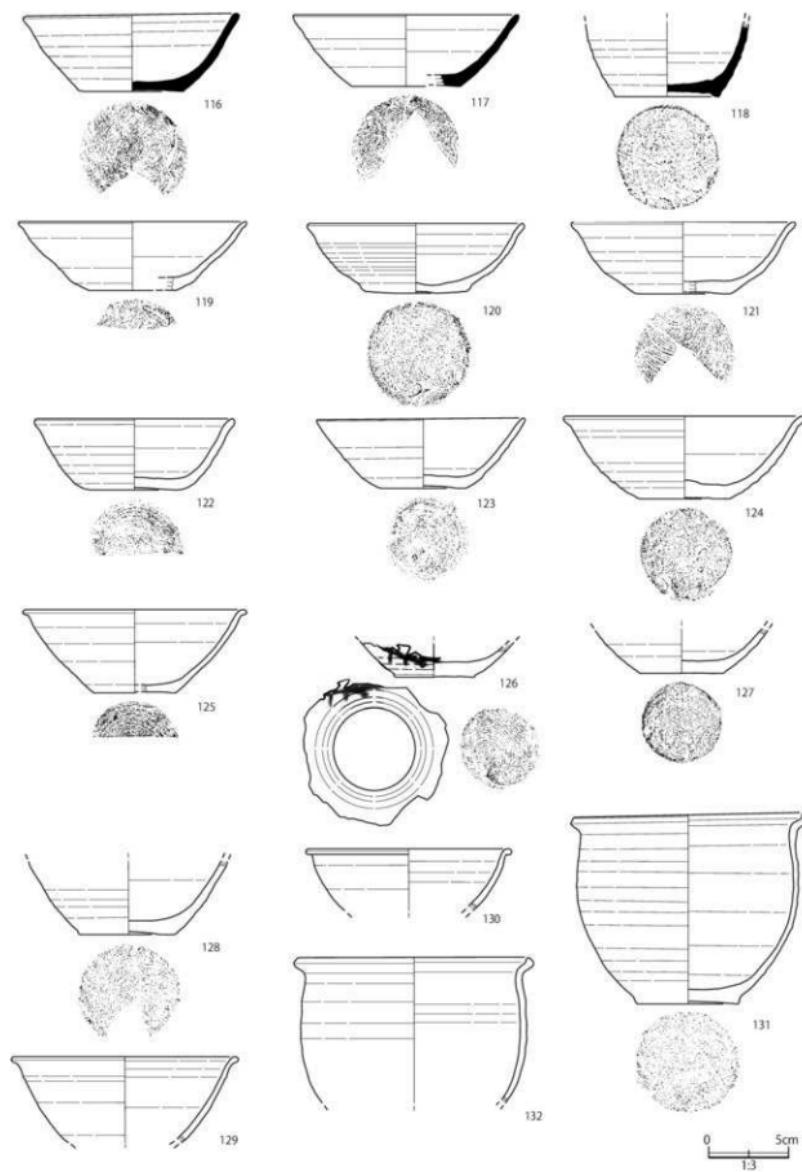
第66図 ST 9出土遺物(2)



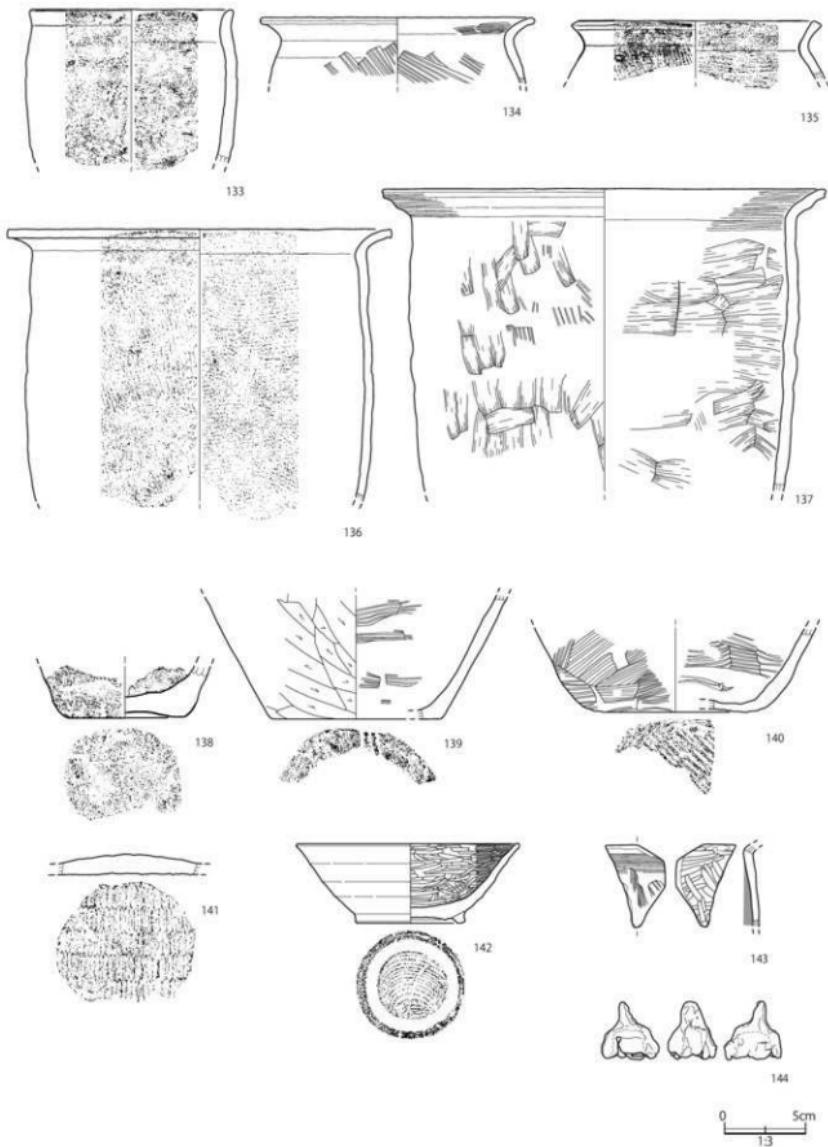
第67図 ST 9出土遺物 (3)・ST10出土遺物 (1)



第68図 ST10出土遺物(2)・ST35・54出土遺物

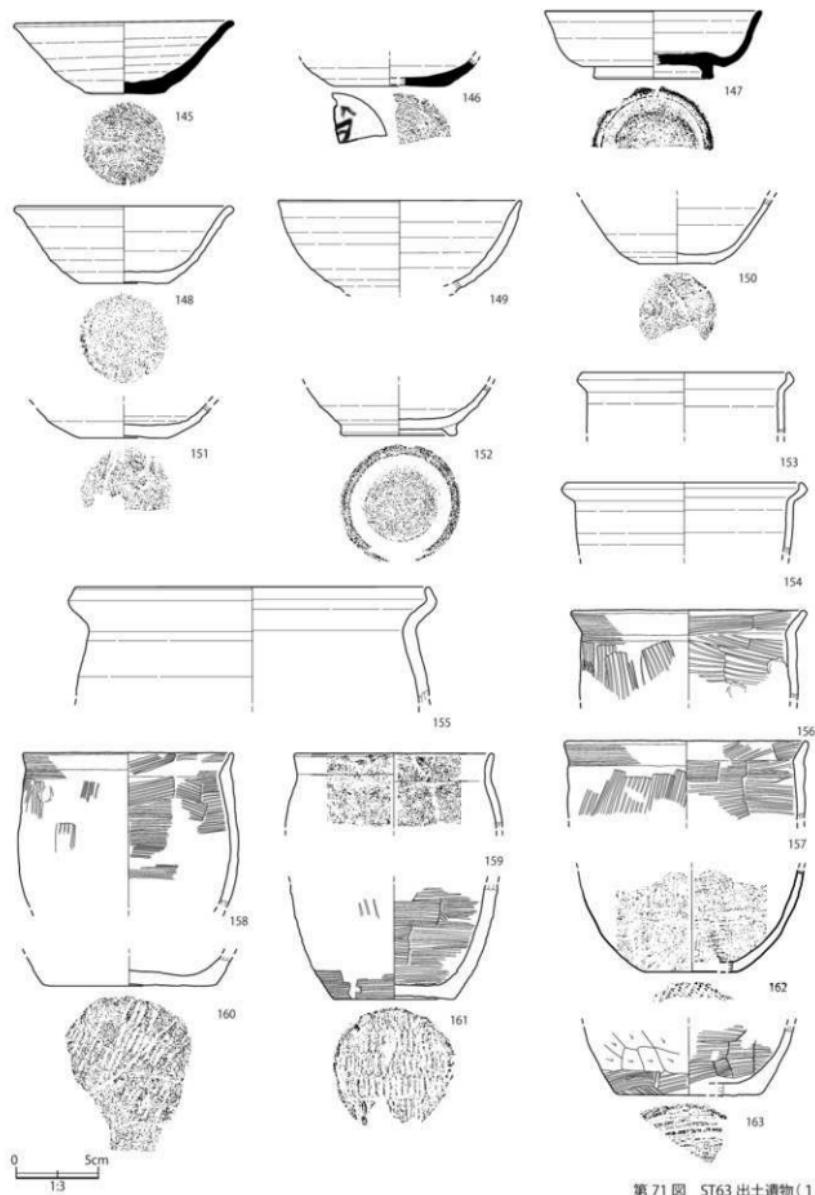


第69図 ST56出土遺物(1)

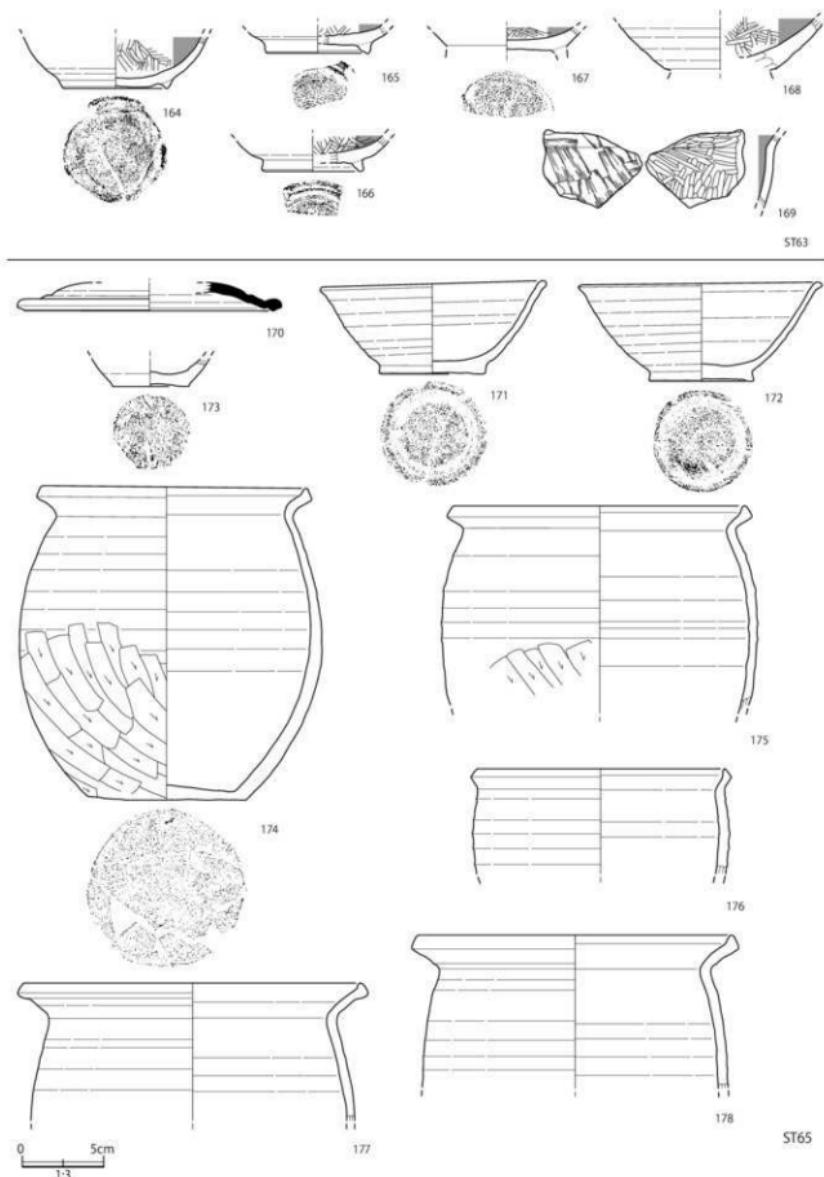


第70図 ST56出土遺物(2)

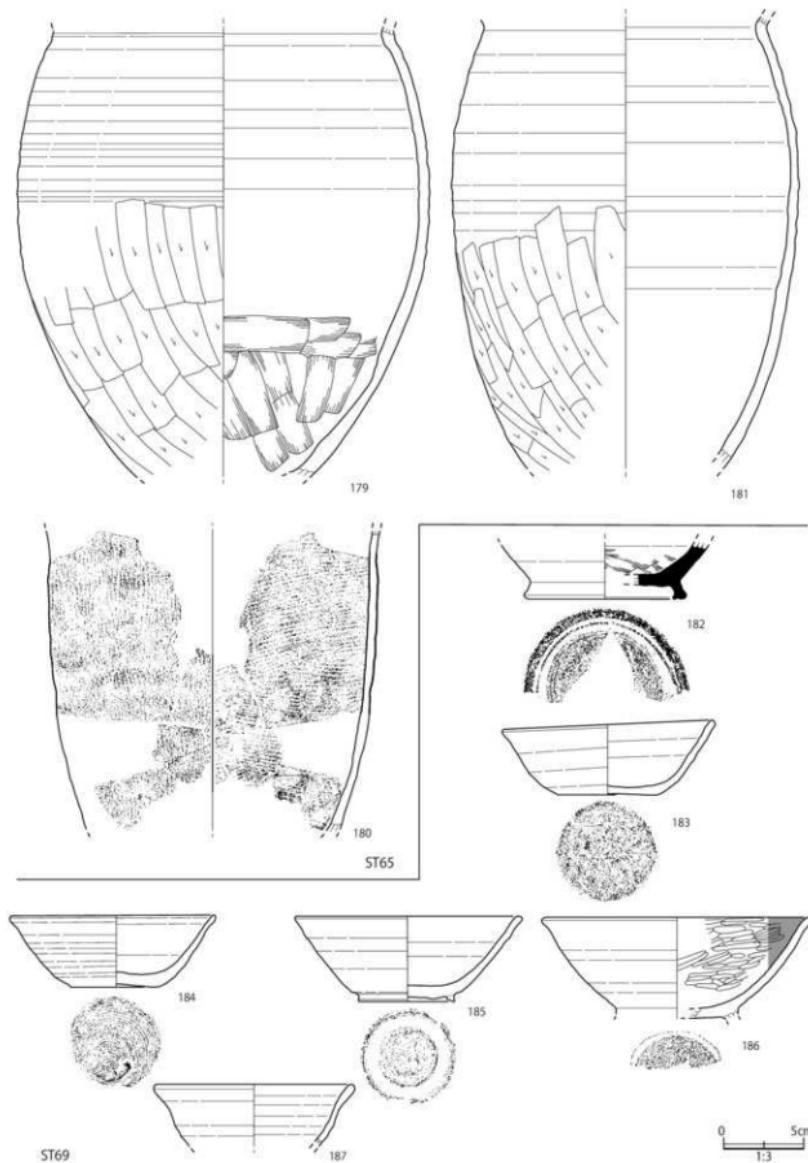
0 5cm
13



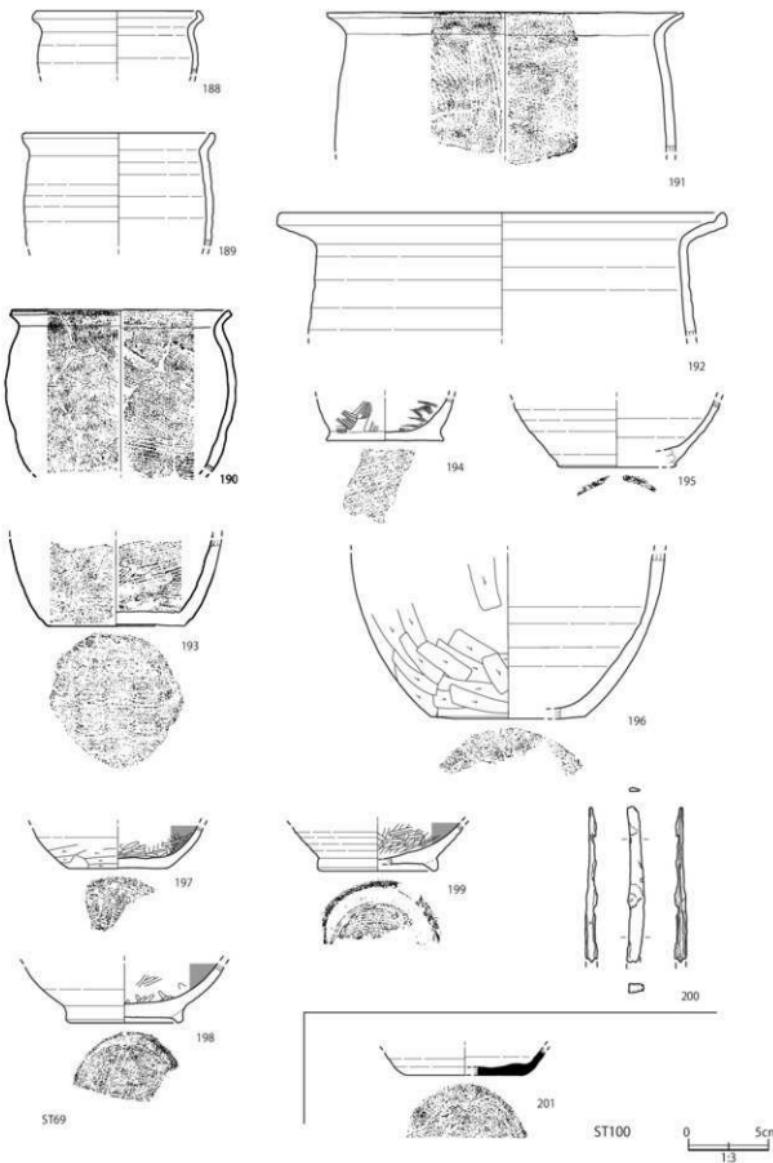
第71図 ST63出土遺物(1)



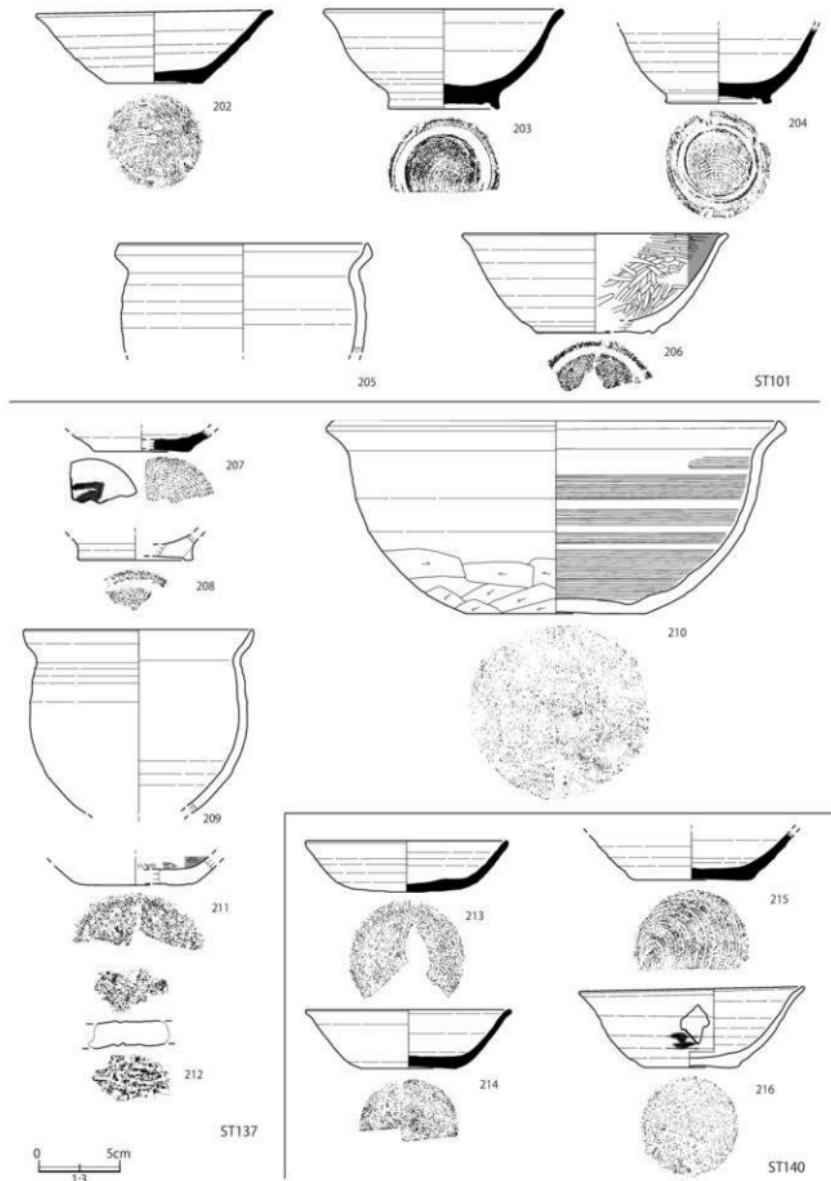
第72図 ST63出土遺物(2)・ST65出土遺物(1)



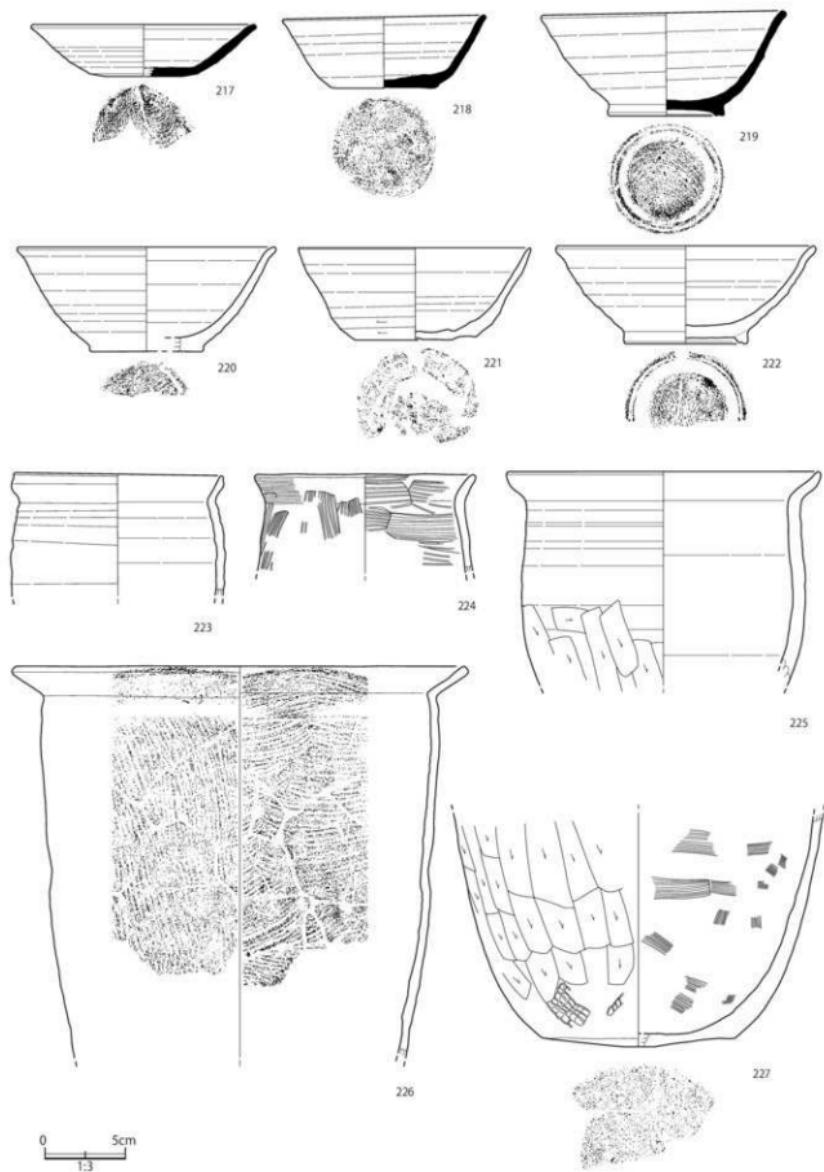
第73図 ST65出土遺物(2)・ST69出土遺物(1)



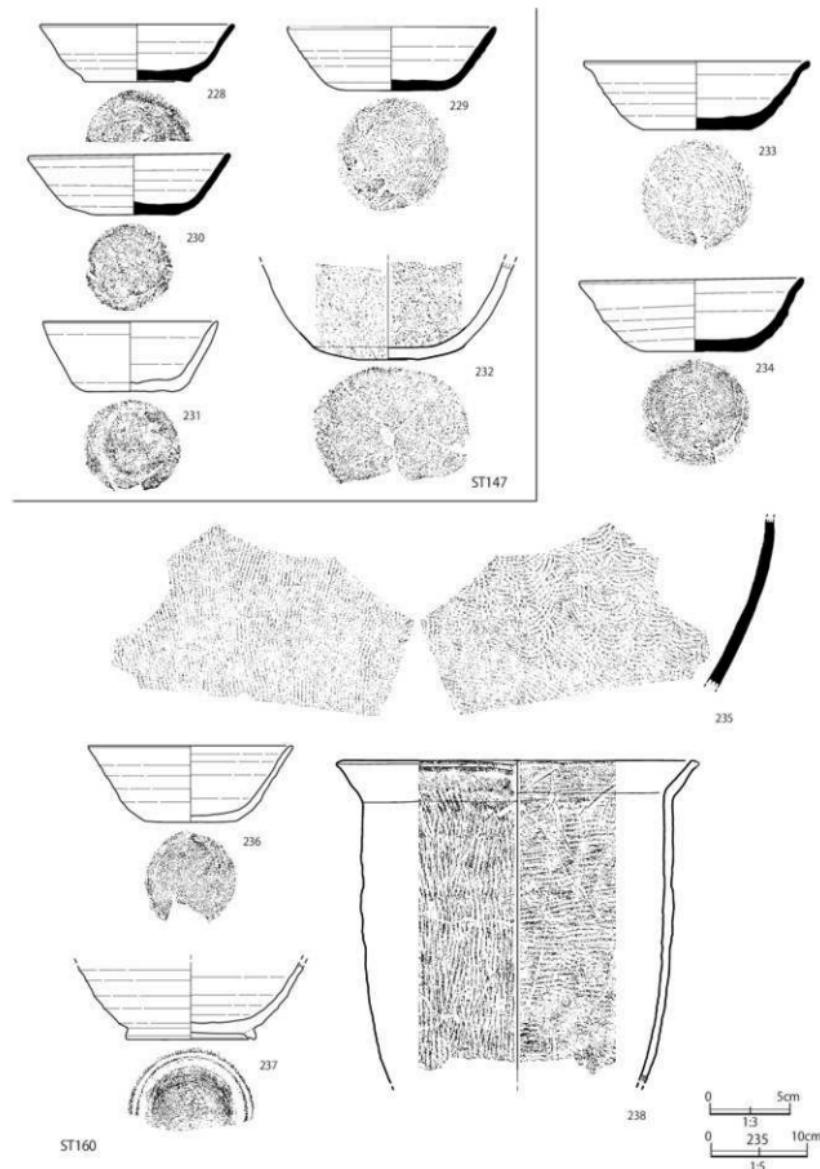
第 74 図 ST69 出土遺物 (2)・ST100 出土遺物



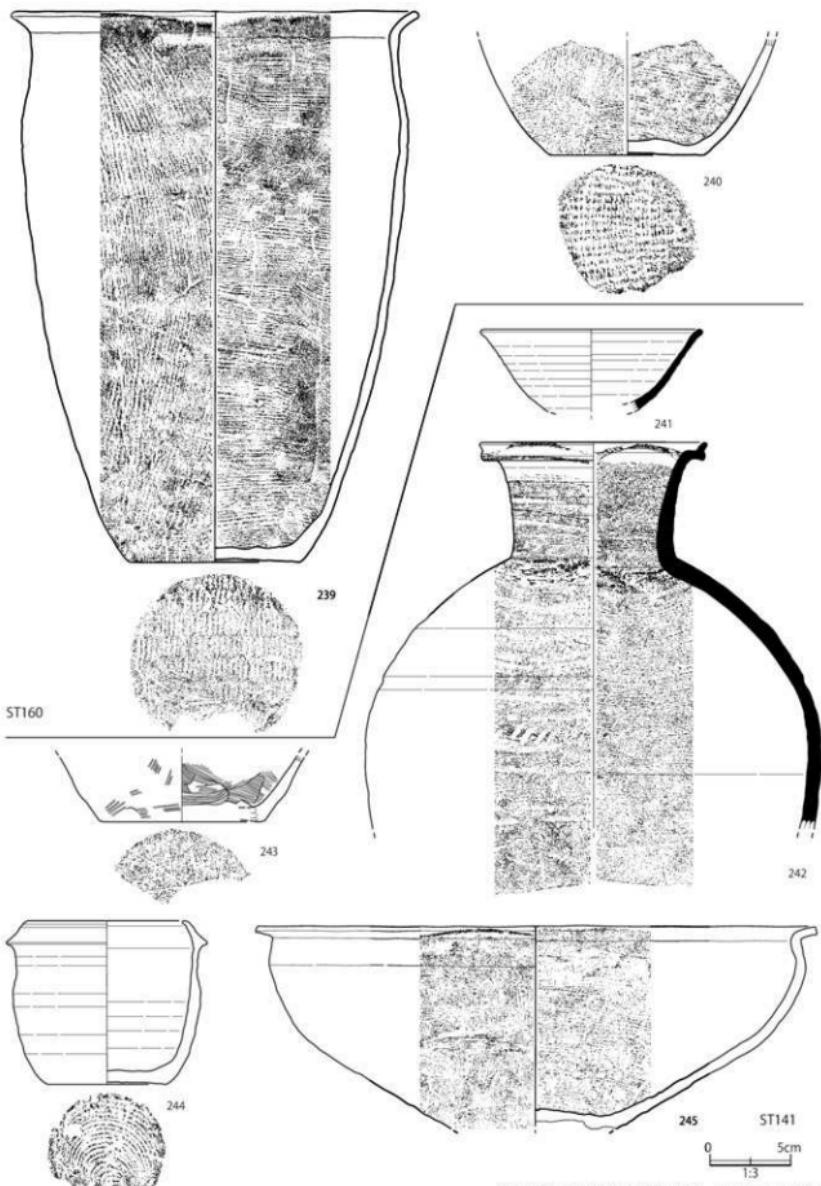
第75図 ST101・137・140出土遺物



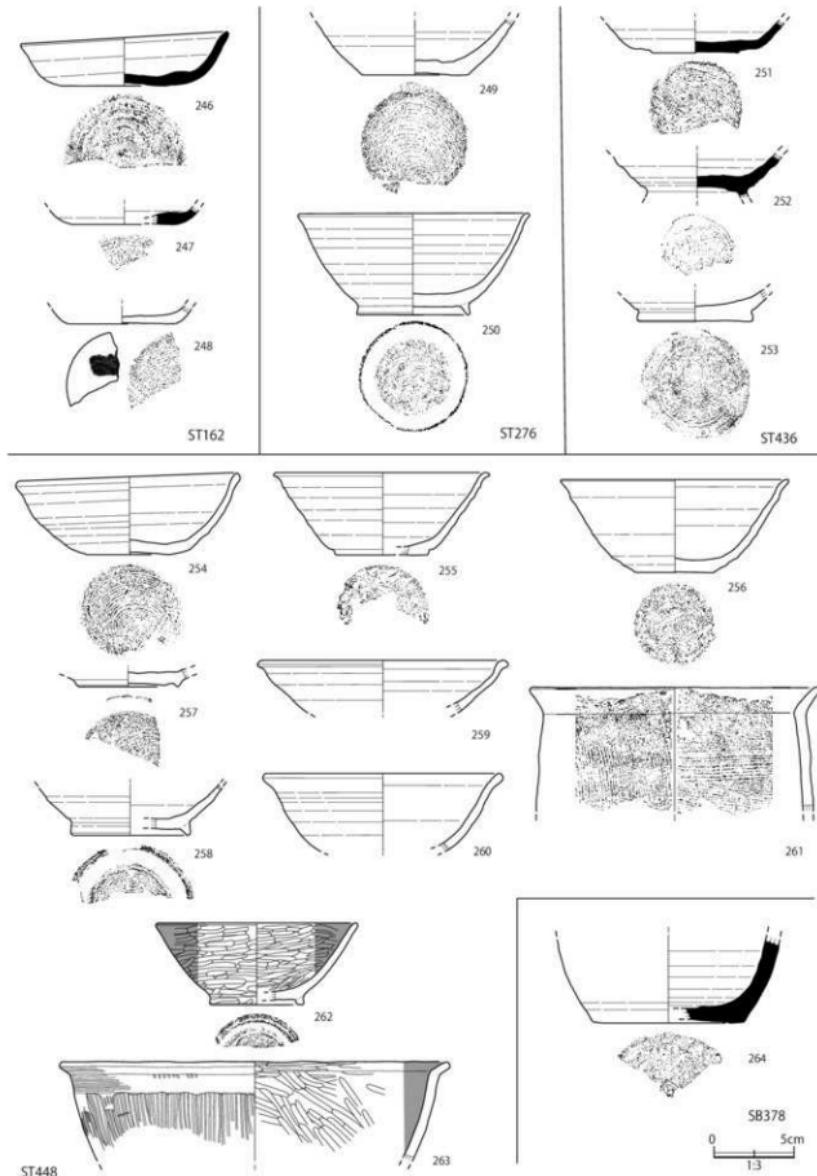
第 76 図 ST146 出土遺物



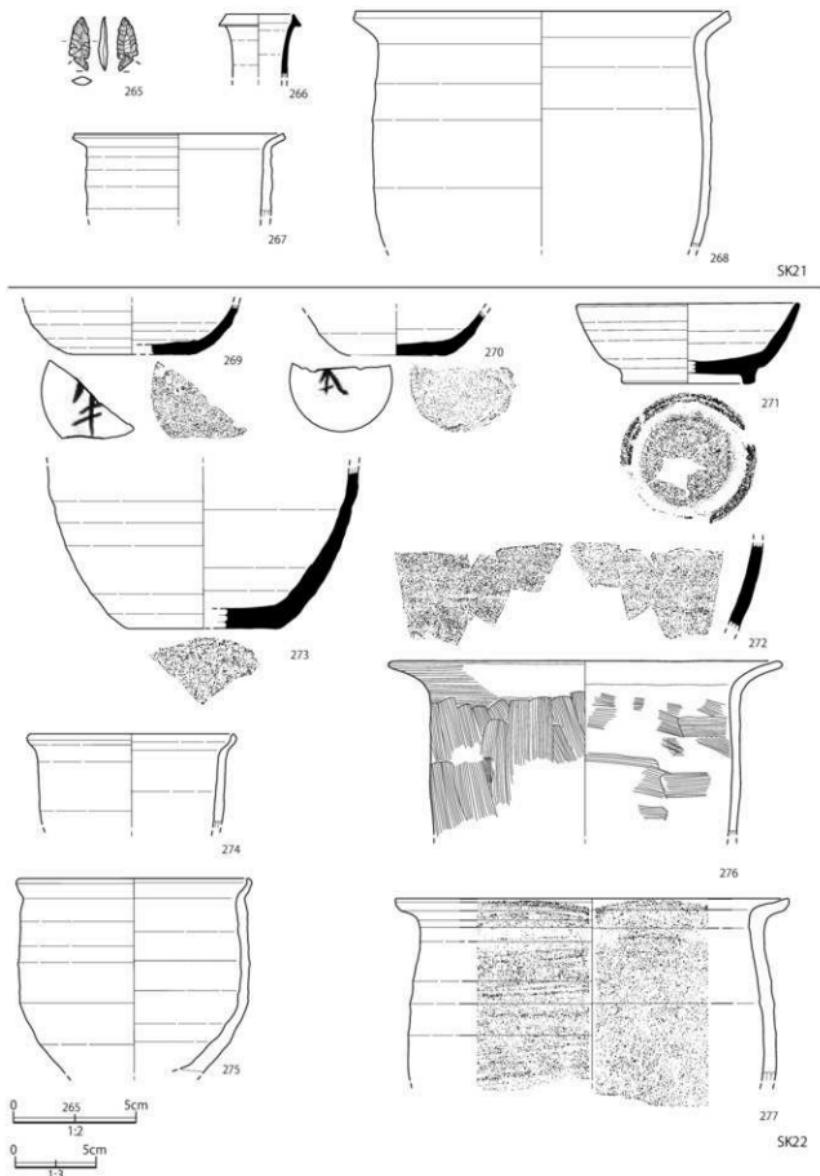
第77図 ST147出土遺物・ST160出土遺物（1）



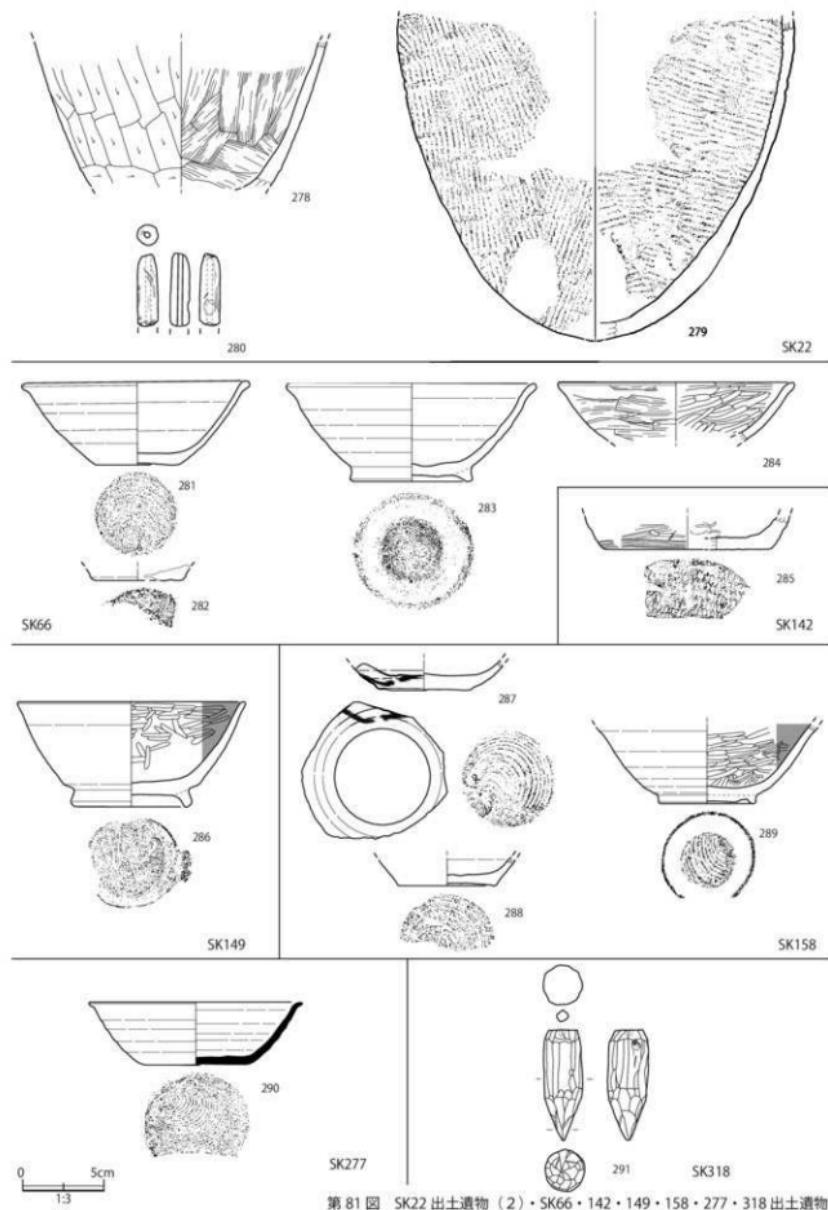
第78図 ST160出土遺物(2)・ST141出土遺物



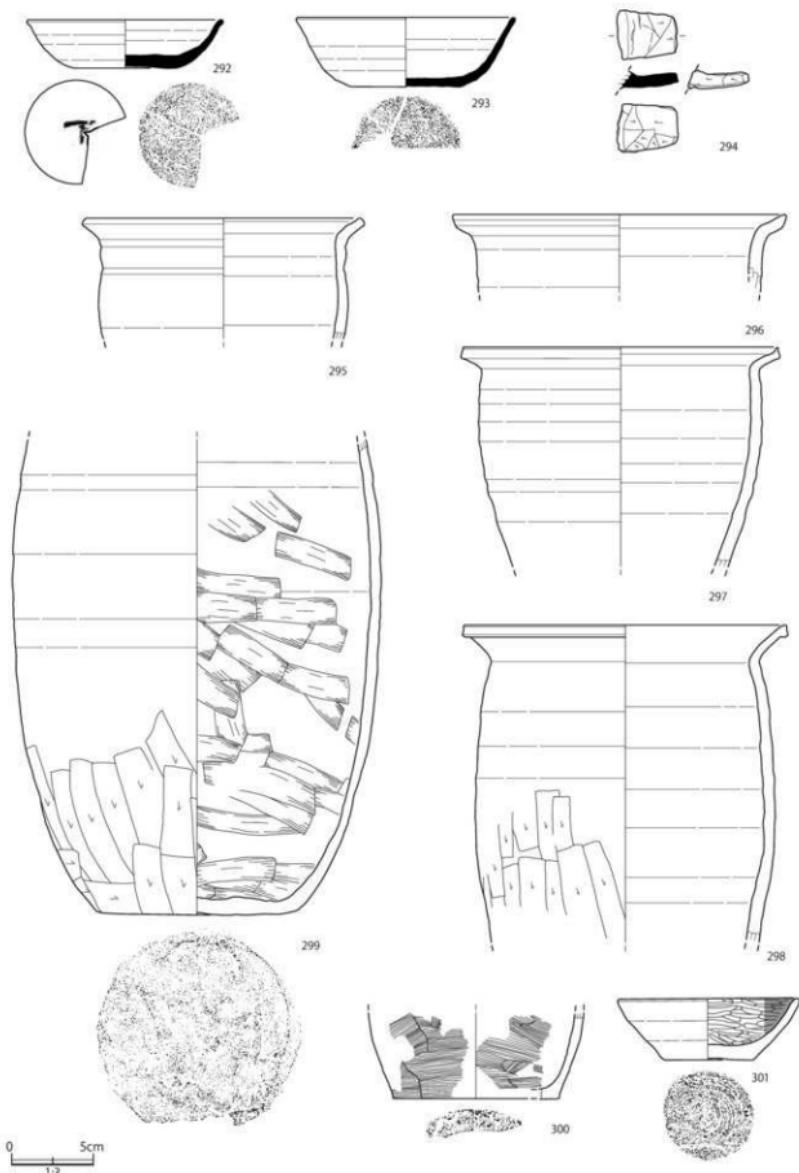
第79図 ST162・276・436・448・SB378出土遺物



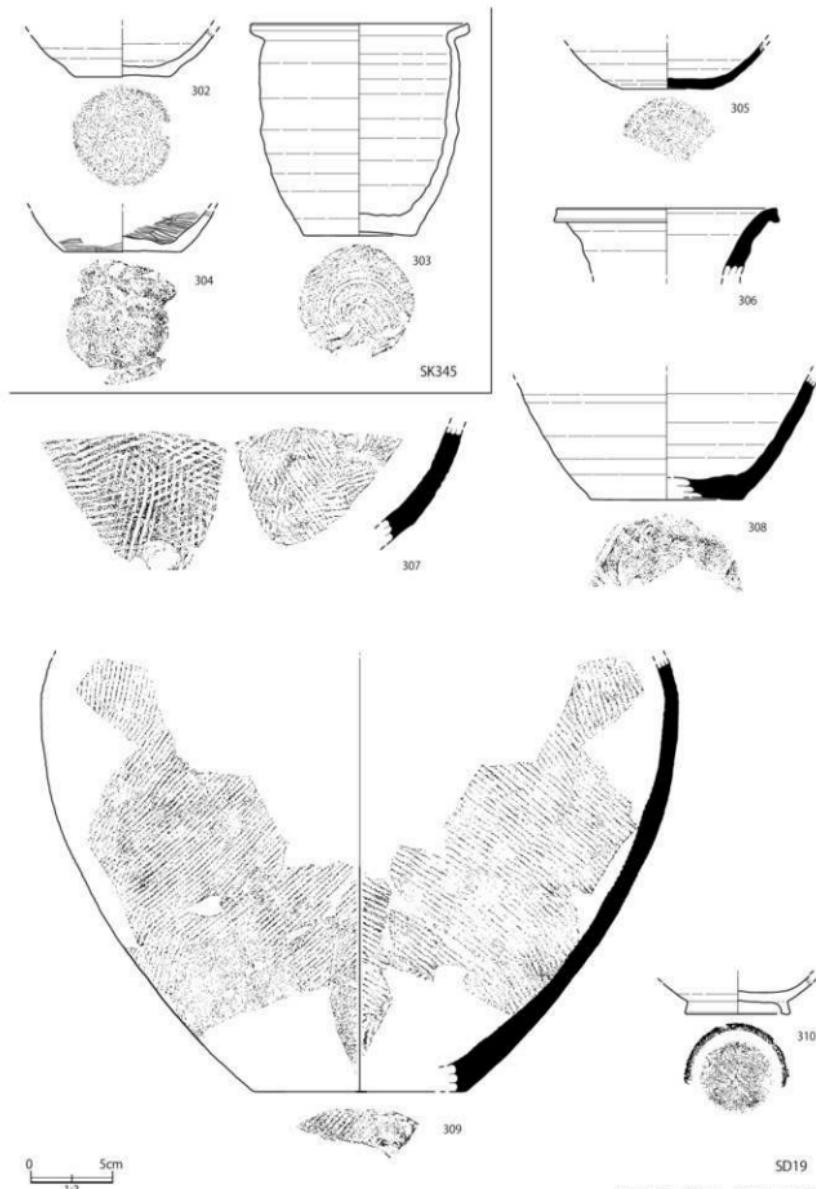
第80図 SK21出土遺物・SK22出土遺物(1)



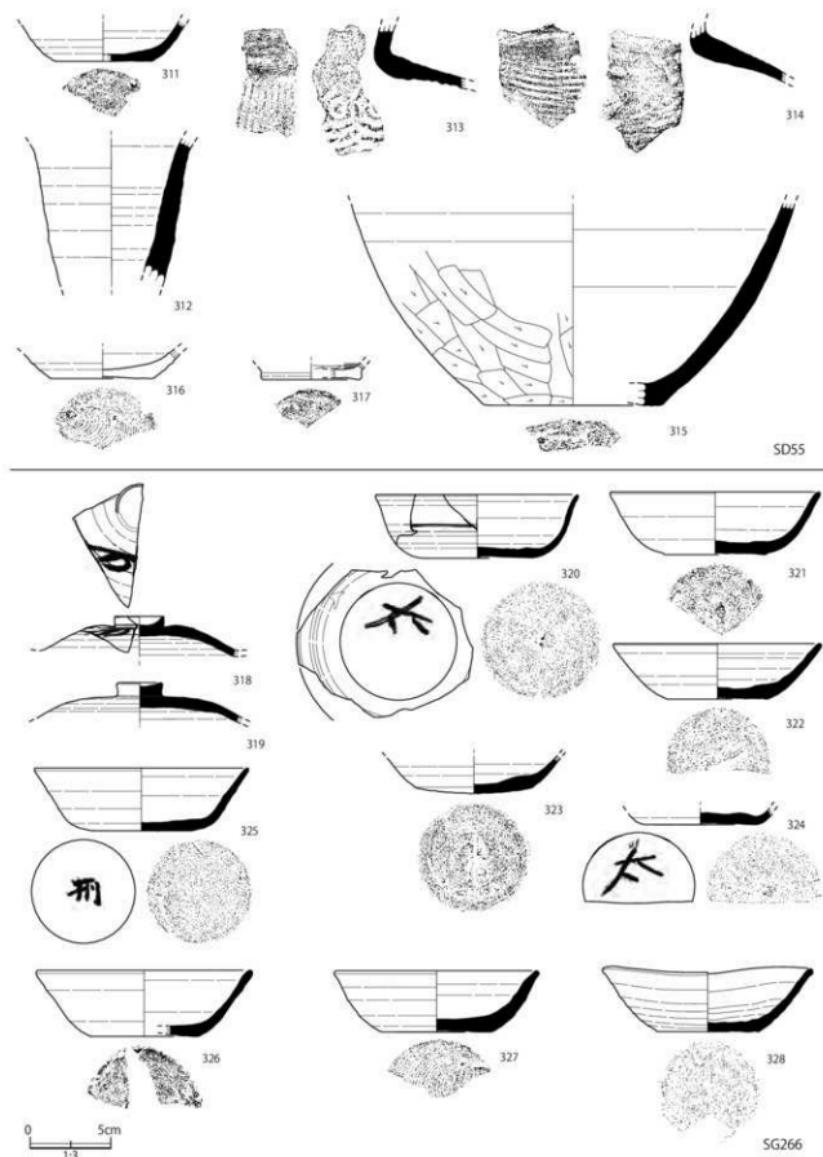
第 81 図 SK22 出土遺物 (2)・SK66・142・149・158・277・318 出土遺物



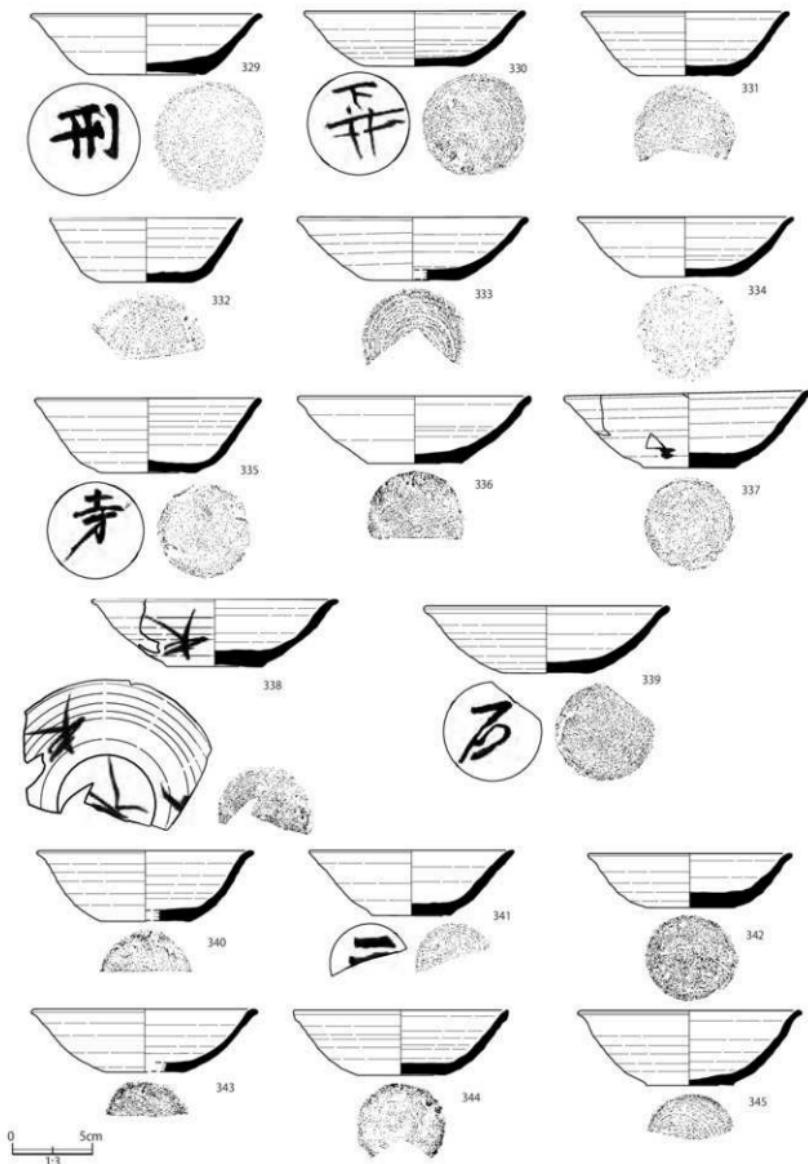
第 82 図 SK344 出土遺物



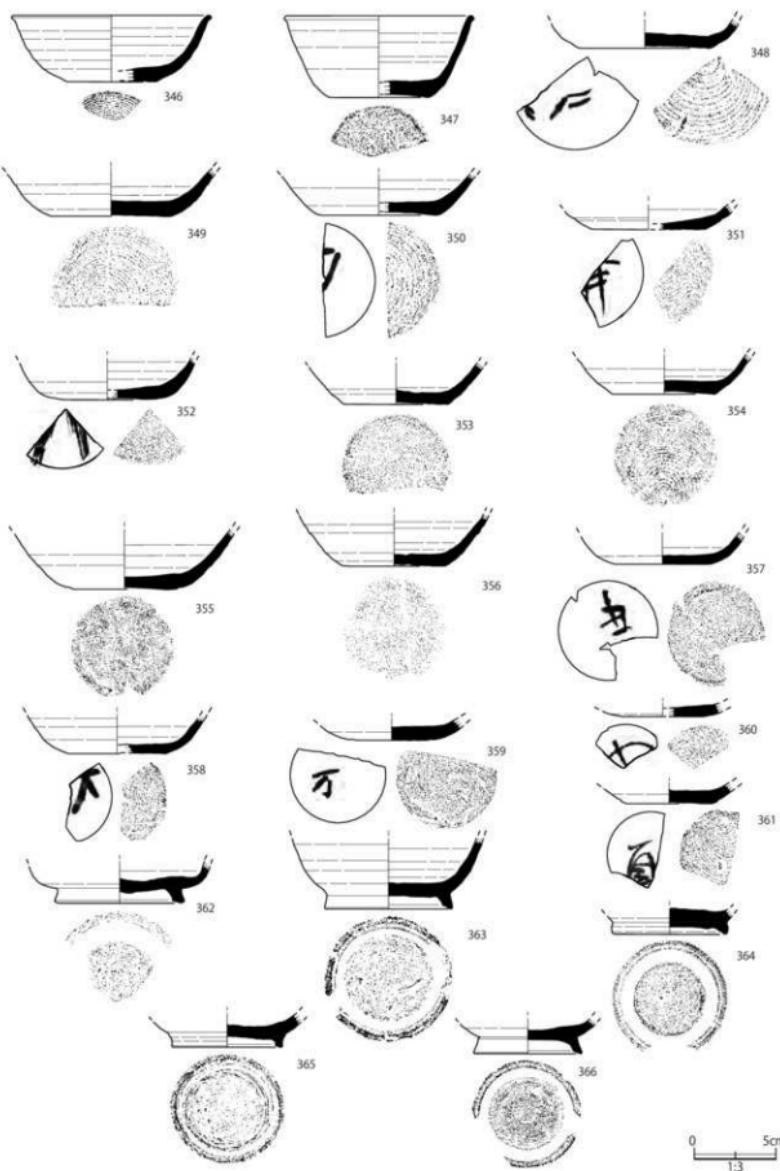
第83図 SK345・SD19出土遺物



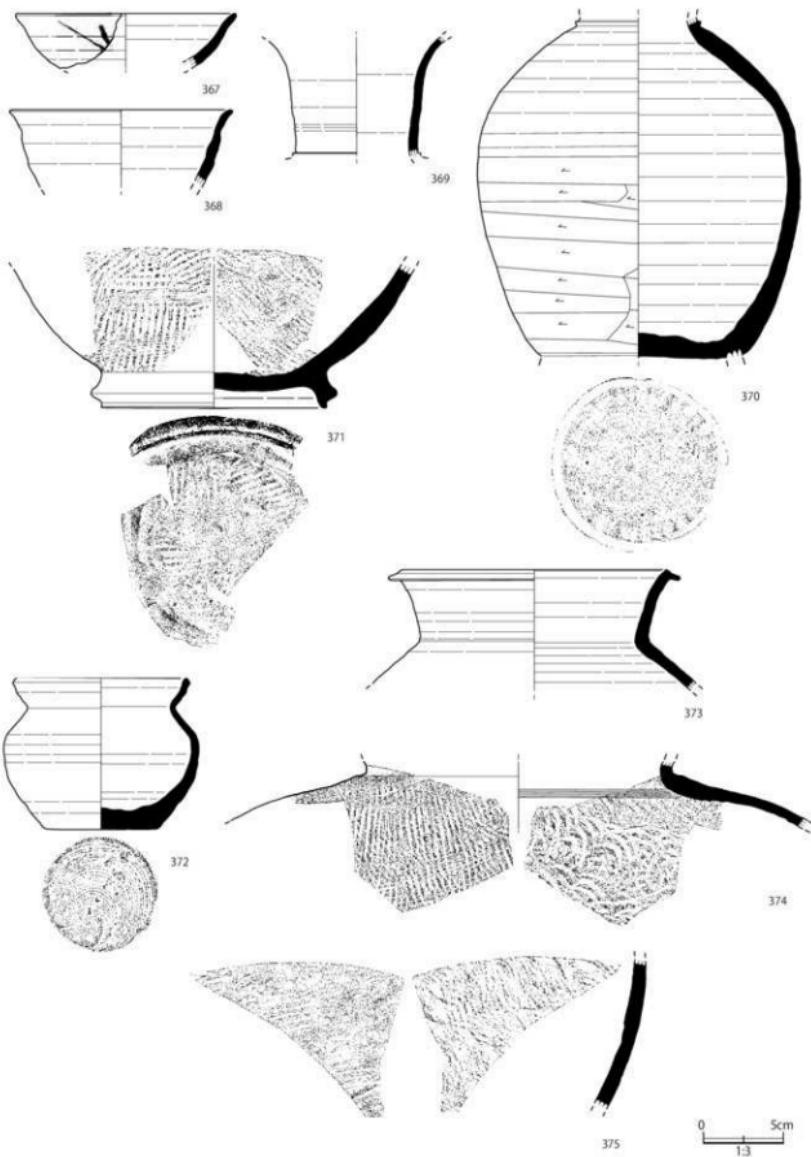
第84図 SD55出土遺物・SG266出土遺物(1)



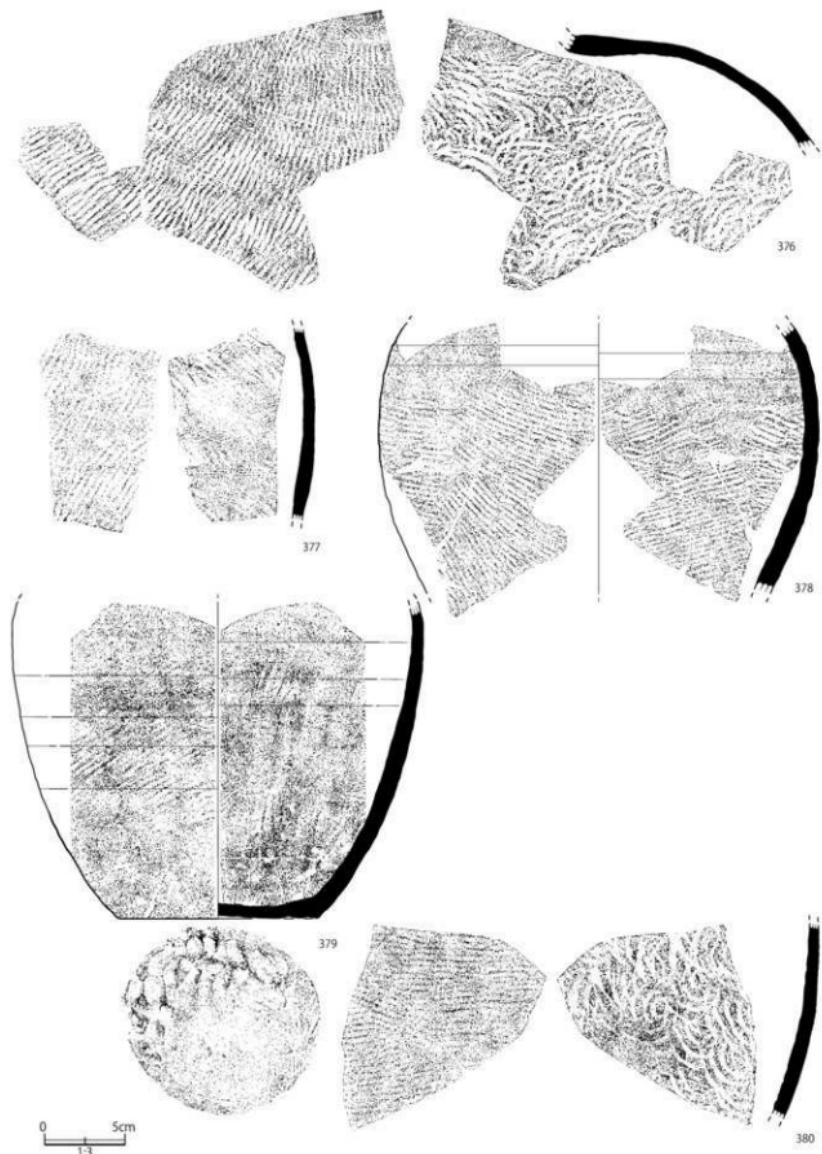
第85図 SG266 出土遺物（2）



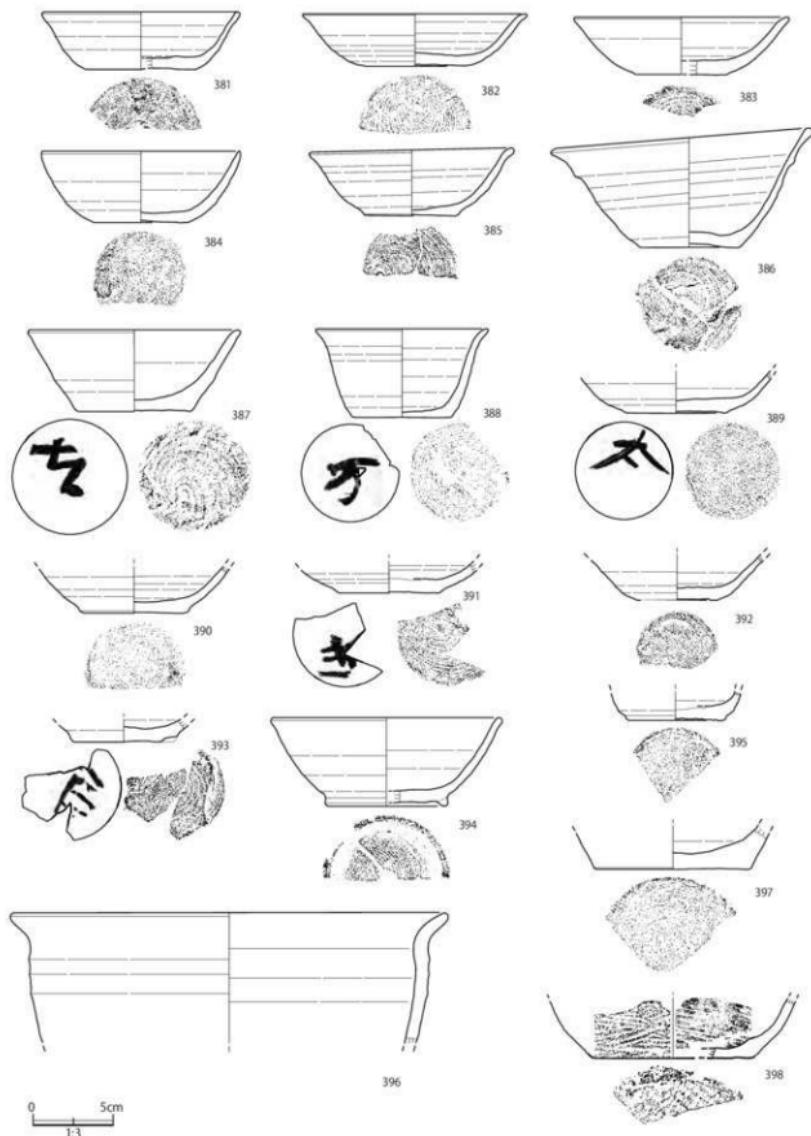
第86図 SG266出土遺物(3)



第 87 図 SG266 出土遺物 (4)



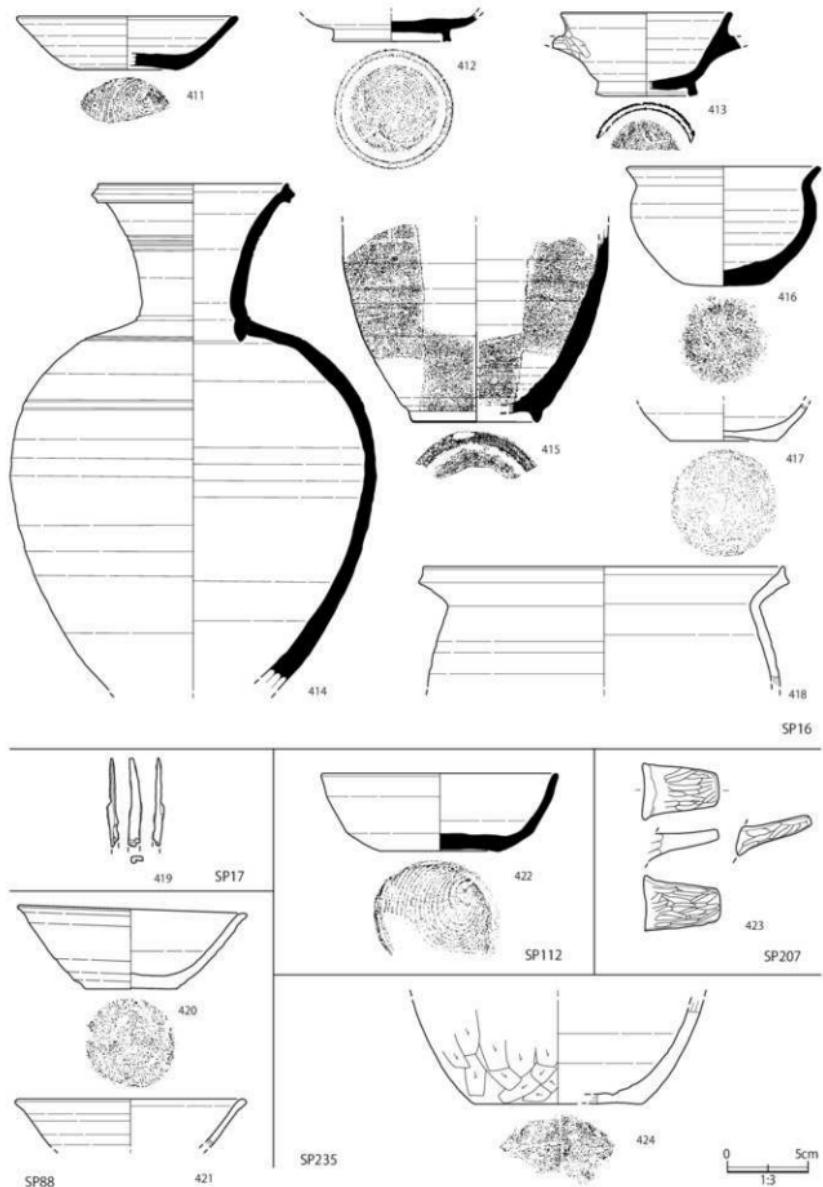
第88図 SG266出土遺物(5)



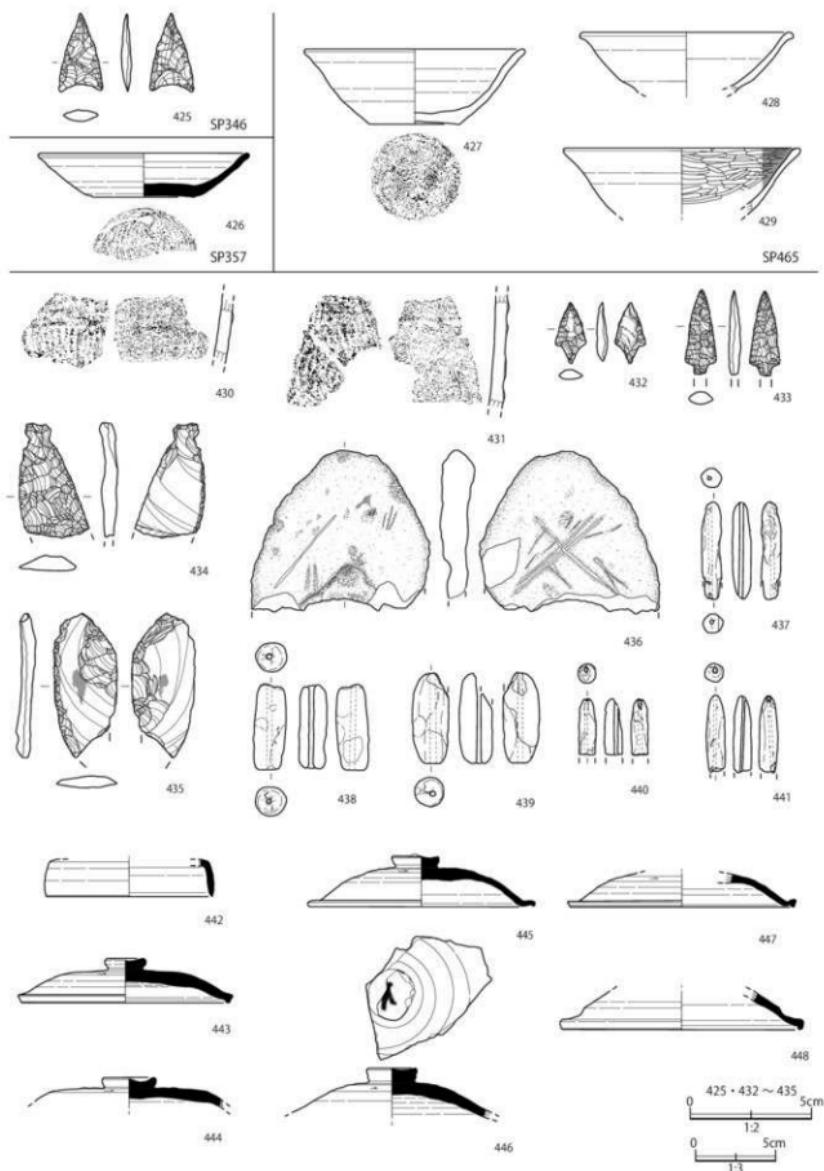
第89図 SG266出土遺物(6)



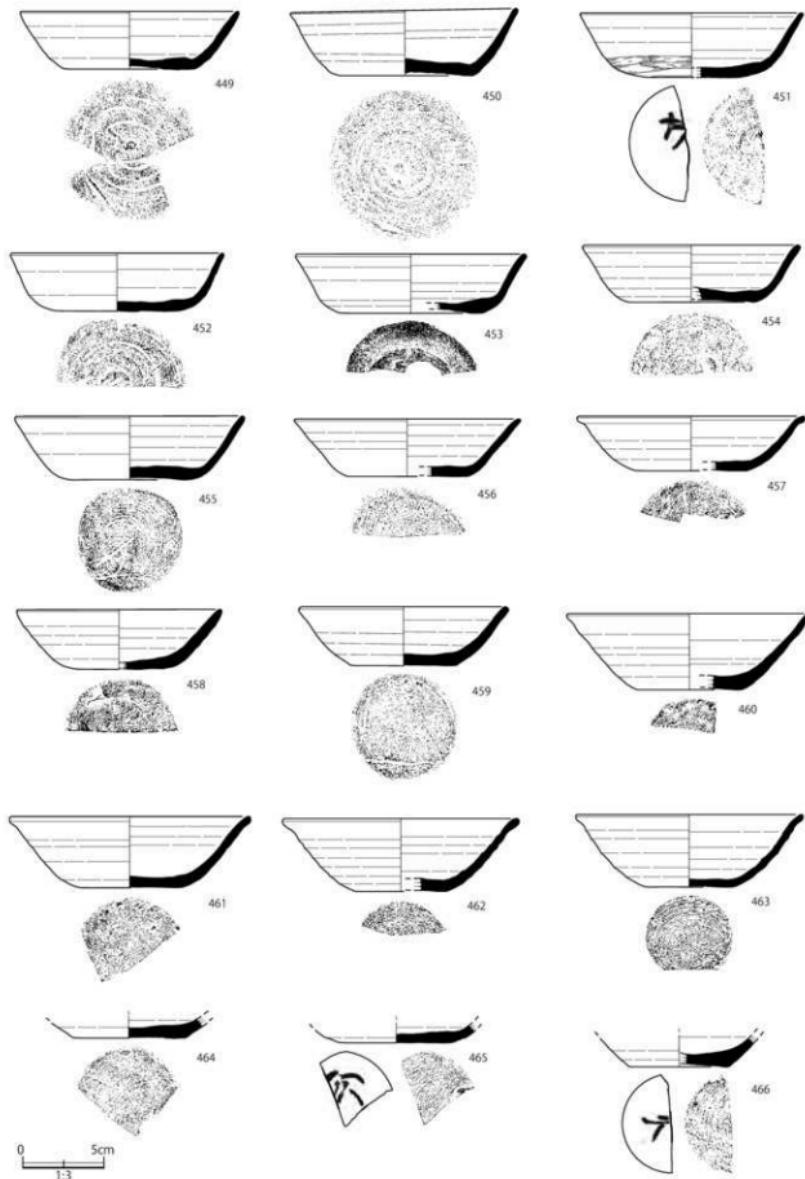
第90図 SG266 出土遺物（7）



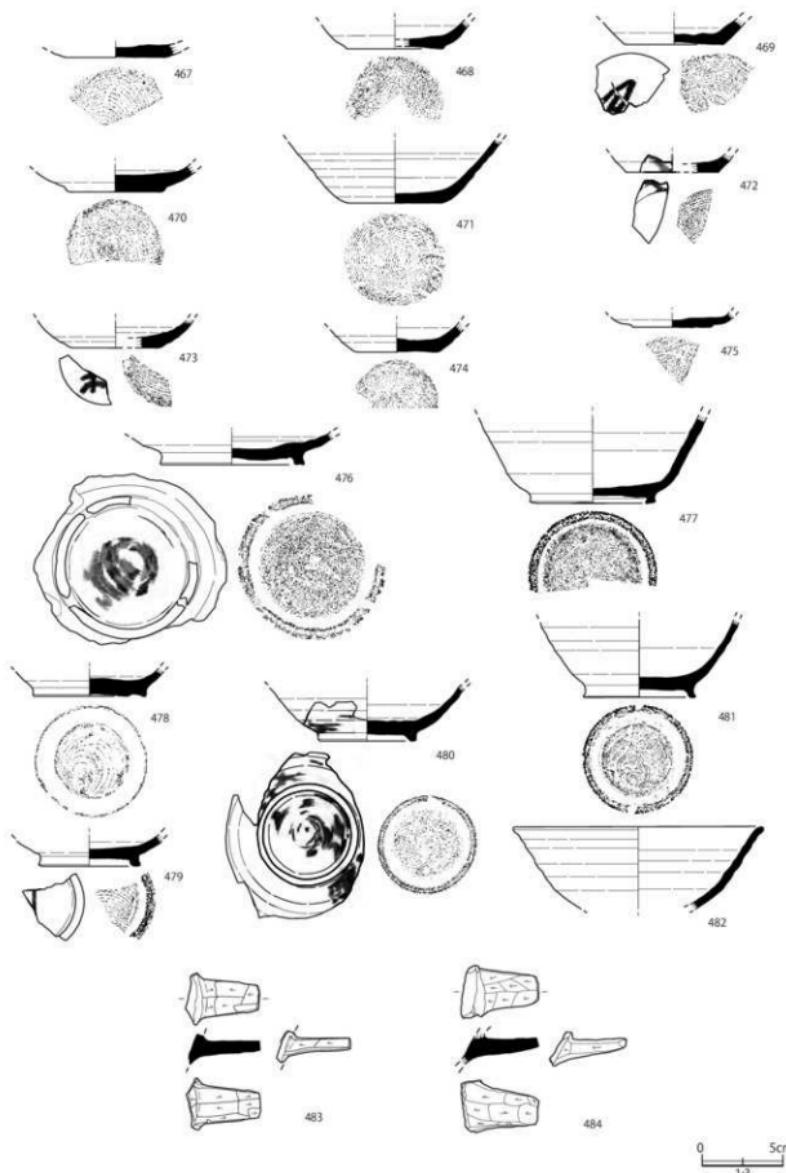
第91図 SP16・17・88・112・207・235出土遺物



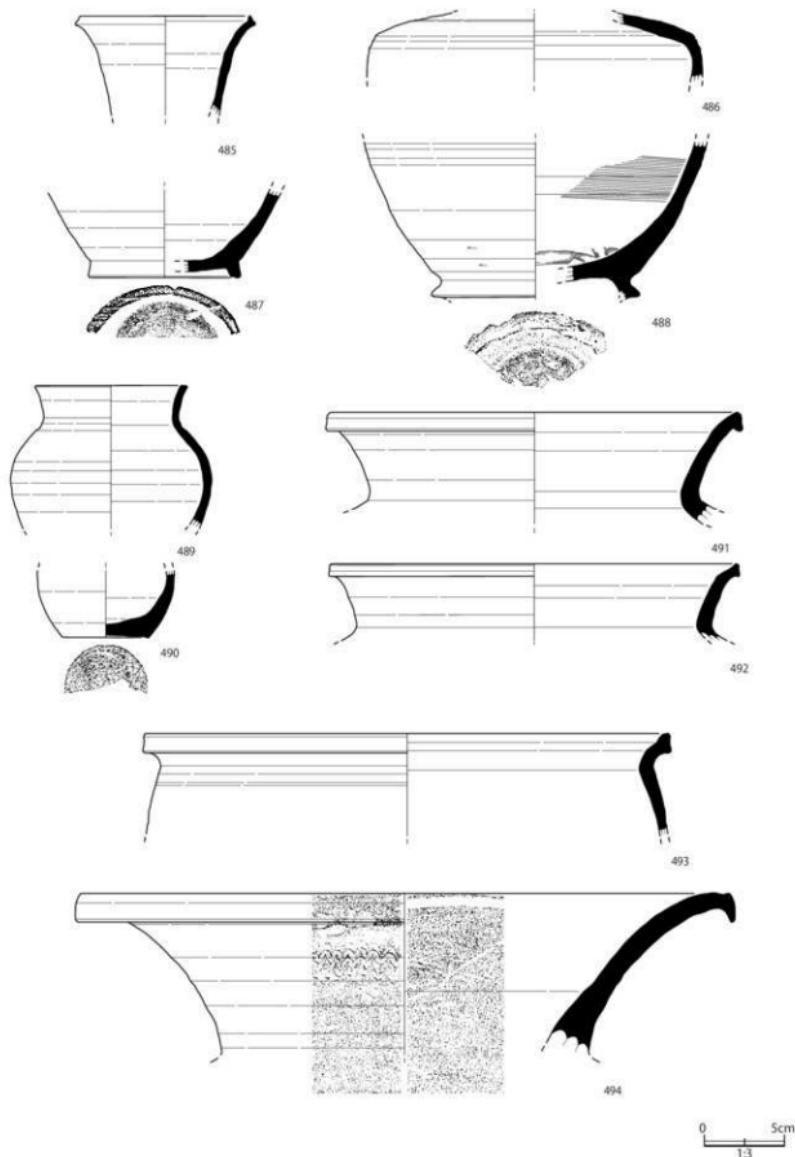
第92図 SP346・357・465出土遺物・遺構外出土遺物(1)



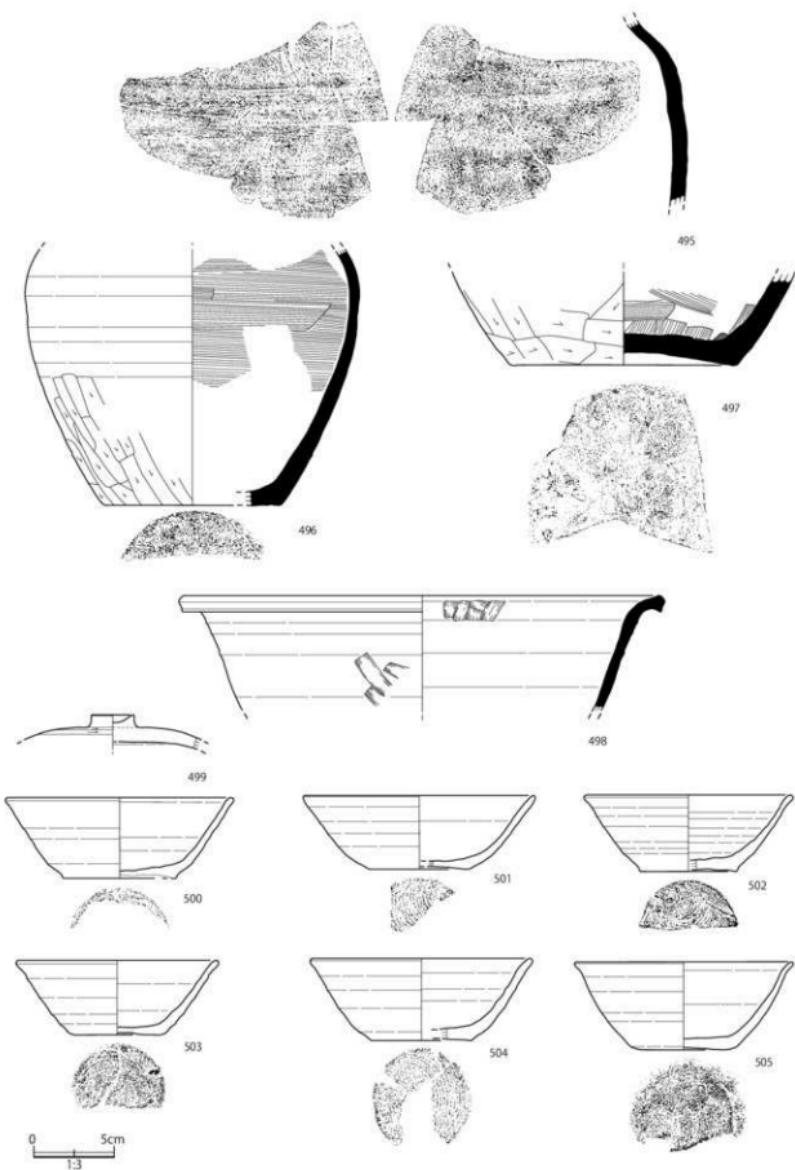
第 93 図 遺構外出土遺物（2）



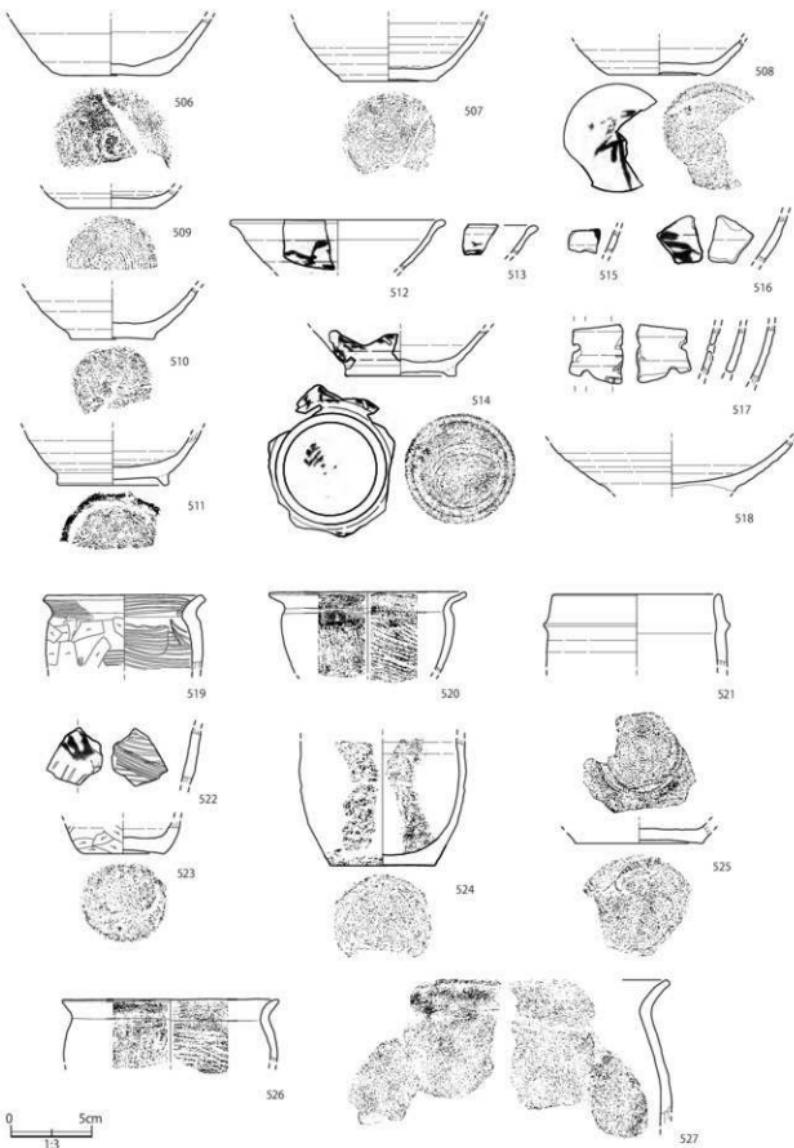
第94図 遺構外出土遺物（3）



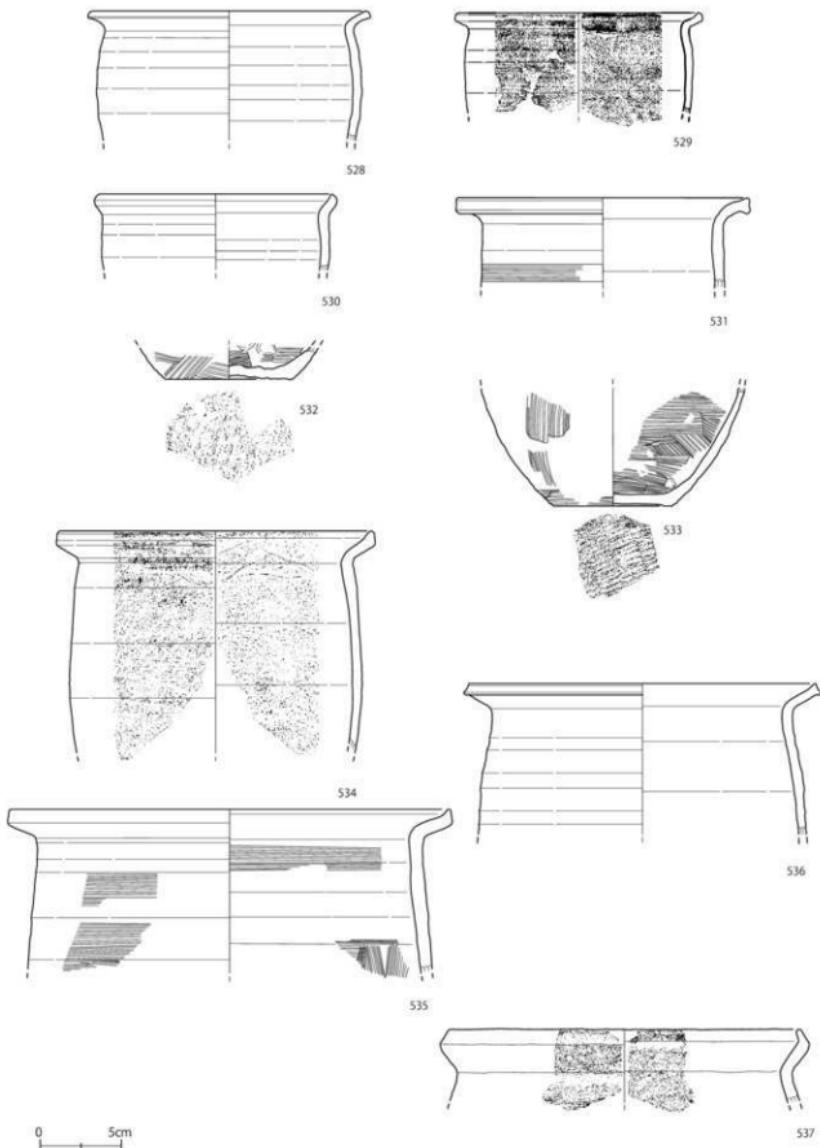
第95図 遺構外出土遺物(4)



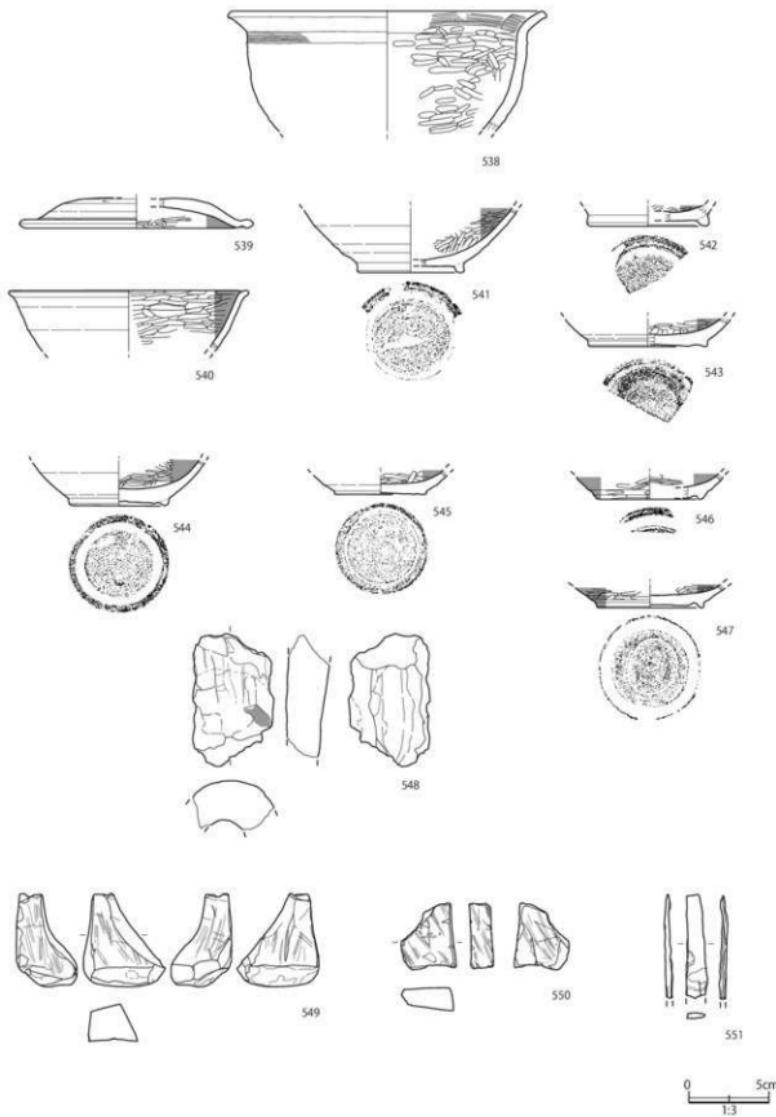
第96図 遺構外出土遺物（5）



第97図 遺構外出土遺物(6)



第98図 遺構外出土遺物（7）



第99図 遺構外出土遺物（8）



第 100 図 墨書・刻書土器集成図（1）



第101図 墨書・刻書土器集成図（2）

表1 遺物観察表

種別 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
1	須恵器	蓋	(146)			5		外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転ヘラ削り	ST1		描み欠損
2	須恵器	無台环	(141)	66	35	4		外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST1	RP128	
3	須恵器	無台环	(137)	53	36	4		外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST1Y		歪み有
4	須恵器	甕				7		外面：平行タタキ 内面：ハケ・平行アテ	ST1		外面に火はね痕
61	5	土師器	無台环	133	64	30	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST1-EL1	RP126	
	6	土師器	無台环	138	67	45	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST1		
	7	土師器	無台环	165	68	64	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST1		
	8	土師器	甕	(124)	(60)	(84)	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST1		
	9	土師器	甕		54		6	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：木炭痕	ST1		外面剥落
	10	土師器	甕	210			7	外面：ハケ・ナデ 内面：ハケ・ナデ	ST1		
	11	土師器	甕		(75)		8	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：ケズリ・ナデ	ST1Y	RP127	
	12	土師器	甕		90		7	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：崩代	ST1		二次焼成有 外面剥落
	13	黒色土器	無台环	(113)	58	47	4	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転糸切	ST1	RP155	内面黒色処理
	14	黒色土器	無台环	113	57	46	4	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転糸切	ST1		内面黒色処理
62	15	石製品	砥石	長 94.1	幅 46.0	厚 32.4	重量 158.6g	石材：鉄石英	ST1		砥面5面
	16	須恵器	蓋	(130)		22	6	外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転糸切	ST2		描み無しカ
	17	須恵器	無台环	130	58	40	3	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST2-EL1		
	18	須恵器	無台环		(74)		3	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST2		
	19	須恵器	甕	(194)			7	外面：ロクロ 内面：ロクロ	ST2		外面に火はね痕
63	20	土師器	無台环		52		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST2	RP50	底部墨書「臣」力
	21	土師器	無台环		60		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST2		底部墨書「奉」
	22	土師器	有台环		(68)		5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	ST2		外面に蠟付着
	23	土師器	甕	(194)			6	外面：ロクロ・ケズリ 内面：ロクロ	ST2-EL1		
	24	土師器	甕		72		5	外面：ロクロ・ケズリ 内面：ロクロ・カキ目 底部：ケズリ	ST2	RP48	
63	25	須恵器	蓋	(158)			4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転ヘラ削り	ST3		

擇図 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	26	須恵器	無台环	140	66	45	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST3Y	RP46	
	27	須恵器	無台环	138	61	39	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST3		
	28	須恵器	無台环	(133)	(76)	32	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST3		
	29	須恵器	無台环	(114)	(64)	35	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST3		
	30	須恵器	無台环	125	56	43	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST3		
63	31	須恵器	無台环		66		5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST3	RP45	焼成不良
	32	須恵器	無台环		(60)		4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST3		焼成不良 内外面に媒付着
	33	須恵器	甕				10	外面：口クロ 内面：口クロ	ST3Y	RP47	高台剥落 内面に火惚れ有 外面に自然釉
	34	土師器	甕		62		5	外面：口クロ・回転ヘラ削り 内面：口クロ 底部：回転系切	ST3		底部剥書「×」
	35	土師器	甕	(246)			6	外面：口クロ 内面：口クロ	ST3		
	36	土師器	甕	(90)			5	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：網代	ST3		二次焼成有 外面剥落
	37	土師器	甕				7	外面：ナデ・ハケ 内面：ハケ	ST3		
	38	黒色土器	無台环		(44)		4	外面：口クロ 内面：ミガキ 底部：回転系切	ST3		内面黒色処理
	39	黒色土器	有台环		(64)		5	外面：ミガキ 内面：ミガキ 底部：回転系切・高台	ST3		内外底面黒色処理 削り出し高台
	40	須恵器	無台环	147	90	38	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切	ST5	RP23	底部墨書「太」
	41	須恵器	無台环	(44)	(81)	41	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切	ST5		
	42	須恵器	無台环	(136)	(87)	40	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切	ST5		
64	43	須恵器	無台环	(130)	78	46	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切	ST5		
	44	須恵器	無台环		84		4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切・ナデ	ST5		焼成不良
	45	須恵器	無台环	127	58	37	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST5		
	46	須恵器	無台环	(133)	(64)	37	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST5		
	47	須恵器	無台环	(118)	(52)	38	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST5		口縁部に自然釉
	48	須恵器	無台环	(128)	66	41	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST5		
	49	須恵器	無台环	(136)	52	44	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST5		
	50	須恵器	無台环		61		5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST5		

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)					調整・文様・色調など	出土 地點	登録 番号	備考	
				口径	底径	器高	器厚						
64	51	須恵器	有台环	(136)	(76)	69	5		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	ST5			
	52	土師器	無台环	138	62	45	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST5	RP24		
	53	土師器	無台环	(104)	48	42	3		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・ナデ	ST5		口脣部に媒付着	
	54	土師器	甕		80		6		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST5		二次焼成有	
	55	土師器	甕	(240)			7		外面: ロクロ 内面: ロクロ・カキ目	ST5			
	56	土師器	甕	(280)			6		外面: ロクロ 内面: ロクロ	ST5			
	57	石製品	碁石	長 20.8	幅 17.2	厚 5.9		重量 3.0g			ST5		
	58	金属製品	刀子	残存長 20.8	幅 16.3	厚 5.0		重量 26.7g			ST5	RM21	
65	59	須恵器	蓋	(116)		27	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 天井: 回転ヘラ削り	ST9-EK2		外面口縁部に自然 縫	
	60	須恵器	無台环	(128)	(66)	39	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切	ST9			
	61	須恵器	無台环	116	66	31	5		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9-EL1	RP150		
	62	須恵器	無台环	(119)	56	31	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9	RP133	焼成不良	
	63	須恵器	無台环	121	60	34	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9Y	RP137	外面と口縁部に 媒付着	
	64	須恵器	無台环	(138)	(75)	34	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9		焼成不良	
	65	須恵器	無台环	(128)	78	36	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9			
	66	須恵器	無台环	130	70	40	5		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9-EL1	RP153	焼成不良	
	67	須恵器	無台环	126	60	36	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9		焼成不良	
	68	須恵器	無台环	(128)	(52)	42	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9		外面面付着	
66	69	須恵器	無台环	(132)	62	39	5		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9		外面下部及び内面 体部に媒付着	
	70	須恵器	無台环		62		5		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST9			
	71	須恵器	有台环	145	82	55	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	ST9Y	RP136	高台に媒付着	
	72	須恵器	有台环	(133)	62	67	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	ST9-ED6	RP130		
	73	須恵器	环	(134)			6		外面: ロクロ 内面: ロクロ	ST9			
	74	須恵器	环	(135)			4		外面: ロクロ 内面: ロクロ	ST9		焼成不良	
	75	須恵器	甕	(270)			6		外面: ロクロ・カキ目・ケズリ 内面: ロクロ・カキ目・指痕	ST9Y	RP140		

擇図 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	76	須恵器	壺	50	76	176	6	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	ST9Y	RP138	内面火彌れ有 外側と底部に自然 釉
	77	土師器	無台环		(62)		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST9Y		
81	78	土師器	甕	(124)			6	外面：ナデ・ハケ 内面：ナデ・ハケ	ST9		
	79	土師器	甕	(159)			6	外面：ロクロ 内面：ロクロ	ST9-EK11		内面口唇部に媒付 着
	80	土師器	甕	(230)			4	外面：ロクロ 内面：ロクロ	ST9-EL1		二次焼成有
	81	土師器	甕		64		5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転ヘラ切	ST9		
	82	土師器	甕		70		9	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：木葉痕	ST9-EL1		内外面に媒付着
	83	土師器	甕		62		6	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：木葉痕	ST9-EL1	RP151	
	84	土師器	甕		82		5	外面：不明 内面：不明 底部：不明	ST9-EL1	RP149	二次焼成有 内外面剥落
	85	土師器	甕		70		4	外面：ケズリ 内面：ハケ 底部：木葉痕	ST9-EL1	RP154	外面剥落
	86	土師器	甕		89		7	外面：ケズリ 内面：ハケ 底部：ケズリ・ナデ	ST9-EK11		
	87	土師器	甕	(83)			7	外面：ケズリ 内面：ハケ 底部：ナデ	ST9-EK11		内面摩滅
	88	金属製品	纺錘車		軸径 4 × 5	残存長 34.5	重量 1.3g		ST9-EL1		紡錘の一部力
67	89	金属製品	纺錘車	直徑 46.0	軸径 3 × 4	残存長 125.0	重量 18.6g		ST9	RM145	
	90	須恵器	蓋	131		28	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転糸切	ST10		
	91	須恵器	無台环	(134)	78	38	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転ヘラ切	ST10-EL1		焼成不良
	92	須恵器	無台环		72		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転ヘラ切	ST10		焼成不良
	93	須恵器	無台环	118	60	32	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転糸切	ST10Y		
	94	須恵器	無台环	(144)	59	29	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転糸切	ST10		口縁部外面に自然 釉
	95	須恵器	無台环	(132)	(80)	38	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転糸切	ST10		
	96	土師器	甕	150	82	122	6	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST10-EL1		二次焼成有
	97	土師器	甕	(140)			3	外面：ロクロ 内面：ロクロ	ST10-EL1		
68	98	土師器	甕		64		6	外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転糸切・指ナデ	ST10		
	99	土師器	甕		80		6	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	ST10-EL1	RP152	二次焼成有
	100	土師器	甕		80		7	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：崩代	ST10		

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	101	土師器	甕	106		6		外面:ハケ 内面:ハケ 底部:木製痕	ST10		
	102	土師器	甕	(92)		8		外面:平輪タキ 内面:ハケ 底部:不明	ST10		
	103	黑色土器	有台环	49		5		外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転系切・高台	ST10		内面黒色処理 削り出し高台
	104	黑色土器	有台环	(70)		5		外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転系切	ST10		内面黒色処理
	105	金属製品	筋跡車	直径 57.0°	軸径 筋輪 4×5 筋茎 4×4	残存長 12.0 99.5°	重量 筋輪 筋茎 4.2g			ST10Y	RM124
68	106	須恵器	無台环	(137)	(80)	38	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転ヘラ切	ST35		底部に火はね痕 焼成不良
	107	須恵器	無台环			62	5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST35		焼成不良
	108	須恵器	甕				6	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST35		
	109	須恵器	無台环	(121)	(84)	35	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転ヘラ切	ST54		
	110	須恵器	双耳环				5	取手:ケズリ	ST54		取手のみ
	111	土師器	無台环		66		5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転ヘラ切?	ST54-EK1		
	112	土師器	甕	(190)			6	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST54		
	113	土師器	甕	(94)			5	外面:ナデ・ハケ 内面:ナデ・ハケ	ST54		
	114	土師器	鍋				6	外面:ハケ 内面:ハケ	ST54-EK1		
	115	黑色土器	环				4	外面:ロクロ 内面:ミガキ	ST54-EK1		内面黒色処理
	116	須恵器	無台环	133	64	47	5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56-EL1		
	117	須恵器	無台环	(138)	(66)	44	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56		
	118	須恵器	小型甕		64		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56Y	RP11	外面に自然釉 内面火はね痕
	119	土師器	無台环	140	(54)	42	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:不明	ST56-EL1		二次焼成有 底部厚減
69	120	土師器	無台环	133	64	43	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56-EL1		
	121	土師器	無台环	(138)	60	44	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56Y	RP10	
	122	土師器	無台环	(123)	(61)	43	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56-EL1	RP19	内面に媒附着
	123	土師器	無台环	128	52	43	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56-EL1	RP6	
	124	土師器	無台环	(148)	56	51	5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56-EL1		
	125	土師器	無台环	(138)	(52)	51	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST56Y		

擇図 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)			調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高				
	126	土師器	無台环		50		3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST56	体部外面墨書き「□」
	127	土師器	無台环		50		4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST56-EL1	RP5
	128	土師器	無台环		60		4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST56-EL1	RP7
69	129	土師器	环	(140)			3	外面：口クロ 内面：口クロ	ST56Y	外面に媒付着
	130	土師器	环	(126)			4	外面：口クロ 内面：口クロ	ST56-EL1	
	131	土師器	甕	142	62	117	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST56-EL1	RP8 二次焼成有
	132	土師器	甕	(141)			4	外面：口クロ 内面：口クロ	ST56-EL1	RP22
	133	土師器	甕	124			7	外面：ハケ・ヘラナデ 内面：ハケ	ST56-EL1	RP13 全体に歪み有 二次焼成有 外面部摩滅
	134	土師器	甕	(165)			5	外面：ハケ・ナデ 内面：ハケ・ナデ	ST56-EL1	
	135	土師器	甕	(144)			5	外面：ハケ・ナデ 内面：ハケ	ST56	
	136	土師器	甕	(232)			6	外面：ハケ・ナデ 内面：ハケ・ナデ	ST56-EL1	RP4
	137	土師器	甕	(270)			7	外面：ハケ・ヘラナデ 内面：ハケ・ヘラナデ	ST56	
70	138	土師器	甕		72		10	外面：不明 内面：ヘラナデ 底部：ケズリ？	ST56-EL1	
	139	土師器	甕		(11)		7	外面：ケズリ 内面：ハケ・ナデ 底部：ケズリ？	ST56	
	140	土師器	甕		(104)		6	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：嗣代	ST56	
	141	土師器	甕				12		ST56-EL1	底部のみ
	142	黒色土器	有台环	136	66	48	4	外面：口クロ 内面：ミガキ 底部：回転系切・高台	ST56-EL1	内面黒色処理
	143	黒色土器	甕				5	外面：ハケ・ナデ 内面：ミガキ	ST56	内面黒色処理
	144	土製品	土鈴カ	残存長 35.4	幅 34.3	厚 8	重量 13.5g	外面：指圧痕 内面：指圧痕	ST56-EL1	手捏 中空
	145	須恵器	無台环	132	50	43	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST63	
	146	須恵器	無台环		67		5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST63	底部墨書き「□」
71	147	須恵器	有台环	(130)	(72)	40	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切・高台	ST63	
	148	土師器	無台环	132	53	46	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST63Y	RP36
	149	土師器	無台环	(144)			6	外面：口クロ 内面：口クロ	ST63	
	150	土師器	無台环		46		4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	ST63	

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	151	土師器	無台环		54		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST63		
	152	土師器	有台环		70		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切・高台	ST63		
	153	土師器	甕	(124)			4	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST63		
	154	土師器	甕	(147)			4	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST63		
	155	土師器	甕	(212)			7	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST63-EL1		
	156	土師器	甕	(138)			5	外面:ハケ・ナデ 内面:ハケ	ST63		内面に指圧痕
71	157	土師器	甕	(140)			5	外面:ハケ・ナデ 内面:ハケ	ST63		
	158	土師器	甕	(126)			5	外面:ハケ・ナデ 内面:ハケ・ナデ	ST63-EL1 RP58		二次焼成有 外側剥落
	159	土師器	甕	(118)			4	外面:不明 内面:不明	ST63		二次焼成有 内外面摩滅
	160	土師器	甕	(105)			9	外面:不明 内面:不明 底部:銅代	ST63		
	161	土師器	甕	73			8	外面:ハケ 内面:ハケ 底部:銅代	ST63		外側剥落
	162	土師器	甕	57			5	外面:ハケ 内面:ハケ 底部:銅代	ST63		
	163	土師器	甕	86			5	外面:ハケ・ケズリ 内面:ハケ 底部:銅代	ST63-EP4		
72	164	黒色土器	有台环	(64)			4	外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:不明・高台	ST63		内面黒色処理 底部摩滅
	165	黒色土器	有台环	(64)			6	外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転糸切・高台	ST63		内面黒色処理
	166	黒色土器	有台环	(62)			5	外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転糸切・高台	ST63		内面黒色処理
	167	黒色土器	有台环				5	外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転糸切・高台	ST63		内面黒色処理 高台剥落
	168	黒色土器	有台环				6	外面:ロクロ 内面:ミガキ	ST63		内面黒色処理
	169	黒色土器	甕				5	外面:ヘラナデ 内面:ミガキ	ST63		内面黒色処理
	170	須恵器	蓋	(160)			5	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST65		
	171	土師器	有台环	137	65	56	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切・高台	ST65-EL1 RP30		二次焼成有 削り出し高台
	172	土師器	有台环	147	63	59	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切・高台	ST65		歪み有
	173	土師器	甕	46			6	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切・ケズリ	ST65		
	174	土師器	甕	160	96	189	6	外面:ロクロ・ケズリ 底部:ナデ	ST65-EL1 RP29		
	175	土師器	甕	(176)			5	外面:ロクロ・ケズリ 内面:ロクロ	ST65-EL1		

擇図 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	176	土師器	甕	76			5	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST65-EP2		外面と内面口縁部に媒付着
72	177	土師器	甕	(202)			6	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST65		
	178	土師器	甕	(190)			6	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST65-EL1		二次焼成有 内面に媒付着
	179	土師器	甕				6	外面:ロクロ・ケズリ 内面:ロクロ・ヘラナデ	ST65-EL1		
	180	土師器	甕				5	外面:ハケ 内面:ハケ	ST65		
	181	土師器	甕				6	外面:ロクロ・ケズリ 内面:ロクロ	ST65-EL1		
	182	須恵器	壺	100			8	外面:ロクロ 内面:ロクロヘラナデ 底部:回転系切・ナデ・高台	ST69		外面自然釉
73	183	土師器	無台环	130	60	43	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切?	ST69Y	RP31	二次焼成有 外表面及び底部厚減
	184	土師器	無台环	127	56	44	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST69-EP3	RP32	内面口縁部に媒付着
	185	土師器	有台环	146	59	52	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切・高台	ST69		
	186	土師器	有台环	(166)			5	外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転系切・高台	ST69-EL1		高台欠損
	187	土師器	环	(124)			3	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST69-EK2		
	188	土師器	甕	(100)			4	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST69-EL1		
	189	土師器	甕	(115)			5	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST69-EK2		二次焼成有 内外面摩減
	190	土師器	甕	(134)			5	外面:ナデ・ハケ・指圧痕 内面:ナデ・ハケ	ST69-EL1		二次焼成有 外表面剥落
	191	土師器	甕	(250)			5	外面:ナデ・ハケ 内面:ナデ・ハケ	ST69-EL1		
	192	土師器	甕	(272)			6	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST69-EL1		
	193	土師器	甕	84			7	外面:ハケ 内面:ハケ 底部:網代	ST69-EL1		
74	194	土師器	甕	(72)			5	外面:ハケ・ナデ 内面:ヘラナデ 底部:網代	ST69-EL1		
	195	土師器	甕	(68)			4	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST69-EK2		
	196	土師器	甕	(94)			7	外面:ケズリ 内面:ロクロ 底部:ケズリ・ナデ	ST69-EK2		内外面摩減
	197	黒色土器	無台环	(60)			4	外面:ロクロ・ケズリ 内面:ミガキ 底部:回転系切	ST69-EL1		内面黑色処理
	198	黒色土器	有台环	72			5	外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転系切・高台	ST69-EL1		内面黑色処理
	199	黒色土器	有台环	(74)			4	外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転系切・高台	ST69		内面黑色処理
	200	金属製品	刀子	残存長 94.0	幅 10.7	厚 6.7	重量 7.0g		ST69		

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
74	201	須恵器	無台环		76		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転ヘラ切・ケズリ	ST100		
	202	須恵器	無台环	144	58	43	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST101		
	203	須恵器	有台环	(146)	66	60	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切・高台	ST101	RP38	外面部口部に自然 輪 芯み有
	204	須恵器	有台环		65		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST101	EK14	
	205	土師器	甕	(150)			5	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST101		
	206	黒色土器	有台环	(162)	(72)	60	4	外面:ロクロ 内面:ミガキ 底部:回転糸切・高台	ST101		内面黒色処理 削り出し高台
	207	須恵器	無台环		(58)		5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST137		底部墨書「□」
	208	土師器	有台环		(70)		5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切・高台	ST137		
75	209	土師器	甕	(139)			5	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST137	EP1	二次焼成有
	210	土師器	鍋	270	108	117	6	外面:ロクロ・ケズリ 内面:ロクロ・ナデ・カキ目 底部:ケズリ・ナデ	ST137Y	RP17	
	211	黒色土器	無台 环?		(74)		7	外面:不明 内面:ミガキ 底部:不明	ST137		内面黒色処理
	212	土製品	羽口	残存長 49.9	残存幅 28.6		厚 15.0		ST137		
	213	須恵器	無台环	(124)	66	31	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転ヘラ切	ST140		
	214	須恵器	無台环	(125)	(60)	35	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST140		
	215	須恵器	無台环		70		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST140		
	216	土師器	無台环	137	56	49	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST140		体部外面墨痕
	217	須恵器	無台环	(138)	(66)	32	5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST146		
	218	須恵器	無台环	124	67	44	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST146Y	RP55	
	219	須恵器	有台环	150	70	63	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切・高台	ST146		芯み有
	220	土師器	無台环	(160)	(68)	64	5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切	ST146		内面墨付有
76	221	土師器	無台环	(142)	(74)	56	4	外面:ロクロ・回転ヘラ削り 内面:ロクロ 底部:回転糸切・ケズリ	ST146	RP52	
	222	土師器	有台环	(160)	76	60	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転糸切・高台	ST146		
	223	土師器	甕	128			5	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST146		
	224	土師器	甕	(134)			5	外面:ナデ・ハケ 内面:ナデ・ハケ	ST146		二次焼成有
	225	土師器	甕	(190)			8	外面:ロクロ・ケズリ 内面:ロクロ	ST146		二次焼成有

擇図 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
76	226	土師器	甕	(274)			5	外面:ハケ 内面:ハケ	ST146Y	RP53	
	227	土師器	甕		(120)		7	外面:ケズリ・タタキ 内面:ハケ 底部:ナデ	ST146		内面剥落
	228	須恵器	無台环	(120)	63	35	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転ヘラ切・ナデ	ST147- EL1	RP60	
	229	須恵器	無台环	(129)	65	39	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST147Y	RP57	
	230	須恵器	無台环	124	54	37	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST147- EL1	RP59	
	231	土師器	無台环	108	58	43	5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:ナデ	ST147- EL1	RP61	
	232	土師器	甕		92		7	外面:不明 内面:不明 底部:不明	ST147		二次焼成有 外外面摩滅
77	233	須恵器	無台环	(140)	67	42	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST160- EL1	RP42	内面に媒付着
	234	須恵器	無台环	137	62	44	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST160- EL1	RP44	
	235	須恵器	甕				11	外面:平行タタキ 内面:同心円アテ	ST160- EL1	RP41	
	236	土師器	無台环	(126)	57	47	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST160		
	237	土師器	有台环		80		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切・高台	ST160		
	238	土師器	甕	216			6	外面:ナデ・ハケ 内面:ハケ	ST160		二次焼成有
	239	土師器	甕	(244)	104	336	6	外面:ナデ・ハケ 内面:ハケ 底部:副代	ST160- EL1	RP43	
	240	土師器	甕		(94)		7	外面:ハケ 内面:ハケ 底部:副代	ST160		二次焼成有
	241	須恵器	环	(136)			3	外面:ロクロ 内面:ロクロ	ST141		
78	242	須恵器	直	(139)			9	外面:ロクロ・カギ目 タタキ・ケズリ 内面:ロクロ	ST141Y	RP74	
	243	土師器	甕		(101)		4	外面:ハケ 内面:ハケ 底部:木葉痕	ST141		二次焼成有 外外面剥落
	244	土師器	跨付甕	(92)	72	99	7	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST141	RP79	
	245	土師器	鍋	340			6	外面:ナデ・ハケ 内面:ナデ・ハケ	ST141Y	RP73	底部剥落
	246	須恵器	無台环	128	68	33	4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転ヘラ切	ST162Y	RP143	
	247	須恵器	無台环		(66)		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転ヘラ切	ST162		
79	248	土師器	無台环		(68)		4	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST162		底部墨書「□」
	249	土師器	無台环		64		5	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切	ST276- EL1		外面に媒付着
	250	土師器	有台环	142	69	62	3	外面:ロクロ 内面:ロクロ 底部:回転系切・高台	ST276- EL1・ED2	RP95	

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	251	須恵器	無台环		54		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST436		
	252	須恵器	有台环				5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	ST436Y		
	253	土師器	有台环		72		6	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST436Y		二次焼成有 削り出し高台
	254	土師器	無台环	138	63	48	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST448- EL461	RP177	
	255	土師器	無台环	(134)	58	50	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST448- EL461		
	256	土師器	無台环	(140)	51	57	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	ST448- EL461	RP175	
79	257	土師器	有台环		(62)		6	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	ST448- EK499		削り出し高台
	258	土師器	有台环		74		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	ST448- EL461		
	259	土師器	环	(154)			4	外面: ロクロ 内面: ロクロ	ST448		
	260	土師器	环	(148)			4	外面: ロクロ 内面: ロクロ	ST448- EL461		2次焼成有
	261	土師器	甕	(175)			6	外面: ナデ・ハケ 内面: ハケ	ST448- EL461		
	262	黒色土器	有台环	(124)	(58)	50	4	外面: ミガキ 内面: ミガキ 底部: 回転糸切?	ST448- EK498		内外底面黒色処理
	263	黒色土器	甕	(240)			6	外面: ハケ・ナデ 内面: ミガキ	ST448- EL461		内面黒色処理
	264	須恵器	甕		(93)		9	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SB378- EP8		焼成不良
	265	石器	石鏹	長 (21.7)	幅 7.6	厚 3.3	重量 0.5g	石材: 黒曜石	SK21		アメリカ型石鏹 基部欠損
	266	須恵器	甕	(40)			3	外面: ロクロ 内面: ロクロ	SK21		内面自然釉
	267	土師器	甕	(128)			5	外面: ロクロ 内面: ロクロ	SK21		
	268	土師器	甕	(226)			5	外面: ロクロ 内面: ロクロ	SK21		
	269	須恵器	無台环		76		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SK22		底部墨書「奉」力
80	270	須恵器	無台环		62		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SK22		底部墨書「本」力
	271	須恵器	有台环	136	81	49	5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: ナデ?・高台	SK22		焼成不良
	272	須恵器	甕				7	外面: ロクロ 内面: ロクロ	SK22		
	273	須恵器	甕		(94)		7	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 砂利・ヶズリ	SK22		
	274	土師器	甕	(124)			5	外面: ロクロ 内面: ロクロ	SK22		
	275	土師器	甕	(138)			5	外面: ロクロ 内面: ロクロ	SK22		底部剥落

擇図	遺物番号	種別	器種	計測値 (mm)					出土地点	登録番号	備考
				口径	底径	器高	器厚	調整・文様・色調など			
80	276	土師器	甕	(235)			6	外面：ハケ・ナデ 内面：ハケ	SK22		
	277	土師器	甕	(240)			8	外面：ロクロ 内面：ロクロ	SK22	二次焼成有	
	278	土師器	甕				6	外面：ケズリ 内面：ヘラナデ	SK22	底部剥落	
	279	土師器	甕				7	外面：平行タタキ 内面：平行アテ・ハケ 底部：丸底	SK22		
	280	土製品	管状土鍍	残存長 鍍	44.0	幅 12.0	厚 5.0	重量 7.2g		SK22	
	281	土師器	無台环	138	50	50	3	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SK66		
	282	土師器	無台环		(54)			底部：回転糸切	SK66	底部のみ 内面剥落	
	283	土師器	有台环	152	74	59	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	SK66	二次焼成有	
81	284	土師器	环	(144)			4	外面：ロクロ・ヘラナデ 内面：ミガキ	SK66		
	285	土師器	甕	(100)			9	外面：ハケ 内面：指圧痕 底部：嗣代	SK142		
	286	黒色土器	有台环	138	(73)	63	4	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転糸切・高台	SK149	内面黒色処理	
	287	土師器	無台环		57		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SK158	体部外面墨書「□」	
	288	土師器	無台环		(58)		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SK158	底部墨書「×」	
	289	黒色土器	有台环		59		4	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転糸切・高台	SK158	内面黒色処理	
	290	須恵器	無台环	(124)	62	38	3	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SK277Y	RP69	
	291	木製品	杭状木製品	長	幅	厚	木取り等：芯持ち材 樹種：ヒノキ科アスナロ属	SK318		部材か？	
	292	須恵器	無台环	(118)	62	30	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SK344	底部墨書「□」	
	293	須恵器	無台环	(132)	66	42	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SK344		
	294	須恵器	双耳环				取手：ケズリ	SK344		取手のみ 上面一部剥落	
	295	土師器	甕	(165)			6	外面：ロクロ 内面：ロクロ	SK344	二次焼成有	
82	296	土師器	甕	(200)			8	外面：ロクロ 内面：ロクロ	SK344		
	297	土師器	甕	(190)			7	外面：ロクロ 内面：ロクロ	SK344		
	298	土師器	甕	(194)			6	外面：ロクロ・ケズリ 内面：ロクロ	SK344	二次焼成有 内面剥落	
	299	土師器	甕	121			7	外面：ロクロ・ケズリ 内面：ロクロ・ヘラナデ 底部：ケズリ	SK344		
	300	土師器	甕	(100)			6	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：木質痕？	SK344		

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)					調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚					
82	301	黑色土器	無台环	109	54	37	4	外面: ロクロ 内面: ミガキ 底部: 回転糸切	SK344			内面黒色処理
	302	土師器	無台环		58		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切		SK345		
	303	土師器	甕	(129)	68	128	7	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切		SK345		二次焼成有 口縁部内面焼付着
	304	土師器	甕		70		5	外面: ハケ 内面: ハケ 底部: ケズリ・ナデ		SK345		
	305	須恵器	無台环		(54)		3	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切		SD19		
83	306	須恵器	甕	(132)			8	外面: ロクロ 内面: ロクロ		SD19		外面に自然釉
	307	須恵器	甕				11	外面: 平行タタキ 内面: 平行アテ		SD19		
	308	須恵器	甕		(92)		8	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・ケズリ		SD19		焼成不良
	309	須恵器	甕		(129)		9	外面: 平行タタキ・ケズリ 内面: 平行アテ 底部: タタキ・ケズリ		SSD19		
	310	土師器	有台环		63		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台		SD19		
	311	須恵器	無台环		(61)		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切		SD55		
	312	須恵器	長颈瓶				11	外面: ロクロ 内面: ロクロ		SD55		頸部のみ
	313	須恵器	甕				7	外面: 平行タタキ 内面: 同心円アテ		SD55		
	314	須恵器	甕				6	外面: 平行タタキ 内面: 平行アテ		SD55		
	315	須恵器	甕		(107)		10	外面: ロクロ・ケズリ 内面: ロクロ 底部: ケズリ		SD55		内外面自然釉
	316	土師器	無台环		(62)		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切		SD55		
	317	黑色土器	有台环		(60)		4	外面: ロクロ 内面: ミガキ 底部: 回転糸切・高台		SD55		削り出し高台
84	318	須恵器	蓋				4	外面: ロクロ 内面: ロクロ		SG266		外面墨書「万」
	319	須恵器	蓋				4	外面: ロクロ 内面: ロクロ		SG266Y	RP115	
	320	須恵器	無台环	(124)	70	38	3	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切		SG266Y	RP75	体部外面墨書「一」 力 武部墨書「太」
	321	須恵器	無台环	(128)	(62)	38	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切		SG266	(02-50G)	
	322	須恵器	無台环	(128)	62	34	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切		SG266Y	RP105	
	323	須恵器	無台环		70		3	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切・ナデ		SG266	(01-48G)	RP113 内外面に焼付着
	324	須恵器	無台环		68		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切		SG266	RP91	底部墨書「太」
	325	須恵器	無台环	(130)	63	38	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切		SG266Y	RP100	底部墨書「刑」 (01-46G)

擇因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	326	須恵器	無台环	(132)	(66)	40	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
84	327	須恵器	無台环	(125)	(66)	37	6	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	328	須恵器	無台环	128	62	38	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266 (02-47G)	全体に歪み有	
	329	須恵器	無台环	(142)	68	37	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266 (01-48G)	RP117 底部墨書「劍」	
	330	須恵器	無台环	(136)	62	34	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266	底部墨書「下井」	
	331	須恵器	無台环	(128)	60	39	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266Y (02-47G)	RP109	
	332	須恵器	無台环	(118)	(56)	39	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266Y (01-43G)	RP89	
	333	須恵器	無台环	142	58	38	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266	RP114	
	334	須恵器	無台环	(136)	59	37	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266Y	RP101	
	335	須恵器	無台环	(139)	58	45	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266Y (01-46G)	RP104 底部墨書「寺」	
	336	須恵器	無台环	(144)	58	41	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
85	337	須恵器	無台环	153	56	45	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266	体部外側墨痕	
	338	須恵器	無台环	(152)	58	41	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266Y	体部外側 2ヶ所墨 書「夫」 底部墨書「夫」	
	339	須恵器	無台环	(151)	59	41	5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266	RP90 底部墨書「百」	
	340	須恵器	無台环	(134)	(56)	43	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266 (02-45G)	RP81	
	341	須恵器	無台环	126	48	40	5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266	底部墨書「□」	
	342	須恵器	無台环	(126)	54	33	5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266 (02-47G)	RP103	
	343	須恵器	無台环	(139)	(48)	39	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	344	須恵器	無台环	(132)	54	40	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266 (04-46G)	外面と底部に媒付 着	
	345	須恵器	無台环	(138)	(54)	45	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	346	須恵器	無台环	(120)	(54)	40	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	347	須恵器	無台环	(114)	(58)	49	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
86	348	須恵器	無台环		(78)		5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266	底部墨書「□」	
	349	須恵器	無台环		74		5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	350	須恵器	無台环		68		5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266	底部墨書「□」	

種別	器種	計測値 (mm)					調整・文様・色調など	出土地点	登録番号	備考
		口径	底径	器高	器厚					
351	須恵器 無台环	(68)		5			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266 (02-48G)		底部墨書「□井」 力
352	須恵器 無台环	(63)		6			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266 (01-48G)	RP116	底部墨書「□」
353	須恵器 無台环	62		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266	RP87	
354	須恵器 無台环	62		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266 (02-49G)		
355	須恵器 無台环	62		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266 (02-49)		
356	須恵器 無台环	61		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266Y (03-48G)	RP111	
357	須恵器 無台环	60		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266		底部墨書「由」力
358	須恵器 無台环	(59)		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266		底部墨書「下」力
86	須恵器 無台环	58		6			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266		底部墨書「万」
	須恵器 無台环	(52)		5			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266 (02-47G)		底部墨書「□」
	須恵器 無台环	52		5			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266 (02-44G)		底部墨書「夏」力
	須恵器 有台环	(74)		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	SG266		
	須恵器 有台环	77		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	SG266Y (02-45G)	RP108	
	須恵器 有台环	67		5			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266 (01-47G)	RP106	
	須恵器 有台环	66		5			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	SG266	RP82	
	須恵器 有台环	65		5			外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	SG266		
	須恵器 环	(136)		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ	SG266 (02-45G)		体部外面墨書「□」
368	須恵器 环	136		4			外面: ロクロ 内面: ロクロ	SG266Y		
369	須恵器 直			4			外面: ロクロ 内面: ロクロ	SG266 (02-46)	RP80	腹部のみ 外面の一部に自然 釉
370	須恵器 直			8			外面: ロクロ・回転ヘラ削り 内面: ロクロ 底部: 指彫テ・高台	SG266	RP78	高台欠損
87	371	須恵器 直	(138)	10			外面: ロクロ・平行タタキ 内面: ロクロ 底部: 平彫テ・高台	SG266		
372	須恵器 直	(110)	70	92	4		外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	SG266	RP88	
373	須恵器 直	(180)			6		外面: ロクロ 内面: ロクロ	SG266		外面颈部に自然釉
374	須恵器 直				6		外面: 平行タタキ 内面: 青海波アテ・ナデ・カキ SG266			
375	須恵器 直				9		外面: 平行タタキ・ナデ 内面: 青海波アテ SG266			

擇因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	376	須恵器	甕				7	外面：平行タタキ 内面：青海波アテ	SG266		
	377	須恵器	甕				7	外面：平行タタキ 内面：平行アテ・カキ目	SG266		
88	378	須恵器	甕				9	外面：口クロ・平行タタキ 内面：口クロ・平行アテ	SG266		
	379	須恵器	甕	122			8	外面：口クロ・平行タタキ 内面：口クロ・平行アテ・指寸 底部：ケズリ	SG266		
	380	須恵器	甕				8	外面：平行タタキ 内面：同心円アテ	SG266		
	381	土師器	無台环	(122)	(70)	35	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切・ナデ	SG266		
	382	土師器	無台环	(138)	62	32	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		外面底部に媒付着
	383	土師器	無台环	(132)	(56)	35	5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	384	土師器	無台环	(122)	(56)	44	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	385	土師器	無台环	126	58	40	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266Y (02-47G)		
	386	土師器	無台环	162	60	73	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		外面剥落
	387	土師器	無台环	131	70	50	6	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266 (01-45G)	RP86	底部墨書「古」力 燒成不良外面剥落 媒付着
	388	土師器	無台环	(106)	60	55	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		底部墨書「万」
89	389	土師器	無台环		60		4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		底部墨書「太」
	390	土師器	無台环		64		4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266	RP97	
	391	土師器	無台环		(62)		5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266 (01-48G)		底部墨書「由」力
	392	土師器	無台环		48		4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	393	土師器	無台环		(66)		6	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266 (02-48G)		底部墨書「□」
	394	土師器	有台环	(142)	76	54	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切・高台	SG266	RP110	
	395	土師器	小 型 甕?		(60)		6	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		内面底部剥離
	396	土師器	甕	(270)			9	外面：口クロ 内面：口クロ	SG266Y		
	397	土師器	甕		(96)		9	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転糸切	SG266		
	398	土師器	甕		(96)		6	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：網代	SG266		
90	399	黒色土器	無台环	122	56	47	5	外面：口クロ 内面：ミガキ 底部：回転糸切	SG266		内面黑色處理
	400	黒色土器	無台环	(138)	52	62	4	外面：口クロ 内面：ミガキ 底部：回転糸切	SG266 (02-45G)		内面黑色處理

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	401	黑色土器	有台环	149	64	58	4	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転糸切・高台	SG266	RP102	内面黒色処理
	402	黑色土器	环	(160)			4	外面：ロクロ 内面：ミガキ	SG266		内面黒色処理
	403	壺器系陶器	壺	(126)			12	外面：ナデ 内面：カギ目 底部：ケズリ・ナデ	SG266		
		容器	-					木取り等・蘿木取り	(02-48G)		
	404	木製品	挽物 - 皿		115		6	樹種：ケヤキ	SG266Y	RW76	
90	405	木製品	棒状木製品	長	幅	厚	木取り等：削り材 樹種：フサザクラ	SG266			
	406	木製品	棒状木製品	長	幅	厚	木取り等：削り材 樹種：スギ	SG266			先端に焼焦
	407	木製品	棒状木製品	長	幅	厚	木取り等：芯持材 樹種：スギ	SG266			
	408	木製品	板状木製品	長	幅	厚	木取り等：板目 樹種：スギ	SG266			
	409	木製品	板状木製品	長	幅	厚	木取り等：板目 樹種：スギ	SG266			木打2ヶ所残 木打孔1ヶ所
	410	木製品	杭	197	36	14	木取り等：削り材 樹種：ブナコナラ属コナラ亜属コナラ部	SG266Y	RW94		先端に焼焦
	411	須恵器	無台环	(135)	(58)	32	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SP16		
	412	須恵器	有台环		73		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	SP16		
	413	須恵器	双耳环	(105)	(62)	50	4	体部：ロクロ 取手：ケズリ 底部：回転糸切・高台	SP16	RP120	
	414	須恵器	壺	(117)			6	外面：ロクロ 内面：ロクロ	SP16	RP121	外面に自然釉
91	415	須恵器	壺	(76)			5	外面：ロクロ・タキ 内面：ロクロ・カギ目 底部：回転糸切・高台	SP16		
	416	須恵器	壺	(118)	49	72	7	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：ナデ	SP16	RP122	内外面に自然釉
	417	土師器	無台环		66		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SP16		
	418	土師器	壺	(220)			6	外面：ロクロ 内面：ロクロ	SP16		
	419	金属製品	刀子	残存長 53.1	幅 7.8	厚 4.3	重量 2.0g		SP17		
	420	土師器	無台环	(140)	56	49	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	SP88		
	421	土師器	环	(114)			4	外面：ロクロ 内面：ロクロ	SP88		
	422	須恵器	無台环	(144)	72	47	5	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転糸切	SP112		焼成不良
	423	土師器	双耳环				9	取手：ミガキ	SP207		取手のみ
	424	土師器	壺	(102)			7	外面：ケズリ 内面：ロクロ 底部：ケズリ？	SP235		
92	425	石器	石器	長 31.1	幅 14.4	厚 4.0	重量 1.1g	石材：珪質頁岩	SP346		

擇図 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	426	須恵器	無台环	(130)	(62)	27	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	SP357		
	427	土師器	無台环	135	56	46	5	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転系切	SP465Y	RP176	
	428	土師器	环	(132)			4	外面：口クロ 内面：口クロ	SP465		
	429	黑色土器	环	(146)			3	外面：口クロ 内面：ミガキ	SP465		内面黒色処理
	430	縄文土器	深鉢				7	部位：体部 文様 地文	09-49G		中期 大木式
	431	縄文土器	深鉢				7	部位：体部 文様 地文	09-47G		中期 大木式
	432	石器	石礫	長 (24.1)	幅 10.5	厚 3.8	重量 1.0g	石材：珪質頁岩	02-51G		
	433	石器	石礫	長 (34.3)	幅 10.3	厚 5.0	重量 1.9g	石材：鐵石英	06-53G		基部欠損
	434	石器	石匙	長 (45.1)	幅 25.3	厚 5.0	重量 7.8g	石材：珪質頁岩	08-44G		先端部欠損
	435	石器	削器	長 (58.3)	幅 26.6	厚 5.0	重量 9.9g	石材：珪質頁岩	XO		先端部欠損
	436	石製品	門石	長 100.7	幅 104.9	厚 18.3	重量 197.4g	石材：安山岩	07-52G		表に円 裏面に刻印 or 削痕 下半欠損
92	437	土製品	管状 土鍤	長 59.4	幅 10.9	厚 11.8	重量 8.5g		10-58G		
	438	土製品	管状 土鍤	長 51.2	幅 20.1	厚 17.2	重量 18.6g		10-58G		
	439	土製品	管状 土鍤	長 54.5	幅 21.9	厚 19.4	重量 19.9g		10-58G		
	440	土製品	管状 土鍤	残存長 34.2	幅 12.1	厚 11.7	重量 5.2g		11-56G		
	441	土製品	管状 土鍤	残存長 46.9	幅 11.5	厚 11.3	重量 6.6g		08-50G		
	442	須恵器	蓋	(102)		(18)	4	外面：口クロ 内面：口クロ	13-56G		内面自然釉 短頭蓋
	443	須恵器	蓋	(129)		27	6	外面：口クロ 内面：口クロ 天井：回転ヘラ削り	11-54G		
	444	須恵器	蓋				5	外面：口クロ 内面：口クロ 天井：回転ヘラ削り	04-51G		
	445	須恵器	蓋	(140)		32	4	外面：口クロ 内面：口クロ 天井：回転ヘラ削り	09-54G 10-54G 10-55G		外面口縁部に自然 釉
	446	須恵器	蓋				6	外面：口クロ 内面：口クロ 天井：回転ヘラ削り	05-47G		摘み墨書「下」方
	447	須恵器	蓋	(137)			4	外面：口クロ 内面：口クロ 天井：回転ヘラ削り	10-56G		
	448	須恵器	蓋	(148)			5	外面：口クロ 内面：口クロ	09-54G 10-53G		
93 -	449	須恵器	無台环	(134)	82	35	4	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切	10-57G 11-57G		
	450	須恵器	無台环	138	79	40	3	外面：口クロ 内面：口クロ 底部：回転ヘラ切	06-54G	RP119	

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)					調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚					
	451	須恵器	無台环	(136)	(70)	39	4	外面: ロクロ・ヘラナデ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切・ヘラナデ	11-54G	底部墨書「方」カ		
	452	須恵器	無台环	(130)	76	35	3	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切	07-49G			
	453	須恵器	無台环	(140)	(87)	35	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切	09-49G			
	454	須恵器	無台环	(132)	(76)	34	4	外面: ロクロ・ヘラナデ 内面: ロクロ 底部: 回転ヘラ切	10-58G			
	455	須恵器	無台环	(139)	70	38	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	03-50G			
	456	須恵器	無台环	(137)	(74)	35	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	05-50G			
	457	須恵器	無台环	(138)	(68)	33	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	06-49G			
93	458	須恵器	無台环	(124)	(54)	36	6	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	05-49G	RP118		
	459	須恵器	無台环	127	63	35	5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	10-55G			
	460	須恵器	無台环	(148)	(60)	46	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	06-55G			
	461	須恵器	無台环	(146)	(66)	43	5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	05-48G			
	462	須恵器	無台环	(142)	(54)	44	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	07-64G			
	463	須恵器	無台环	(140)	(50)	44	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	06-47G		内外面に縦付着	
	464	須恵器	無台环		(68)		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	05-50G			
	465	須恵器	無台环		(68)		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	07-49G	底部墨書「□」		
	466	須恵器	無台环		60		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	15-60G	底部墨書「六」カ		
	467	須恵器	無台环		(60)		6	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	05-55G			
	468	須恵器	無台环		60		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	13-56G			
	469	須恵器	無台环		(60)		6	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	07-49G	底部墨書「□」		
	470	須恵器	無台环		58		6	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	04-49G			
94	471	須恵器	無台环		58		3	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	13-56G	RP26		
	472	須恵器	無台环		(56)		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	04-46G		体部外面墨書「□」	
	473	須恵器	無台环		(54)		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	XO		底部墨書「□」	
	474	須恵器	無台环		(51)		6	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	05-48G			
	475	須恵器	無台环		(50)		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	02-49G			

擇団 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)			調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高				
	476	須恵器	有台环		88	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：ナデ・高台	12-57G		転用硯 (底部・外側体部墨 痕)
	477	須恵器	有台环		76	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	10-54G 10-55G		
	478	須恵器	有台环		68	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	16-57G		
	479	須恵器	有台环		(62)	5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	11-54G		底部墨書「□」
94	480	須恵器	有台环		60	4	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	11-58G		転用硯 (底部墨痕)
	481	須恵器	有台环		66	3	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	10-53G 10-54G		
	482	須恵器	环	152		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ	02-49G 03-49G		
	483	須恵器	双耳环			8	取手：ケズリ	05-47G		取手のみ
	484	須恵器	双耳环			9	取手：ケズリ	07-53G		取手のみ
	485	須恵器	壺	(104)		4	外面：ロクロ 内面：ロクロ	11-54G		内面に自然輪
	486	須恵器	壺			6	外面：ロクロ 内面：ロクロ	11-54G		
	487	須恵器	壺	(94)		7	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切・高台	07-49G		
	488	須恵器	壺	(128)		9	外面：ロクロ・回転ヘラ削り 内面：カキ目・ヘラナデ 底部：ナデ・高台	11-58G		
95	489	須恵器	壺	(94)		5	外面：ロクロ 内面：ロクロ	07-52G 07-53G		外面頭部に自然輪
	490	須恵器	小型壺	(52)		5	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	10-56G 10-58G		外面に自然輪
	491	須恵器	壺	(257)		8	外面：ロクロ 内面：ロクロ	16-52G 16-54G		
	492	須恵器	壺	(252)		7	外面：ロクロ 内面：ロクロ	10-50G		
	493	須恵器	壺	(325)		6	外面：ロクロ 内面：ロクロ	11-55G		
	494	須恵器	壺	(406)		12	外面：ロクロ 内面：ロクロ	16-54G		外面口縁部に波状 文 外面に自然輪
	495	須恵器	壺			9	外面：ロクロ・カキ目 内面：ロクロ	05-48G 05-50G 06-52G		
	496	須恵器	壺	108		7	外面：ロクロ・ケズリ 内面：カキ目 底部：砂底	09-54G 10-54G		外面に自然輪
96	497	須恵器	壺	(136)		11	外面：ケズリ 内面：ハケ 底部：砂底・ケズリ	09-55G		内面に炭化物付着 外面に自然輪 火薙れ有り
	498	須恵器	鏡	(290)		5	外面：ロクロ・ヘラナデ 内面：ロクロ・ヘラナデ	10-53G		
	499	土師器	蓋			8	外面：ロクロ 内面：ロクロ 天井：回転ヘラ削り	15-61G		
	500	土師器	無台环	(140)	(68)	49	外面：ロクロ 内面：ロクロ 底部：回転糸切	13-56G		底部剥離

持因 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
	501	土師器	無台环 (142)	(60)	45	4	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	09-56G		内面に火はね痕
	502	土師器	無台环 (128)	(60)	46	4	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	08-56G		
96	503	土師器	無台环 (124)	56	45	4	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	07-49G		二次焼成有 内面媒付着
	504	土師器	無台环 136	62	50	5	5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	13-56G	RP28	
	505	土師器	無台环 (134)	57	53	4	4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	09-57G		二次焼成有 内面媒滅
	506	土師器	無台环		68		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	10-54G		二次焼成有
	507	土師器	無台环		59		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	13-56G	RP34	
	508	土師器	無台环		64		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	13-56G		底部墨書「□」
	509	土師器	無台环		55		5	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	XO		
	510	土師器	無台环		50		4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	13-56G		
	511	土師器	有台环 (68)				4	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	05-48G		
	512	土師器	环 (131)				3	外面: ロクロ 内面: ロクロ	04-45G		体部外墨書「□」 485・518と同一
	513	土師器	环				3	外面: ロクロ 内面: ロクロ	04-45G		外面部墨書「□」 485・486と同一
	514	土師器	有台环 67				3	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切・高台	04-45G		体部外墨書「□」 486・518と同一
	515	土師器	环				4	外面: ロクロ 内面: ロクロ	04-48G		体部外墨書「□」
97	516	土師器	环				5	外面: ロクロ 内面: ロクロ	12-53G		外面部墨書「□」
	517	土師器	环力				4	外面: ロクロ 内面: ロクロ	12-55G		体部外墨書「□」 田」力 体部穿孔 2ヶ所
	518	土師器	环				4	外面: ロクロ 内面: ロクロ	10-54G		二次焼成有 底部剥落
	519	土師器	甕 (98)				7	外面: ハケ・ケズリ 内面: ナデ・ハケ	16-56G		
	520	土師器	甕 (120)				5	外面: ナデ・ハケ 内面: ハケ	09-52G		
	521	土師器	跨付甕 (103)				6	外面: ロクロ 内面: ロクロ	12-54G		
	522	土師器	甕				6	外面: ハケ 内面: ハケ	11-54G		外面部墨書 or 剥離
	523	土師器	小型甕 50				5	外面: ロクロ・ケズリ 内面: ロクロ 底部: ケズリ・ナデ	02-48G		
	524	土師器	甕 63				4	外面: 不明 内面: ロクロ?	13-56G		二次焼成有 外面部剥落
	525	土師器	甕? (78)				7	外面: ロクロ 内面: ロクロ 底部: 回転糸切	11-55G		内面の底にも回転 糸切痕

擇図 番号	遺物 番号	種別	器種	計測値 (mm)				調整・文様・色調など	出土 地点	登録 番号	備考
				口径	底径	器高	器厚				
97	526	土師器	甕	(132)			5	外面：ナデ・ハケ 内面：ハケ	07-55G		
	527	土師器	甕				6	外面：ナデ・ハケ 内面：ハケ	13-56G		
98	528	土師器	甕	(168)			5	外面：ロクロ 内面：ロクロ	09-56G		
	529	土師器	甕	(148)			4	外面：ロクロ 内面：ロクロ・カキ目	05-47G		
98	530	土師器	甕	(142)			6	外面：ロクロ 内面：ロクロ	11-57G		外面に媒付着
	531	土師器	甕	(178)			6	外面：ロクロ・カキ目 内面：ロクロ	03-53G		
98	532	土師器	甕	(76)			5	外面：ハケ 内面：ハケ・指圧痕 底部：嗣代	13-56G		二次焼成有
	533	土師器	甕	(72)			6	外面：ハケ 内面：ハケ 底部：嗣代	13-56G		体部外面剥落
98	534	土師器	甕	(190)			6	外面：ロクロ・カキ目 内面：ロクロ・カキ目	06-47G		
	535	土師器	甕	(268)			8	外面：ロクロ・カキ目 内面：ロクロ・ハケ・カキ目	07-49G		
98	536	土師器	甕	(210)			6	外面：ロクロ 内面：ロクロ	05-49G		
	537	土師器	甕	(244)			7	外面：ナデ 内面：ナデ・ハケ	13-56G	RP27	内外面摩滅
98	538	土師器	鍋	(190)			6	外面：ナデ 内面：ミガキ・ハケ	11-57G		二次焼成有 外面剥落
	539	黒色土器	蓋	(144)			6	外面：ロクロ 内面：ミガキ 天井：回転ヘラ削り	08-49G		内面黑色処理
98	540	黒色土器	环	(148)			4	外面：ロクロ 内面：ミガキ	11-54G		内面黑色処理
	541	黒色土器	有台环	(66)			4	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転系切・高台	09-54G	10-54G	内面黑色処理
98	542	黒色土器	有台环	(75)			6	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転系切・高台	15-56G		内面黑色処理
	543	黒色土器	有台环	72			5	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転系切・高台	12-57G		内面黑色処理 削り出し高台
99	544	黒色土器	有台环	60			4	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転系切・高台	03-52G		内面黑色処理 削り出し高台
	545	黒色土器	有台环	56			5	外面：ロクロ 内面：ミガキ 底部：回転系切・高台	12-57G		削り出し高台
99	546	黒色土器	有台环	(65)			4	外面：ミガキ 内面：ミガキ 底部：不明・高台	05-49G		削り出し高台方 内外底面黑色処理
	547	黒色土器	有台环	64			4	外面：ミガキ 内面：ミガキ 底部：回転系切・高台	08-49G		内外底面黑色処理
99	548	土製品	羽口?	残存長 79.4	残存幅 47.9	高 30.7	厚 22.9		04-52G		
	549	石製品	砥石	長 56.2	幅 50.0	厚 37.7	重量 81.2g	石材：砂岩	08-52G		砥面4面
99	550	石製品	砥石	長 39.5	幅 31.7	厚 12.9	重量 25.4g		XO		砥面3面
	551	金属製品	刀子	残存長 62.6	幅 12.4	厚 3.5	重量 4.3g		09-54G	RM129	

IV まとめ

村山市清水地区の丘陵東側の裾部に広がる清水遺跡は南北約1,300m、南北200～400mに及ぶ広大な遺跡である。第2・4・9次調査では清水遺跡の北部に位置し、標高114mから122mの平地から丘陵部にかけての7,920m²を対象に行った。調査面積は、清水遺跡全体の3%に満たない。

検出された遺構は、竪穴住居跡26棟、掘立柱建物跡7棟、井戸跡1基、溝跡4条、土坑12基、柱穴等である。これらは大方が古代に所属すると考えられる。

竪穴住居跡が立地するのは標高114mから121mまでで、特に傾斜が変わる115～117m上の緩い斜面に集中する。住居跡の規模は長辺が3～4mのもの(ST3・10・35・141・160・436)、4～5mのもの(ST1・2・63・69・140)、6m以上のもの(ST5・9・146)に分けられる。主軸は南北線から数度西へ傾く住居が大半を占められ、大きく傾くのは数棟に限られる。カマドは南壁の西寄りに設けられたものが多く、他には南東角にある住居跡を4棟確認できた。ST35はカマドを持たない。柱穴は4基で構成するもの、2基のもの、1基のもの、検出できないものがある。6mを超える大型の住居には4基、5m前後の中型には2基というように、住居の規模に関わる様子がうかがえる。複数の住居跡で重複や拡張が見られるが、出土遺物からはそれ程大きな時期差は認められない。主体となる時期は9世紀の中頃と考えられる。ただし、主軸が大きく傾くST56・137等はやや後続し、9世紀後半頃と考えられる。

掘立柱建物跡は全て側柱建物である。規模に違いはあるが、2間×3間の南北棟が7棟の内5棟(SB28・67・298・347・378)を占める。これらの建物跡は、多くの竪穴住居跡が主軸とする方向より西へ傾く。他の2棟(SB4・201)は2間×2間であり、多くの竪穴住居跡と軸を同じくする。SB201の南北柱通りは、ST9の東西幅に沿っていることから同時期に使われていた可能性もあり、その後SB378に建替えたと考えられる。掘立柱建物跡と竪穴住居跡が重複するのはこの一ヵ所のみであり明確ではないが、軸を異にする建物は主体となる。

竪穴住居より後に建てられたと推測される。

区画と考えられる溝跡は2条(SD19・55)検出した。角度や方向は異なるが、構造に共通点があり同時に同じ目的によるものと考えられる。区画の内部は地形などの条件もありSD19の東側であり、SD55の南側を想定するのが妥当と考えられる。したがって本調査では北西角を検出したに留まり、大部分は調査区外の平坦地に広がると推定される。区内にはST35・62・162やSB28・298等を検出しているが、共存したかは不明である。3区にも同様の区画溝があり、相対的に検討する必要がある。

灰白色火山灰は多くの遺構から検出されている。竪穴住居跡からは17棟の覆土に含まれていた。多くは覆土の上層もしくは中間層に見られ、埋没していく過程で混入したことがうかがえる。SG266がある低地での厚い堆積も、降り積もった火山灰が流され、低いところへ集まることによると考えられる。灰白色火山灰は分析により十和田aとの結果を得ている。これらの状況により、10世紀前半には集落はある程度埋没していたのではないかと推測される。

出土遺物は、縄文土器や石器をはじめ、須恵器、土師器、土製品、金属製品、木製品、石製品が出土している。主体を成すのは、古代の須恵器や土師器である。須恵器は壺類が多く、無台壺が凌駕する。ヘラ切による底径が大きく身が浅いタイプも一定量見られるが、大半を占めるのは糸切によるものである。底径は60mmを超える器高は40mm前後が多い。概ね、ヘラ切の無台壺は8世紀後～9世紀前半、糸切の無台壺は9世紀中頃までの所産と考えられる。

まとめると、8世紀後半頃には居住が始まるが、本調査区が本格的に始動するのは9世紀前半頃で、中頃に充実し後半には収縮する。その後10世紀初めには終焉を向かえたと考えられる。集落の性格は3区が大きく関わっていると推測される。一般集落とは様相が異なる建物群に付随する集落として、1区や3区と合わせた総合的な検討が必要と考えられる。

写真図版



2次A区完掘全景(東から)



4次調査区遺構検出状況(北から)



基本層序 A-A' (東から)



基本層序 B-B' (西から)



ST1 土層断面（東から）



ST1EL1 土層断面（北東から）



ST1EPS 土層断面（北から）



ST1 完掘状況（北西から）



ST2 土層断面（北から）



ST2EL1 完掘状況（北から）



ST2RP49・50 出土状況（北から）



ST2 完掘状況（北から）



ST3 土層断面（南から）



ST3-EK1 土層断面（南から）



ST3EK1 完掘状況（南から）



ST3 完掘状況（西から）



ST1・2・3 完掘状況（北から）



ST5 土層断面（南東から）



ST5-RP23 出土状況（東から）



STSEL1 土層断面（北から）



STSEL1 完掘状況（北から）



ST5 完掘状況（北から）



ST9 土層断面（南から）



ST9EKS 土層断面（北西から）



ST9EL1 土層断面（西から）



ST9EL1 完掘状況（南から）



ST9 完掘状況（南から）



ST10 完掘状況（北から）



ST10 土層断面（南から）



ST10EL1 土層断面（西から）



ST10EL1 完掘状況（南から）



ST10RM124 出土状況（南から）



ST35a-a' 土層断面（南から）



ST35b-b' 土層断面（東から）



ST35 完掘状況（西から）



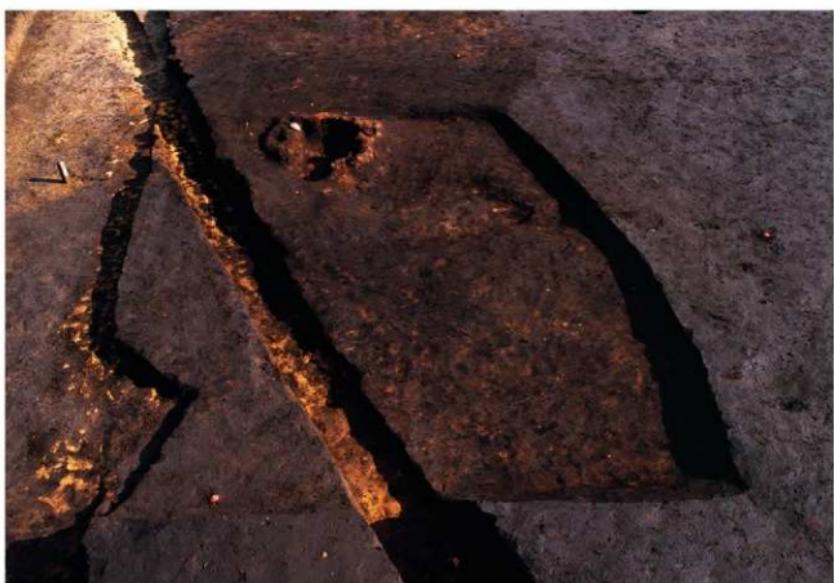
ST54EK1 土層断面（北西から）



SK54EK1 完掘状況（北から）



ST54 完掘状況（西から）



ST56 完掘状況（西から）



ST56 土層断面（東から）



ST56EL1RP13・22 出土状況（北から）



ST56EL1 土層断面（北から）



ST56EL1 完掘状況（西から）



ST63 土層断面（西から）



ST63EL1 土層断面（北から）



ST63EL1 完掘状況（北から）



ST63 貼床土層断面（南西から）



ST63 完掘状況（北から）



ST65 土層断面（西から）



ST65EL1 遺物出土状況（北東から）



ST65EL1 土層断面（南から）



ST65EL1 完掘状況（北東から）



ST65 完掘状況（東から）



ST69 火山灰検出状況（北から）



ST69 土層断面（北西から）



ST69EL1 土層断面（東から）



ST69EL1 完掘状況（西から）



ST69 完掘状況（北から）



ST100 土層断面（南東から）



ST100 完掘状況（東から）



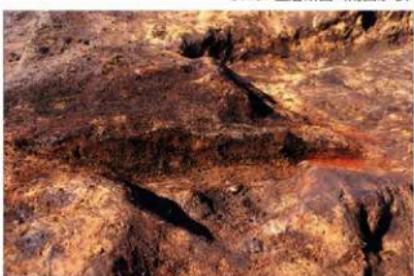
ST101 完掘状況（北から）



ST101 土層断面（南西から）



ST101-RP38 出土状況（北から）



ST101EL1 土層断面（東から）



ST101EL1 完掘状況（北から）



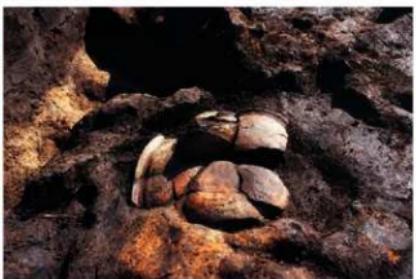
ST137・139a-a' 土層断面（南から）



ST137・139b-b' 土層断面（南東から）



ST137 炭化材検出状況（北東から）



ST137-RP17 出土状況（南西から）



ST137・139 完掘状況（南から）



ST140・146・148・160、SK149 精査状況（南東から）



ST140・146・147 火山灰検出状況（南西から）



SK149 火山灰検出状況（北東から）



ST140・146・148・160、SK149a-a' 土層断面（東から）



ST140・146・148・160、SK149c-c' 土層断面（北から）



ST147-EL1 土層断面（東から）



ST147-EL1 完掘状況（北から）



ST146EL1 完掘状況（東から）



ST160EL1RP42~44 出土状況（北西から）



ST140・146~148 完掘状況（南から）



ST141a-a' 土層断面（西から）



ST141b-b' 土層断面（南から）



ST141-RP74 出土状況（北東から）



ST141c-c' 土層断面（東から）



ST141 完掘状況（南から）



ST162 検出状況（東から）



ST162 土層断面（南から）



ST276 土層断面（南から）



ST276-RP71 出土状況（北東から）



ST276EL1 土層断面（東から）



ST276EL1 完掘状況（北から）



ST276 完掘状況（北から）



ST436 完据状況（西から）



ST436EL495 完据状況（西から）



H 区完据状況（北から）



SB4EP3 完掘状況（南から）



SB4EP6 土層断面（西から）



SB4EP8 土層断面（南西から）



SB4EP8 完掘状況（東から）



SB4 完掘状況（東から）



SB28 棟出状況（北から）



SB28EP1 土層断面（北東から）



SB28EP1 完掘状況（北東から）



SB28EP5 土層断面（北東から）



SB28EP5 完掘状況（北西から）



SB28EP6 完掘状況（西から）



SB28EP8 土層断面（東から）



SB28EP8 完掘状況（南から）



SB28EP9 土層断面（東から）



SB28 完掘状況（南東から）



SB67EP5 土層断面（南から）



SB67EP5 完掘状況（南から）



SB67EP6 土層断面（東から）



SB67EP8 土層断面（東から）



SB67 完掘状況（東から）



SB201 · 378EP1 土層断面（北東から）



SB201 · 378EP1 完掘状況（南から）



SB201 · 378EP3 土層断面（北から）



SB201 · 378EP3 完掘状況（南から）



SB201 · 378EP4 土層断面（北東から）



SB201 · 378EP4 完掘状況（南から）



SB201 · 378EP5 土層断面（南西から）



SB378EP6 完掘状況（南東から）



SB201EP7 • 378EP8 土層断面（南西から）



SB201EP7 • 378EP8 完掘状況（南から）



SB201EP8 • 378EP9 土層断面（北東から）



SB201EP8 • 378EP9 完掘状況（南から）



SB201 • 378 完掘状況（東から）



SB298EP1 完掘状況（南から）



SB298EP4 完掘状況（南から）



SB298EP9 完掘状況（西から）



SB298EP10 完掘状況（西から）



SB298 完掘状況（南から）



SB347 検出状況（南から）



SB347EP3 土層断面（東から）



SB347EP3 完掘状況（東から）



SB347EP5 土層断面（南から）



SB347EP5 完掘状況（南から）



SB347EP8 土層断面（東から）



SB347EP9 土層断面（南から）



SB347EP10 土層断面（南から）



SB347EP10 完掘状況（南から）



SB347 完掘状況（南から）



SK251 土層断面（南から）



SK251 完掘状況（南から）



SK21b-b' 土層断面（南から）



SK21 完掘状況（西から）



SK22b-b' 土層断面（南から）



SK22 完掘状況（北から）



SK52 土層断面（西から）



SK52 完掘状況（北西から）



SK66 土層断面（東から）



SK66 完掘状況（東から）



SK158 土層断面（南から）



SK158 完掘状況（北から）



SK277 土層断面（南から）



SK277 完掘状況（南東から）



SK318 土層断面（西から）



SK318 完掘状況（西から）



SK320 土層断面（北から）



SK344 完掘状況（西から）



SK345 土層断面（北西から）



SK345 完掘状況（東から）



SX255 土層断面（南から）



SX255 完掘状況（北から）



SX316 土層断面（南西から）



SX317 土層断面（北から）



SD19 土層断面（南から）



SD55 土層断面（西から）



SG266 T2 土層断面（東から）



SG266 T4 土層断面（東から）



SG266 遺物出土状況（東から）



SG266-RW76 出土状況（北東から）



SG266-RP88 出土状況（北東から）



SG266-RP102 出土状況（北から）



SG266-RP104 出土状況（西から）



SG266 完掘状況（東から）



SP6 土層断面（東から）



SP6 完掘状況（東から）



SP8 土層断面（南西から）



SP8 完掘状況（南西から）



SP16 土層断面（西から）



SP16-RP121・122 出土状況（西から）



SP16 完掘状況（東から）



SP41 土層断面（南から）



SP50 完掘状況（南から）



SP76 完掘状況（南から）



SP85 土層断面（東から）



SP88 完掘状況（東から）



SP91 土層断面（西から）



SP111 土層断面（南西から）



SP115 土層断面（南から）



SP115 完掘状況（南から）



SP121 土層断面（南から）



SP121 完掘状況（東から）



SP126 土層断面（南から）



SP145 完掘状況（東から）



SP235 土層断面（南西から）



SP235 完掘状況（南西から）



SP357 土層断面（西から）



SP357 完掘状況（西から）



ST1 出土遗物



ST2 出土遺物・ST3 出土遺物（1）



ST3 出土遺物 (2) • ST5 出土遺物 (1)



ST5 出土遺物 (2) • ST9 出土遺物 (1)





ST10・35・54 出土遺物



ST56 出土遗物 (1)



ST56 出土遺物 (2) • ST63 出土遺物 (1)



ST63 出土遗物 (2) • ST65 出土遗物 (1)



ST65 出土遺物 (2)



ST69 • 100 出土遺物



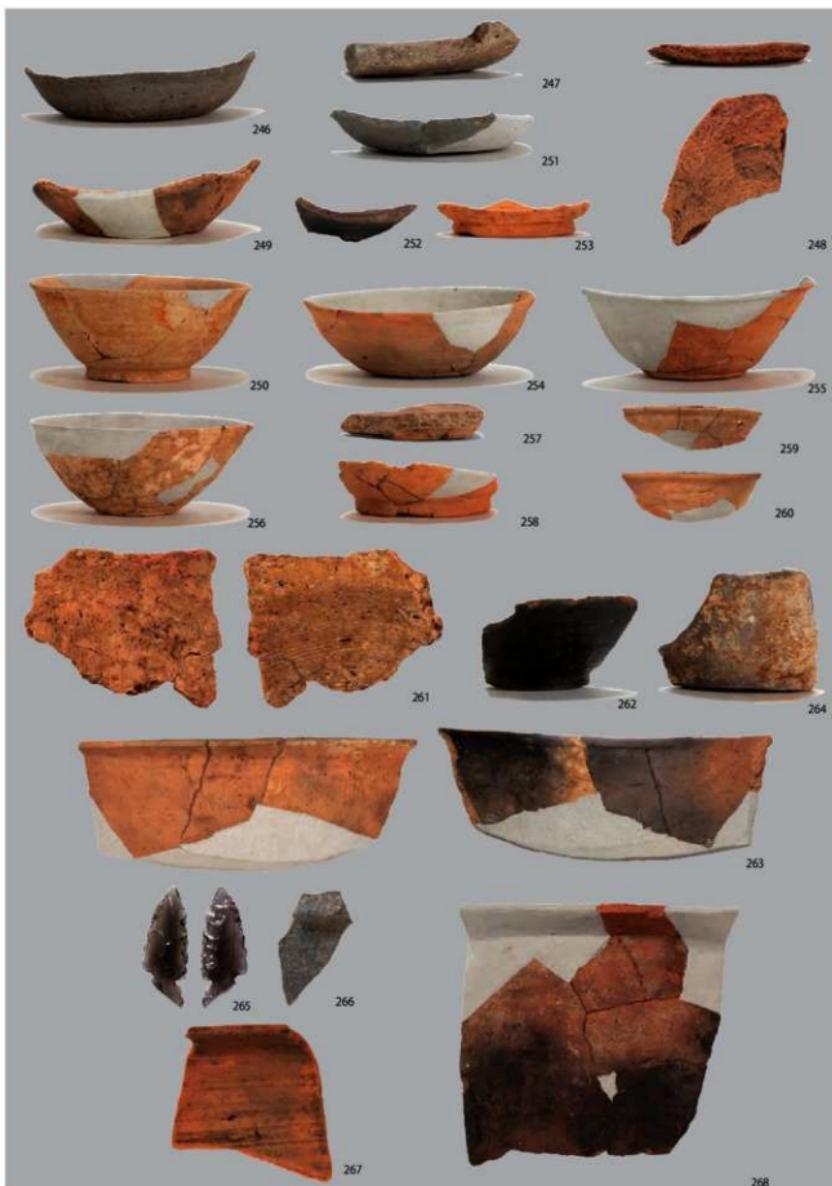
ST101・137・140 出土遺物・ST146 出土遺物（1）



ST146 出土遺物 (2) • ST147 出土遺物 • ST160 出土遺物 (1)



ST160 出土遺物 (2) • ST141 出土遺物



ST162 • 276 • 436 • 448 • SB378 • SK21 出土遺物



SK22 出土遺物



SK66 • 142 • 149 • 158 • 277 • 318 • 344 出土遺物



SK345・SD19・55 出土遺物



SG266 出土遗物 (1)



SG266 出土遺物 (2)



SG266 出土遺物 (3)



SG266 出土遺物 (4)



SG266 出土遺物 (5)



SG266 出土遺物 (6)



SP16・17・88・112・207・235・346・357・465 出土遺物



遺構外出土遺物（1）



遺構外出土遺物 (2)



遺構外出土遺物（3）



遺構外出土遺物 (4)



遺構外出土遺物（5）



遺構外出土遺物 (6)

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第238集

清水遺跡第1～7・9次発掘調査報告書

第二分冊 第2・4・9次編

2020年3月31日発行

発行 公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

〒999-3264 山形県上山市中山字壁屋敷 5608番地

電話 023-672-5301

印刷 田宮印刷株式会社

〒990-2251 山形県山形市立谷川三丁目 1410番地の1

電話 023-686-6111

(X-164300.000)



(X-164320.000)

(X-164360.000)

(X-164380.000)



付図 清水遺跡第2・4・9次造構配置図 1:300

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第238集
清水遺跡第1～7・9次発掘調査報告書
2020年3月31日発行
公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

この PDF データは下記の報告書を底本として作成しました。

閲覧を目的としていますので、詳細な写真や図面が必要な場合は、底本を参照して下さい。

底本は、公益財団法人山形県埋蔵文化財センター、山形県内の市町村教育委員会、図書館、

各都道府県の埋蔵文化財センター、考古学を教える大学、国立国会図書館等に所蔵されています。

所蔵状況や利用方法は、直接各施設にお問い合わせ下さい。

書名：清水遺跡第 1～7・9 次発掘調査報告書 第二分冊

発行：公益財団法人山形県埋蔵文化財センター

〒 999-3246

山形県上山市中山字壁屋敷 5608 番地

電話 :023-672-5301

URL:<http://www.yamagatamaibun.or.jp/>

mail:yac@yamagatamaibun.or.jp

電子版作成日：2020 年 3 月 31 日